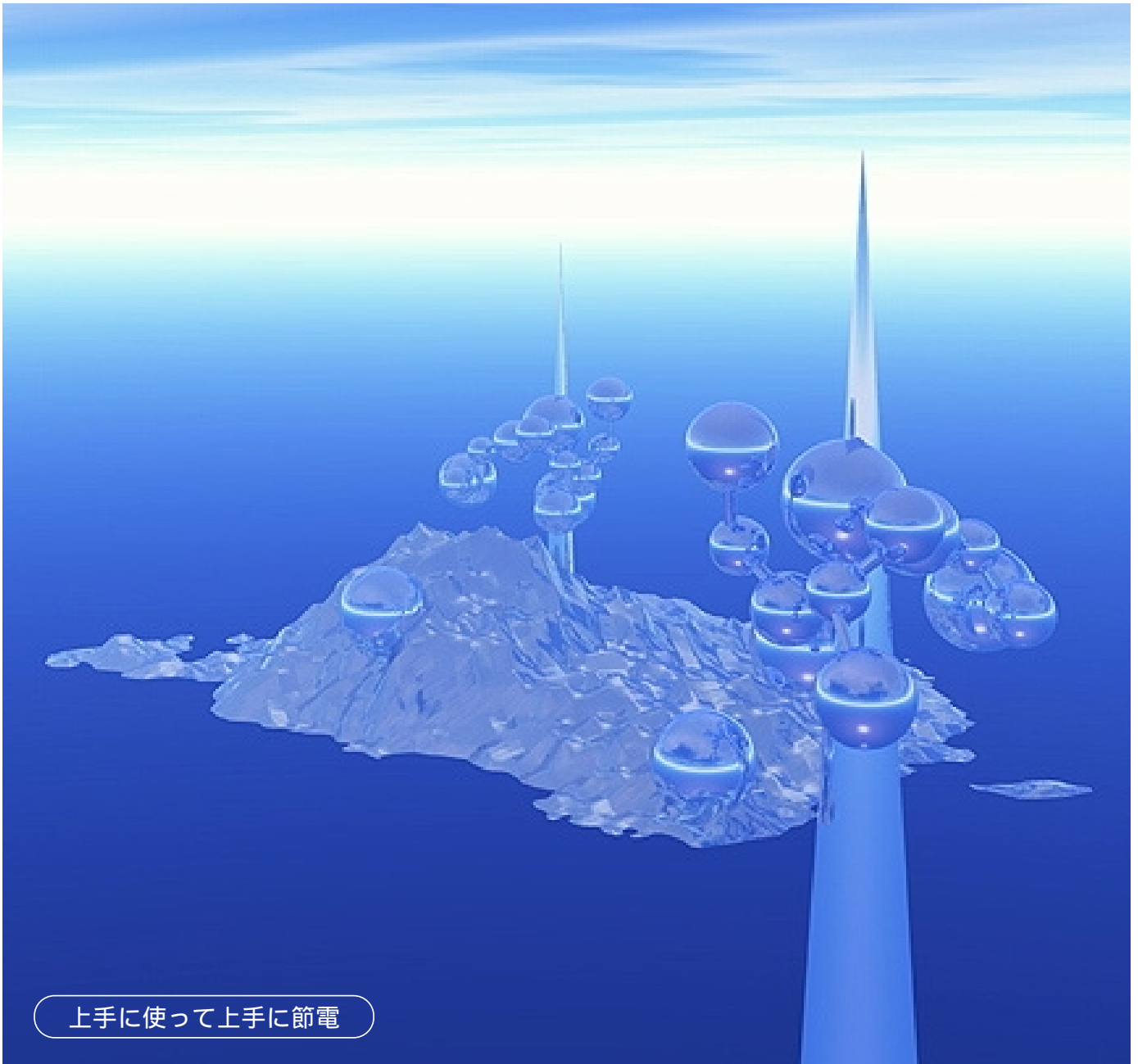
Panasonic

DVDビデオレコーダー
取扱説明書

品番 DMR-E10

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびはパナソニックDVDビデオレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

VQT8755-1

もくじ

ご使用の前に

各部の名前

準備

もくじ(つづき)

便利機能

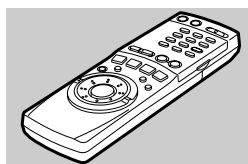
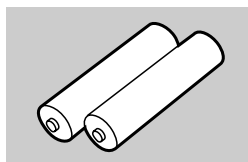
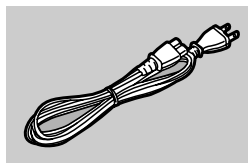
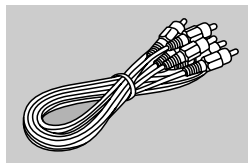
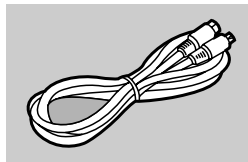
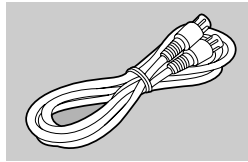
いろいろな接続

初期設定

その他

付属品

- 包装箱を開けられたら、まずこの表の部品が入っているか、□に√印などを付け確かめてください。
- 付属品をなくされたなどの場合、サービスルート扱いでご用意しているものがありますので、ご注文ください。(以下に品番を記載しているもののみ)
- この取扱説明書に記載の付属品および別売品の標準価格や品番は、2000年5月現在のものです。

標準価格には消費税や工事代などは含まれていません。

□**リモコン**
(P18)
EUR571651

□**リモコン用電池(2本)**
(P21)
単4形アルカリ乾電池(LR03)

□**電源コード**
(P22)
VJA0659
標準価格：700円

□**映像・音声コード**
(P22)
VJA0788
標準価格：600円

□**S映像コード**
(P22)
VJA0658-A
標準価格：700円

□**75Ω同軸ケーブル**
(P22)
VJA1013
標準価格：400円

特長

**ランダムアクセス、保存性、コンパクト性などの優れた特長を持つDVD-RAMディスクに、
高画質映像記録。従来のテープメディアにはない快適操作を実現。**

保存性に優れたDVD-RAMへの高画質映像記録

■AVでもPCでも使える4.7GB DVD-RAMディスクに記録

DVD-RAMは、高速リード&ライト、高速ランダムアクセス、高耐久性、高信頼性、著作権保護対応など、他の光ディスクにはない優れた特長を持ち、AV機器とパソコンをブリッジし、これからのデジタル化社会、情報化社会へ対応できるAV-PC統合メディアです。

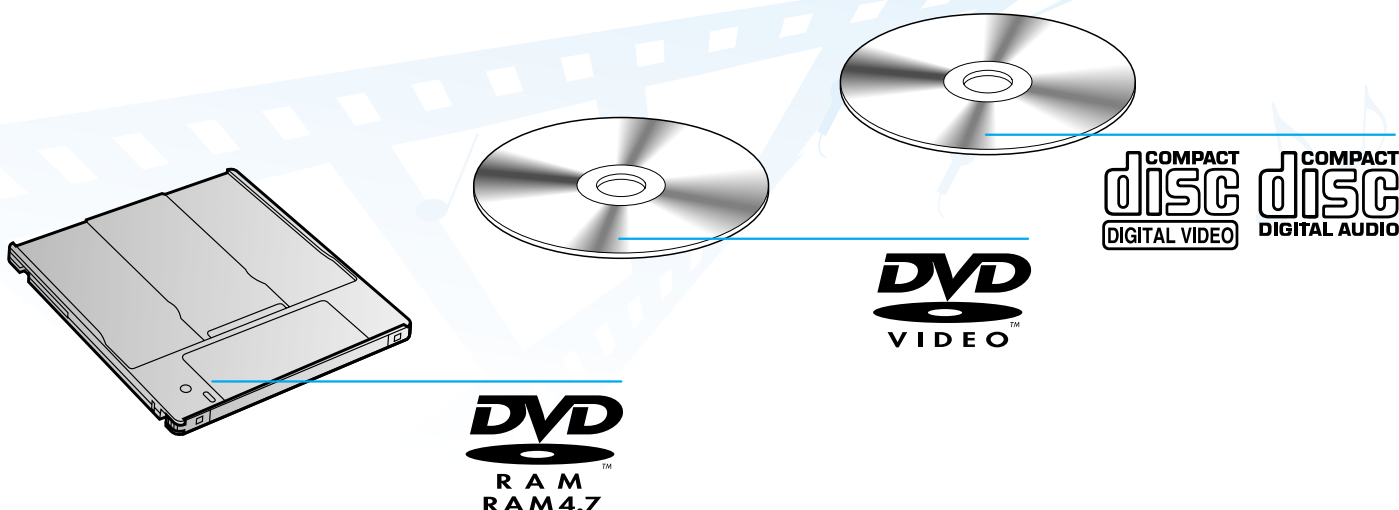
■大画面テレビに最適な高画質・高音質記録

映像の記録には、ディスクの記録容量を最大限に生かしつつ、長時間の高画質録画を可能にするため、MPEG2の圧縮率をリアルタイムに可変制御する“ハイブリッドVBR”方式のエンコーダ・システムを採用。また、音声の記録には、ドルビーデジタル方式を採用し、高音質の音声を記録することができます。

■録画時間と内容に応じて最適な録画モード設定が可能(P60)

ハイブリッドVBRを応用して、録画モードの設定も柔軟にできるようになりました。高画質のXPモードでは1時間、標準のSPモードでは2時間、長時間のLPモードでは4時間の録画ができます。
また、予約録画時には、設定時間(60～240分)に合わせてディスクの空き容量に応じて最高の画質で録画するFR(フレキシブル・レコーディング)モードも選ぶことができます。

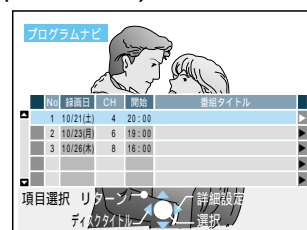
■古いテープの画質をさらに美しくしてコンパクトに保存(P101)

入力TBC(タイム・ベース・コレクター)、3次元Y/C分離回路などの高画質回路を装備し、ビデオデッキからのダビングなど、アナログ映像の録画に特に威力を発揮し、再生時の3次元DNRと併せて、古いテープの映像も驚くほど鮮明によみがえります。この機能により、例えば、ビデオカメラで昔撮った大切な映像の画質を改善したうえ、保存性に優れた光ディスクによって長期間保存することができます。また、収納スペースもディスクなので、VHSテープに比べ3分の1以下です。

従来のテープメディアにはない快適操作をDVD-RAMで実現

■頭出し不要の簡単録画、最後に録画した番組(プログラム)をすぐに再生(P77)

ディスクの未記録部分に録画したいとき、すぐに録画をスタートできます。ビデオデッキと違い、録画をスタートする位置をさがすために早送りや巻戻しをする必要はありません。録画済みの内容を誤って上書きする心配もありません。また、最後に録画した番組を再生ボタンひとつですぐに再生することもできます。

■見たい番組を素早く頭出しできるプログラムナビ(P78～)

録画した番組の中から簡単に見たい番組を頭出しできます。ディスクに録画された番組のリストを日時、チャンネル、タイトル(任意に入力可能)で表示し、一目で確認できます。
指定した番組はリストのバックに動画で再生されますので、選んだ番組をすぐに確認できます。見たい番組が決まれば、そのまま再生を始められます。

■これ一台で自在な映像操作が可能なプレイリスト再生(P84～)

自分で選んだお好みのシーンを順番に再生することができます。
また、特定のシーンを直接、頭出しすることも可能です。
不要なシーンを削ったり、新しいシーンを追加したりすることが自在にできるので、
例えば、音楽番組やスポーツ番組で、好きなシーンだけを集めたオリジナル映像を楽しんだり、ビデオカメラで撮影した映像から、必要なシーンだけを選んで、連続再生することが可能です。

ホームシアターに最適なマルチ再生機能

■いろいろな用途に使えるマルチディスク再生機能を搭載

再生面においてはトップクラスのDVDプレーヤーに匹敵する高画質・高音質で、DVD-VIDEOの映画ソフトが楽しめます。さらにビデオCD、音楽CDなどマルチディスクに対応、ハイエンドのホームシアターから、音楽CDの再生までホームエンターテイメントの中心となって活躍します。

■映画素材の画質を忠実に再現するプログレッシブ再生

本機には、パナソニックの最高級プログレッシブDVD/CDプレーヤーDVD-H1000で培ったプログレッシブ技術が搭載されています。1画面中の525本の走査線すべてを順次走査することにより、従来のテレビ・ビデオ映像のインターレース方式(525I、飛び越し走査)に比べて垂直解像度が高く、被写体が動いたときの画質劣化がない高密度でちらつきのない画像を再現します。

■映画館の臨場感を家庭で味わえる5.1chドルビーデジタルデコーダー内蔵

サウンド再生の面では、ホームシアターの主流となっている5.1chサラウンド・システムに対応。5.1chドルビーデジタルデコーダー内蔵なので、AVアンプとスピーカーにつなげばすぐに迫力あるサラウンド再生が楽しめます。また、dtsデジタル出力に対応しているので、dtsデコーダーにつなげば、同様に5.1chのサラウンド再生が可能です。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ 表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

「安全上のご注意」(P8〜10)に記載の本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが御了承ください。

⚠ 警告

煙が出ている、異常に熱い・におい・音がするときなどは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

●販売店にご相談ください。

内部に水や異物などが入ったときやキャビネットが破損したときは、使うのをやめ、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災・感電につながります。

●販売店にご相談ください。

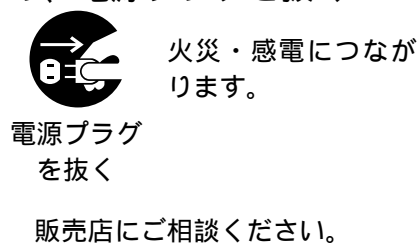
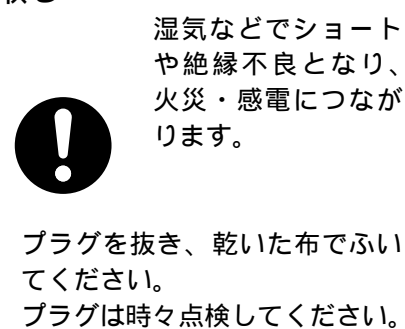
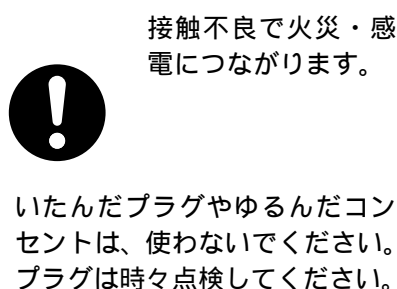
電源プラグのほこりなどは取る

湿気などでショートや絶縁不良となり、火災・感電につながります。

●プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
●プラグは時々点検してください。

電源プラグは、根元までしっかりと差し込む

接触不良で火災・感電につながります。

●いたんだプラグやゆるんだコンセントは、使わないでください。
●プラグは時々点検してください。

内部に金属物や燃えやすいものなどを入れない

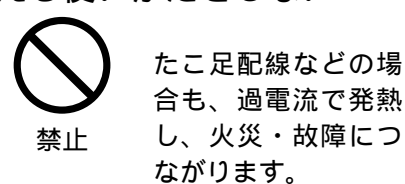
禁止

火災・感電・故障につながります。

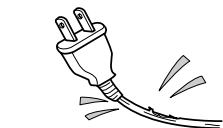
●乳幼児にご注意ください。

指定(交流100ボルト)以外の電源電圧では使わない また、配線器具の仕様をこえる使いかたをしない

禁止

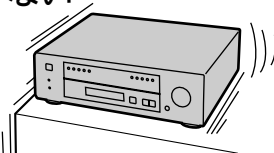
たこ足配線などの場合も、過電流で発熱し、火災・故障につながります。

⚠警告

電源コードやプラグを破損させない

禁止

ステープルなどで壁などに固定すると、コードが破損し、火災・感電につながります。

●電源コードやプラグが破損したときは、販売店にご相談ください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定なところに置かない

禁止

落下すると、けがや製品の故障につながります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災・感電・故障につながります。

●修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。

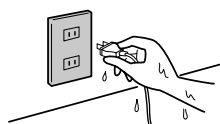
水をかけたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

内部に水が入ると火災・感電・故障につながります。

●水が入ったときは、販売店にご相談ください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電につながります。

●必ず、乾いた手で抜き差ししてください。

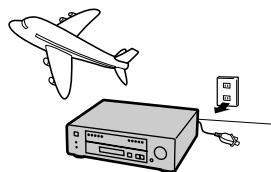
雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグにふれない

接触禁止

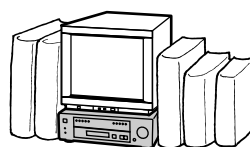
落雷すると、感電につながります。

⚠注意

お手入れの際や長期間使わないときは、安全のため、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

誤って内部にふれると、感電するおそれがあります。また、通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、漏電などにより、火災のおそれがあります。
(ディスク保護のため、ディスクも取り出しておいてください)

風通しの悪いところ、狭いところに置かない

禁止

高温になると、機器の保護のため動作を停止する場合があります。さらに高温になると発熱し、火災・感電のおそれがあります。

●次のようなところに置かないでください。
- ・押し入れ、本箱など、風通しの悪いところ。
- ・じゅうたんやふとんの上。

●また、後面の内部冷却用ファンをふさがないでください。

油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多いところ、振動が激しいところに置かない

禁止

水やほこりが入ったり、振動などで内部部品が損傷すると、火災・感電のおそれがあります。

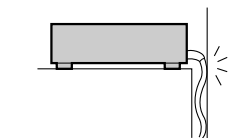
●1年に一度ぐらいは、販売店に点検をご相談ください。
(特に湿度が高くなる梅雨期の前に点検をすると効果的です)

●費用についても、そのときお確かめください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠注意

電源コードが無理に曲げられるような設置をしない

禁止

電源コードが破損し、火災・感電・故障のおそれがあります。

●後面は、壁から10cm以上離してください。

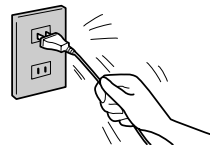
コード類を接続したまま移動させない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電・故障のおそれがあります。

●必ず、接続を外してから移動させてください。

電源コードを持って抜かない

禁止

コード破損の原因となり、火災・感電のおそれがあります。

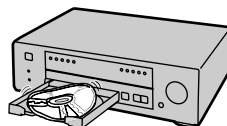
●必ず、電源プラグを持ってください。

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

禁止

倒れたり落下などをして、けがをするおそれがあります。また、重量でキャビネットが変形し、内部部品が破損すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

ひび割れや変形、修復したディスクは使わない

禁止

機器内部で割れて飛び散ると、けがをするおそれがあります。

ディスクトレイに指を挟まれないように注意する

指に注意

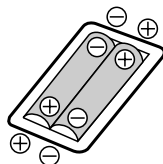
閉まるときに挟まれて、けがをするおそれがあります。

●乳幼児にご注意ください。

アンテナ工事には技術と経験が必要です

アンテナが倒れると、けがや感電するおそれがあります。

●販売店にご相談ください。

電池は、⊕ ⊖を確かめ、正しく入れる

間違えると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

電池の⊕ ⊖部に金属物(ネックレスやヘアピンなど)を接触させない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

●ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。

電池を分解、加工(はんだ付けなど)、加圧、加熱、火中投入などをしない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

新しい電池と古い電池をまぜて使わない また、充電式電池や種類が違う電池を使わない

禁止

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、けがをするおそれがあります。

液もれしたときは：

●万一、液もれが発生し、液が手や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。

●液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

使用上のお願い

本機は、周囲(温度、湿度、ほこりなど)の影響を受けやすい、精密な部品を内蔵しています。
きれいな映像・音声をお楽しみいただくために、下記の点をお守りください。

大切な録画・録音・編集のとき

■大切な録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめておく

本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

- あなたが録画・録音されたものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- ディスクを無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権により保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り、家庭用およびその他の一部の観賞用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

設置・使用するとき

■接続するときは、すべての機器の電源を切る

■水平なところで使う

下に雑誌などを置いて傾けて使わないでください。

■ディスクトレイにディスク以外のものを入れない

■強い磁気を持っているものや、強い電磁波を出すもの(携帯電話など)を近付けない

映像・音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

■揮発性の殺虫剤などがかからないようにする

キャビネットの変形や塗装がはげるおそれがあります。

■つゆつき(結露)した状態で使わない

寒いところから暖かいところへ急に持ち込むと、内部の部品につゆが付着(結露)し、誤動作・故障の原因になります。ディスクを取り出し、電源を「入」にしたまま約1～2時間程度放置してください。

移動・輸送するとき

■落としたり、ぶつけたりしない

■ディスクを取り出し、電源コードなどのコード類をすべて外す

引っ越しなどで輸送するときは、購入時の包装箱に入れてください。

お手入れするとき

■キャビネットがよごれているとき

電源プラグをコンセントから抜き、乾いたやわらかい布でキャビネットをふいてください。

■よごれがひどいとき

台所用洗剤を水でうすめ、その液にひたした布をよくしぼってからよごれをふき取ってください。
そのあと、乾いた布で仕上げてください。

- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットが変質したり、塗装がはげたりしますので、ベンジンやシンナーなどの溶剤は使わないでください。

■録画/再生用レンズがよごれたとき

長期間使用していると、録画/再生用レンズにほこりなどが付着して正常に録画・再生できなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、**DVD-RAM/PDレンズクリーナー JZSLFK123LC1(別売)**で1～4カ月に一度、クリーニングすることをおすすめします。
クリーニングのしかたは、レンズクリーナーの説明書をお読みください。

長期間使用しないとき

■約1カ月以上使用しないとき

ディスクを取り出した後、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本機が電源コンセントに接続されていると、本機の電源を「切」にしても約6ワットの電力を消費しています。
- 機能を保つため、1カ月に1度くらいは再生などをしてお使いください。

ディスクについて

ディスクの種類によって、使える機能が異なります。
本書では、記号を用いてその説明箇所に当てはまるディスクを表しています。

録画/再生できるディスク

4.7GB RAM
DVD-RAM
12cm
映像方式：NTSC

※本機は著作権保護技術を搭載しているため、**DVD-RAMディスク(当社製DY-HB47、または市販の同等品)**を使用すれば、1度だけコピーが許可された映像の記録もできます。

再生できるディスク

DVD-VIDEO DVD-V
12cmまたは8cm
リージョン番号：「2」または「ALL」
映像方式：NTSC

ビデオCD VCD
12cmまたは8cm
映像方式：NTSC

音楽CD
12cmまたは8cm

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVD-VIDEO
- PAL方式で記録されたDVD、ビデオCD
- DVD-RAM(2.6GB)
- DVD-ROM
- DVD-AUDIO
- DVD-R
- ＋RW
- DVD-RW
- MVDISC
- CD-R
- CD-ROM
- CD-RW
- CDV
- CD-G
- CVD
- VSD
- SVCD
- SACD
- フォトCD
- PD
- MD
- MO

リージョン番号について

リージョン番号とは、発売地域ごとにDVD-VIDEOソフトと機器に割り当てられた番号です。
本機のリージョン番号は「2」です。
本機は「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」のいずれかが表示されたもののみ再生できます。
例)

…など

ジャケットの各マークについて

- **音声数**

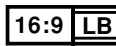
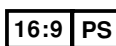
- **字幕数**

- **アングル数**

(数字は記録されている数を示します)

- **画面サイズ(横：縦)**

4:3 ：横：縦＝4：3の標準サイズで記録されていることを示します。

LB ：レターボックス(横：縦＝4：3で上下に黒帯が入っている画面)で記録されていることを示します。

16:9 LB ：横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビの場合はレターボックスで再生されるように指定されていることを示します。

16:9 PS ：横：縦＝16：9のワイドサイズで記録されており、標準サイズ(4：3)のテレビの場合はパン＆スキャン(両側または片側が切れた画面)で再生されるように指定されていることを示します。

テレビに映し出される映像は、テレビの画面サイズ(横：縦)やテレビの画面モードによって異なります。

再生時の制約について

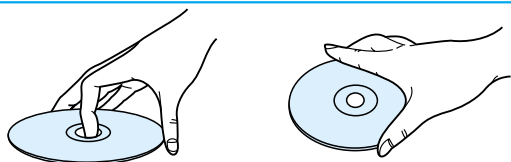
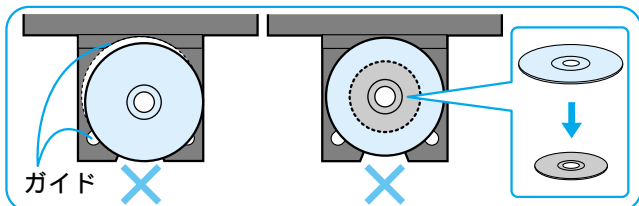
DVD、ビデオCDの中には、ソフト制作者の意図により、再生状態が決められているものがあります。このようなディスクの場合、本機はソフト制作者の意図に従って再生するため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書も合わせてご覧ください。
また、プレイバックコントロール付ビデオCDでは働かない機能があります。

例：● 頭出しのために|◀◀または▶▶|を押しても、"⃠"(禁止)マークが表示される。
● インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付きビデオCDのメニュー再生中は、続き再生メモリー機能やリピート再生、マーカー等の機能が働かない。…など

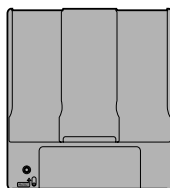
※**本機で録画したDVD-RAMは、互換性のないDVDプレーヤー(当社製も含む)では再生できません。**
(2000年5月現在)

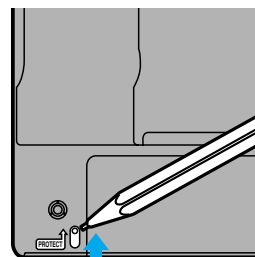
取り扱いについて

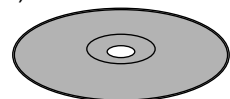
ディスクの破損や機器の故障の原因になりますので、次のことをお守りください。

- 左ページのマークが入ったものでも、ハート型や八角形など、特殊形状のディスクは使わない。(故障の原因になります)
- そりの大きなディスク、割れたりひびの入っているディスクは使わない。
- よごしたり、傷付けたりしない。
- 落としたり、曲げたりしない。
- サインペンやボールペンなどで文字を書かない。
- 紙やシールを貼らない。
- シングルディスク(8cmディスク)アダプター、CD用スタビライザーを使わない。
- 信号面にふれないようにして持つ。

- ガイドからずれたまま、ディスクトレイを閉めない。
- ディスクトレイに2枚以上のせない。

DVD-RAMディスクについて

■本機には、TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク(別売品/市販品)をお使いになることをおすすめします

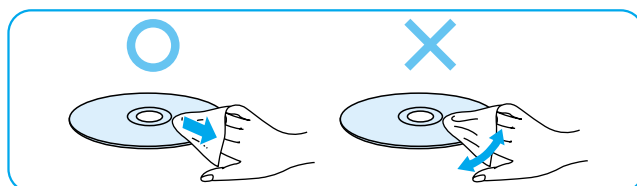
- DVD-RAMには、**カートリッジ付**と**カートリッジなし**があります。本機はどちらにも対応しておりますが、**カートリッジ付**をお使いになることをおすすめします。当社製**TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク DY-HB47(別売)**は、カートリッジ付です。
- 非常に精密な情報の記録を必要としますので、ディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでも付くと、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。カートリッジ付の方が指紋やほこりが付きにくいので、安定した録画・再生・編集ができるという特長があります。
- カートリッジのシャッターは手で開けないでください。中のディスクを指でさわったり、ほこりがわずかでも入ると、正常に録画・再生・編集できなくなることがあります。
- カートリッジによっては、中のディスクが取り出し可能なものとそうでないものがあります。取り出し可能なものでも、カートリッジに入った状態でお使いになることをおすすめします。どうしても取り出したい場合は、ディスクに付属の説明書をお読みください。
- 市販品の中には、カートリッジからディスクを取り出すと、録画・編集できなくなるものがあります。
- 万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■録画内容を誤って消さないために

- ライトプロテクトタブ(誤消去防止用のつまみ)をボールペンなど、先のとがったもので、「PROTECT」側にしてください。再生はできますが、録画やプログラムナビを使った消去、プレイリスト、ディスクのフォーマット(初期化)はできなくなります。ディスクの説明書もお読みください。
- 以下の動作を行った場合で、何らかの不具合による内容の補償についてはご容赦ください。
  1. 本機で録画・録音・編集したディスクを他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで動作させる
  2. 上記1の動作を行ったディスクを再び本機で動作させる
  3. 他社のDVDレコーダーやパソコンのDVDドライブで記録したディスクを本機で動作させる

■カートリッジなしディスク(市販品)を使うときは

- 指紋やほこりを付着させないよう、十分気を付けて取り扱ってください。
- 万一何らかの不具合により、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

お手入れ・保管するとき

■指紋やほこりが付いたとき

DVD-VIDEO、ビデオCD、CD

- やわらかい布で図の方向にふいてください。

- レコードクリーナー、シンナー、ベンジン、アルコールでふかないでください。

DVD-RAM

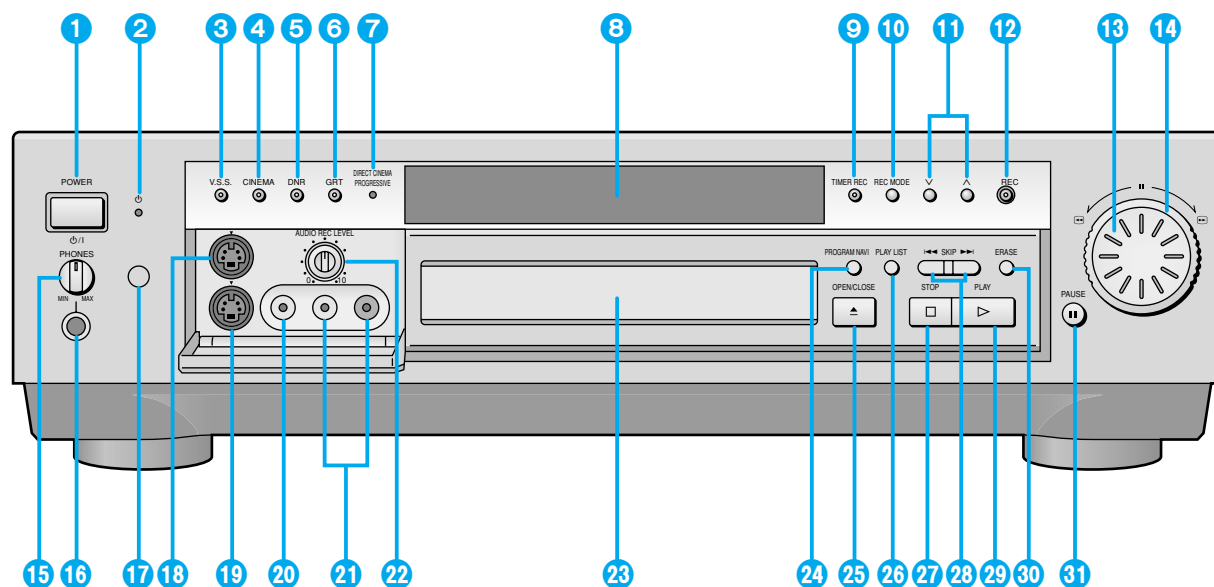
- 必ず、専用の**DVD-RAM/PDディスククリーナー RFKZ0093(別売)**できれいにふいてください。カートリッジなしディスクにも対応しています。詳しい使いかたについては、ディスククリーナーの説明書をお読みください。
- 布やCD用クリーナーなどは絶対に使わないでください。

■保管するとき

- 専用のケースに入れてください。
- 直射日光の当たるところ、湿気やほこりの多いところ、暖房機器の熱が直接当たるところに保管しないでください。

各部の名前

くわしくは、関係するページをご覧ください。(本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています)

本体前面

❶ **POWER ⏻/I (DVD電源)ボタン**(P27)

❷ **⏻ (スタンバイ)ランプ**
電源が「切」のときに点灯します。(スタンバイとは、電源「切」後もメモリー保持などのために微量の電力消費が行われている状態をいいます)

❸ **V.S.S.(バーチャルサラウンドサウンド)ボタン/ランプ**(P92)

❹ **CINEMA ボタン/ランプ**(P93)

❺ **DNR(デジタルノイズリダクション)ボタン/ランプ**(P94)

❻ **GRT(ゴースト・リダクション)ボタン/ランプ**(P99)

❼ **DIRECT CINEMA PROGRESSIVE ランプ**(P123)

❽ **本体表示窓**(P16)

❾ **TIMER REC (タイマー切/入)ボタン/ランプ**(P76)

❿ **REC MODE (録画モード)ボタン**(P60)

⓫ **∨∧ (DVDチャンネル)ボタン**(P27,60)

⓬ **REC (録画)ボタン/ランプ**(P60)

⓭ **ジョグダイヤル**(P43)

⓮ **シャトルリング**(P42,43)

⓯ **PHONES (ヘッドホン)レベル調整つまみ**(P39)

⓰ **ヘッドホン端子**(P39)

⓱ **リモコン受信部**(P21)

⓲ **VIDEO PRINTER OUT(ビデオプリンター出力[S映像出力])端子**(P115)

⓳ **S-VIDEO IN(L2)(S映像入力)端子**(P100)

⓴ **VIDEO IN(L2)(映像入力)端子**(P100)

㉑ **AUDIO IN(L2)(音声入力)端子**(P100)

㉒ **AUDIO REC LEVEL (録音レベル)調整つまみ**(P61)

㉓ **ディスクトレイ**(P38)

㉔ **PROGRAM NAVI ボタン**(P78)

㉕ **OPEN/CLOSE (開/閉)ボタン**(P38)

㉖ **PLAY LIST ボタン**(P84)

㉗ **STOP (停止)ボタン**(P39)

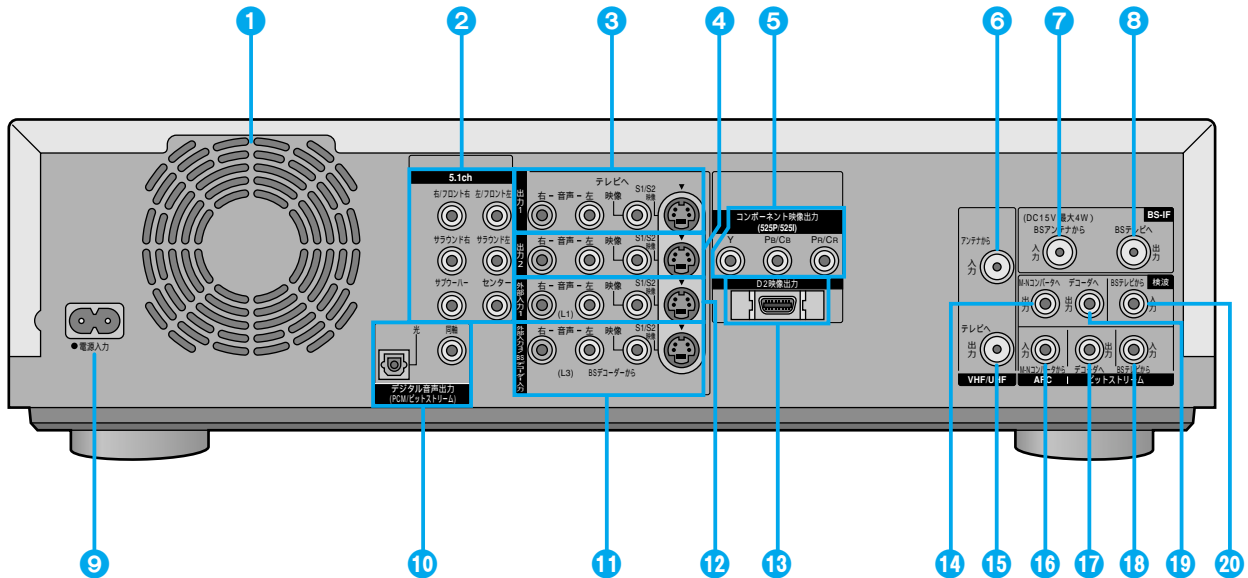
㉘ **SKIP (⏮ ⏭)ボタン**(P44,64)

㉙ **PLAY (再生)ボタン**(P38)

㉚ **ERASE (消去)ボタン**(P64)

㉛ **PAUSE (一時停止)ボタン**(P42)

※本書では、「各部の名前」以外のページではボタン名を緑色で示し、「ボタン」を省略しています。

本体後面

❶ **内部冷却用ファン**
電源「入」時はファンが回り続けています。ふさがないでください。

❷ **5.1ch 端子**(P112)
(フロント右左・サラウンド右左・サブウーハー・センター)

❸ **出力1(テレビへ)端子**(P22)
(音声右左・映像・S1/S2映像)

❹ **出力2端子**(P114)
(音声右左・映像・S1/S2映像)

❺ **コンポーネント映像出力(525P/525I)端子**
(P23)
(Y・PB/CB・PR/CR)

❻ **VHF/UHF入力(アンテナから)端子**(P22)

❼ **BS-IF入力(BSアンテナから)端子**(P25)

❽ **BS-IF出力(BSテレビへ)端子**(P25)

❾ **電源入力ソケット**(P22)

❿ **デジタル音声出力(PCM/ビットストリーム)端子**
(P113)
(光・同軸)

⓫ **外部入力3(L3)/BSデコーダー入力(BSデコーダー)から端子**(P102)
(音声右左・映像・S1/S2映像)

⓬ **外部入力1(L1)端子**(P100)
(音声右左・映像・S1/S2映像)

⓭ **D2映像出力端子**(P23)

⓮ **検波出力(M-Nコンバーターへ)端子**(P104)

⓯ **VHF/UHF出力(テレビへ)端子**(P22)

⓰ **AFC入力(M-Nコンバーターから)端子**(P104)

⓱ **ビットストリーム出力(デコーダーへ)端子**
(P102)

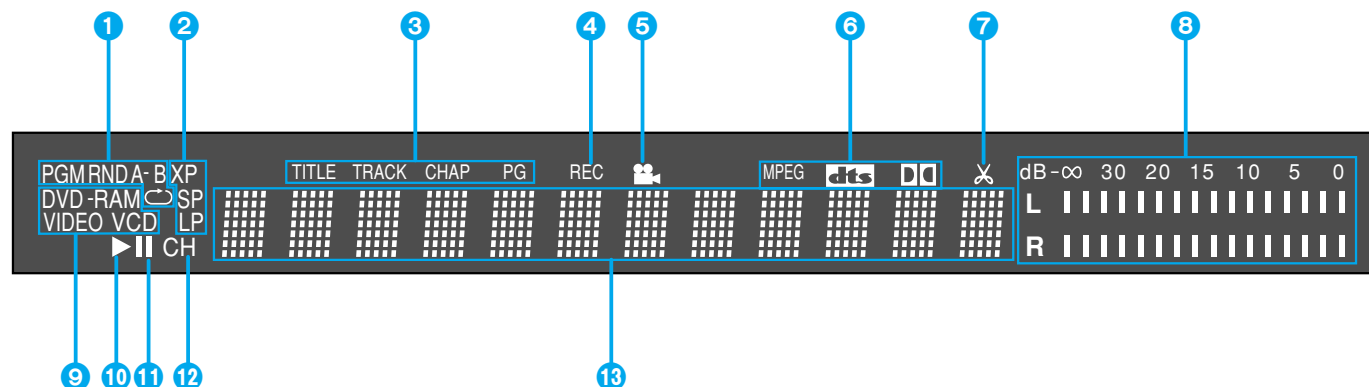
⓲ **ビットストリーム入力(BSテレビから)端子**
(P102)

⓳ **検波出力(デコーダーへ)端子**(P102)

⓴ **検波入力(BSテレビから)端子**(P102)

各部の名前(つづき)

くわしくは、関係するページをご覧ください。

本体表示窓

❶ **再生モード**(P46,58)
PGM ：プログラム再生
RND ：ランダム再生
A-B ：A-Bリピート再生
 ：リピート再生
PGM ：プログラムリピート再生

❷ **録画モード**(P60,70,72)
XP ：高画質モード
SP ：標準モード
LP ：長時間モード
XP SP LP(すべて点灯)
：FR(フレキシブル・レコーディング)モード(予約録画時のみ)

❸ **メイン表示部の表示モード**
TITLE ：タイトル番号表示時
TRACK ：トラック番号表示時
CHAP ：チャプター番号表示時
PG ：プログラム番号表示時

❹ **録画中**(P60)

❺ **マルチアングル**(P59)

❻ **音声信号タイプ**(P50)
MPEG ：MPEG信号
dts ：dts信号
DD ：ドルビーデジタル信号

❼ **CMカット**
録画時 ：CMカット録画(P62)
予約録画時 ：CMカット予約(P75)

❽ **音量レベルメーター**(P61)

❾ **使用中のディスク**
DVD-RAM：DVD-RAM
DVD VIDEO ：DVD-VIDEO
VCD ：ビデオCD
CD ：音楽CD

❿ **再生**
点灯：再生中(P38)
点滅：続き再生メモリー機能が働いているとき(P39)
一発再生が可能なとき(P77)

⓫ **静止(一時停止)中**(P42)

⓬ **チャンネル**(P60)

⓭ **メイン表示部**(右ページ)
録画・再生時間(カウンター)
ディスク残量
現在時刻
予約録画
タイトル、トラック/チャプター、プログラム番号
各種メッセージ

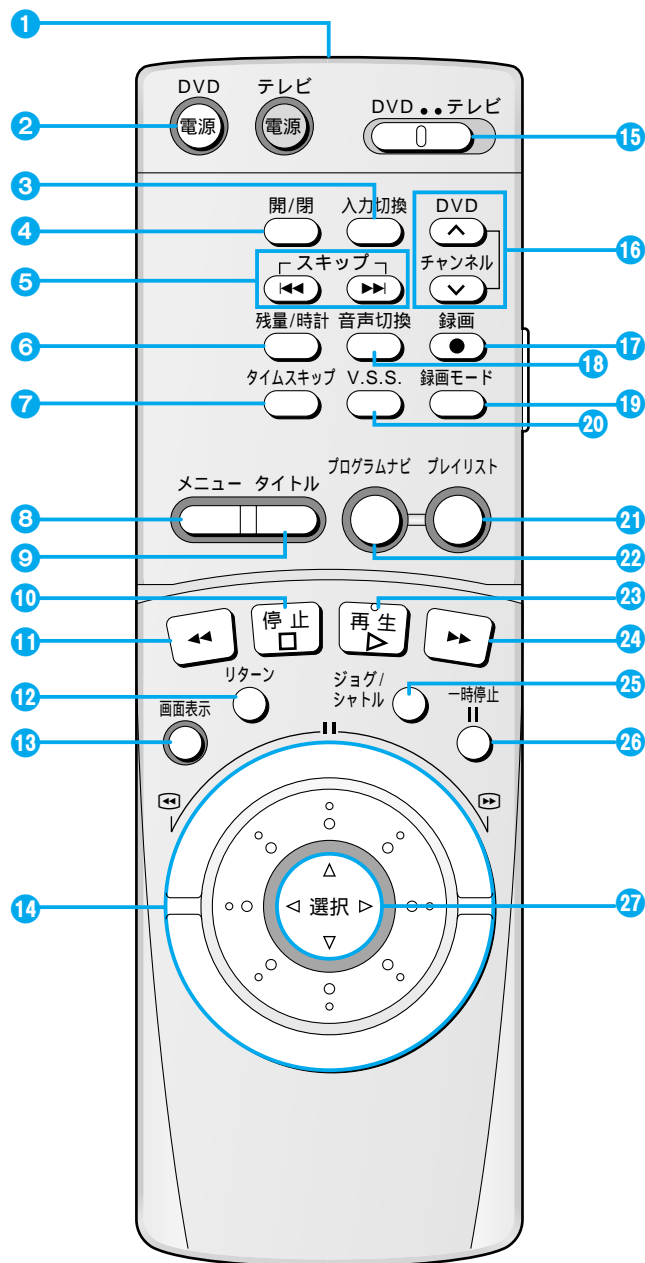
このようなとき	このような表示が出ます(表示の一例です)	
電源を入れた直後	WELCOME	この後、続けて「TO DVD WORLD」と表示。
電源を切った直後	BYE	この後、電源が切れ、時刻表示になります。
ディスクトレイを開けたとき	CH 4 OPEN	
ディスクトレイを閉めたとき	CLOSE	
ディスク情報の読み込み中	READ	この表示が出ている間は、ディスクトレイの開/閉以外は操作できません。
例：4チャンネル受信中	CH 4	左図はチャンネル表示以外は省略しています。
例：BS7チャンネル受信中	CH BS7	左図はチャンネル表示以外は省略しています。
再生開始直後	DVD-RAM SP PG 1 PLAY	この後、カウンター表示になります。
静止(一時停止中)	DVD-RAM SP PG 1 0:12.34	
録画開始直後	DVD-RAM SP CH 4 REC REC	この後、カウンター表示になります。
例：ディスク残量1時間30分(SPモード換算時)	DVD-RAM SP CH 4 R 1:30	DVD-RAMのみ表示されます。
例：現在時刻16時10分	DVD-RAM SP CH 4 16:10	
サービス番号	DVD-RAM SP U11	詳しくは、P135をお読みください。
フォーマットされていないディスクが入っているとき	DVD-RAM UNFORMATTED	
ディスクが入っていないとき	SP CH 4 NO DISC	
再生できないとき	NO PLAY	

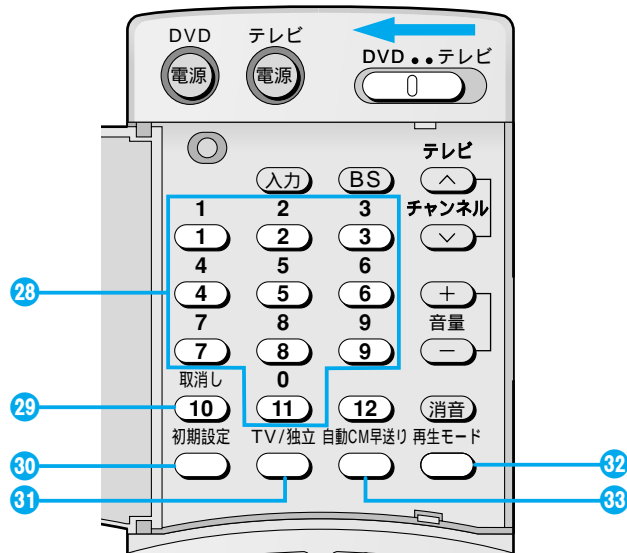
- **初期設定[1オプション設定1]→[7視聴制限]**で再生を制限されているDVD-VIDEO
- リージョン番号「2」「ALL」でないDVD-VIDEO、PAL方式で記録されたDVD-VIDEO、ビデオCDなど、再生できないディスクが入っているとき

各部の名前(つづき)

くわしくは、関係するページをご覧ください。

リモコン(おもて面)

(扉を閉じたところ)

(扉を開いたところ)

DVDの操作をするときは、DVD/テレビスイッチを[DVD]にしてください。

DVD操作部

❶ **リモコン送信部**(P21)
❷ **DVD電源ボタン**(P27)
❸ **入力切換ボタン**(P101)
❹ **開/閉ボタン**(P38)
❺ **スキップボタン**(P44)
❻ **残量/時計ボタン**(P97)
❼ **タイムスキップボタン**(P45)
❽ **メニューボタン**(P41)
❾ **タイトルボタン**(P41)
❿ **停止ボタン**(P39)
⓫ **早戻しボタン**(P42)
⓬ **リターンボタン**(P48)
⓭ **画面表示ボタン**(P48)
⓮ **ジョグダイヤル/シャトルリング**(P43)
ジョグ/シャトル㉕を押し、ボタンを点灯させた後、操作することができます。
ジョグダイヤル(内側):コマ送り(戻し)再生をするとき
シャトルリング(外側):再生の速度を変えるとき

⑮ **DVD/テレビスイッチ**(P27)
DVDを操作するときは、[DVD]にします。

⑯ **DVDチャンネルボタン**(P27,60)

⑰ **録画ボタン**(P60)

⑱ **音声切換ボタン**(P94)

⑲ **録画モードボタン**(P60)

⑳ **V.S.S.(バーチャルサラウンドサウンド)ボタン**
(P92)

㉑ **プレイリストボタン**(P84)

㉒ **プログラムナビボタン**(P78)

㉓ **再生ボタン**(P38)

㉔ **早送りボタン**(P42)

㉕ **ジョグ/シャトルボタン**(P43)

㉖ **一時停止ボタン**(P42)

㉗ ◁△▽▷**/選択ボタン**(P28,40,66,78,84,116)
◁△▽▷：メニュー画面上のカーソルや選択項目を移動させるとき
選　　択：◁△▽▷で選んだ項目を決定するときなど。押すときはボタンの中心を強く押してください。

㉘ **数字(1〜0)ボタン**(P40)

㉙ **取消しボタン**(P36,57)

㉚ **初期設定ボタン**(P28,98,116)

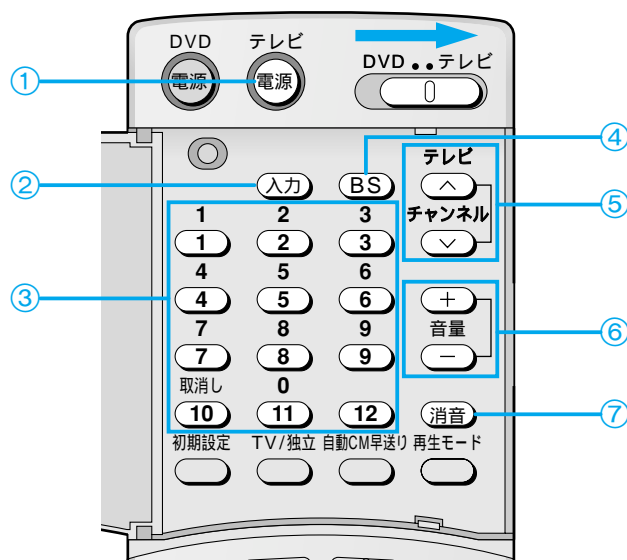
㉛ **TV/独立ボタン**(P95)

㉜ **再生モードボタン**(P46)

㉝ **自動CM早送りボタン**(P47,62)

※本書では、「各部の名前」以外のページではボタン名を緑色で示し、「ボタン」を省略しています。

(扉を開いたところ)

テレビの操作をするときは、DVD/テレビスイッチを[テレビ]にしてください。

テレビ操作部

① **テレビ電源ボタン**(P27)

② **入力ボタン**(P27)
テレビの入力を切り換えるとき。

③ **数字(1〜12)ボタン**(P26)
テレビのチャンネルを選ぶとき。

④ **BSボタン**
テレビのBSチャンネルを選ぶとき。
このボタンを押した後、約10秒以内に1〜12を押して選びます。

BS 1ch: (BS) → (1)	BS 9ch: (BS) → (9)
BS 3ch: (BS) → (3)	BS 11ch: (BS) → (11)
BS 5ch: (BS) → (5)	BS 13ch: (BS) → (10)
BS 7ch: (BS) → (7)	BS 15ch: (BS) → (12)

⑤ **テレビチャンネルボタン**(P26)
テレビのチャンネルを選ぶとき。

⑥ **音量ボタン**(P26)
テレビの音量を調節するとき。

⑦ **消音ボタン**(P26)
テレビの音声を消すとき。

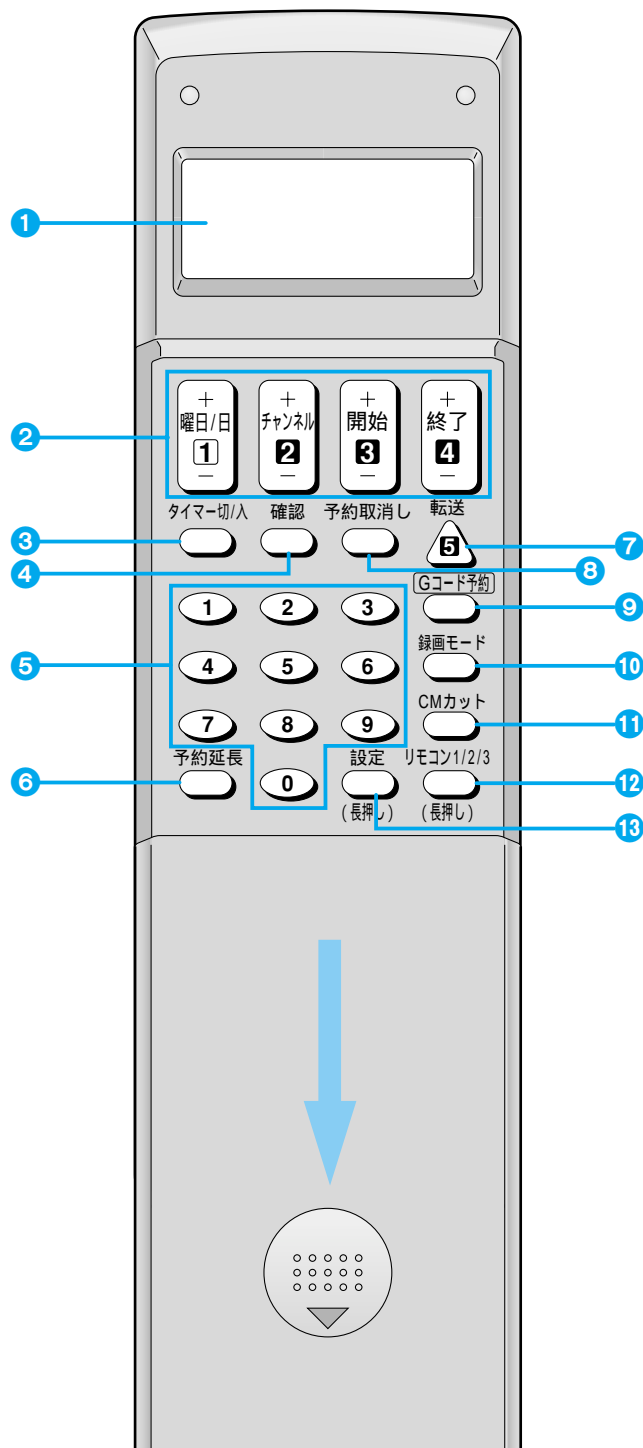
各部の名前(つづき)

くわしくは、関係するページをご覧ください。

リモコン(うら面)

(カバーを開いたところ)

■うら面のカバーを開けるときは

- おもて面のボタンを誤って押さないよう、お気をつけください。

予約録画操作部

❶ **リモコン表示部**(P26)
リモコンの操作を何もしないと、約60秒後に表示が消えます。

❷ **フリーセット予約設定ボタン**(P72)

❸ **タイマー切/入ボタン**(P76)

❹ **確認ボタン**(P74,76)

❺ **数字(1～0)ボタン**(P70)

❻ **予約延長ボタン**(P74)

❼ **転送ボタン**(P70,73)

❽ **予約取消しボタン**(P76)

❾ **Gコード予約ボタン**(P70)

❿ **録画モードボタン**(P70,72)

⓫ **CMカットボタン**(P75)

⓬ **リモコン1/2/3(長押し)ボタン**(P98)

⓭ **設定(長押し)ボタン**(P26,32)

※本書では、「各部の名前」以外のページではボタン名を緑色で示し、「ボタン」を省略しています。

設置の手順

次の手順で設置してください。

1 リモコンの準備をする

2 アンテナ、テレビと接続する

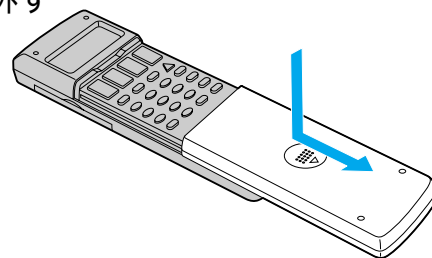
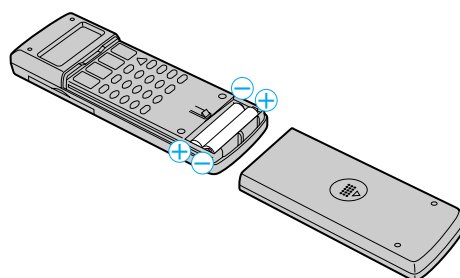
3 受信チャンネルを設定する

- Gコード予約をするためのガイドチャンネルは、必ず設定しておいてください。
(詳しくはP29,33をお読みください)

さらに、WOWOW、ハイビジョン放送、デジタルCS放送、CATV放送をお楽しみいただく方は、P102～108をお読みください。
- WOWOW、デジタルCS放送、CATV放送をご覧になるには、それぞれの放送会社との受信契約が必要です。

■ヒント
- アンテナ線はまず本機に接続します。本機とテレビのそれぞれのチューナーに電波を送るため、アンテナ線を先に本機に接続した後、本機からテレビに別のケーブルで接続し直します。
- 本機の受信チャンネルも設定しておく必要があります。

リモコンに電池を入れる

1 カバーの ⁝⁝ 部を押さえながら手前に引き、外す

2 単4形電池(付属)を入れる
- ⊕⊖を確認してください。

3 カバーを元どおり付ける

- **ジョグ/シャトル**を押してもボタンが点灯しなくなったら電池を交換してください。(ジョグ/シャトルの操作をひんぱんに行うと、電池の寿命は短くなります)
- 交換電池は単4形アルカリ電池をおすすめします。
- 電池交換後、本機やテレビが操作できなくなっているときは、リモコンモードやテレビメーカー番号を合わせ直してください。
- ニッケルカドミウム(Ni-Cd)は充電式電池です。使用しないでください。
- 不要となった電池は、不燃物ゴミとして処理するか、地方の条例に従って処理してください。
- 1カ月以上使わないときは、電池を取り出しておいてください。

操作のしかた

リモコン受信部に向け、確実にボタンを押す

- 操作できる範囲は正面で約7m以内、角度は約60度以内です。(ただし、周囲の明るさで変わります)
- 本機とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- リモコン受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。

アンテナ、テレビと接続する

VHF/UHFアンテナ、テレビと接続する

下記の順番で確実に接続してください。

1. VHF/UHF入力端子へ
2. VHF/UHF出力端子へ
3. VHF/UHFアンテナ入力端子へ
4. 出力1(映像・音声)端子へ
5. ビデオ入力(映像・音声)端子へ
6. 出力1(S映像)端子へ
7. ビデオ入力(S映像)端子へ
8. 電源入力へ
9. ご家庭の電源コンセントへ

テレビ(別売)

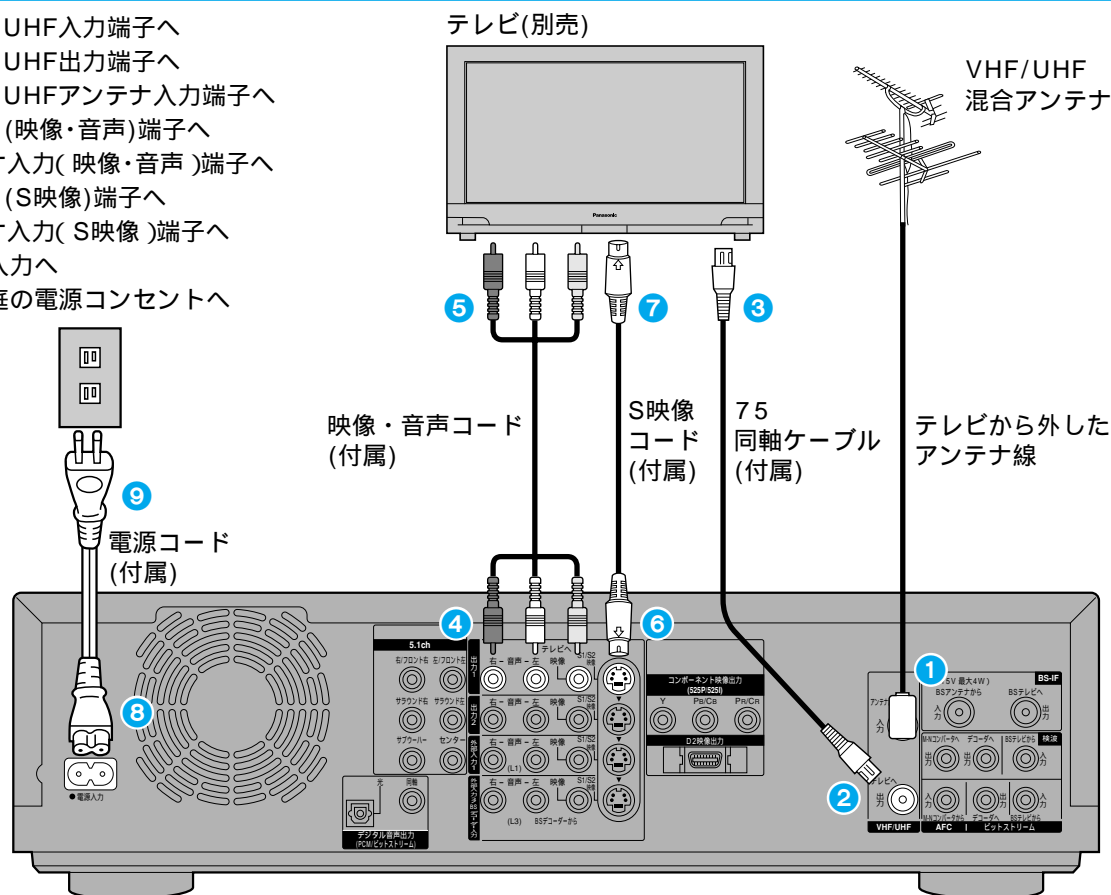
VHF/UHF
混合アンテナ

映像・音声コード
(付属)

S映像
コード
(付属)

75Ω
同軸ケーブル
(付属)

テレビから外した
アンテナ線

電源コード
(付属)

■テレビから外したアンテナ線が、プラグ付き同軸ケーブルでないとき

● 別売の部品や加工が必要です。詳しくは、P24をお読みください。

■S映像入力端子付きテレビを使うとき

● 映像コードの代わりにS映像コード(付属)を接続してください。映像端子よりも高画質の映像を得ることができます。より高画質な映像をお楽しみいただけます。

■モノラルテレビと接続するとき

ステレオ音声をモノラル音声に変換できる映像・音声コード(別売)をお使いください。

■テレビにビデオ入力(映像・音声)端子がないとき

● 本機と接続することはできません。

時刻表示を確認する

本機を電源コンセントに接続すると、本体表示窓に現在時刻が表示されます。

● 時刻が合っていることを確認してください。

● 本機は時刻を合わせて工場出荷されており、また出荷時より自動的に時刻を約5年間記憶する「自動バックアップ機能」が働きますので、通常は時刻合わせの操作は必要ありません。

■ただし、以下のときは時刻を合わせ直してください。(P133)

● 誤差が2分以上あるとき

● 時刻表示が「0：00」で点滅しているとき(下図)

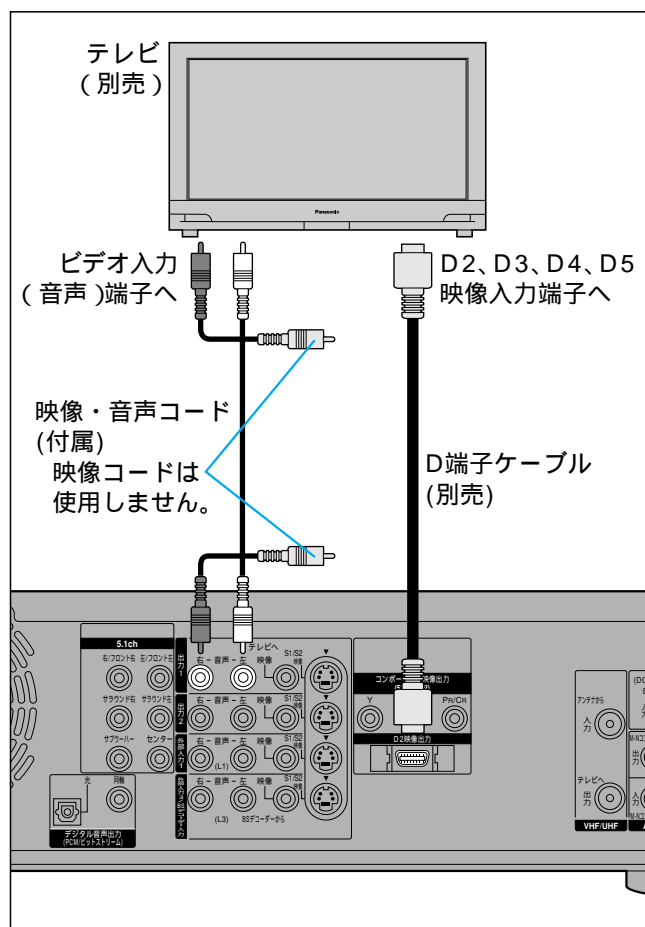
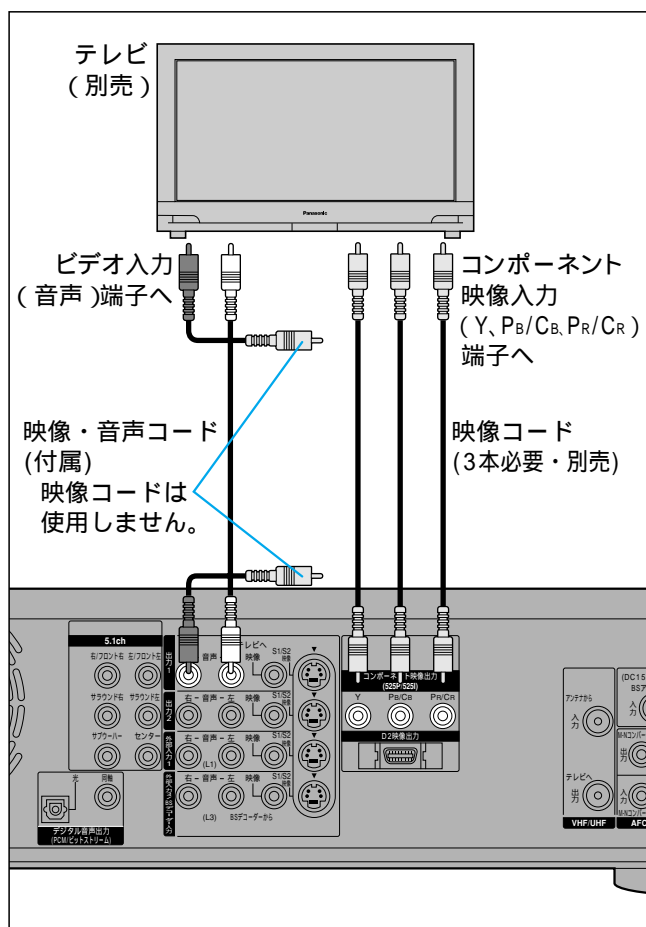
時刻表示が
点滅している状態

■「自動バックアップ機能」について

工場出荷時から約5年間自動的に時刻を記憶しています。

● 受信チャンネルの設定や、予約内容も記憶しています。

● 停電に対応しています。

● 2分以内の誤差を自動修正する「自動時刻合わせ機能」もあります。(P133)

コンポーネント映像出力端子について

■テレビ(モニター)にコンポーネント映像入力端子があるとき

- 映像コード、S映像コードの代わりに上図の接続をしてください。S映像端子を使うよりも、さらに鮮明な映像を得ることができます。DVDの高画質・高品質な映像を忠実に微細な色まで再現します。
- テレビ(モニター)により、入力端子の表示が異なる(Y、PS、PRやY、B-Y、R-Yなど)場合がありますので、そちらの説明書もお読みください。
- ハイビジョンテレビの場合、DVDに対応していない端子の場合は接続しないでください。

D2映像出力端子について

■テレビ(モニター)にD2、D3、D4、D5映像入力端子があるとき

- 映像コード、S映像コードの代わりに上図の接続をしてください。S映像端子を使うよりも、さらに鮮明な映像を得ることができます。DVDの高画質・高品質な映像(信号フォーマット：525P、525I)が楽しめます。
- D1映像入力端子にも接続できますが、525Iのみの出力となります。

■お願い

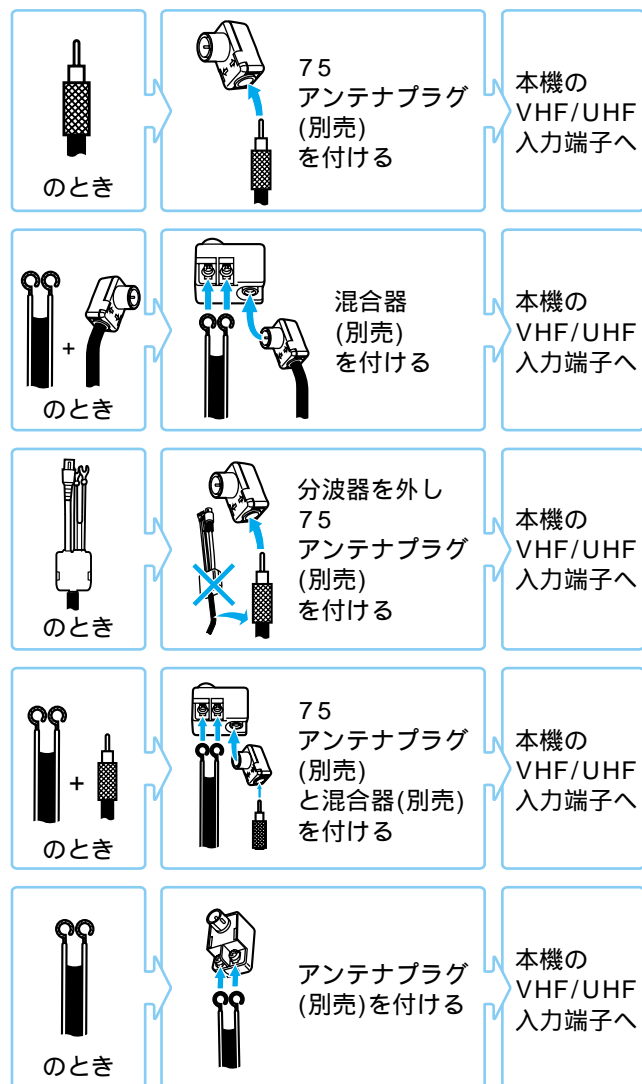
本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。
ビデオやビデオ内蔵テレビなどを経由させてDVD-VIDEOソフトを再生すると、コピーガードの影響で再生画面が乱れることがあります。

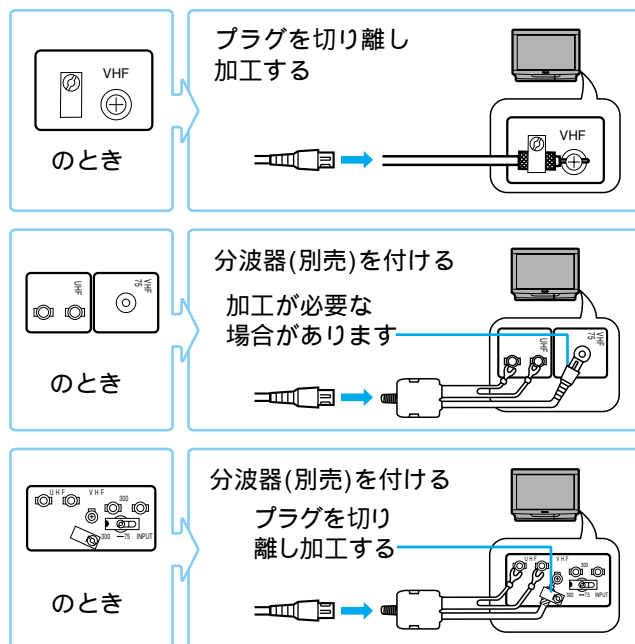
アンテナ、テレビと接続する(つづき)

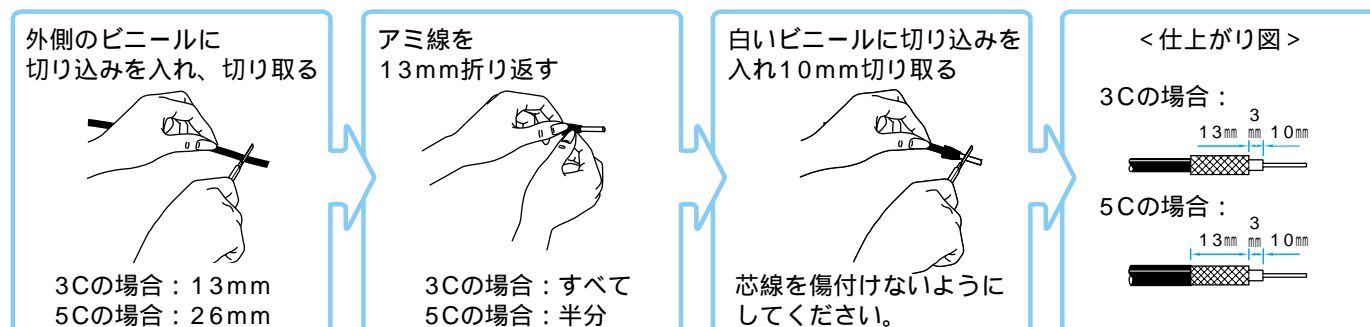
アンテナ線の加工が必要なとき

テレビから外したアンテナ線が、プラグ付き同軸ケーブル以外の場合は、下記のような加工が必要です。

テレビから外したアンテナ線の加工

アンテナ線の形状を確認し、下図に従って加工してください。

75Ω同軸ケーブル(付属)の加工

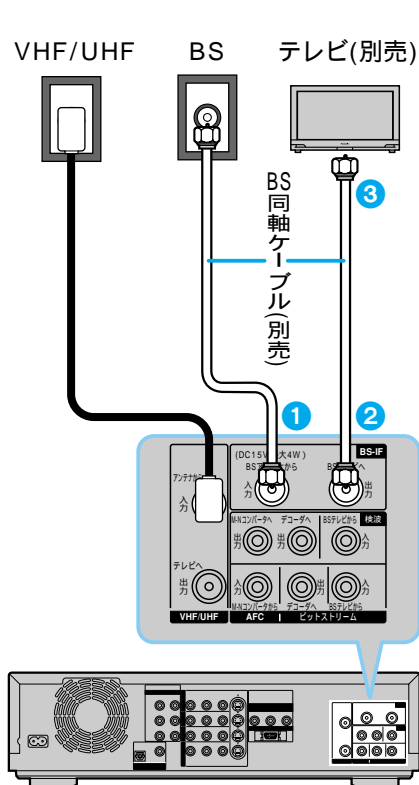
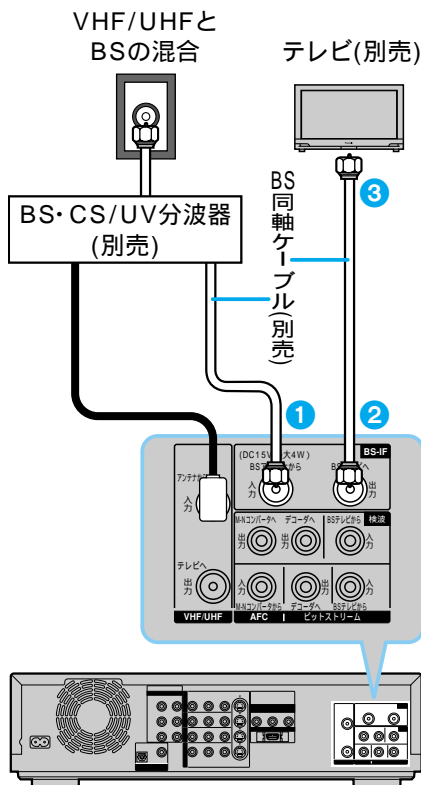
テレビのVHF/UHFアンテナ入力端子の形状を確認し、下図に従って加工してください。

同軸ケーブルの芯線の出しかた

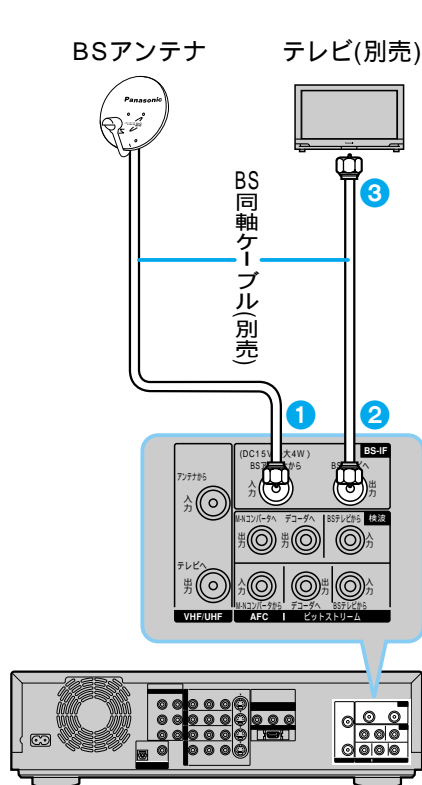
アンテナプラグ(別売)に接続できる同軸ケーブルは、直径約6mmの「3Cケーブル」または直径約8mmの「5Cケーブル」です。75Ω同軸ケーブル(付属)は「3Cケーブル」です。

BSアンテナと接続する

下記の順番で確実に接続してください。

共聴受信(マンションなど)の方

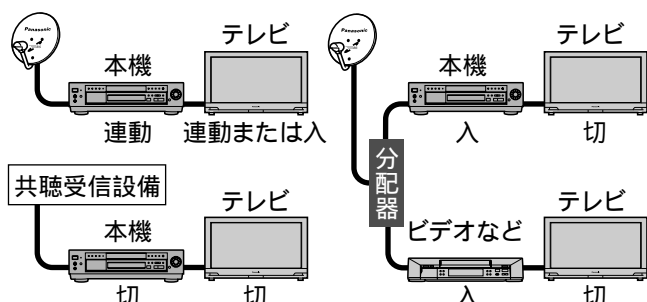
■壁などにあるアンテナ端子が、VHF/UHFとBSに分かれている
1. BS-IF入力端子へ
2. BS-IF出力端子へ
3. BS-IFアンテナ入力端子へ

■壁などにあるアンテナ端子が、VHF/UHFとBSの混合
1. BS-IF入力端子へ
2. BS-IF出力端子へ
3. BS-IFアンテナ入力端子へ

- P28で、**初期設定[7チューナー設定]→[2BSアンテナ設定]→[BS電源]を[切]**にしてから接続してください。(工場出荷時は[連動])
- ❷と❸はBSチューナー内蔵テレビのときのみ必要です。

BSアンテナを直接接続している方

1. BS-IF入力端子へ
2. BS-IF出力端子へ
3. BS-IFアンテナ入力端子へ

- ❷と❸はBSチューナー内蔵テレビのときのみ必要です。

準備

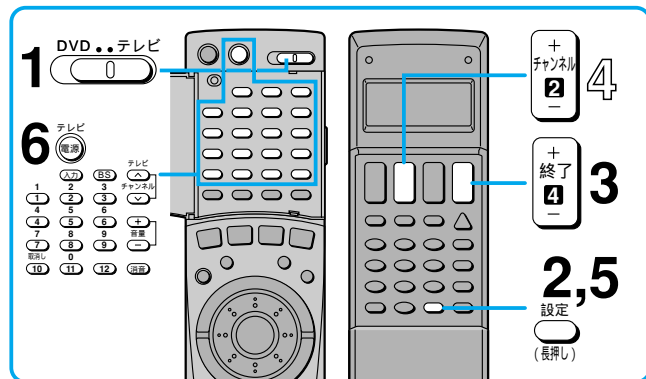
■接続が終わったら必ず行ってください

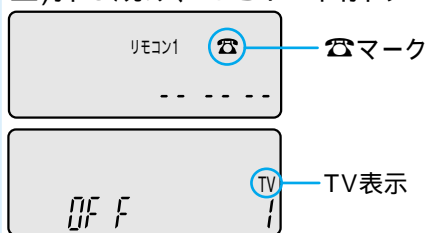
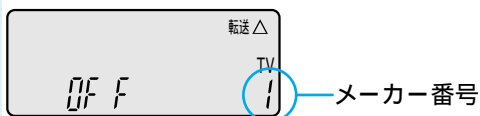
BSチューナー内蔵テレビをお使いの場合は、本機の電源が切れているときにもテレビでBS放送が受信できることを確認してください。
受信できないときは、下図を参考に、本機とテレビ両方の[BS電源]を正しく設定してください。(P28)
- テレビの説明書もお読みください。

■ヒント

- 本機は高感度BSチューナー(はっきりチューナー)を内蔵しており、多少の悪天候でもきれいな映像をお楽しみいただけます。
- 雷雨や豪雨のときや、アンテナに雪が付いたときなどは、一時的に映像や音声にノイズが出たり、ひどいときにはまったく受信できなくなる場合があります。これは、気象条件によるもので、BSアンテナや本機の故障ではありません。
- BS放送は、放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が中断される場合があります。
- BS放送がきれいに受信できないときは、P139をお読みください。

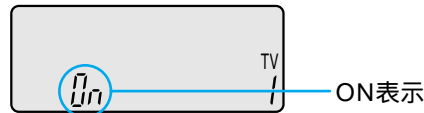
テレビを操作できるようにする
(テレビメーカー設定/今すぐ再生)

本機のリモコンでテレビの操作ができます。
また、再生を押すだけで、テレビの入力を[ビデオ1]に切り換えることができる「今すぐ再生」の設定もできます。

準備 ● テレビの電源を入れる。

1 DVD/テレビを[テレビ]にする

2 設定(長押し)を[☎]が出るまで(約2秒以上)押し続け、さらに2回押す

3 終了でメーカー番号を合わせる
● テレビに向けて操作してください。
● メーカー番号が合うと、テレビの電源が切れます。
● ＋側を押すごとに大きい番号に移動し、[21]まで来ると、[1]に戻ります。

操作できるメーカーの番号一覧表

番号	メーカー名	番号	メーカー名	番号	メーカー名
1	松下(新①)	8	三菱②	15	NEC②
2	シャープ②	9	富士通ゼネラル	16	三洋②
3	ソニー①	10	松下(旧)	17	ソニー②
4	東芝	11	シャープ①	18	アイワ
5	日立	12	三菱①	19	フナイ
6	NEC①	13	パイオニア	20	松下(新②)
7	三洋①	14	ビクター	21	松下(新③)

4 「今すぐ再生」を設定するときのみ、チャンネルで「今すぐ再生」を設定する
● [ON]にすると、「今すぐ再生」が働きます。
● 左記手順3一覧表の番号の部分が ■ のメーカーは設定できません。

5 設定(長押し)を押す

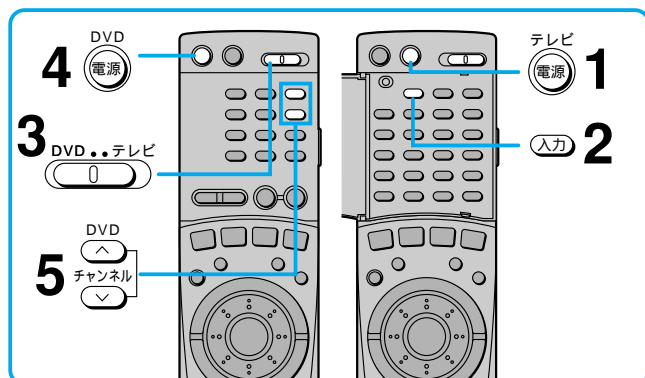
6 正しく操作できることを確認する
● テレビの電源を入れ、チャンネル操作や音量調節などをしてみてください。

■ヒント
● 複数の番号を持つメーカーは、音量調節などが正しく操作できる方の番号に合わせてください。
● 一覧表にあるメーカー機種でも正しく操作できない場合があります。このときはテレビに付属のリモコンで操作してください。

■「今すぐ再生」について
●「今すぐ再生」をお使いになるときは、本機からの映像・音声コードを必ずテレビの[ビデオ1]端子に接続してください。
● 再生を押すだけで、テレビの入力を[ビデオ1]に切り換えることができます。(再生を押したときに、テレビの入力を[ビデオ1]にする信号も出すようになります)
● プログラムナビを押したときにも、テレビの入力を[ビデオ1]にする信号を出します。

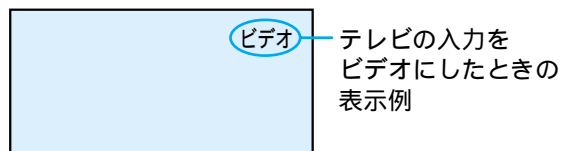
テレビに本機の画面を出す

テレビに本機の画面を出し、正しく接続できたかどうかを確認してください。
テレビで本機の画面を見るときも、下記の操作を行ってください。

準備
- **DVD/テレビ**を[テレビ]にする。
- テレビメーカー番号を合わせておく。

1 **テレビ電源を押し、テレビの電源を入れる**

2 **入力を押し、テレビの入力を[ビデオ]に切り換える**

- 例えば、テレビのビデオ入力1端子に接続しているときは[ビデオ1]にするなど、本機を接続した入力に切り換えてください。
- 本機の画面になります。

テレビの入力を**ビデオ**にしたときの表示例

3 **DVD/テレビを[DVD]にする**

4 **DVD電源を押し、本機の電源を入れる**

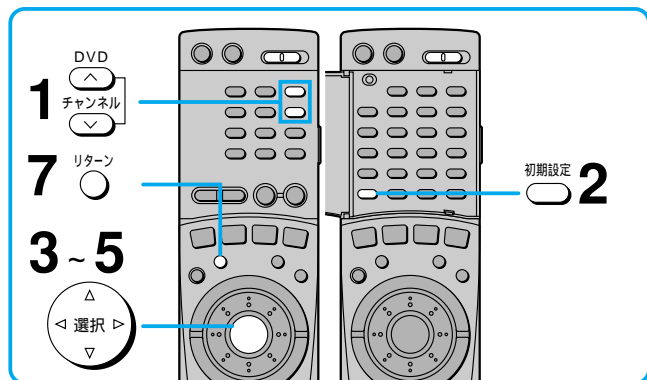
5 **DVDチャンネルを押すなどして、本機の画面が映っていることを確認する**

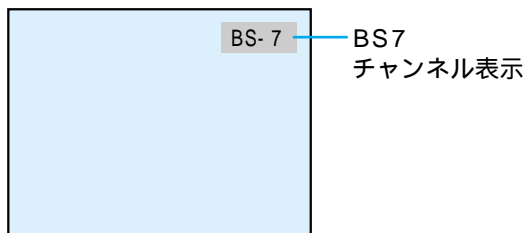
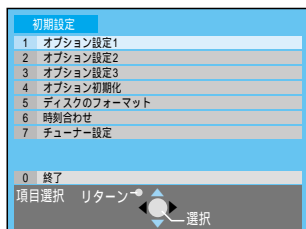
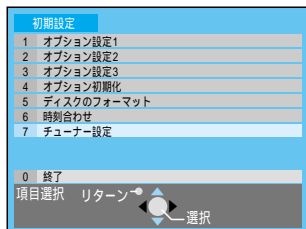
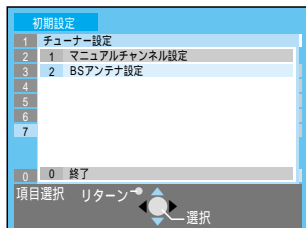
- または映像ソフトを再生するなどして確認してください。

準備

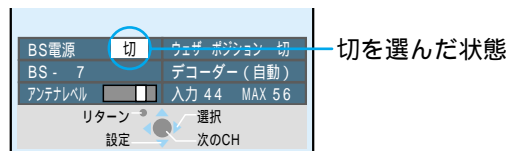
BSアンテナに電源を送る

BSアンテナには電源が必要です。BSアンテナ線の接続の状態に合わせてBS電源を設定します。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 DVDチャンネルを数回押し、[BS7]チャンネルを選ぶ

● 選べないときは、「マニュアルチャンネル設定」でBSチャンネルの登録(P34)を行った後、下記の操作を行ってください。

2 初期設定を押す

3 △▽で[7チューナー設定]を選び、選択を押す

4 △▽で[2BSアンテナ設定]を選び、選択を押す

5 ◁▷で[BS電源]を選び、△▽で設定する

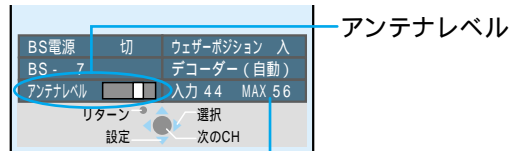
■共聴受信(マンションなど)の方は[切]を選ぶ
本機からは電源を供給しません。

■BSアンテナを直接接続している方は[連動]を選ぶ
本機でBSチャンネルを選んだときや、テレビからBS電源が出力されているときのみ、本機から電源を供給します。

● 常に本機から電源を供給したい方は[入]を選んでください。
● テレビの説明書もお読みください。

6 アンテナレベルを確認する

● BSアンテナの口径や設置状態、地域、気象条件などにもよりますが、入力の値が[40]以上になっていることが目安です。

■入力の値が[0]のときは
接続の状態をお確かめください。

■映りが悪いときは
BSアンテナの向きを変えてください。(正しい方向から少しでもずれると受信できません)
● BSアンテナの説明書もよくお読みください。

[MAX]とは、BSアンテナの向きを調整している間で、受信状態のいちばん良かったときの数値です。アンテナレベルがこの数値に近付くように調整してください。

■ウェザーポジションについて
◁▷で[ウェザーポジション]を選び、△▽で[入]にしておくと、BS放送の受信状態に合わせて自動ノイズリダクション機能が働き、画面上の細かいノイズをおさえてくれます。

7 リターンを押す

● 初期設定画面を消すには、もう2回押します。

■BSアンテナを接続した後、本体表示窓に[U13]の表示が出たとき

BSアンテナの芯線とアミ線がショートしています。
本機後面のBS-IF入力端子に接続しているBSアンテナ線がショートしていないことを確認し、正しく接続し直してください。
● 接栓付きBSアンテナ線を接続してください。
● BSアンテナ線以外のものは接続しないでください。

受信チャンネル設定手順

設定手順

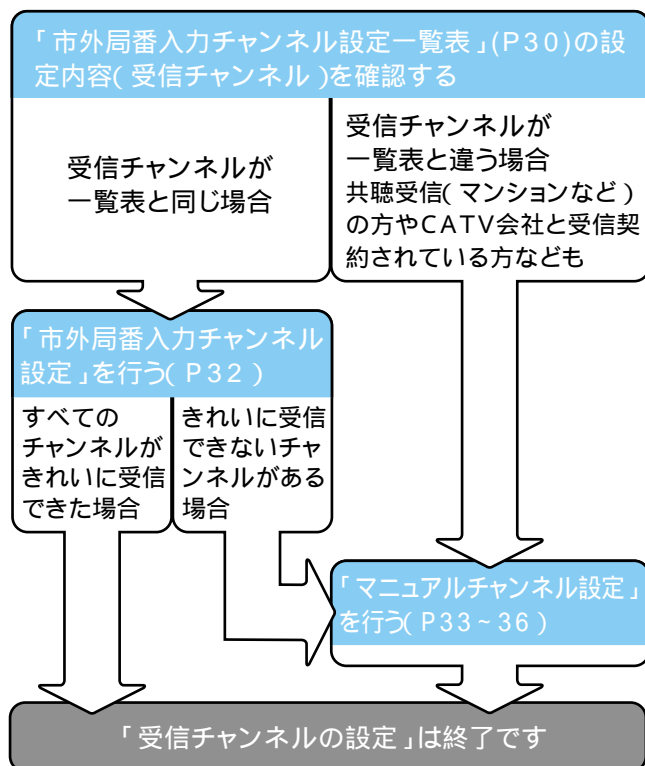
本機で受信チャンネルを設定するには下記の2つの方法があります。

■市外局番で合わせる
「市外局番入力チャンネル設定」（P32）

ご使用になる地域の市外局番を利用して受信チャンネルを設定する方法です。より簡単に行うことができます。

■手動で合わせる
「マニュアルチャンネル設定」（P33〜36）

ひとつひとつのチャンネルを確実に設定していく方法です。「市外局番入力チャンネル設定」で正しくチャンネルが受信できなかったときも、この方法でチャンネルを設定します。

下の表に従って順番に設定してください

- 受信チャンネルの設定は、VHF/UHFアンテナやBSアンテナを正しく接続してから行ってください。
- 最初から設定し直したいときは、一度工場出荷時の設定に戻してから設定し直してください。（P32）

受信チャンネル設定に関する用語

受信チャンネル
新聞、雑誌に載っているチャンネルで、放送局からの電波を受信するために合わせるチャンネルです。

チャンネルポジション
選局の順番を表示するもので、受信するチャンネルを表示します。

表示チャンネル
本機表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネルです。

ガイドチャンネル
Gコード予約をするために放送局につけられたチャンネルです。（例：NHK総合 80、NHK教育 90）

拡張チャンネル
将来のシステムに対応するもので、現在は使用できません。（「市外局番入力チャンネル設定」を行うと、自動的に設定されます）

市外局番入力チャンネル設定一覧表(VHF/UHF)

市外局番に変更があった場合でも、この表の番号で設定してください。

都道府県	都市名	市外局番	チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																			
			1				2				3				4				5			
			放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
北海道	札幌	011	北海道放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80	テレビ北海道	17	17	17	札幌テレビ	5	5	5
	旭川	0166					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	33	33	17				
	北見	0157					NHK教育	2	2	90												
	帯広	0155	北海道テレビ	34	34	35									NHK総合	4	4	80				
	釧路/室蘭	0154/0143					NHK教育	2	2	90					テレビ北海道	29	29	17				
	函館	0138	テレビ北海道	21	21	17	北海道文化	27	27	27	北海道テレビ	35	35	35	NHK総合	4	4	80				
青森	青森	0177	青森放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
	八戸	0178													青森朝日	31	31	34				
岩手	盛岡	019	東北放送	1	1	1	めんこい	33	33	33	テレビ岩手	35	35	35	NHK総合	4	4	80	岩手朝日	31	31	20
宮城	仙台	022	東北放送	1	1	1					NHK総合	3	3	80					NHK教育	5	5	90
秋田	秋田	018					NHK教育	2	2	90									秋田朝日	31	31	31
	大館	0186	青森放送	1	1	1									NHK総合	4	4	80	秋田朝日	59	59	31
山形	山形	023													NHK教育	4	4	90	山形さくらんぼ	30	30	30
	鶴岡	0235	山形放送	1	1	10					NHK総合	3	3	80					山形さくらんぼ	24	24	30
福島	福島	024	東北放送	1	1	1	NHK教育	2	2	90					テレビュー福島	31	31	31				
	会津若松	0242	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	テレビュー福島	47	47	31				
	いわき	0246					テレビュー福島	32	32	31					NHK総合	4	4	80				
茨城	水戸	029	NHK総合	44	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	46	3	90	日本テレビ	42	4	4	放送大学	16	16	16
栃木	宇都宮	028	NHK総合	29	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	27	3	90	日本テレビ	25	4	4	とちぎテレビ	31	31	23
群馬	前橋	027	NHK総合	52	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	50	3	90	日本テレビ	54	4	4	群馬テレビ	48	48	48
埼玉	浦和	048	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
千葉	千葉	043	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
東京	東京	03	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
神奈川	横浜	045	NHK総合	1	1	80	東京メトロポリタン	14	14	14	NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	放送大学	16	16	16
新潟	新潟	025									新潟テレビ21	21	21	21	テレビ新潟	29	29	29	新潟放送	5	5	5
富山	富山	0764	北日本放送	1	1	1	北陸放送	6	6	6	NHK総合	3	3	80	石川テレビ	37	37	37				
石川	金沢	076	北日本放送	1	1	1					富山テレビ	34	34	34	NHK総合	4	4	80				
福井	福井	0776									NHK教育	3	3	90								
山梨	甲府	055	NHK総合	1	1	80					NHK教育	3	3	90	日本テレビ	4	4	4	山梨放送	5	5	5
長野	長野	026					NHK総合	2	2	80					長野朝日	20	20	20				
	飯田	0265	長野朝日	44	44	20					NHK教育	3	3	90	NHK総合	4	4	80				
岐阜	岐阜	058	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	39	3	80					中部日本放送	5	5	5
静岡	静岡	054					NHK教育	2	2	90					静岡第一	31	31	31				
	浜松	053	東海テレビ	1	1	1	静岡第一	30	30	31					NHK総合	4	4	80	中部日本放送	5	5	5
愛知	名古屋	052	東海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80					中部日本放送	5	5	5
三重	津	059	東海テレビ	1	1	1	テレビ愛知	25	25	25	NHK総合	31	3	80	毎日放送	4	4	4	中部日本放送	5	5	5
滋賀	大津	077					NHK総合	28	28	80					毎日放送	36	4	4				
京都	京都	075					NHK総合	32	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
大阪	大阪	06					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4				
兵庫	神戸	078					NHK総合	28	2	80	サンテレビ	36	36	36	毎日放送	18	4	4	テレビ大阪	19	19	19
奈良	奈良	0742					NHK総合	2	2	80	テレビ大阪	19	19	19	毎日放送	4	4	4	NHK奈良	51	51	ー
和歌山	和歌山	073					NHK総合	32	2	80					毎日放送	42	4	4	テレビ和歌山	30	30	30
鳥取	鳥取	0857	日本海テレビ	1	1	1					NHK総合	3	3	80	NHK教育	4	4	90				
島根	松江	0852	日本海テレビ	30	30	1																
	浜田	0855					NHK総合	2	2	80	日本海テレビ	54	54	1					山陰放送	5	5	10
岡山	岡山	086	岡山放送	35	35	35	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
広島	広島	082	テレビ新広島	31	31	31					NHK総合	3	3	80	中国放送	4	4	4				
	福山	0849	テレビ新広島	54	54	31					NHK教育	3	3	90					NHK総合	5	5	80
山口	山口	083	NHK教育	1	1	90	九州朝日	2	2	1	テレビQ	23	23	19	山口朝日	28	28	28	大分放送	5	5	5
徳島	徳島	088	四国放送	1	1	1	テレビ大阪	19	19	19	NHK総合	3	3	80	毎日放送	4	4	4	テレビ和歌山	55	55	30
香川	高松	087	テレビせとうち	19	19	23					NHK教育	39	39	90	毎日放送	4	4	4	NHK総合	37	37	80
愛媛 (※下記)	松山	089	テレビせとうち	23	23	23	NHK教育	2	2	90	広島テレビ	12	12	12	広島ホーム	35	35	35	テレビ新広島	31	31	31
	新居浜	0897	テレビせとうち	23	23	23	NHK総合	2	2	80	広島テレビ	12	12	12	NHK教育	4	4	90	テレビ新広島	31	31	31
高知	高知	0888													NHK総合	4	4	80				
福岡	福岡	092	九州朝日	1	1	1	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	テレビQ	19	19	19
	北九州	093					九州朝日	2	2	1	福岡放送	35	35	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	23	23	19
佐賀	佐賀	0952	九州朝日	57	57	1	NHK教育	40	40	90	福岡放送	52	52	37	サガテレビ	36	36	36	テレビQ	14	14	19
長崎	長崎	095	NHK教育	1	1	90	九州朝日	57	57	1	NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	長崎放送	5	5	5
熊本	熊本	096	九州朝日	1	1	1	NHK教育	2	2	90	熊本朝日	16	16	16	熊本県民	22	22	22	長崎放送	5	5	5
大分	大分	097	九州朝日	1	1	1					NHK総合	3	3	80	RKB毎日	4	4	4	大分放送	5	5	5
宮崎	宮崎	0985	南日本放送	1	1	1					テレビ宮崎	35	35	35								
	延岡	0982					NHK教育	2	2	90					NHK総合	4	4	80				
鹿児島	鹿児島	099	南日本放送	1	1	1	テレビ熊本	34	34	34	NHK総合	3	3	80	テレビ宮崎	35	35	35	NHK教育	5	5	90
	阿久根	0996	鹿児島読売	17	17	30	テレビ熊本	34	34	34					鹿児島放送	23	23	32				
沖縄	那覇	098	琉球朝日	28	28	28	NHK総合	2	2	80												

(※)愛媛県では、「愛媛朝日」がチャンネルポジション**１３**に設定されます。

●松山：受信CH…２５　表示CH…２５　ガイドCH…２５、●新居浜：受信CH…１４　表示CH…１４　ガイドCH…２５

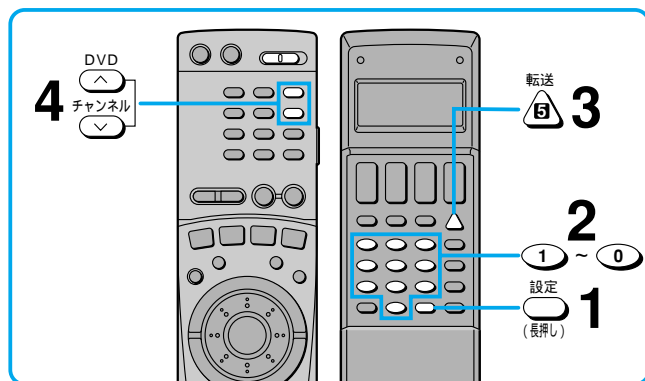
BSアンテナを接続した状態で「市外局番入力チャンネル設定」(P32)を行うと、BSチャンネルも自動的に設定されます。

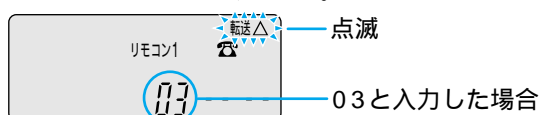
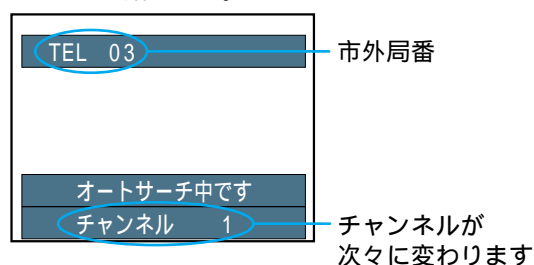
	チャンネルポジションと放送局名・受信チャンネル・表示チャンネル・ガイドチャンネル																											
	6				7				8				9				10				11				12			
	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH	放送局名	受信CH	表示CH	ガイドCH
									北海道文化	27	27	27					北海道テレビ	35	35	35					NHK教育	12	12	90
					札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	37	37	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
					札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	59	59	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	61	61	35	北海道放送	53	53	1				
	北海道放送	6	6	1					北海道文化	32	32	27					札幌テレビ	10	10	5					NHK教育	12	12	90
					札幌テレビ	7	7	5	北海道文化	41	41	27	NHK総合	9	9	80	北海道テレビ	39	39	35	北海道放送	11	11	1				
	北海道放送	6	6	1													NHK教育	10	10	90					札幌テレビ	12	12	5
									北海道文化	27	27	27					青森朝日	34	34	34	北海道テレビ	35	35	35	青森テレビ	38	38	38
					NHK教育	7	7	90					NHK総合	9	9	80					青森放送	11	11	1	青森テレビ	33	33	38
	岩手放送	6	6	6	宮城テレビ	34	34	34	NHK教育	8	8	90					東日本放送	32	32	32					仙台放送	12	12	12
					東日本放送	32	32	32					宮城テレビ	34	34	34									仙台放送	12	12	12
													NHK総合	9	9	80					秋田放送	11	11	11	秋田テレビ	37	37	37
	秋田放送	6	6	11					NHK教育	8	8	90													秋田テレビ	57	57	37
	テレビュー山形	36	36	36					NHK総合	8	8	80					山形放送	10	10	10					山形テレビ	38	38	38
	NHK教育	6	6	90					テレビュー山形	22	22	36													山形テレビ	39	39	38
	福島中央	33	33	33	東日本放送	32	32	32	宮城テレビ	34	34	34	NHK総合	9	9	80	福島放送	35	35	35	福島テレビ	11	11	11	仙台放送	12	12	12
	福島テレビ	6	6	11	東日本放送	32	32	32	福島中央	37	37	33	宮城テレビ	34	34	34	福島放送	41	41	35					仙台放送	12	12	12
	福島中央	34	34	33					福島テレビ	8	8	11					NHK教育	10	10	90					福島放送	36	36	35
	TBSテレビ	40	6	6					フジテレビ	38	8	8	千葉テレビ	39	46	46	テレビ朝日	36	10	10					テレビ東京	32	12	12
	TBSテレビ	23	6	6					フジテレビ	21	8	8					テレビ朝日	19	10	10					テレビ東京	17	12	12
	TBSテレビ	56	6	6	放送大学	40	16	16	フジテレビ	58	8	8	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ朝日	60	10	10					テレビ東京	62	12	12
	TBSテレビ	6	6	6	テレビ埼玉	38	38	38	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	群馬テレビ	48	48	48	テレビ東京	12	12	12
	TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
	TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8	千葉テレビ	46	46	46	テレビ朝日	10	10	10	テレビ埼玉	38	38	38	テレビ東京	12	12	12
	TBSテレビ	6	6	6	TVKテレビ	42	42	42	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
									NHK総合	8	8	80					新潟総合	35	35	35					NHK教育	12	12	90
	チューリップ	32	32	32													NHK教育	10	10	90					富山テレビ	34	34	34
	北陸放送	6	6	6	北陸朝日	25	25	25	NHK教育	8	8	90					テレビ金沢	33	33	33					石川テレビ	37	37	37
	北陸放送	6	6	6									NHK総合	9	9	80					福井放送	11	11	11	福井テレビ	39	39	39
	テレビ山梨	37	37	37	TBSテレビ	6	6	6	フジテレビ	8	8	8					テレビ朝日	10	10	10					テレビ東京	12	12	12
	テレビ信州	30	30	30									NHK教育	9	9	90	長野放送	38	38	38	信越放送	11	11	11				
	信越放送	6	6	11					テレビ信州	42	42	30					長野放送	40	40	38								
	テレビ愛知	25	25	25	岐阜放送	37	37	37	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
	静岡朝日	33	33	33									NHK総合	9	9	80					静岡放送	11	11	11	テレビ静岡	35	35	35
	静岡放送	6	6	11	テレビ愛知	25	25	25	NHK教育	8	8	90					静岡朝日	28	28	33					テレビ静岡	34	34	35
	岐阜放送	37	37	37	中京テレビ	35	35	35	三重テレビ	33	33	33	NHK教育	9	9	90					名古屋テレビ	11	11	11	テレビ愛知	25	25	25
	朝日放送	6	6	6	三重テレビ	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	NHK教育	9	9	90	読売テレビ	10	10	10	名古屋テレビ	11	11	11	中京テレビ	35	35	35
	朝日放送	38	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	40	8	8	びわ湖放送	30	30	30	読売テレビ	42	10	10					NHK教育	46	46	90
	朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
	朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10					NHK教育	12	12	90
	朝日放送	20	6	6					関西テレビ	22	8	8					読売テレビ	24	10	10					NHK教育	26	12	90
	朝日放送	6	6	6	京都テレビ	34	34	34	関西テレビ	8	8	8	サンテレビ	36	36	36	読売テレビ	10	10	10	奈良テレビ	55	55	55	NHK教育	12	12	90
	朝日放送	44	6	6					関西テレビ	46	8	8					読売テレビ	48	10	10					NHK教育	26	12	90
																	山陰放送	22	22	10					山陰中央	24	24	34
	NHK総合	6	6	80					山陰中央	34	34	34					山陰放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
									山陰中央	58	58	34	NHK教育	9	9	90												
					瀬戸内海放送	25	25	33					西日本放送	9	9	9					山陽放送	11	11	11				
					NHK教育	7	7	90					広島ホーム	35	35	35									広島テレビ	12	12	12
					中国放送	7	7	4					広島ホーム	57	57	35					広島テレビ	11	11	12				
					テレビ山口	38	38	38	RKB毎日	8	8	4	NHK総合	9	9	80	テレビ西日本	10	10	9	山口放送	11	11	11	福岡放送	35	35	37
	朝日放送	6	6	6	サンテレビ	36	36	36	関西テレビ	8	8	8					読売テレビ	10	10	10					NHK教育	38	12	90
	朝日放送	6	6	6	瀬戸内海放送	33	33	33	関西テレビ	8	8	8	西日本放送	9	9	9	読売テレビ	10	10	10	山陽放送	29	29	11	岡山放送	31	31	35
	NHK総合	6	6	80	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	29	29	29	西日本放送	9	9	9	南海放送	10	10	10	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	37	37	37
	南海放送	6	6	10	瀬戸内海放送	33	33	33	あいテレビ	27	27	29	西日本放送	9	9	9	広島ホーム	35	35	35	山陽放送	11	11	11	愛媛放送	36	36	37
	NHK教育	6	6	90					高知放送	8	8	8					テレビ高知	38	38	38	高知さんさん	40	40	40				
	NHK教育	6	6	90									テレビ西日本	9	9	9					熊本放送	11	11	11	福岡放送	37	37	37
	NHK総合	6	6	80					RKB毎日	8	8	4					テレビ西日本	10	10	9	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
	テレビ熊本	34	34	34	長崎放送	5	5	5	RKB毎日	48	48	4	NHK総合	38	38	80	テレビ西日本	60	60	9	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37
	テレビ熊本	34	34	34	長崎国際	25	25	25	テレビ西日本	9	9	9	長崎文化	27	27	27	熊本放送	11	11	11	テレビ長崎	37	37	37	熊本県民	22	22	22
	テレビ熊本	34	34	34	テレビ長崎	37	37	37	サガテレビ	36	36	36	NHK総合	9	9	80	テレビQ	19	19	19	熊本放送	11	11	11	RKB毎日	4	4	4
	南海放送	10	10	10	テレビ大分	36	36	36	福岡放送	37	37	37	大分朝日	24	24	24	テレビQ	19	19	19	テレビ西日本	9	9	9	NHK教育	12	12	90
					鹿児島放送	32	32	32	NHK総合	8	8	80	鹿児島テレビ	38	38	38	宮崎放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90
	宮崎放送	6	6	10					テレビ宮崎	39	39	35																
	宮崎放送	10	10	10	鹿児島放送	32	32	32	熊本県民	22	22	22	鹿児島テレビ	38	38	38	熊本朝日	16	16	16	鹿児島読売	30	30	30				
	鹿児島テレビ	35	35	38	熊本県民	22	22	22	NHK総合	8	8	80	熊本朝日	16	16	16	南日本放送	10	10	1	熊本放送	11	11	11	NHK教育	12	12	90
									沖縄テレビ	8	8	8					琉球放送	10	10	10					NHK教育	12	12	90

市外局番でチャンネルを合わせる (市外局番入力チャンネル設定)

ご使用になる地域の市外局番を利用して受信チャンネルを設定する方法です。

設定のしかた

準備
- VHF/UHFアンテナやBSアンテナが正しく接続されていることを確認する。
- DVD/テレビを[DVD]にする。

1 設定(長押し)を約2秒以上押し続け、[☎]マークを出す

2 1〜0で、一覧表(P30)に記載されている市外局番を入力する
- 市外局番に変更があった場合でも、一覧表の番号で設定してください。
- 間違えたときは、設定(長押し)を3回押し、手順1からやり直してください。

3 転送を押す
- テレビ画面に市外局番が表示され、本機がオートサーチを始めます。

4 オートサーチが終わったら、DVDチャンネルでチャンネルを切り換えながら、すべてきれいに受信できていることを確認する

「市外局番入力チャンネル設定」を行うと

本機が下記のような動作を自動的に行います。

❶市外局番入力チャンネル設定一覧表(P30)のとおりに受信チャンネルを設定する

❷オートサーチを行って、それらの放送局が実際に受信できるかどうかを調べる

- **VHF/UHF放送**(1〜62チャンネル)→**BS放送**(BS1〜BS15チャンネル)→**CATV放送**(C13〜C63チャンネル)の順番に、約1分間のオートサーチを行います。
- 実際に受信できなかったチャンネルはとばされます。
- 新たに受信できたチャンネルは、チャンネルポジション13〜20(愛媛県では14〜20)に追加登録されます。

■同じ放送局が複数のチャンネルポジションに設定されたとき

必ず映りの悪い方のチャンネルを削除しておいてください。(P36)

■受信できるチャンネルがとばされていたり、映りの悪いチャンネルがあるとき

「マニュアルチャンネル設定」(P33〜36)で、必要な設定を行ってください。

■最初から設定し直したいとき

左記手順2で、市外局番の代わりに“ 000000 ”(“ 0 ”を6個)と入力して転送すると、本機のチューナーが工場出荷時の状態に戻ります。

- **VHF/UHFチャンネル**
  VHFの1〜12チャンネルが受信できる状態
- **BSチャンネル**
  すべてのチャンネルが受信できる状態
- **CATVチャンネル**
  すべてのチャンネルがとばされた状態
- **外部入力チャンネル**
  L1、L2が使用できる状態
  L3は工場出荷時には[BSデコーダー/M-Nコンバーター]になっており、自動的にとばされています。

ガイドチャンネルは、すべてのチャンネルで設定されていません。

手動でチャンネルを合わせる
(マニュアルチャンネル設定)

ひとつひとつのチャンネルを確実に設定していく方法です。
「市外局番入力チャンネル設定」で正しくチャンネルが受信できなかったときや、きれいに映るはずのチャンネルがとばされているとき、選局の順番を入れ替えたいとき、ガイドチャンネルが設定されていないときなどに操作してください。

VHF/UHFチャンネルの登録

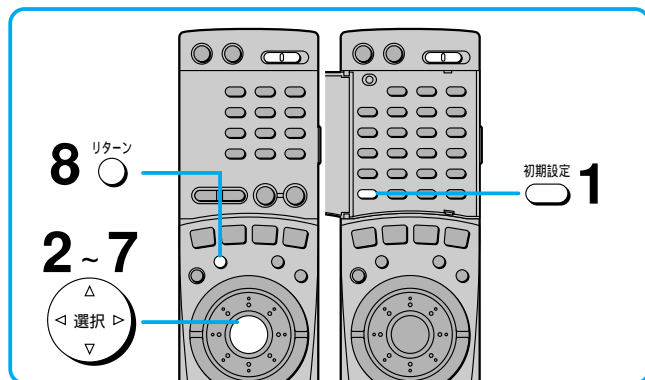
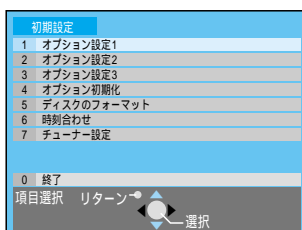
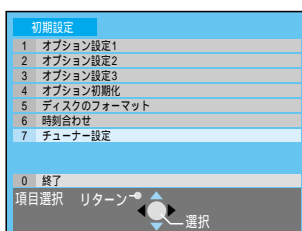
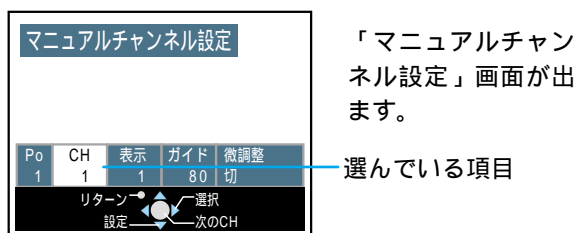
準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 **初期設定を押す**

2 **△▽で[7チューナー設定]を選び、選択を押す**

3 **△▽で[1マニュアルチャンネル設定]を選び、選択を押す**

● 「マニュアルチャンネル設定」画面が出ます。

選んでいる項目

4 **◁▷で[Po]を選び、△▽で登録したいチャンネルポジションを選ぶ**
● [1]~[20]の中から選んでください。
● △に倒すごとに、右上のように変わります。(▽を倒すと逆方向)

VHF/UHFチャンネル(1 → 2 ···→ 20)
BSチャンネル(BS1 → BS3 ···→ BS15)
CATVチャンネル(C13 → C14 ···→ C63)
外部入力チャンネル(ライン1→ ライン2)
拡張チャンネル(o1 → o2 ···→ o7)

● [Po]は"Position"の略です。

Po 7 | CH -- | 表示 -- | ガイド -- | 微調整 切
リターン 選択 設定 次のCH

チャンネルポジション7を選んだ場合

5 **◁▷で[CH]を選び、△▽で受信チャンネルを合わせる**
● 登録したい放送が映るように、数字を変えていってください。
● △または▽に倒し続けると10ずつ変わります。

受信チャンネルを42に合わせた場合

6 **◁▷で[表示]を選び、△▽で表示チャンネルを合わせる**
● 本体表示窓やテレビ画面に表示させたい数字に合わせてください。
● △または▽に倒し続けると10ずつ変わります。

表示チャンネルを42に合わせた場合

7 **◁▷で[ガイド]を選び、△▽でガイドチャンネルを合わせる**
● ガイドチャンネル一覧表(P37)を見ながら合わせてください。
● △または▽に倒し続けると10ずつ変わります。
● ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

ガイドチャンネルを42に合わせた場合

8 **リターンを押す**
● 初期設定画面を消すには、もう2回押します。

■2つ以上のチャンネルを登録するとき
手順7の後、選択を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

準備

手動でチャンネルを合わせる
(マニュアルチャンネル設定)(つづき)

BSチャンネルの登録

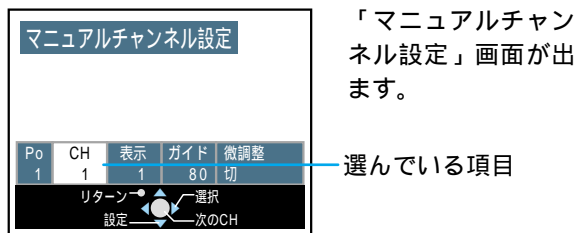
準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 初期設定を押す

2 △▽で[7チューナー設定]を選び、選択を押す

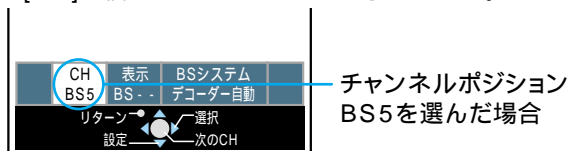
3 △▽で[1マニュアルチャンネル設定]を選び、選択を押す

● 「マニュアルチャンネル設定」画面が出ます。

選んでいる項目

4 ◁▷で[Po]を選び、△▽で登録したいBSチャンネルを選ぶ

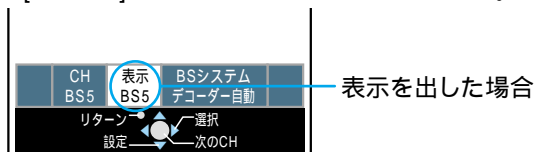
● BSチャンネルにくると[Po]の表示がなくなり、[CH]の欄にBSチャンネルが表示されます。

CH	表示	BSシステム
BS5	BS−−	デコーダー自動

チャンネルポジションBS5を選んだ場合

5 ◁▷で[表示]を選び、△▽で表示を出す

● [BS−−]のチャンネルはとばされています。

CH	表示	BSシステム
BS5	BS5	デコーダー自動

表示を出した場合

6 ◁▷で[BSシステム]を選び、△▽でデコーダーの状態を選ぶ

[自動]：スクランブル放送の受信時のみ、BSデコーダーからの入力に切り換えるとき

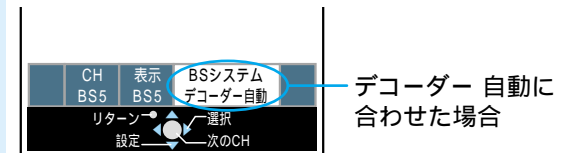
[入]：St.GIGA(セント・ギガ)とも受信契約しているとき(P103)

[切]：BSデコーダーを接続していないとき

[M-Nコンバーター]

　　：M-Nコンバーターと接続したとき

CH	表示	BSシステム
BS5	BS5	デコーダー自動

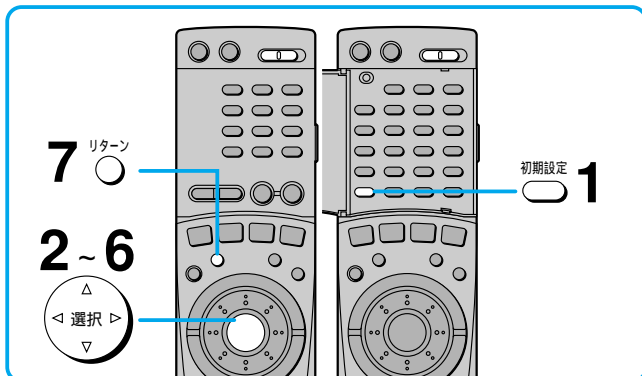
デコーダー 自動に合わせた場合

7 リターンを押す

● 初期設定画面を消すには、もう2回押します。

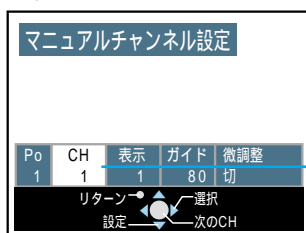
■2つ以上のチャンネルを登録するとき

手順6の後、**選択**を押すと、次のチャンネルに進みます。

CATVチャンネルの登録

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 初期設定を押す

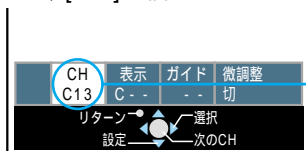
2 △▽で[7チューナー設定]を選び、選択を押す

3 △▽で[1マニュアルチャンネル設定]を選び、選択を押す

● 「マニュアルチャンネル設定」画面が出ます。

選んでいる項目

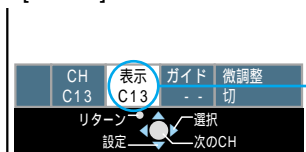
4 ◁▷で[Po]を選び、△▽で登録したいCATVのチャンネルポジションを選ぶ

● CATVチャンネルにくると[Po]の表示がなくなり、[CH]の欄にCATVチャンネルが表示されます。

CH C13 | 表示 C−− | ガイド −− | 微調整 切

チャンネルポジションC13を選んだ場合

5 ◁▷で[表示]を選び、△▽で表示を出す

● [C−−]のチャンネルはとばされています。

CH C13 | 表示 C13 | ガイド −− | 微調整 切

表示を出した場合

6 ◁▷で[ガイド]を選び、△▽でガイドチャンネルを合わせる

● ガイドチャンネルについては、CATV会社にお問い合わせください。
● △または▽に倒し続けると10ずつ変わります。
● ガイドチャンネルを合わせておかないと、Gコード予約が正しくできません。

CH C13 | 表示 C13 | ガイド 80 | 微調整 切

ガイドチャンネルを80に合わせた場合

7 リターンを押す

● 初期設定画面を消すには、もう2回押します。

■2つ以上のチャンネルを登録するとき

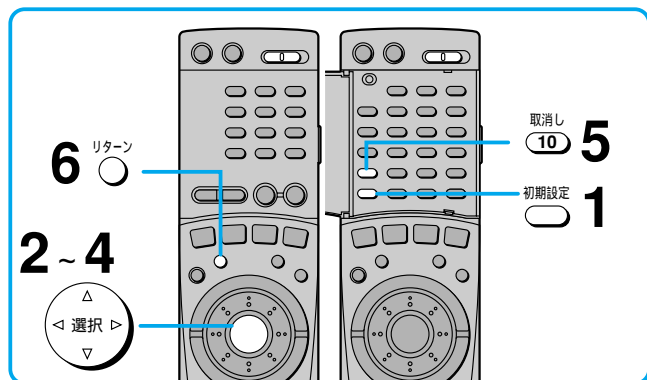
手順6の後、選択を押すと、次のチャンネルに進みます。

準備

手動でチャンネルを合わせる
(マニュアルチャンネル設定)(つづき)

不要なチャンネルの削除

ノイズ画面のチャンネルが設定されているときや、選局の順番を入れ替えたいときなどに操作します。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 初期設定を押す

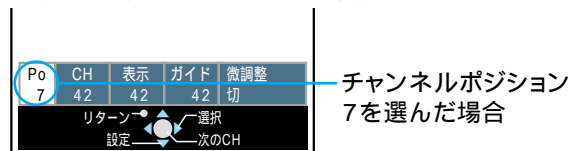
2 △▽で[7チューナー設定]を選び、選択を押す

3 △▽で[1マニュアルチャンネル設定]を選び、選択を押す

4 ◁▷で[Po]を選び、△▽で削除したいチャンネルポジションを選ぶ

Po	CH	表示	ガイド	微調整
7	42	42	42	切

リターン 選択 設定 次のCH

チャンネルポジション7を選んだ場合

5 取消しを押す

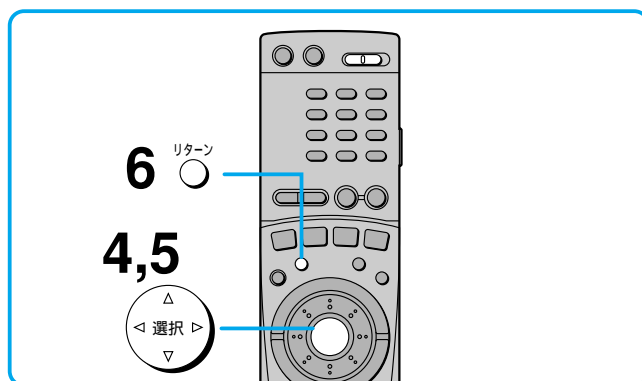
● CH、表示、ガイドのすべてが[－－]になります。

6 リターンを押す

● 初期設定画面を消すには、もう2回押します。

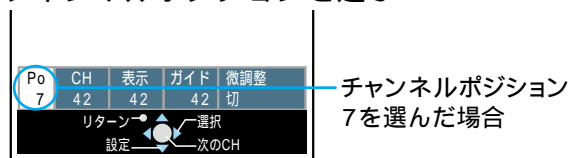
映りの悪いチャンネルの微調整

ノイズがあるときや、色が付いていないときなどに操作します。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
● 左記手順1～3で「マニュアルチャンネル設定」画面を出す。

4 ◁▷で[Po]を選び、△▽で微調整したいチャンネルポジションを選ぶ

Po	CH	表示	ガイド	微調整
7	42	42	42	切

リターン 選択 設定 次のCH

チャンネルポジション7を選んだ場合

5 ◁▷で[微調整 切]を選び、△▽で[入]にする
その後、▷で[▭]を選び、△▽で微調整する

色が付いていないとき…△
しま模様が出るとき……▽
(中央の位置に戻すと、オレンジ色になります)
● BSチャンネルは微調整できません。
● 電波の受信状態によっては、調整しきれない場合があります。

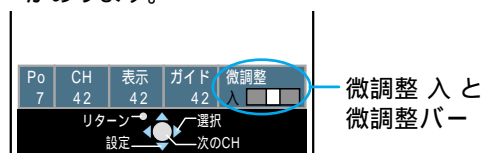
Po	CH	表示	ガイド	微調整
7	42	42	42	入 ▭

リターン 選択 設定 次のCH

微調整 入 と微調整バー

6 リターンを押す

● 初期設定画面を消すには、もう2回押します。

■2つ以上のチャンネルを削除、微調整するとき

手順5の後、**選択**を押すと、次のチャンネルポジションに進みます。

■チャンネルポジションの表示の変わりかた

● VHF/UHFチャンネル……………………Po
● BSチャンネル ……………………………CH
● CATVチャンネル…………………………CH
● 外部入力チャンネル………………………入力
● 拡張チャンネル……………………………Po

ガイドチャンネル一覧表

新たに開局した放送局やCATV放送のガイドチャンネルについては、販売店やCATV会社にご確認ください。

地域	放送局	ガイドCH
全国	NHK総合	80
	NHK教育	90
北海道	北海道放送(HBC)	1
	札幌テレビ(STV)	5
	テレビ北海道(TVH)	17
	北海道文化(UHB)	27
	北海道テレビ(HTB)	35
青森	青森放送(RAB)	1
	青森朝日(ABA)	34
	青森テレビ(ATV)	38
岩手	岩手放送(IBC)	6
	岩手朝日(IAT)	20
	めんこい(MIT)	33
	テレビ岩手(TVI)	35
宮城	東北放送(TBC)	1
	仙台放送(OX)	12
	東日本放送(KHB)	32
	宮城テレビ(MMT)	34
秋田	秋田放送(ABS)	11
	秋田朝日(AAB)	31
	秋田テレビ(AKT)	37
山形	山形放送(YBC)	10
	山形さくらんぼ(SAY)	30
	テレビュー山形(TUY)	36
	山形テレビ(YTS)	38
福島	福島テレビ(FTV)	11
	テレビュー福島(TUF)	31
	福島中央(FCT)	33
	福島放送(KFB)	35
関東	日本テレビ(NTV)	4
	TBSテレビ(TBS)	6
	フジテレビ(CX)	8
	テレビ朝日(ANB)	10
	テレビ東京(TX)	12
	東京メトロポリタン(MX)	14
	放送大学	16
	とちぎテレビ(TTV)	23
	テレビ埼玉(TVS)	38
	TVKテレビ(TVK)	42
	千葉テレビ(CTC)	46
	群馬テレビ(GTV)	48
新潟	新潟放送(BSN)	5
	新潟テレビ21(NT21)	21
	テレビ新潟(TNN)	29
	新潟総合(NST)	35
富山	北日本放送(KNB)	1
	チューリップ(TUT)	32
	富山テレビ(T34)	34

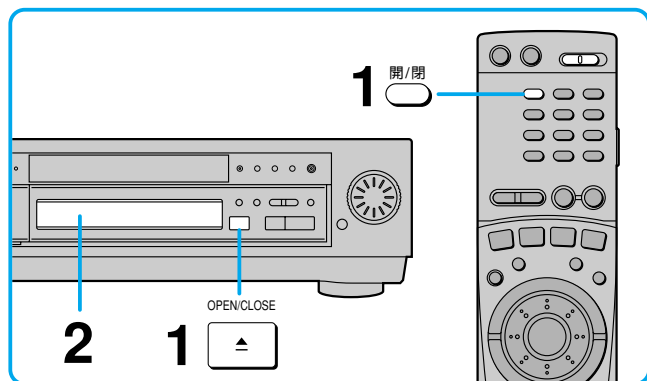
地域	放送局	ガイドCH
石川	北陸放送(MRO)	6
	北陸朝日(HAB)	25
	テレビ金沢(KTK)	33
	石川テレビ(ITC)	37
福井	福井放送(FBC)	11
	福井テレビ(FTB)	39
山梨	山梨放送(YBS)	5
	テレビ山梨(UTY)	37
長野	信越放送(SBC)	11
	長野朝日(ABN)	20
	テレビ信州(TSB)	30
	長野放送(NBS)	38
静岡	静岡放送(SBS)	11
	静岡第一(SDT)	31
	静岡朝日(SAT)	33
	テレビ静岡(SUT)	35
中京	東海テレビ(THK)	1
	中部日本放送(CBC)	5
	名古屋テレビ(NBN)	11
	テレビ愛知(TVA)	25
	三重テレビ(MTV)	33
	中京テレビ(CTV)	35
	岐阜放送(GBS)	37
関西	毎日放送(MBS)	4
	朝日放送(ABC)	6
	関西テレビ(KTV)	8
	読売テレビ(YTV)	10
	テレビ大阪(TVO)	19
	テレビ和歌山(WTV)	30
	びわ湖放送(BBC)	30
	京都テレビ(KBS)	34
	サンテレビ(SUN)	36
	奈良テレビ(TVN)	55
鳥取 島根	日本海テレビ(NKT)	1
	山陰放送(BSS)	10
	山陰中央(TSK)	34
岡山 香川	西日本放送(RNC)	9
	山陽放送(RSK)	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送(KSB)	33
	岡山放送(OHK)	35
広島	中国放送(RCC)	4
	広島テレビ(HTV)	12
	テレビ新広島(TSS)	31
	広島ホーム(HOME)	35
山口	山口放送(KRY)	11
	山口朝日(YAB)	28
	テレビ山口(TYS)	38

地域	放送局	ガイドCH
徳島	四国放送(JRT)	1
愛媛	南海放送(RNB)	10
	愛媛朝日(EAT)	25
	あいテレビ(ITV)	29
	愛媛放送(EBC)	37
高知	高知放送(RKC)	8
	テレビ高知(KUTV)	38
	高知さんさん(KSS)	40
福岡	九州朝日(KBC)	1
	RKB毎日(RKB)	4
	テレビ西日本(TNC)	9
	テレビQ(TVQ)	19
	福岡放送(FBS)	37
佐賀	サガテレビ(STS)	36
長崎	長崎放送(NBC)	5
	長崎国際(NIB)	25
	長崎文化(NCC)	27
	テレビ長崎(KTN)	37
熊本	熊本放送(RKK)	11
	熊本朝日(KAB)	16
	熊本県民(KKT)	22
	テレビ熊本(TKU)	34
大分	大分放送(OBS)	5
	大分朝日(OAB)	24
	テレビ大分(TOS)	36
宮崎	宮崎放送(MRT)	10
	テレビ宮崎(UMK)	35
鹿児島	南日本放送(MBC)	1
	鹿児島読売(KYT)	30
	鹿児島放送(KKB)	32
	鹿児島テレビ(KTS)	38
沖縄	沖縄テレビ(OTV)	8
	琉球放送(RBC)	10
	琉球朝日(QAB)	28
BS放送	BS 1	71
	BS 3	72
	BS 5 WOWOW(JSB)	73
	BS 7 NHK衛星第一	74
	BS 9 ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK衛星第二	76
	BS13	77
	BS15	78

ディスクを入れる

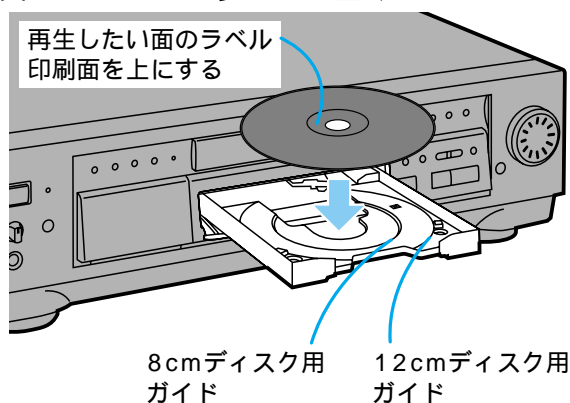
1 開/閉

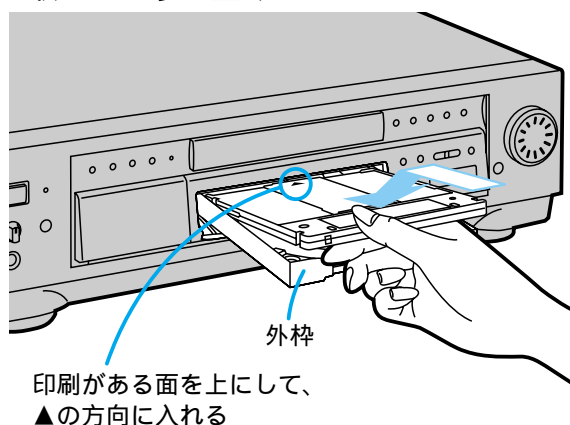
OPEN/CLOSE

2　1

1
【リモコン】開/閉を押す
【本　　体】OPEN/CLOSEを押す

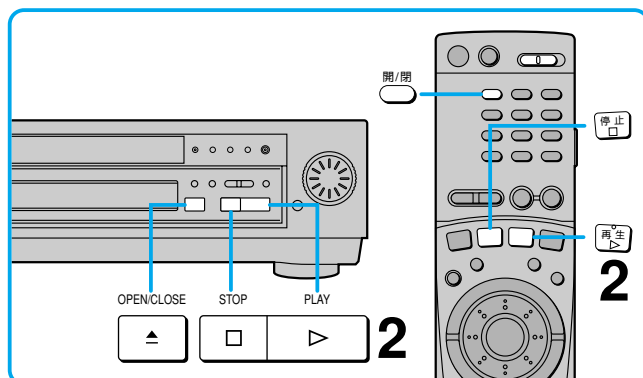
- 自動的に電源が入り、ディスクトレイが出てきます。

2 DVD-V　VCD　CD と、
カートリッジなし RAM

信号面をさわらないように持ち、ラベル面を上になるようにして置く

TYPE2カートリッジ RAM

カートリッジのうらおもてを確かめて、▲の方向に入れ、ディスクトレイの外枠に収まるように置く

再生する

RAM　DVD-V　VCD　CD

準備
- テレビの電源を入れる。
- 本機との接続に合わせて、テレビの入力を[ビデオ]などに切り換える。
- リモコンを使うときは、DVD/テレビを[DVD]にする。

1 **ディスクを入れる**
入れかた(左記)

2
【リモコン】再生を押す
【本　　体】PLAYを押す

- ディスクを入れた直後は「■□□□□ READ」表示が出ます。(ディスクの情報を読み込み中)
この表示が出ている間は、再生は始まりません。また、電源の切/入、ディスクトレイの開/閉以外の操作は受け付けません。
- 5つとも「■」になると、読み込みを終了し、再生を始めます。(約20〜30秒かかります)

DVD-RAMの例

■ヒント RAM

番組と番組のつなぎ目、CMカットされた部分、プログラムナビで部分消去したところなどは、なめらかに再生できないことがあります。

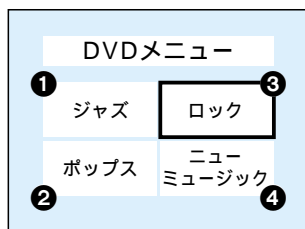
■音量について DVD-V

本機の音声をテレビなどに接続している場合、DVDの音は一般に他のソフトより小さく感じられます。もし、再生時にテレビやアンプ側の音量を上げた場合は、再生終了後必ず下げておいてください。別の入力に切り換えたときなどに突然大きな音が出る場合があります。

■メニュー画面になったとき

DVD-V　VCD

インタラクティブなDVDやプレイバックコントロール付ビデオCDの多くは、メニュー画面が表示されます。このような場合は、次ページをお読みください。

メニュー表示の例

■ヒント

- ボタン操作中、テレビ画面に“ ⃠ ”(禁止)マークが表示されたときは、本機またはディスクがその操作を禁止していることを示しています。
- 未記録のDVD-RAMは再生できません。

■再生が終了すると

自動的に停止し、ディスクによってはメニュー画面になります。

再生をやめる

RAM　DVD-V　VCD　CD

【リモコン】停止を押す。
【本　　体】STOPを押す。

- ▶が点滅しているときは、「続き再生メモリー機能」(右記)が働いています。
- DVD-VIDEOまたはビデオCDの再生中で、テレビ画面にメニューが表示されているときは、画面が静止していてもディスクは回り続けています。再生しないときは、もう一度停止(STOP)を押してください。

■再生をやめると、テレビ画面に **マークが表示されたとき**

DVD-V　VCD　CD

再生を停止すると、右のような画面が現れます。
この表示を消し、本機のチューナーでテレビ番組を見るときは、停止中にもう一度停止を押します。

- CDは、再生中にも表示されます。

■ディスクを取り出す

【リモコン】開/閉を押す。
【本　　体】OPEN/CLOSEを押す。

- ディスクトレイが出てきます。
- 電源が切れていても、自動的に電源が入り、ディスクトレイが出てきます。
- ただし、次のときは取り出せません。
  - ・録画中
  - ・予約録画中、または予約録画の待機中

止めた位置から再生する
(続き再生メモリー機能)

RAM　DVD-V　VCD　CD

▶が点滅している状態で、再生(PLAY)を押す。

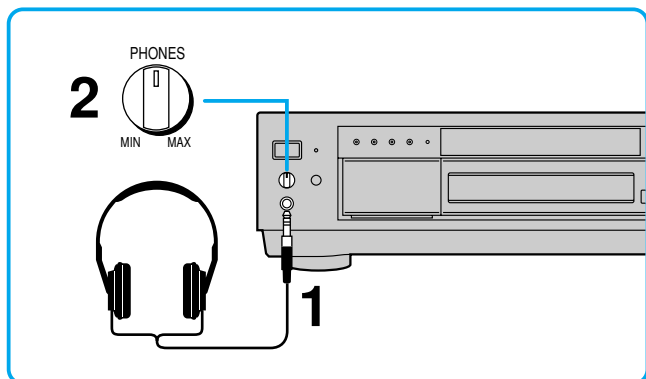
- 止めた位置から再生を始めます。
- 電源を切っても続き再生メモリー機能は保持されます。
- もう一度、停止(STOP)、開/閉(OPEN/CLOSE)を押すと解除されます。
- 再生しても表示窓に経過時間が出ないディスクの場合は働きません。

■あらすじリプレイについて DVD-V

「再生ボタンを押すと、あらすじリプレイになります」というメッセージが表示されている間に再生(PLAY)を押すと、あらすじリプレイになります。
それまで見た位置までの各チャプターの冒頭部分を順次再生する機能です。その後、止めたところからの通常再生が始まります。

- あらすじリプレイのできないディスクもあります。

再生

ヘッドホンで聞く

1　ヘッドホン(別売)を接続する

2　PHONESを回して音量を調節する

■お願い

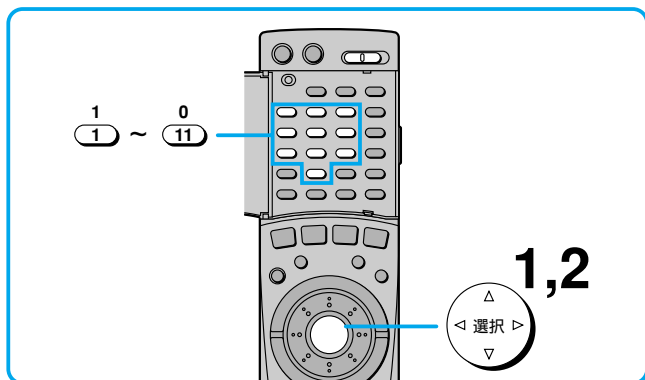
- 使用前にあらかじめ音量を下げておいてから、その後調節してください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。聴力に悪い影響を与えることがあります。

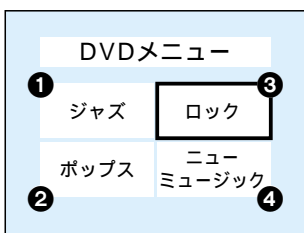
再生する(つづき)

メニュー画面になったとき

DVD-V

再生を始めたときや、1つのタイトルを再生し終わったときは、メニュー画面になる場合があります。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 ◁△▽▷でメニューの項目を選ぶ

- ❸を選んだ例。
- リモコンの**1〜0**でも選べる場合があります。このときは、下記手順2の操作は不要です。
- ディスクによって異なりますが、メニューに続きがある場合は、◁△▽▷で表示します。

2 選択を押す

- 選んだ項目が決定し、再生が始まります。

VCD

プレイバックコントロール付のビデオCDでは、再生を始めるとまずメニュー画面になる場合があります。
このときは、以下のように選んでください。

1〜0を押し、メニューの項目を選ぶ

- 選んだ項目が決定し、再生が始まります。

メニュー
❶ ジャズ
❷ ポップス
❸ ロック
❹ ニューミュージック

■ヒント
ビデオCDのときは、◁△▽▷や**選択**は使えません。
1〜0で選びます。
例) 5の場合…**0**→**5**
　10の場合…**1**→**0**
　25の場合…**2**→**5**

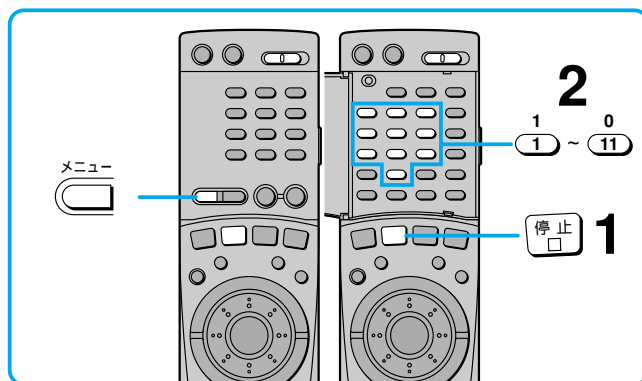
■その他のメニュー操作ボタンについて
ディスクによって異なりますので、そちらの説明書もお読みください。

例) ▶▶|(|◀◀)　：次の(前の)項目を出す。
　リターン　：前のメニューに戻る。
　メニュー　：メニュー画面を出す。

メニューを使わずに再生する

VCD

メニュー機能を一時的に解除して、頭から連続再生できます。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 メニュー表示中に、停止を押す

- 本体表示窓の[PBC]が消灯します。

2 1〜0を押し、希望のトラック番号を選ぶ

- 選んだトラックから再生が始まります。
- トラック番号はディスクのジャケットで調べてください。
- 最初から再生するときは、**0**→**1**と押してください。

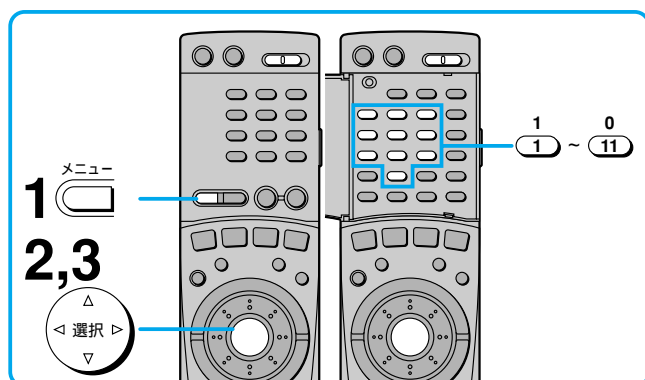
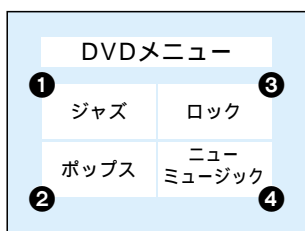
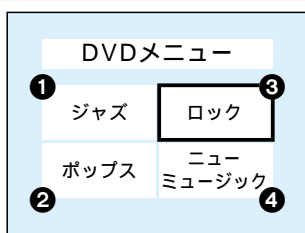
■メニュー画面に戻るには
1. **停止**を押し、再生を止める。
2. **メニュー**を押す。
- 本体表示窓の[PBC]が点灯します。

メニューを使う

DVDメニューを操作する

DVD-V

多くのDVDでは、本編とは別にメイキングシーンや場面選択などを選べるメニュー画面を設けています。
また、メニュー選択で再生するのが基本のディスクもあります。メニュー画面の出しかたや選びかたはディスクによって異なりますので、ここでは一般的な操作を説明します。

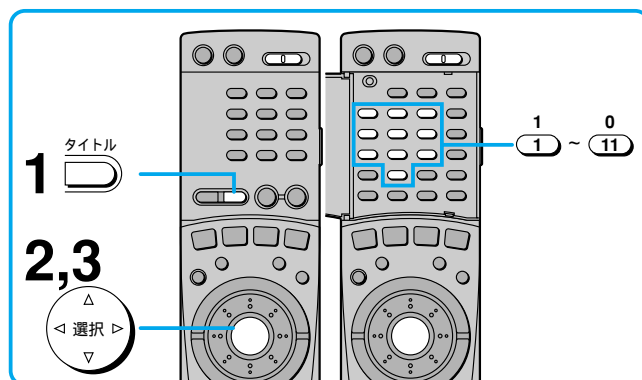
準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 停止中または再生中に、
メニューを押し、メニューを表示させる
● もう一度押すと元の状態に戻ります。

2 **◁△▽▷で項目を選ぶ**
● ◁△▽▷に倒すと、別の項目へ移動します。

3 **選択(または再生)を押す**
● 選んだ項目が決定し、再生が始まります。

■ヒント
● 1〜0で選べるディスクもあります。メニュー操作のしかたはディスクによって異なりますので、ディスクに付属の説明書をご覧ください。(上記は一般的な操作例です)
● 複数のメニューを持たないディスクでは、◁△▽▷のいずれに倒しても同じ結果になることがあります。

タイトルを選ぶ

DVD-V

映画が数本入っているなど複数タイトルを持つディスクでは、トップメニューからタイトルを選んで再生することができます。

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 停止中または再生中に、
タイトルを押し、タイトルを表示させる
● もう一度押すと元の状態に戻ります。

2 **◁△▽▷でタイトル項目を選ぶ**
● ◁△▽▷に倒すと、別のタイトルへ移動します。

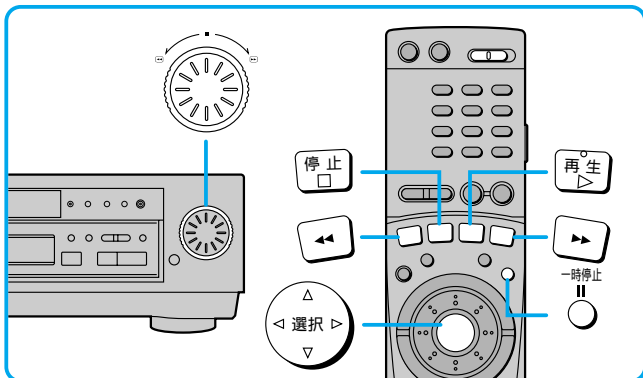
3 **選択(または再生)を押す**
● 選んだ項目が決定し、再生が始まります。

■ヒント
● 1〜0で選べるディスクもあります。タイトルの選びかたはディスクによって異なりますので、ディスクに付属の説明書をご覧ください。(上記は一般的な操作例です)
● 複数のタイトルを持たないディスクでは、◁△▽▷のいずれに倒しても同じ結果になることがあります。

再生

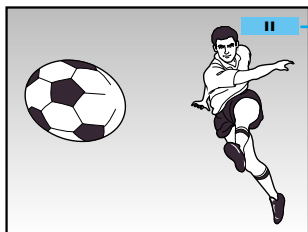
いろいろな再生

静止/コマ送り(戻し)/スロー/早送り/早戻し再生する

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

静止(一時停止)する

RAM　DVD-V　VCD　CD

再生中に、

一時停止を押す

静止/一時停止中
の表示

- 静止(一時停止)中でもディスクは回り続けています。
- 静止(一時停止)が約5分以上続くと自動的に停止し、テレビ画面になります。(DVD-RAM)
  テレビ画面に DVD VIDEO RAM マークが出ます。(DVD-VIDEO、ビデオCD、CD)

コマ送り(戻し)する

RAM　DVD-V　VCD

静止中に、

◁または▷に倒す

▷…進む

◁…戻る(DVD-RAM、DVD-VIDEOのみ)

- 倒すたびに1コマずつ送り(戻し)ます。
- 倒したままにしておくと、連続してコマ送り(戻し)します。

■**ヒント**

フレームスチル、フィールドスチルは、**初期設定[③オプション設定3]→[⑥スチルモード]**で選ぶことができます。(P130)

スロー再生する

RAM　DVD-V　VCD

静止中に、

◀◀または▶▶を押す

▶▶…進む

◀◀…戻る(DVD-RAM、DVD-VIDEOのみ)

- 押すごとに、低速⟷高速となります。(2段階)

スロー/逆スロー再生中
の表示

I▶●…スロー(低速)
●I▶…スロー(高速)
●◀I…逆スロー(低速)
◀I●…逆スロー(高速)

早送り/早戻し再生する

RAM　DVD-V　VCD　CD

再生中に、

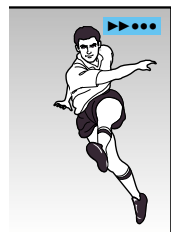
【リモコン】◀◀または▶▶を押す

◀◀…早戻し、▶▶…早送り

- 押すごとに速度が速くなります。(4段階)

【本　　体】シャトルリングを回して手を離す

左へ回す…早戻し、右へ回す…早送り

- 回すごとに速度が速くなります。(4段階)

早送り/早戻し再生中
の表示

▶▶●●●…早送り1(低速)
●▶▶●●…早送り2
●●▶▶●…早送り3
●●●▶▶…早送り4(高速)
●●●◀◀…早戻し1(低速)
●●◀◀●…早戻し2
●◀◀●●…早戻し3
◀◀●●●…早戻し4(高速)

- 早送り4/早戻し4のときにもう一度押す(回す)と、早送り1/早戻し1に戻ります。
- 早送り4/早戻し4のときの速度は、DVD-RAM、DVD-VIDEOで最大100倍速、ビデオCDで最大40倍速、CDで最大50倍速です。

■**ヒント**

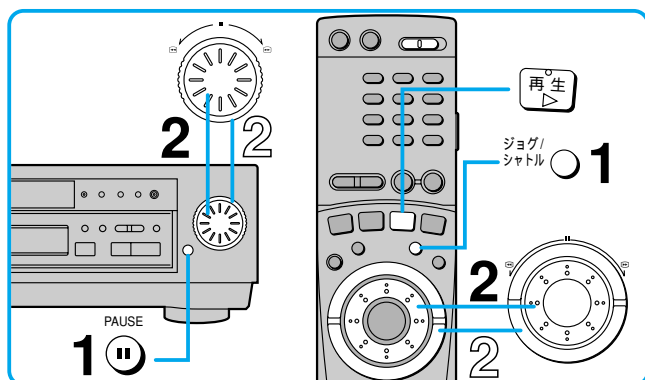
- DVD-VIDEO、ビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。
- 早送り1のときに音声が聞こえるようにできます。
  初期設定[③オプション設定3]→[⑤早送り1の時の音]→[①入]にしてください。(DVD-RAM、DVD-VIDEOのみ。CDは、早送り時は常に音が出ます)(P129)
  (この設定を行っても音声が出ないディスクがあります)

■**静止(一時停止)、コマ送り(戻し)、スロー、早送り/早戻し再生を通常再生に戻す**

再生を押す。

ジョグダイヤル/シャトルリングを使う

ジョグダイヤルとシャトルリングを使って、コマ送り(戻し)再生をしたり、再生の速度を変えたりすることができます。

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

ジョグダイヤルを回してコマ送り(戻し)する

RAM DVD-V VCD

1 【リモコン】ジョグ/シャトルを押す
【本　　体】再生中に、PAUSEを押す

- 静止画面になります。リモコンでは、ボタンが点灯します。
- リモコンでは、何も操作せずに約30秒以上放置するとボタンが消灯します。このときは、ジョグ/シャトルをもう一度押すと、ボタンが再び点灯し、ジョグ/シャトルモードに戻ります。

2 ジョグダイヤルをゆっくりと回す

左へ回す…戻し方向、右へ回す…送り方向

- ゆっくり回すと1フレームずつ送っていきます。フレームとは、動画の1コマ1コマのことです。本機では、1秒間に約30枚のフレームを連続して映すことで動画として見ることができます。
- 早く右に回すとコマ送りからスロー再生、さらに早く回すと通常再生になります。
- 早く左に回すとコマ戻しから逆スロー再生、さらに早く回すと逆再生になります。(DVD-RAM、DVD-VIDEOのみ)

■通常再生に戻す

再生を押す。

シャトルリングを回して再生速度を変える

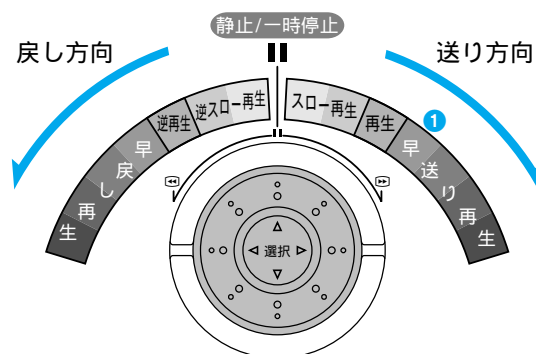
RAM DVD-V VCD CD

1 【リモコン】ジョグ/シャトルを押す
【本　　体】再生中に、PAUSEを押す

- リモコンでは、ジョグ/シャトルモードになると、ボタンが点灯し、静止になります。
- 何も操作せずに約30秒以上放置すると、ボタンが消灯します。このときは、ジョグ/シャトルをもう一度押すと、ボタンが再び点灯し、ジョグ/シャトルモードに戻ります。

2 シャトルリングを回す

左へ回す…戻し方向、右へ回す…送り方向

- 使用するディスクや回す角度により、再生速度が変わります。
- スロー再生は2段階に速度が変わります。(CDはできません)
- 逆スロー再生は2段階に速度が変わります。(ビデオCD、CDはできません)
- 逆再生はビデオCD、CDはできません。
- 早送り/早戻し再生は4段階に速度が変わります。

- 早送り/早戻し再生のときの速度は、DVD-RAM、DVD-VIDEOで最大100倍速、ビデオCDで最大40倍速、CDで最大50倍速です。
- 早送り1(上図❶)のときに音声が聞こえるようにできます。
  初期設定[3オプション設定3]→[5早送り1の時の音]→[1入]にしてください。(DVD-RAM、DVD-VIDEOのみ。CDは、早送り時は常に音が出ます)(P129)
  (この設定を行っても音声が出ないディスクがあります)

■ヒント

- リモコンのシャトルリングで再生速度を一段階早く(遅く)するときは、画面を見ながら調節しなくても、「カチッ」音で再生速度が変わったことを確認できます。
  必ず「カチッ」音がするまで回してください。音がするまで回さないと、再生速度を確実に変えることができない場合があります。
- 内側のジョグダイヤルを一緒に回してしまうと、再生速度が正しく変わらない場合があります。

■通常再生に戻す

再生を押す。

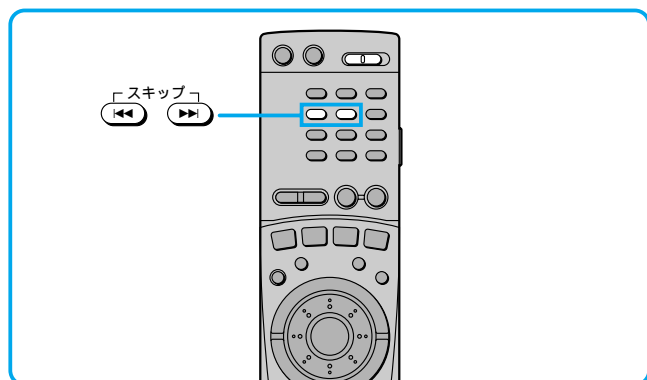
いろいろな再生(つづき)

場面や曲をとびこす 頭出しして番組をさがす(スキップ)

場面や曲をとびこす

DVD-V VCD CD

DVD-VIDEOのチャプターやビデオCD、CDのトラックの先頭へとび、そこから再生します。

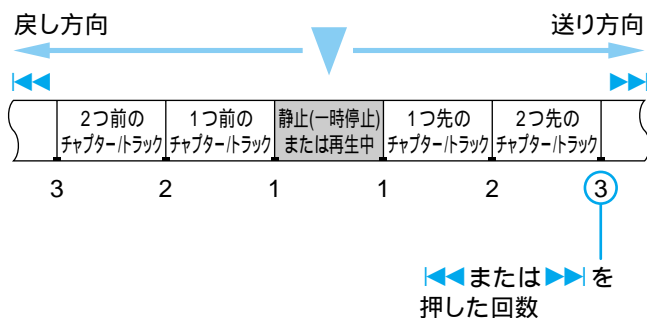
準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

再生中または静止(一時停止)中に、

|◀◀ または ▶▶| を押す

▶▶|…進む

|◀◀…戻る

- 押した回数だけとびこします。
- 続けてボタンを押すことで、さがす位置が変更できます。(下記「頭出しする位置の指定のしかた」参照)
- 再生中に操作したときは、とびこした後も再生、静止(一時停止)中に操作したときは、とびこした後も静止(一時停止)になります。
- 戻る方向へ1回押すと、再生中のチャプター/トラックの先頭に戻ります。
  ただし、再生位置がチャプター/トラックの先頭の場合は、1つ前のチャプター/トラックの先頭へとびます。

■頭出しする位置の指定のしかた(例)

■ヒント

DVD-VIDEOやビデオCDのメニュー画面で押すと、前のメニューに戻る場合があります。

録画した番組を頭出ししてさがす

RAM

本機で録画すると、番組(プログラム)として自動的に記録されます。
またマーカーを付ける(P55)と、好みの位置を頭出しすることができます。
番組(プログラム)の先頭またはマーカー位置へとび、そこから再生します。

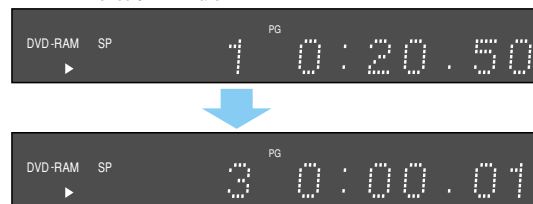
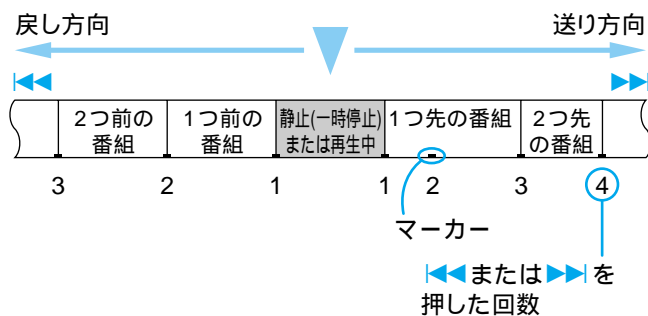
再生中または静止(一時停止)中に、

|◀◀ または ▶▶| を押す

▶▶|…進む

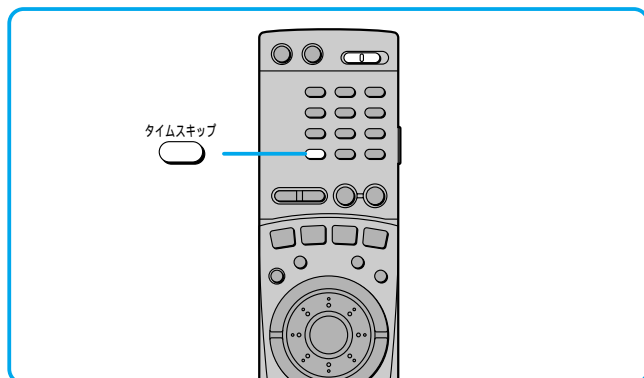
|◀◀…戻る

- 番組の先頭またはマーカーの位置を頭出しします。
- 続けてボタンを押すことで、さがす位置が変更できます。(下記「頭出しする位置の指定のしかた」参照)
- モノラル/二重放送からステレオ放送に切り換わったときなどにもマーカー信号が記録(最大49個)されています。(P47)
- 再生中に操作したときは、とびこした後も再生、静止(一時停止)中に操作したときは、とびこした後も静止(一時停止)になります。
- 戻る方向へ1回押すと、再生中の番組の先頭、または直前のマーカー位置に戻ります。そこから自動的に再生を始めます。
  ただし、再生位置が番組の先頭(またはマーカー位置の先頭)の場合は、1つ前の番組の先頭(またはマーカー位置の先頭)へとびます。

▶▶|を2回押した例

■頭出しする位置の指定のしかた(例)

30秒だけとびこす(タイムスキップ)

RAM

CMなど、少しだけとびこしたいときに押すと、約30秒先にとび、そこから再生します。

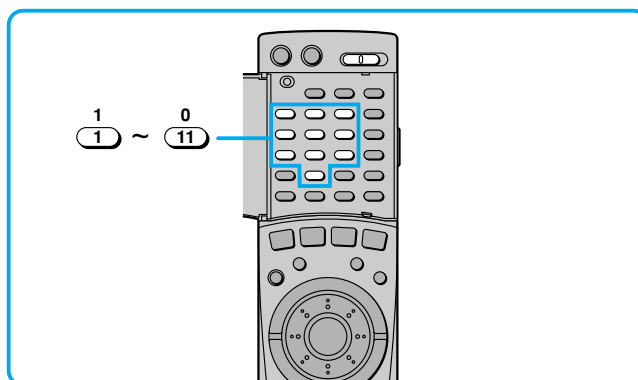
準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

再生中に、

タイムスキップを押す

● 再生中の位置から約30秒先にとびこして、再生を続けます。

好みのチャプター/トラックを番号指定で再生する(ダイレクトサーチ)

DVD-V VCD CD

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

再生中または停止中(テレビ画面に DVD VIDEO RAM マークが出ているとき)に、

1～0を押す

例) 5の場合…0→5
10の場合…1→0
25の場合…2→5

■ヒント

● 選んだチャプター/トラックから再生が始まります。
● 動作状態によっては操作できない場合があります。
● プレイバックコントロール付ビデオCDのメニューを使わずに再生する場合は、停止中(テレビ画面に DVD VIDEO RAM マークが出ているとき)に、1～0を押してください。

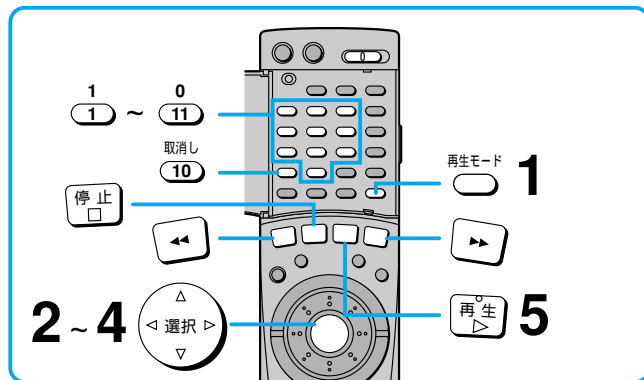
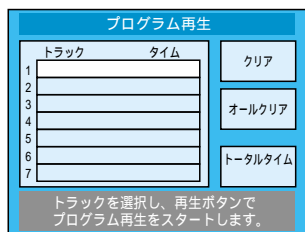
再生

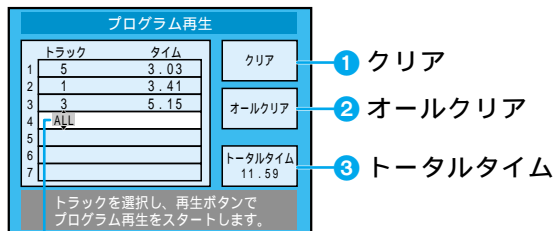
いろいろな再生(つづき)

好みの順に再生する(プログラム再生)

VCD CD

最大100トラックまで好みの順に並べかえて再生します。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 停止中に、
再生モードを押す
● プログラム入力画面が出ます。
● 押すごとに、[プログラム]→[ランダム]→[解除]と換わります。

2 **選択**を押す

3 △▽でトラック番号を選び、**選択**を押す
● **1〜0**を押しても選ぶことができます。

“ALL”を選ぶと、すべてのトラックがここから追加されます。

❶ 取り消したいトラックを△▽で選んだ後、▷で選んで**選択**を押す。
● **取消し**を押しても取り消すことができます。
❷ プログラムをすべて取り消すときに、△▽▷で選んで**選択**を押す。
❸ プログラム再生の総合計時間を表示します。
● 「トータルタイム」と選んだトラックの合計タイムが多少合わない場合がありますが、「トータルタイム」の方が、実際の再生時間を示します。

4 さらにプログラムするには、
手順2〜3を繰り返す
● 最大100トラックまでプログラムできます。

5 **再生**を押す
プログラム再生が始まります。

■プログラム再生が終了すると
停止して、プログラム入力画面になります。

■プログラム再生をやめる
1. プログラム再生中に、**停止**を2回押す。
2. **再生モード**を2回押す。
● プログラムは保持されています。もう一度、**再生モード**を押すと、現在のプログラム入力状態が表示されます。

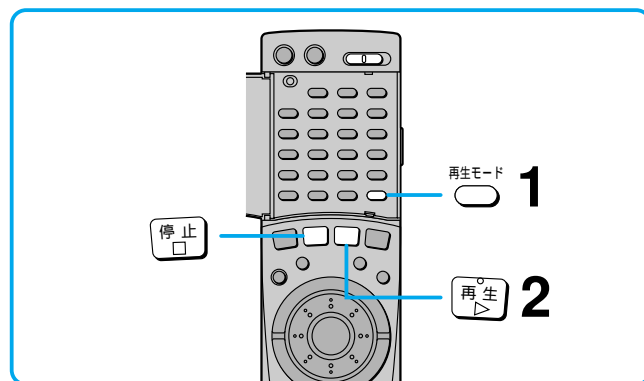
■プログラム再生中、はじめからもう一度プログラム再生をする
1. **停止**を2回押す。(プログラム入力画面になります)
2. **再生**を押す。

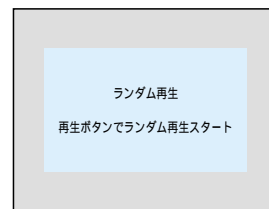
■プログラムを変更する
プログラム入力画面で、◁△▽▷で変更したいプログラム番号を選び、**選択**を押す。
この後、左記手順3を行い、変更するトラック番号を選ぶ。
● ◀◀または▶▶を押すと、一度に画面が変わり、変更したいプログラム番号を早く表示させることができます。

順不同に再生する(ランダム再生)

VCD CD

各トラックを一度ずつ、本機が自動的に順不同で再生します。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 停止中に、
再生モードを2回押す
● 押すごとに、[プログラム]→[ランダム]→[解除]と換わります。

ランダム再生
再生ボタンでランダム再生スタート

2 **再生**を押す
● ランダム再生が始まります。

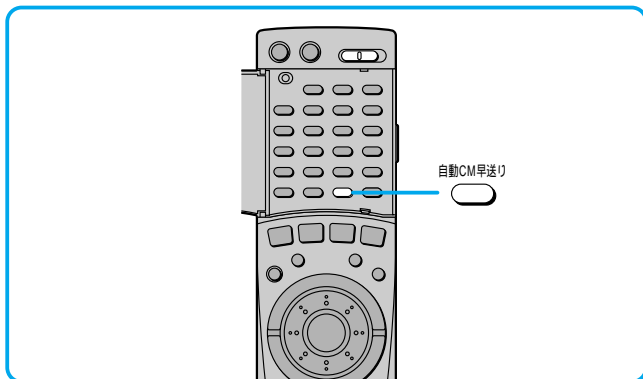
■ランダム再生が終了すると
停止して、ランダム再生画面に戻ります。

■ランダム再生を解除するには
1. ランダム再生中に、**停止**を2回押す。
2. **再生モード**を押す。

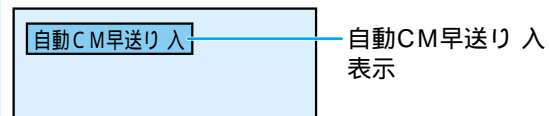
CMをとばして再生する
(自動CMスキップ/早送り再生)

RAM

**CMを自動的にとばして再生することができます。
スキップ/早送りできる回数は、再生中のディスクで最大49回までです。**

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

再生を始める前、または再生中に、

自動CM早送りを押す

- テレビ画面に[自動CM早送り 入]が出ます。
- CM中に**自動CM早送り**を押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

■**ヒント**

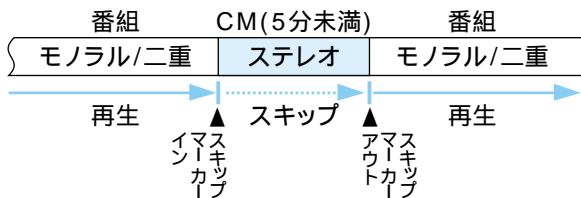
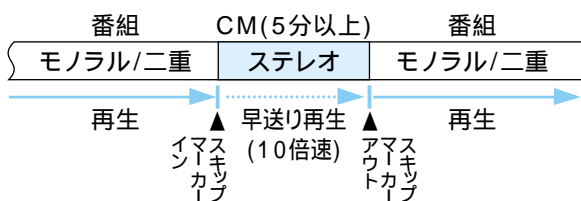
CMが5分未満の場合はスキップ、5分以上ある場合は早送り再生(10倍速)になります。(右図参照)

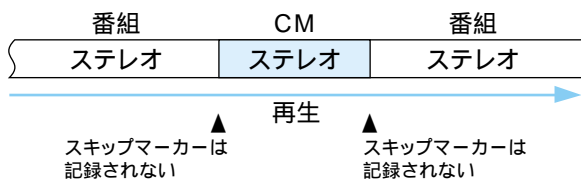
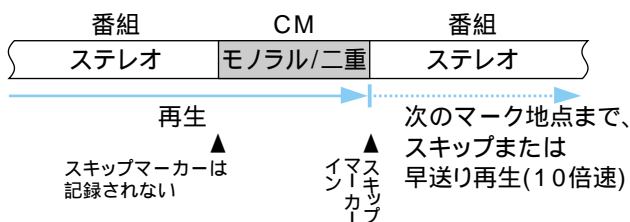
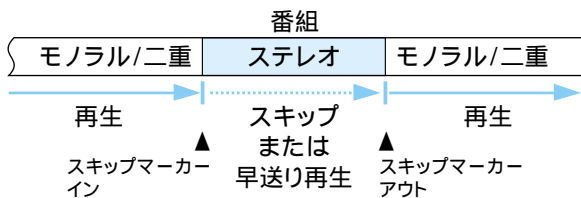
■**解除する**

自動CM早送りを押し、テレビ画面に[自動CM早送り 切]を出す。

- 本機の電源を切っても解除されます。

■**録画時の番組が「モノラル放送」または「二重放送(2カ国語放送など)」で、CMが「ステレオ放送」のときに、正しく働きます。(CMの前後が、少し切れた状態で再生されます)**

CMが5分未満の場合

CMが5分以上ある場合

■**録画時の番組が次のようなときは、正しく働きません。**

- 「ステレオ放送」のとき
  CMも通常どおり再生されます。

- CMが「モノラル」または「二重音声」のとき

- 番組中(CM以外)に、音声が「モノラル放送」や「二重放送」から「ステレオ放送」に切り換わったとき(この間の番組が5分未満の場合はスキップ、5分以上の場合は早送り再生されます)

- 本機で録画していないディスクを再生するとき。
- スキップマーカー(イン・アウトで1組)がすでに49組まで使われたとき。
- 外部入力録画したディスクを再生するとき。

再生

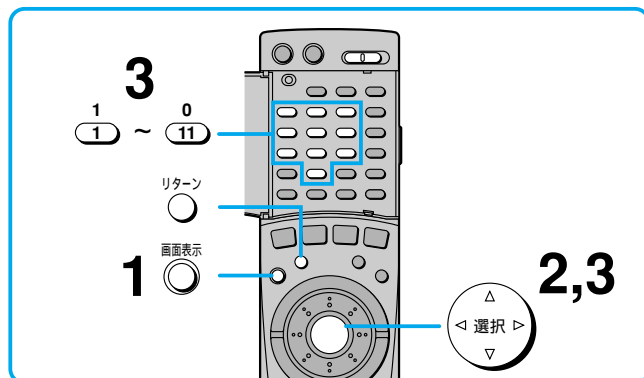
絵表示を使って操作する(GUIバー)

GUIバーの基本操作

RAM DVD-V VCD CD

GUI(Graphical User Interface)バーとは

「画面を見ながら操作できる」ことを意味し、本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUIバー」と呼びます。
再生中、情報を確認しながら内容を変更することにより、さまざまな操作ができます。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 再生中または停止中に、
画面表示を数回押し、操作したいGUIバーを出す
● 押すごとに右記のように切り換わります。

2 **◁▷で操作項目を選ぶ**

3 **△▽で設定する**
項目によっては、1～0や選択を押す
● 各項目の操作はP50～59をご覧ください。
● GUIバー以外でも行える項目の詳細は、それぞれのページをご覧ください。

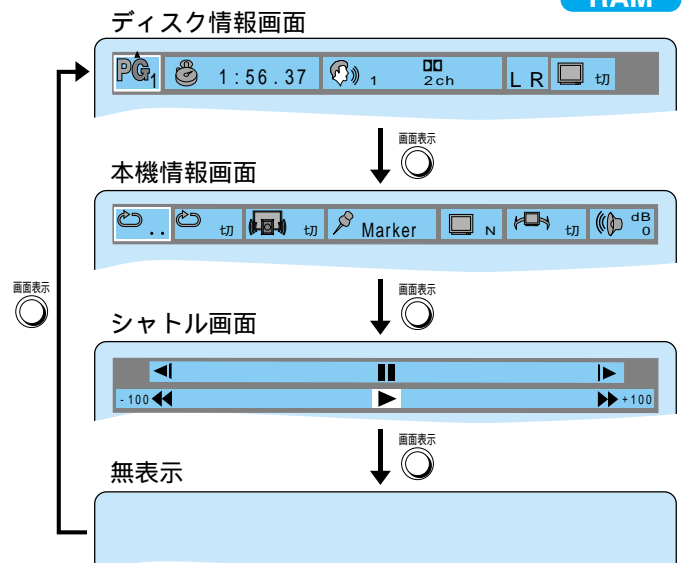
■GUIバーを消す

画面表示を数回押し、表示を消す。
または**リターン**を押す。

■ヒント

● 停止中に**画面表示**を押すと、再生が始まり、GUIバーが表示されます。
● **選択**を押すまで変更されない項目もあります。
● 自動画像ズーム機能付きテレビでその機能を働かせているときにDVD-VIDEOソフトを再生していると、GUIバーの一部が欠けたり、表示されなかったりすることがあります。また、周囲の色と同色系で見にくいときは、**初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[2GUIバーの色と位置]**の変更をしてください。(P117)

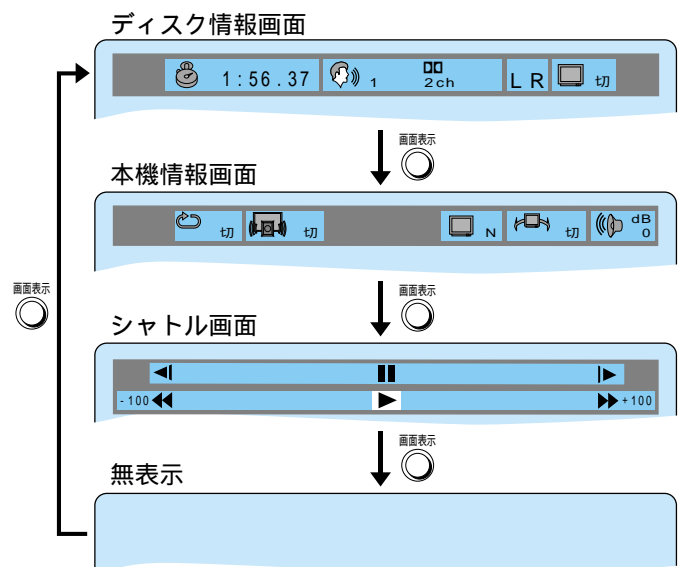
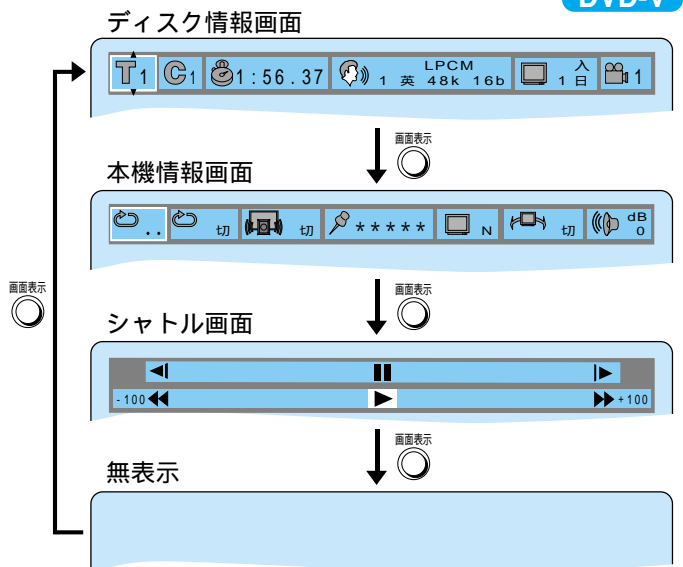
画面表示について

RAM

画面表示を押すごとに、上図のように切り換わります。

ディスク情報画面：番組(プログラム)の選択、再生時間の位置指定、音声の情報と左右切換、字幕の切/入の操作ができます。

本機の情報画面：A-Bリピート、リピート、シネマボイスモード、好みの場所にマーカーを付ける、画質・V.S.S.効果・マスターボリュームの調整ができます。

シャトル画面：早送り/早戻し、静止、スロー再生ができます。

● プレイリスト再生時は、プレイリストの選択、A-Bリピート、好みの場所にマーカーを付けることはできません。(下図参照)

DVD-V

画面表示を押すごとに、上図のように切り換わります。

ディスク情報画面　：タイトル/チャプターの選択、再生時間の位置指定、音声の情報切換、字幕の切/入、アングルの操作ができます。

本機の情報画面　：A-Bリピート、リピート、シネマボイスモード、好みの場所にマーカーを付ける、画質・V.S.S.効果・マスターボリュームの調整ができます。

シャトル画面　：早送り/早戻し、静止、スロー再生ができます。

CD

ディスク情報画面

3.37

本機情報画面

シャトル画面

-50　+50

無表示

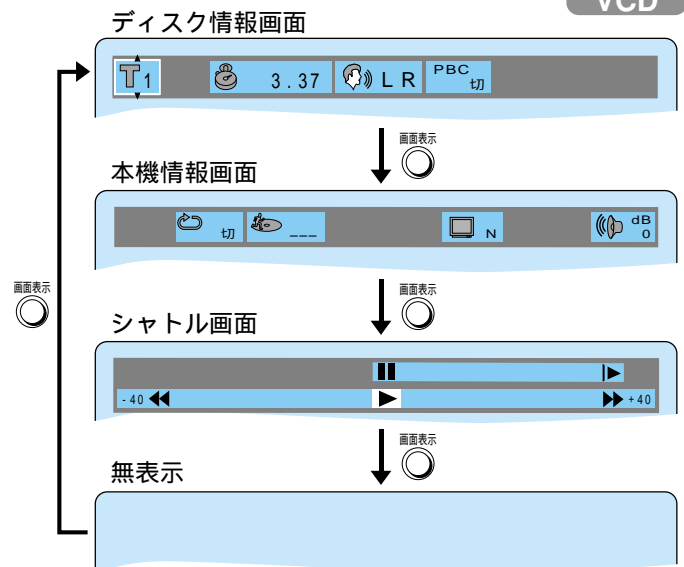
画面表示

画面表示を押すごとに、上図のように切り換わります。

ディスク情報画面　：トラックの選択、トラックの経過時間/トラックの残り時間/ディスクの残り時間表示の切換の操作ができます。

本機の情報画面　：リピート、マスターボリュームの調整ができます。

シャトル画面　：早送り/早戻し、一時停止ができます。

VCD

画面表示を押すごとに、上図のように切り換わります。

ディスク情報画面　：トラックの選択、トラックの経過時間/トラックの残り時間/ディスクの残り時間表示の切換、音声の左右切換の操作ができます。

本機の情報画面　：リピート、画質・マスターボリュームの調整ができます。

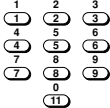
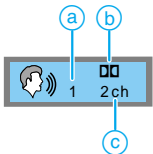
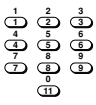
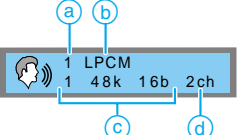
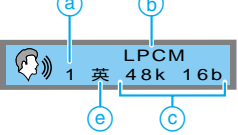
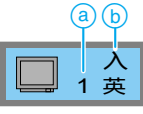
シャトル画面　：早送り/早戻し、静止、スロー再生(送り方向のみ)ができます。

■ヒント

- ◁▷で選ばれた項目が黄色の枠で表示されます。
- 枠にある ▲▼ は、△▽で変更できることを示しています。　例)

- GUIバーで行える操作項目には、他の独立したボタンで操作できるものと、GUIバーでしか操作できないものがあります。

GUIバー専用の操作

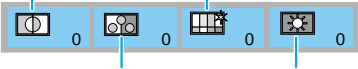
- セリフのみ音量を上げる(シネマボイスモード)
- 画質を調整する(U：ユーザー画質など)
- V.S.S.モード(スピーカー、ヘッドホン)を選ぶ
- マスターボリューム(本機の出力レベル)を調整する

絵表示を使って操作する(GUIバー)(つづき)

ディスク情報画面を見ながら操作する

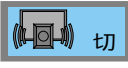
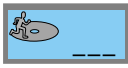
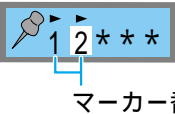
RAM

表示(操作項目)	選択または実行内容	操作方法
PG 1	**プログラム番号** (プレイリスト再生時は表示されません)	△▽で選んで、 **選択**を押す。
1:56.37	**再生時間の表示(プログラム経過時間)** 再生場所を時間で指定する	**1〜0**を押し、 **選択**を押す。 例)1時間2分30秒 **1→0→2→3→0**
ⓐ ⓑ 1 2ch ⓒ	**音声の情報** ⓐ **音声番号** ⓑ **音声信号タイプ** DDドルビーデジタル(AC-3)1ch〜5.1ch ⓒ **音声信号のチャンネル数**	△▽で選ぶ
L R	**音声モード** **LR**(左右)→**L**(左)→**R**(右)	△▽で選ぶ。
入	**字幕** 字幕 **切→入**	△▽で選ぶ。

● 選択数字が表示される項目は、**1〜0**でも選べます。

DVD-V VCD CD

表示(操作項目)	選択または実行内容	操作方法
T1	**タイトル番号**(DVD-VIDEOのみ) **トラック番号**(ビデオCD、CDのみ)	△▽で選んで、 選択を押す。
C1	**チャプター番号**(DVD-VIDEOのみ)	△▽で選んで、 選択を押す。
1:56.37	**再生時間の表示** 再生場所を時間で指定する(DVD-VIDEOのみ)	1〜0を押し、 選択を押す。 例)1時間2分30秒 1→0→2→3→0
	再生時間の表示モード 経過時間のみ(DVD-VIDEOのみ) トラック経過時間→トラック残り時間→ディスク残り時間 (メニュー再生「切」時のビデオCD、CDのみ)	△▽で選ぶ。
(例1) ⓐ ⓑ 1 LPCM 1 48k 16b 2ch ⓒ ⓓ **(例2)** ⓐ ⓑ LPCM 1 英 48k 16b ⓔ ⓒ	**音声の情報**(DVD-VIDEOのみ) ⓐ **音声番号** ⓑ **音声信号タイプ** LPCM(リニアPCM)2ch、リニアPCM DDドルビーデジタル(AC-3)1ch〜5.1ch Vocal(DVDカラオケ・ソロ時) ---(切) → **入** Vocal(DVDカラオケ・デュエット時) ---(切) → **V1+V2** (デュエット) → **V1**(ボーカル1)→ **V2**(ボーカル2) ⓒ **信号データ** 96k・48k/16b・20b・24b(kはkHz、bはbitを示す) ⓓ **音声信号のチャンネル数** ⓔ **音声言語記号** **日**:日本語 **伊**:イタリア語 **露**:ロシア語 **英**:英語 **西**:スペイン語 **韓**:韓国語 **仏**:フランス語 **蘭**:オランダ語 **＊**:その他 **独**:ドイツ語 **中**:中国語	△▽で選ぶ。
ⓐ ⓑ 入 1 英	**字幕**(DVD-VIDEOのみ) ⓐ 字幕言語番号 ⓑ 字幕 **切→入** (「**英**」などの言語記号については上記参照)	◁▷でⓐまたはⓑを選ぶ。 その後、△▽で選ぶ。
1	**アングル番号**(DVD-VIDEOのみ)(P59)	△▽で選ぶ。
L R	**音声モード**(ビデオCDのみ) **LR**(左右)→**L**(左)→**R**(右)	△▽で選ぶ。
PBC 切	**メニュー再生**(ビデオCDのみ) 入/切の状態表示	ここでは変更できません。

- 選択数字が表示される項目は、1〜0でも選べます。
- ディスクによっては操作できない機能もあります。

絵表示を使って操作する(GUIバー)(つづき)

本機情報画面を見ながら操作する

RAM

表示(操作項目)	選択または実行内容	操作方法
	A-Bリピート再生(P58) 始点(A)と終点(B) (プレイリスト再生時は表示されません)	始点と終点でそれぞれ選択を押す。 やめるには、再度押す。
切	**リピート再生モード**(P58) **PG**(プログラム) → **A**(ディスク全体)→ **切** プレイリスト再生時：**PL**(プレイリスト) → **切**	△▽で選ぶ。
切	**シネマボイスモード** (ドルビーデジタル2ch以上で、センターchに音声が録音されたときのみ) **入**(音声のみ音量を上げる)→ **切**(通常の音量)	△▽で選ぶ。
Marker	**マーカー** ● マーカーを付ける (P55) (最大999個まで) 1~10 1 2＊＊＊＊＊＊＊＊ マーカー番号(10番台) マーカー番号(下1ケタ) (プレイリスト再生時は表示されません)	選択を押した後、マーカーを付けたい場所で選択を押す。
	● マーカーを呼び出す/消す(P56～57) (プレイリスト再生時は表示されません)	△▽で何十番台のマーカーかを選んだ後、◁▷で下一ケタの番号を選んで、△に倒す。(呼出時)/ (取消し 10) 取消しを押す。(消去時)
N	**画質モード** **N**(ノーマル)→ **U** → **C** → **F** → **S** **U**(ユーザー)：以下の画面が出て、各種調整が行えます。 **コントラスト**(−7～+7) **シャープネス**(−1～+1) 0 0 0 0 **カラー**(−7～+7) **ブライトネス**(0～15) **C**(シネマ)：映画スクリーンのイメージにする。 **F**(ファイン)：輪郭を強調してくっきりした画質にする。 **S**(ソフト)：ノイズの少ない柔らかな画質にする。	△▽で選ぶ。(▽に倒すと**N**→**S**→**F**→**C**→**U**) **U**(ユーザー)のとき選択を押し、◁▷で調整項目を選び、△▽でレベルを選ぶ。 調整が終わったら、選択を押す。
切	**V.S.S.モード**(P92) (ドルビーデジタル2ch以上で録音されたときのみ) (スピーカー)→ (ヘッドホン) それぞれでV.S.S.の強さを選びます。 **1**(標準)→ **2**(強)→ **切**	△▽でモード(スピーカーかヘッドホン)を選んだ後、▷に倒し、△▽で強さを選ぶ。
dB 0	**マスターボリューム** 0dB(最大)～−60dB(最小)、−∞(消音) DVD-RAM、DVD-VIDEO、ビデオCD、CDそれぞれで設定できます。	△▽で選ぶ。

● シネマボイスモードはセンターchの音量を上げるもので、他のチャンネルのセリフには効果がありません。
● 画質モードは、テレビをコンポーネント映像出力端子またはD2映像出力端子と接続し、**初期設定**[2**オプション設定2**]→[3**コンポーネント映像出力選択**]→[1**オート**]または[2**525P**]にしているときは効果がありません。

DVD-V VCD CD

表示(操作項目)	選択または実行内容	操作方法
	A-Bリピート再生(DVD-VIDEOのみ)(P58) 始点(A)と終点(B)	始点と終点でそれぞれ**選択**を押す。 やめるには、再度押す。
切	**リピート再生モード**(P58) DVD-VIDEO ：**C**(チャプター) → **T**(タイトル)→ **切** ビデオCD ：**T**(トラック) → **A**(ディスク全体)→ **切** CD ：**T**(トラック) → **A**(ディスク全体)→ **切**	△▽で選ぶ。
切	**シネマボイスモード** (ドルビーデジタル2ch以上で、センターchに音声が収録されたDVD-VIDEOのみ) **入**(セリフのみ音量を上げる)→ **切**(通常の音量)	△▽で選ぶ。
---	**再生モード**(ビデオCD、CDのみ) ---(通常再生)→ **PRG**(プログラム再生)→ **RND**(ランダム再生)	ここでは変更できません。
*****	**マーカー**(DVD-VIDEOのみ) ● マーカーを付ける(P56) (最大5個まで) 1 2*** マーカー番号	**選択**を押した後、マーカーを付けたい場所で**選択**を押す。
	● マーカーを呼び出す/消す(P57)	◁▷で番号を選んで、△に倒す。(呼出時)/ (取消し 10) **取消し**を押す。(消去時)
N	**画質モード**(DVD-VIDEO、ビデオCDのみ) **N**(ノーマル)→ **U** → **C** → **F** → **S** **U**(ユーザー)：以下の画面が出て各種調整が行えます。 **コントラスト**(－7～＋7) **シャープネス**(－1～＋1) 0 0 0 0 **カラー**(－7～＋7) **ブライトネス**(0～15) **C**(シネマ)：映画スクリーンのイメージにする。 **F**(ファイン)：輪郭を強調してくっきりした画質にする。 **S**(ソフト)：ノイズの少ない柔らかな画質にする。	△▽で選ぶ。(▽に倒すと**N**→**S**→**F**→**C**→**U**) **U**(ユーザー)のとき**選択**を押し、 ◁▷で調整項目を選び、 △▽でレベルを選ぶ。 調整が終わったら、**選択**を押す。
切	**V.S.S.モード**(P92) (ドルビーデジタル2ch以上で収録されたDVD-VIDEOのみ) (スピーカー)→ (ヘッドホン) それぞれでV.S.S.の強さを選びます。 **1**(標準)→ **2**(強)→ **切**	△▽でモード(スピーカーかヘッドホン)を選んだ後、▷に倒し、 △▽で強さを選ぶ。
dB 0	**マスターボリューム** 0dB(最大)～－60dB(最小)、－∞(消音) DVD-RAM、DVD-VIDEO、ビデオCD、CDそれぞれで設定できます。	△▽で選ぶ。

再生

● シネマボイスモードはセンターchの音量を上げるもので、他のチャンネルのセリフには効果がありません。
● 画質モードは、テレビをコンポーネント映像出力端子またはD2映像出力端子と接続し、**初期設定[2オプション設定2]→[3コンポーネント映像出力選択]→[1オート]**または**[2525P]**にしているときは効果がありません。

絵表示を使って操作する(GUIバー)(つづき)

シャトル画面を見ながら操作する

RAM DVD-V

表示(操作項目)	操作方法
	選択 ◁△▽▷で操作項目を選ぶ **スロー再生** 選択 ◁▷で速度を選ぶ (2段階) **逆スロー再生** 選択 ◁▷で速度を選ぶ (2段階) **早送り/早戻し再生** 選択 ◁▷で速度を選ぶ (4段階：最大100倍速)

VCD

表示(操作項目)	操作方法
	選択 ◁△▽▷で操作項目を選ぶ **スロー再生** 選択 ◁▷で速度を選ぶ (2段階) **逆スロー再生** できません。 **早送り/早戻し再生** 選択 ◁▷で速度を選ぶ (4段階：最大40倍速)

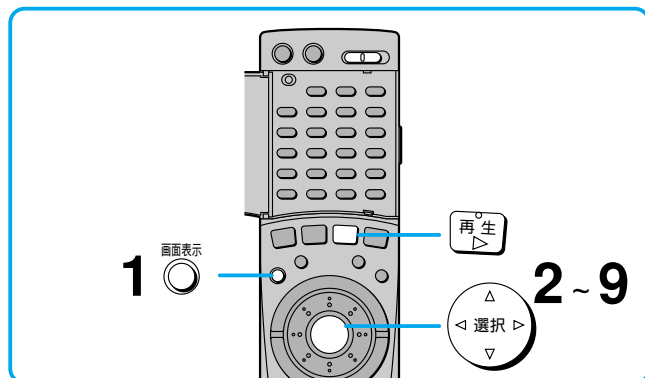
CD

表示(操作項目)	操作方法
再生の一時停止 △に倒す -50 +50 早戻し再生 ◁に倒す 再生 ▽に倒す 早送り再生 ▷に倒す	選択 ◁△▽▷で操作項目を選ぶ **スロー再生** できません。 **逆スロー再生** できません。 **早送り/早戻し再生** 選択 ◁▷で速度を選ぶ (4段階：最大50倍速)

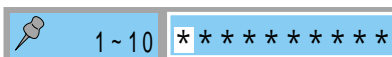
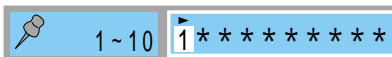
好みの位置を記憶させる
(マーカー)

RAM

再び見たい位置にマーカーを付けておくと、後でそこから再生することができます。
マーカーは最大999個まで付けることができます。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー表示(本機情報画面)を出す

2 **◁▷で「Marker」を選んで、選択を押す**

3 **選択を押す**

● 最初の[*]が選ばれます。[*]は未使用のマーカーを示しています。

4 **記憶させたい位置で、選択を押す**

● [*]が数字に変わります。1から順番に記憶します。

5 次に記憶させたい位置があるときは、
▷で右の[*]を選んでおく

1~10 1*********

6 **記憶させたい位置で、選択を押す**

1~10 12********

● [*]が数字に変わります。2に記憶されます。

7 記憶させたい位置が11以上あるときは、
◁で「1~10」を選んだ後、△▽で「11~20」にする

8 **▷に倒して、選択を押す**

11~20 **********

9 **記憶させたい位置で、選択を押す**

● [*]が数字に変わります。11から順番に記憶します。
● 同様の方法で最大999個マーカーを付けることができます。
● 10番台の番号の変わりかたは、「1~10」、「11~20」、「21~30」…「981~990」、「991~999」となります。

■ヒント

● カートリッジのライトプロテクトタブが「PROTECT」側になっていたり、プログラムナビでディスク全体にプロテクトがかかっているとき(P83)は、マーカーを付けることはできません。
● 自動CMスキップ/早送り再生(P47)をすると、その番組のCMの始まりと終わりの部分で最大98個(スキップマーカーイン・アウト1組で最大49組)のマーカーが使われます。このときは999個のマーカーを使うことはできません。
● プレイリスト再生中は操作できません。
● マーカーを付けた位置によっては、字幕が表示されないことがあります。

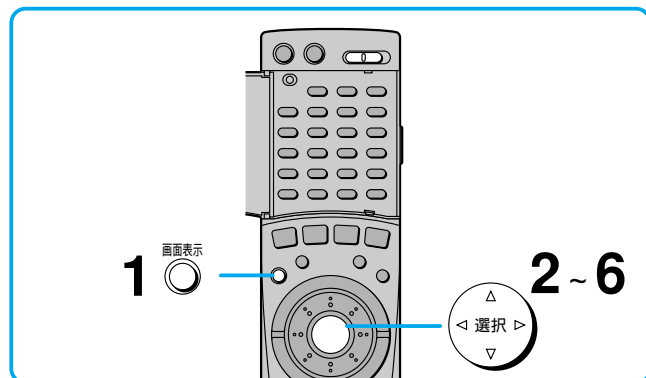
再生

絵表示を使って操作する(GUIバー)(つづき)

好みの位置を記憶させる (マーカー)(つづき)

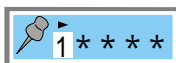
DVD-V

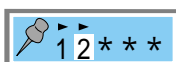
再び見たい位置にマーカーを付けておくと、後でそこから再生することができます。マーカーは最大5個まで付けることができます。

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー表示(本機情報画面)を出す

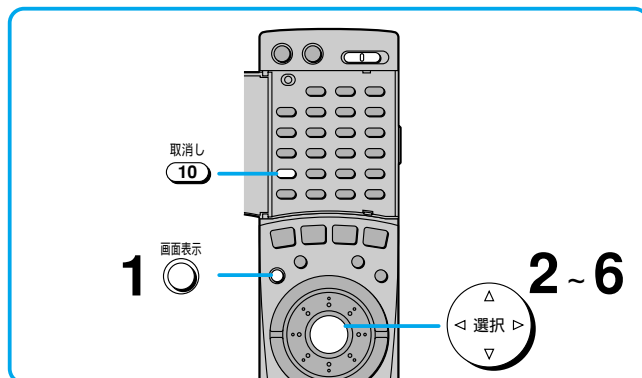
2 **◁▷で「 ＊＊＊＊＊」を選ぶ**

3 **選択を押す**
- 最初の[＊]が選ばれます。
  [＊]は未使用のマーカーを示しています。

4 **記憶させたい位置で、選択を押す**
- [＊]が数字に変わります。

5 次に記憶させたい位置があるときは、
▷で右の[＊]を選んでおく

6 **記憶させたい位置で、選択を押す**
- [＊]が数字に変わります。**2**に記憶されます。
- 同様の方法で最大5個のマーカーを付けることができます。

マーカーした位置から再生する (マーカー)

RAM

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー表示(本機情報画面)を出す

2 **◁▷で「Marker」を選んで、選択を押す**

3 **◁に倒した後、△▽で呼び出したいマーカー番号の10番台を選ぶ**

11～20を選んだ例。

- △を押すごとに、10番台の数字が繰り上がっていきます。(▽を押すごとに下がります)
  例)1～10、11～20、21～30…

4 **▷に倒し、選択を押す**

5 **◁▷で下一ケタの番号を選ぶ**

13を選んだ例。

6 **△に倒す**
- マーカー番号**13**に記憶されている位置までとんで、そこから再生を始めます。

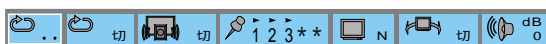
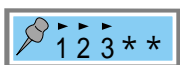
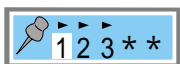
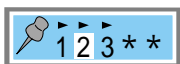
■ヒント
マーカー位置は、プログラム順かつ経過時間順にソート(並べ替え)されます。マーカーの追加や取り消しをすると、記憶した番号と呼び出し時に選んだ番号が一致しないことがあります。

■マーカーを取り消す

1. 左記手順1～5を行う。
2. 取り消したいマーカー番号を選んだら、**取消し**を押す。

● マーカーが取り消され、すべてのマーカーがプログラム順かつ経過時間順にソート(並べ替え)されます。

DVD-V

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー表示(本機情報画面)を出す

2 **◁▷で「 1 2 3＊＊」(例)を選ぶ**

3 **選択を押す**

4 **◁▷で呼び出したいマーカー番号を選ぶ**
2を選んだ例。

5 **△に倒す**
● マーカー番号2に記憶されている位置までとんで、そこから再生を始めます。

■ヒント

● 一部のDVD-VIDEOではマーカーを付けることはできません。
● マーカーを付けた位置によっては、字幕が表示されないことがあります。
● 再生中に**停止**を2回押してテレビ放送を受信したり、ディスクを取り出すと、マーカーは消去されます。

■マーカーを取り消す

1. 上記手順1～4を行う。
2. 消したいマーカー番号を選んだら、**取消し**を押す。

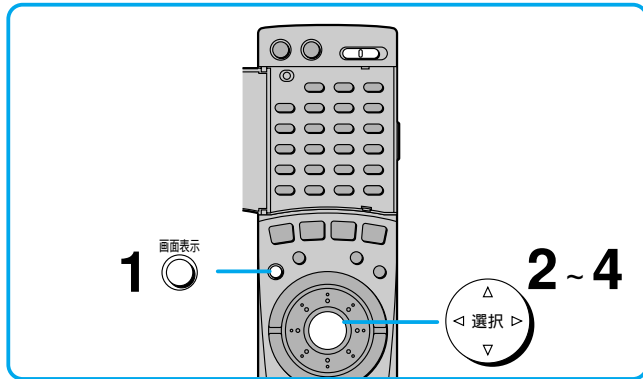
● 記憶していたマーカー番号が[＊]になります。

再生

絵表示を使って操作する(GUIバー)(つづき)

指定した2点間を繰り返す
(A-Bリピート)

RAM　DVD-V

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー(本機情報画面)を出す
DVD-VIDEOの例

2 **◁▷で「A-Bリピート」を選ぶ**

3 **選択を押し、A-Bリピート開始位置(A)を指定する**

4 **選択を押し、A-Bリピート終了位置(B)を指定する**

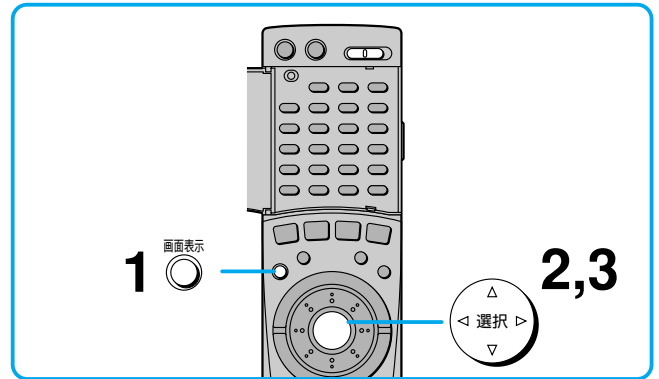
● A－B間の繰り返し再生が始まります。

■A-Bリピートをやめる
「A-Bリピート」を選んで、**選択**を押す。

■ヒント
- 一部のDVD-VIDEOでは働きません。
- A-Bリピートは、同一プログラム内(DVD-RAM)または同一タイトル内(DVD-VIDEO)でのみ可能です。
- 終了位置(B)を指定する前に、プログラム(タイトル)が終了した場合は、プログラム(タイトル)の終了点がB点となります。
- 字幕が出るディスクの場合、A-B間の前後の字幕は表示されない場合があります。
- DVD-RAMのプレイリスト再生中は操作できません。

ディスク全体、プログラム、タイトル、チャプター/トラックを繰り返す

RAM　DVD-V　VCD　CD

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー(本機情報画面)を出す
DVD-VIDEOの例

2 **◁▷で「リピート」を選ぶ**

3 **△▽でリピート再生モードを選ぶ**

C(チャプター)を選んだ例

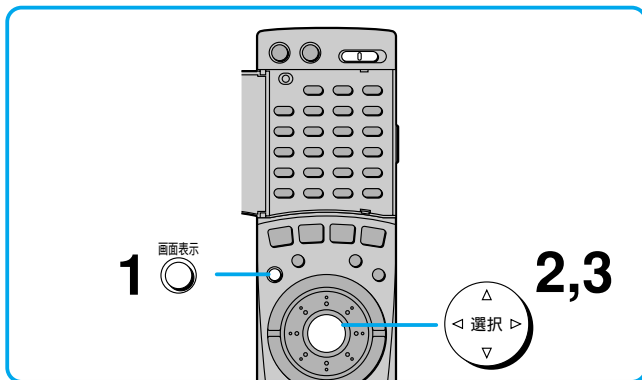
- **DVD-RAM**
  押すごとに、**PG**(プログラム)→ **A**(オール＝ディスク全体)→ **切** と換わります。
  プレイリスト再生時は、**PL**(プレイリスト) → **切** と換わります。
- **DVD-VIDEO**
  押すごとに、**C**(チャプター)→ **T**(タイトル)→ **切** と換わります。
- **ビデオCD、CD**
  押すごとに、**T**(トラック)→ **A**(オール＝ディスク全体)→ **切** と換わります。

■リピート再生をやめる
「リピート」を選んで、△▽で[切]を選ぶ。

■ヒント
- 一部のDVD-VIDEOではできないことがあります。また、プレイバックコントロール付ビデオCDのメニュー再生中は働きません。
- タイトルが2つ以上あるDVD-VIDEOでは、ディスク全体を繰り返すことはできません。

プログラムした順番に繰り返す(プログラムリピート)

VCD CD

準備
- DVD/テレビを[DVD]にする。
- プログラム再生をする。プログラムのしかたはP46をお読みください。

1 プログラム再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー(本機情報画面)を出す
ビデオCDの例

2 **◁▷で「リピート」を選ぶ**

3 **△▽でリピート再生モードを選ぶ**

A(オール)を選んだ例

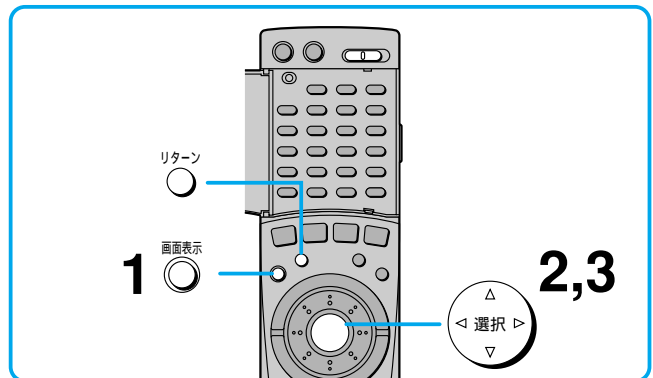
- 押すごとに、T(再生中のトラックのみ繰り返し)→A(オール＝プログラムしたトラック全体の繰り返し)→ 切 と換わります。

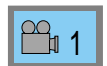
■プログラムリピート再生をやめる
「リピート」を選んで、△▽で[切]を選ぶ。

アングルを切り換える

DVD-V

マルチアングルが収録されているディスクでは、1つの場面を角度や視点などを変えて見ることができます。

準備
- DVD/テレビを[DVD]にする。

1 マルチアングルの場面を再生中に、
画面表示を押し、GUIバー(ディスク情報画面)を出す

2 **◁▷で「アングル」を選ぶ**

3 **△▽で好みのアングル画面に変える**
アングル2を選んだ例

■GUIバーを消す
画面表示を3回押す、またはリターンを押す。

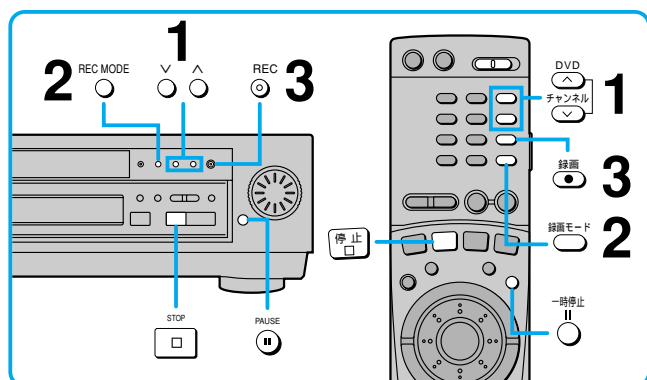
■ヒント
- マルチアングル機能は、それが収録されている場面でのみ働きます。
- マルチアングルの場面になると、本体表示窓では 🎥 が表示されます。
- マルチアングルの場面にならなくても、あらかじめ設定できるディスクもあります。この場合、その場面になった時点で指定したアングルになります。(ディスクの説明書もご覧ください)

再生

テレビ番組を録画する

録画のしかた

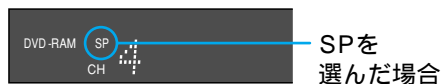
RAM

準備
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- 録画可能なDVD-RAMディスクを入れる。
  1. 録画可能な残量があること。
  2. ライトプロテクトタブが「PROTECT」側になっていないこと。(P13)
  3. プログラムナビでディスクがプロテクトされていないこと。(P83)

1 【リモコン】**DVDチャンネル**を押し、【本　　体】**∨∧**を押し、録画したいチャンネルを選ぶ

4チャンネルを選んだ場合

2 【リモコン】**録画モード**を押し、【本　　体】**REC MODE**を押し、録画時間を選ぶ

- **XP**：高画質記録モードです。4.7GB(ギガバイト)未使用ディスクに約1時間の録画ができます。SPよりも高画質な映像を再現します。
- **SP**：標準記録モードです。4.7GB未使用ディスクに約2時間の録画ができます。LPよりも高画質な映像を再現します。
- **LP**：長時間記録モードです。4.7GB未使用ディスクに約4時間の録画ができます。

SPを選んだ場合

3 【リモコン】**録画**を押す【本　　体】**REC**を押す

- 録画が始まります。
- 本体の**REC**のランプが点灯します。
- ディスクの空きスペースに録画されます。

録画をやめる

【リモコン】**停止**を押す。
【本　　体】**STOP**を押す。

不要な場面をとばす

不要な場面になったら、
【リモコン】**一時停止**を押す。
【本　　体】**PAUSE**を押す。

- 録画の一時停止になります。
- もう一度、**一時停止**(**PAUSE**)または**録画**(**REC**)を押すと、録画が再開されます。

■ヒント

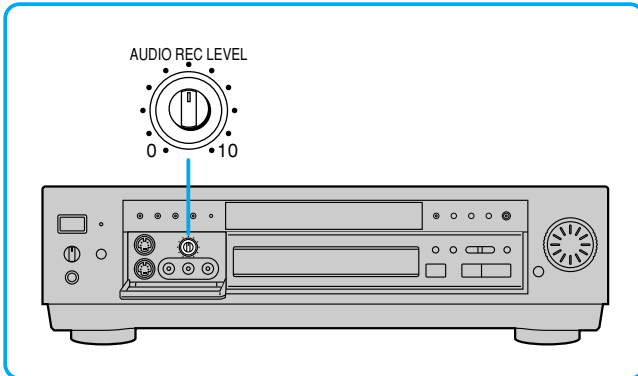
- 録画中は、チャンネルや録画モードの変更はできません。録画の一時停止中は変更できますが、別番組(プログラム)として録画されます。
- 1枚のディスクにつき、最大99番組を録画できます。
- ディスクがいっぱい(残量が0：00)のときに録画しようとすると、「消去リスト」画面が現れます。不要な番組(プログラム)を消すか、新しいディスクをお使いください。(P66)
- 本機のカウンター表示はノンドロップフレーム方式に対応しているため、実際の録画時間よりも若干少なく表示されることがありますが、実際の録画には影響ありません。

■お願い

- 大切な録画の場合は、お使いになるディスクが正常に録画できるものか確認しておいてください。
  - ・本機に合ったフォーマットか
  - ・プロテクトがかかっていないか…など

録音レベルを調整する

RAM

お好みに合わせて録音レベルを調整することができます。

AUDIO REC LEVELを回して調整する

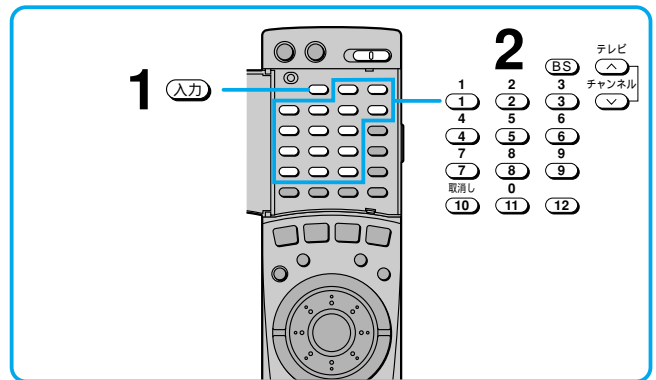
● 通常はセンターの位置(クリック点)に合わせておいてください。

■ヒント

● 録音レベルが大きすぎると音声がひずみます。
音量レベルメーターが振り切れないようにしてください。
● 最大で－10～－5 dB程度が適切な値です。

録画中に裏番組を見る

下記の方法でテレビ画面を出してください。録画に影響はありません。

準備 ● DVD/テレビを[テレビ]にする。

1 入力を押し、テレビの入力を「テレビ」に切り換える

2 1～12またはテレビチャンネルなどで、見たいチャンネルを選ぶ

■ヒント

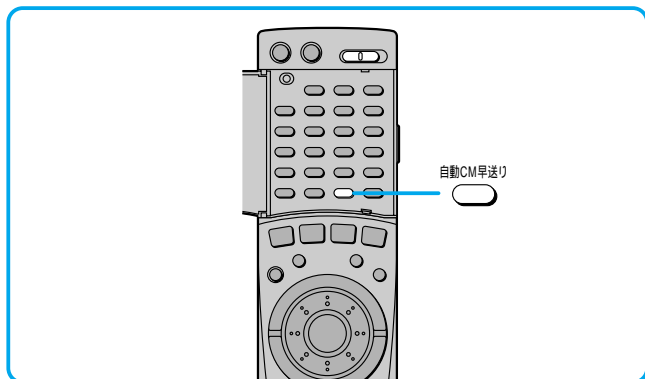
予約録画中も上記の手順でテレビ番組を見ることができます。

CMをとばして録画する(CMカット録画)

RAM

CMを自動的にとばして録画することができます。

- 番組の放送状態によっては、正しく働かない場合があります。(下記ヒント参照)

準備
- DVD/テレビを[DVD]にする。

録画中に、

自動CM早送りを押し、[✂]マークを出す

- 本体表示窓に[✂]マークが出ます。
- CM中に自動CM早送りを押したときは、そのCMの間は正しく働きません。

■解除するには

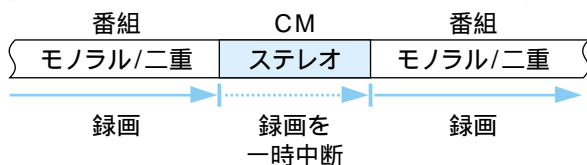
自動CM早送りを押す。

- 本体表示窓の[✂]マークが消えます。
- 本機の電源を切ったとき、録画の一時停止中にチャンネルを切り換えたとき、入力切換したときは自動的に解除されます。

■予約録画時に働かせたいとき

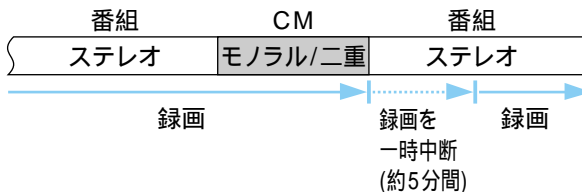
「CMカット予約」(P75)

■ヒント

- CMカット録画中はテレビ画面の表示は[録画▶]のままで、カウンターだけが止まります。
- CMカット録画が働く時間は最大5分間までです。CMが5分を超えて続く場合は、5分経過した時点で終わっていなくても録画が再開されます。
- 番組が「モノラル放送」または「二重放送(2カ国語放送など)」で、CMが「ステレオ放送」のときに、正しく働きます。
  (CMの前後が、少し切れた状態で録画されます)

- 次のようなときは、正しく働きません。
  1. 番組が「ステレオ放送」のとき。

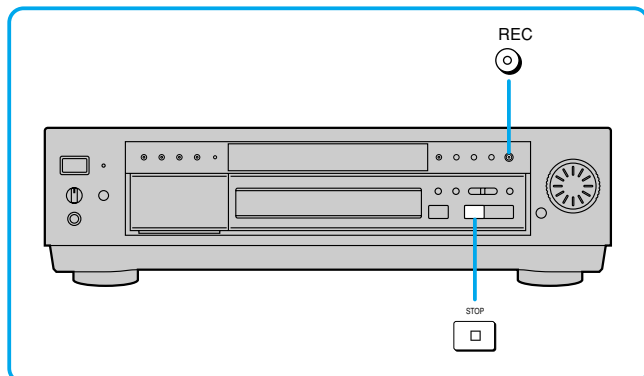
番組	CM	番組
ステレオ	ステレオ	ステレオ

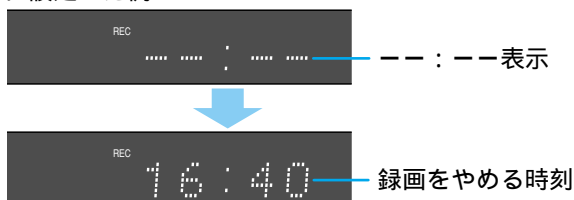
録画

  2. CMが「モノラル放送」または「二重放送」のとき。

  3. CM以外でも、音声が「モノラル放送」や「二重放送」から「ステレオ放送」に切り換わったとき。
  4. 外部入力チャンネルを録画するとき。

終了時刻を予約して録画する
(終了時刻予約録画)

RAM

予約した終了時刻になると、本機が自動的に録画をやめ、電源を切ります。
- 急なお出かけの際や、おやすみになる前などに、簡単な予約録画としてお使いください。

録画中に、
RECを数回押す
- 1回押すと、本体表示窓に－－：－－が表示されます。
- 続けて押すごとに、30分単位で録画終了時刻が変更されます。
- 最大2時間先まで予約できます。

現在時刻が16時10分で、録画終了時刻を30分後に設定した例

■解除するには
録画中に、RECを数回押し、本体表示窓に－－：－－を表示させる。
- 終了時刻予約は解除されますが、録画は続けられます。

または、STOPを押す。
- 終了時刻予約も録画も解除されます。

■ヒント
- リモコンの録画では、終了時刻予約はできません。
- 予約録画中は働きません。

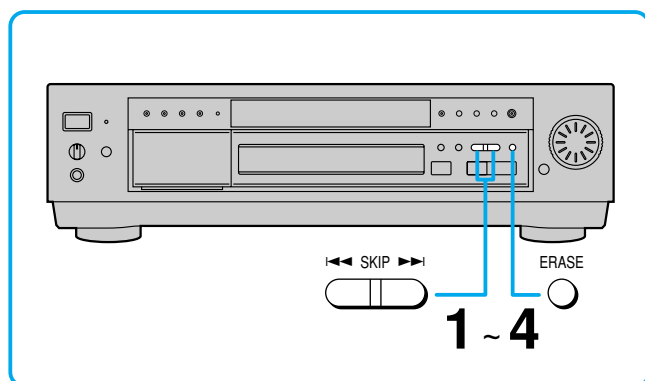
録画した番組を消去する(本体消去)

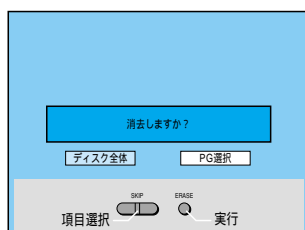
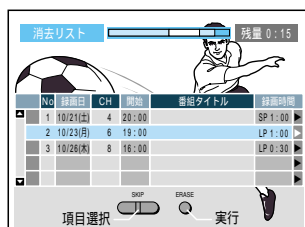
録画した番組を1番組ずつ、またはディスク全体を一度に消去することができます。

1番組ずつ消去する

RAM

1番組ずつ消去することができます。
※この操作をすると選んだ番組は消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確認してから行ってください。

準備
● 消去したい録画済ディスクを入れる。

1 **ERASEを押す**
● 消去画面が表示されます。

2 **▶▶|で[PG選択]を選び、ERASEを押す**

3 **|◀◀ ▶▶|で消去したい番組を選び、ERASEを押す**

4 **|◀◀で[はい]を選び、ERASEを押す**
● この番組から作成されたプレイリストも消去されます。

■途中でやめる
手順4で[いいえ]を選ぶ。
● 手順4で[はい]を選び、ERASEを押した後は、途中でやめることはできません。

■リモコンを使って番組を消去する
プログラムナビを使います。詳しくは、P81をお読みください。

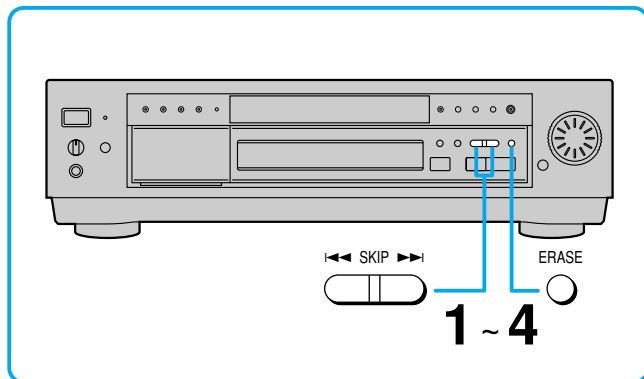
■ヒント
● ライトプロテクトタブが「PROTECT」側になっているときは消去できません。(P13)
● プログラムナビでプロテクトが設定されている番組は消去できません。(P80,83)

すべての番組を一度に消去する

RAM

ディスクに記録されたすべての番組を一度に消去することができます。

※この操作をすると番組はすべて消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確認してから行ってください。

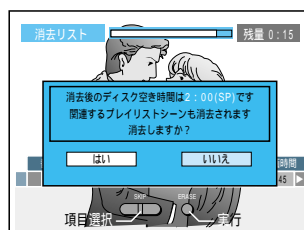
準備 ● 消去したい録画済ディスクを入れる。

1 ERASEを押す

● 消去画面が表示されます。

2 ⏮で[ディスク全体]を選び、ERASEを押す

3 ERASEを押す

4 ⏮で[はい]を選び、ERASEを押す

● 各番組から作成されたプレイリストもすべて消去されます。

■途中でやめるには

手順4で[いいえ]を選ぶ。

● 手順4で[はい]を選び、ERASEを押した後は、途中でやめることはできません。

■リモコンを使ってすべての番組を消去する

プログラムナビを使います。詳しくは、P83をお読みください。

■ヒント

● ライトプロテクトタブが「PROTECT」側になっているときは消去できません。(P13)

● プログラムナビでプロテクトが設定されている番組があるときは消去できません。(P80)

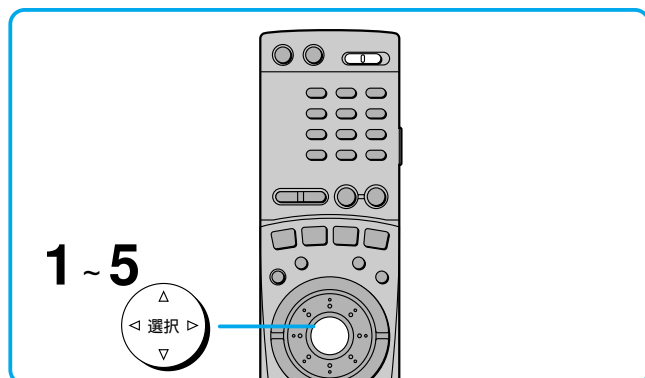
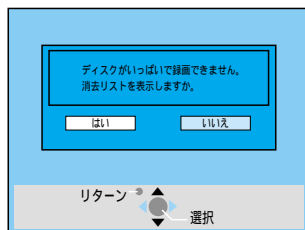
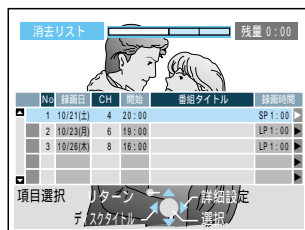
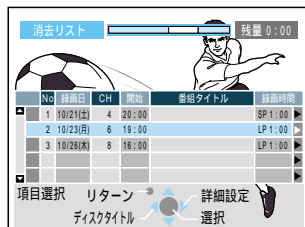
● プログラムナビでディスク全体にプロテクトが設定されているときは、消去できません。(P83)

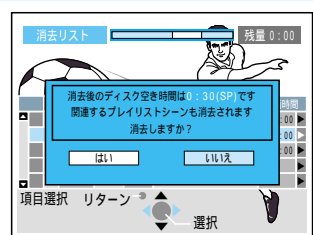
消去リストから消去する

ディスクがいっぱい(残量が0：00)になっていると、録画を押して録画しようとしてもできません。
代わりに、以前に録画した中で、不要な番組またはディスク全体を消してよいかどうか確認するための「消去リスト」が表示されます。

1番組ずつ消去する

RAM

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 **録画を押すと、下図のような画面が表示されたら、◁で[はい]を選び、選択を押す**

● 消去リストが表示されます。

2 **△▽で消去してもよい番組を選び、選択を押す**

3 **◁で[はい]を選び、選択を押す**

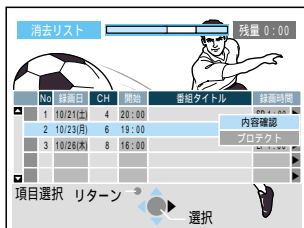
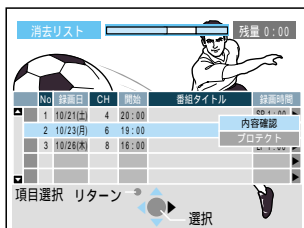
● この番組から作成されたプレイリストも消去されます。

■途中でやめる

手順3で[いいえ]を選ぶ。

■ヒント

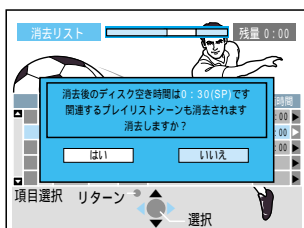
● 消去してもよい番組が見あたらない場合は、別のディスクをお使いください。

消去する前に番組内容を確認する

1 △▽で消去してもよい番組を選び、▷に倒す

2 △▽で[内容確認]を選び、**選択**を押す

- タイトル名を付けたときは、そのタイトル名、プログラム番号、録画日、CH(チャンネル)、開始時刻、録画時間が表示されます。

3 **選択**を押し、消去リスト画面に戻した後、もう一度**選択**を押す

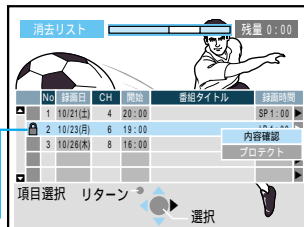
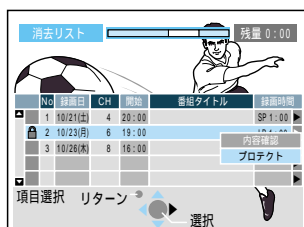
4 ◁で[はい]を選び、**選択**を押す

- この番組から作成されたプレイリストも消去されます。

■途中でやめる

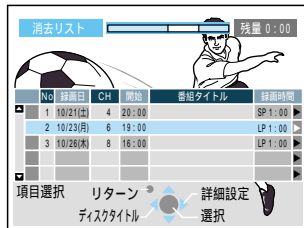
手順4で[いいえ]を選ぶ。

番組にプロテクト(書き込み禁止)がかかっているとき

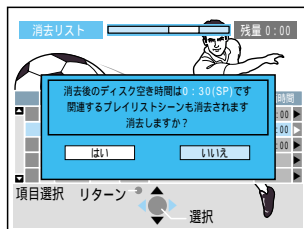
番組に、プログラムナビでプロテクトが設定されていると、そのままでは消去できません。
消去するときは、プロテクト設定を解除してください。

1 △▽で消去したいプロテクトがかかっている番組を選び、▷に倒す

2 ▽で[プロテクト]を選び、**選択**を押す

3 ◁で[プロテクト解除]を選び、**選択**を押す

- 鍵マークが消えます。

4 **選択**を押す

5 ◁で[はい]を選び、**選択**を押す

- この番組から作成されたプレイリストも消去されます。

■途中でやめる

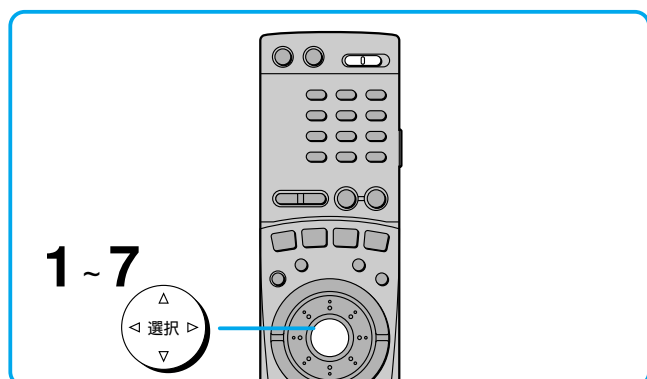
手順5で[いいえ]を選ぶ。

■プロテクト設定のしかた

P80をお読みください。

消去リストから消去する(つづき)

すべての番組を一度に消去する

RAM

1 **録画を押すと、下図のような画面が表示されたら、◁で[はい]を選び、選択を押す**

● 消去リストが表示されます。

2 **◁に倒す**

3 **選択を押す**

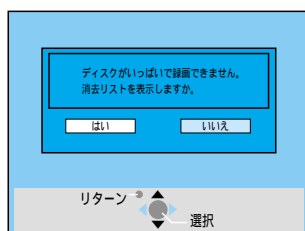
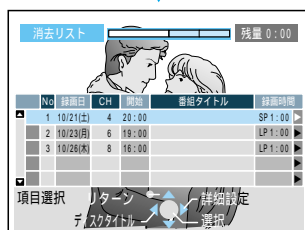
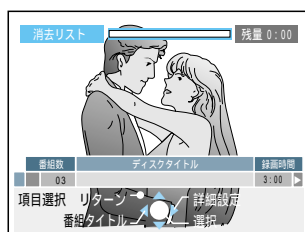
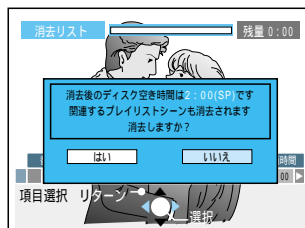
4 **◁で[はい]を選び、選択を押す**

● 各番組から作成されたプレイリストも消去されます。

■途中でやめる

手順4で[いいえ]を選ぶ。

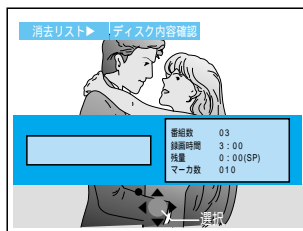
■ヒント

消去したくないディスクの場合は、別のディスクをお使いください。

消去する前にディスク内容を確認する

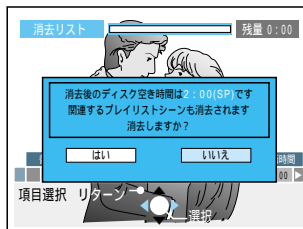
● 左ページ手順1～2を行った後、操作してください。

3 ▷に倒す

4 △▽で[内容確認]を選び、**選択**を押す

● ディスクタイトル名を付けたときは、そのタイトル名、番組数、総録画時間、残量、マーカーを付けた数が表示されます。

5 **選択**を押し、消去リスト画面に戻した後、もう一度**選択**を押す

6 ◁で[はい]を選び、**選択**を押す

● 各番組から作成されたプレイリストも消去されます。

■途中でやめる
手順6で[いいえ]を選ぶ。

■ヒント
消去したくないディスクの場合は、別のディスクをお使いください。

ディスクにプロテクト(書き込み禁止)がかかっているとき

ディスクに、プログラムナビでプロテクトが設定されていると、そのままでは消去できません。
消去するときは、まずプロテクト設定を解除してください。(P83)

● プロテクト設定を解除した後、左ページ手順1～4を行ってください。

Gコードを使って予約する(Gコード予約)

予約したい番組のGコードをリモコンに入力し、本機に転送するだけで簡単に予約できます。最大8番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は1番組として数えます)

■Gコードとは
新聞などのテレビ番組欄で、各番組に付けられている数字のことです。(最大8ケタ)

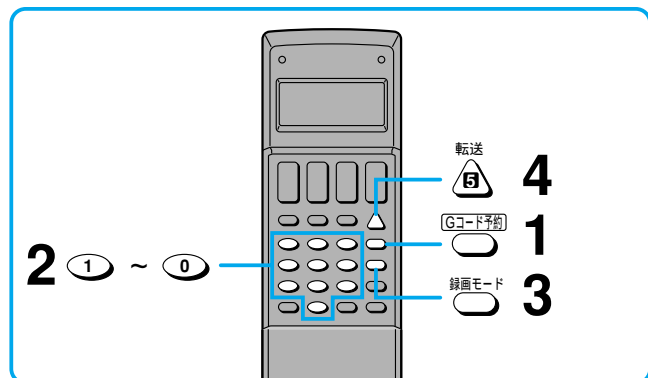
■Gコード予約を正しく行うには
ガイドチャンネルを正しく設定しておいてください。(P33)

Gコード

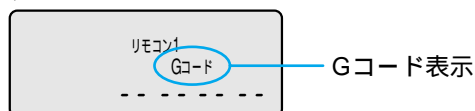
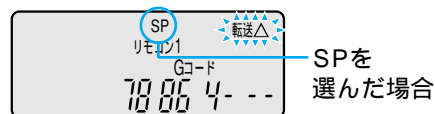
Gコードシステムとは、ジェムスター社が開発した簡単予約録画システムです。

Gコード予約のしかた

RAM

準備
- DVD/テレビを[DVD]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確認する。
- 録画可能なディスクを入れる。
(予約録画する時間よりも残量に余裕のあるディスクを入れてください)

1 Gコード予約を押し、[Gコード]表示を出す

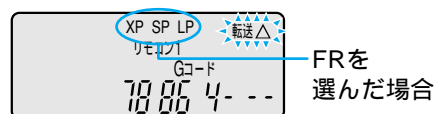
リモコン1
Gコード
-- -- -- --

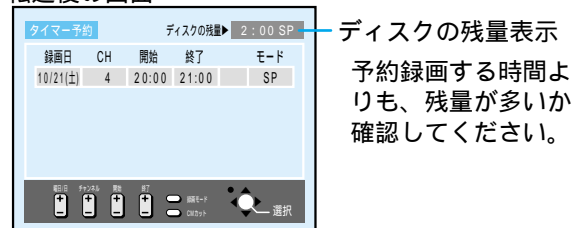
Gコード表示

2 1〜0でGコードを入力する
- 「転送△」が点滅します。
- 間違えたときは、Gコード予約を2回押し、正しいGコードを入力し直してください。

転送△ 点滅
リモコン1
Gコード
78 86 4-
Gコード

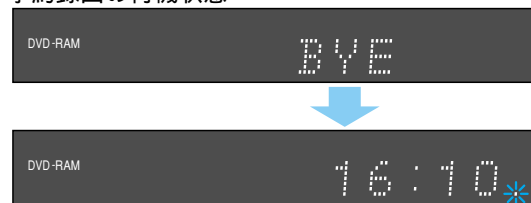
3 録画モードを数回押し、[XP]、[SP]、[LP]、[XP SP LP](FRモード)のいずれかを選ぶ

SPを選んだ場合

FR(フレキシブル・レコーディング)モードについて
- 予約録画時のみ働きます。
- [FR]で予約すると、本機が番組の録画時間をもとに、ディスクの残り容量に収まるよう、自動的に[XP]から[LP]の範囲内で最適な画質を選んで録画します。
- ディスクの残量によっては予約した番組を最後まで録画できない場合があります。

FRを選んだ場合

4 転送を押す
- テレビ画面に予約内容が表示されます。さらに、その約14秒後に予約録画の待機状態になります。
- 本体のTIMER RECのランプが点灯します。

転送後の画面

ディスクの残量表示
●予約録画する時間よりも、残量が多いか確認してください。

予約録画の待機状態

■放送開始が遅れたり番組が延長されたとき
Gコード予約では、放送開始・終了の予定時刻に合わせて予約しますので、このようなときは、その番組の最初から最後までを録画することはできません。

■複数のチャンネルポジションに同じガイドチャンネルが設定されているとき
正しく予約できません。不要なチャンネルを削除してください。(P36)

■転送後、テレビ画面に「入力内容にミスがあります」と表示されたとき
もう一度最初から予約し直してください。

■転送後、本体表示窓に[FULL]と表示されたとき
すでに8番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(P76)

■WOWOWの番組を予約するとき
BSデコーダーの電源を入れておいてください。

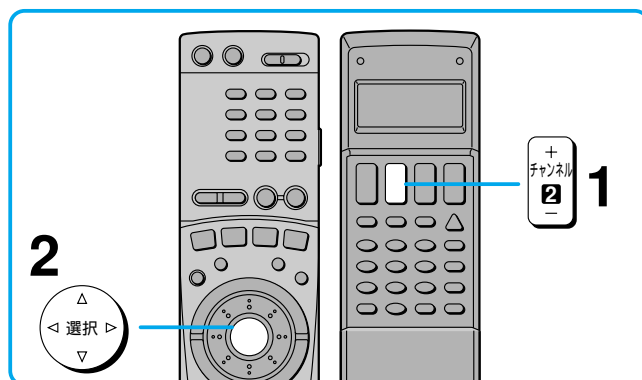
■2つ以上の予約をするとき
手順1～4を繰り返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

■ヒント
- 時刻は24時間表示です。
- Gコード予約した番組は、実際の放送よりも多少長めに録画される場合があります。
- 転送後は、「ディスクの残量」も画面に表示されます。転送された録画モードで計算されます。
- DVD-RAM以外のディスクを入れている場合は、残量表示は出ません。
- 手順3は省略することもできます。ただし、この場合は本体で[XP]が選ばれているときは[FR]で予約されます。[SP]、[LP]のときはそのままの状態で予約されます。「ディスクの残量」もこの状態で計算されます。

予約チャンネルが選ばれないとき

転送後の画面で、[CH]の項目が[G－－]となっているときは、そのチャンネルのガイドチャンネルが正しく設定されていません。

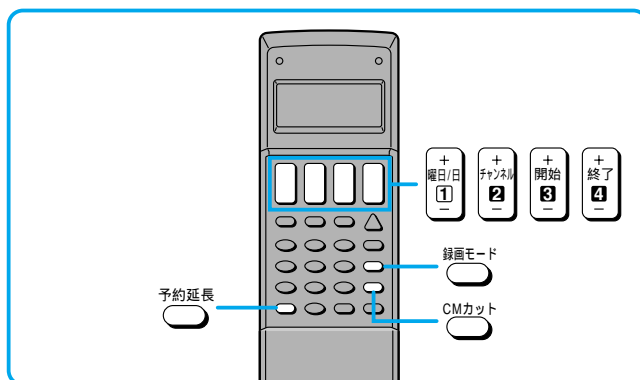
- このときは、下記の操作で予約を完了すると、そのチャンネルのガイドチャンネルも自動的に設定されます。

G－－

1 **チャンネルを押し、CH(予約チャンネル)を合わせる**

予約チャンネルを4に合わせた場合

2 **選択を押す**
- 予約が完了し、ガイドチャンネルも設定されます。

予約内容を変更したいとき

テレビ画面に予約内容が表示されている間であれば、予約内容を変更できます。

テレビ画面に予約内容が出ている間に、
下記のボタンで予約内容を変更する

曜日/日1	：毎日・毎週予約をしたいとき(P72)
チャンネル2	：予約チャンネルを変更したいとき
開始3	：開始時刻を変更したいとき
終了4	：終了時刻を変更したいとき
CMカット	：「CMカット予約」をしたいとき(P75)
録画モード	：録画モードを変更したいとき
予約延長	：予約時間を延長したいとき(P74)

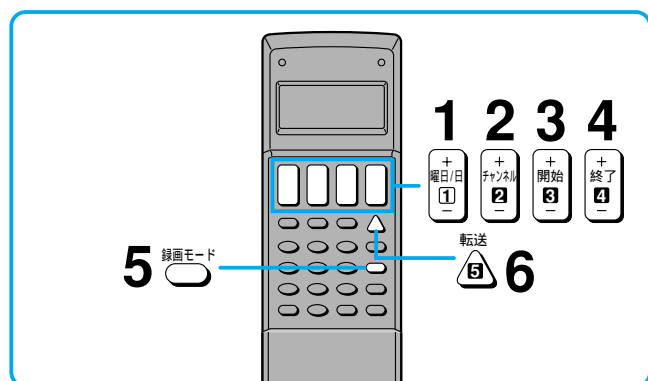
- 修正の操作をした約14秒後に、予約録画の待機状態になります。

Gコードを使わずに予約する(フリーセット予約)

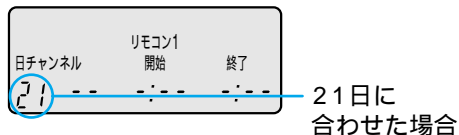
予約したい番組の予約日、予約チャンネル、開始時刻、終了時刻などをご自分で設定する予約方法です。

フリーセット予約のしかた

RAM

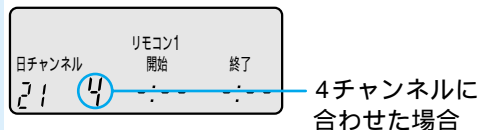
準備
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- 本機の時刻が正しいことを確認する。
- 録画可能なディスクを入れる。
  (予約録画する時間よりも残量に余裕のあるディスクを入れてください)

1 曜日/日1を押し、予約日を合わせる

- ＋側を押すごとに、下表のように変わります。
  (－側を押すと、逆方向に変わります)

21日に
合わせた場合

「今日」の予約	今の時刻から、24時間以内に始まる番組を予約 ●例)現在時刻が16時10分ならば、翌日の16時09分までが「今日」になります。 24時間以内 今日 / 翌日 16:10 (予約設定時刻) / 午前0時 / 16:09
1週間以内の予約	**曜日**を指定して予約 ●日→月→火→…→土
1カ月以内の予約	**日付**を指定して予約 ●1→2→3→…→31
毎日予約	**毎日、同じ番組**を予約 ●毎週日～土(毎日) ●毎週月～土(月～土の毎日) ●毎週月～金(月～金の毎日)
毎週予約	**毎週、同じ曜日の同じ番組**を予約 ●毎週日→毎週月→…→毎週土

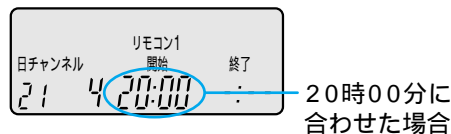
2 チャンネル2を押し、予約チャンネルを合わせる

- 必ず表示チャンネルで合わせてください。
- ＋側を押すごとに、下記のように変わります。
  (－側を押すと、逆方向に変わります)
- 押し続けると、10ずつ変わります。

4チャンネルに
合わせた場合

VHF/UHF チャンネル	1→2→3→…→62
BS チャンネル	BS1→BS3→…→BS15
CATV チャンネル	C13→C14→…→C63 ●工場出荷時はとばされています。
外部入力 チャンネル	L1→L2→L3

3 開始3を押し、開始時刻を合わせる

- 押し続けると、30分単位で変わります。

20時00分に
合わせた場合

4 終了4を押し、終了時刻を合わせる

- 押し続けると、30分単位で変わります。
- [転送△]表示が点滅します。

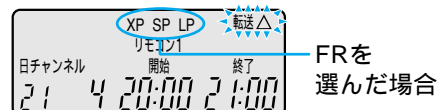
点滅

21時00分に
合わせた場合

5 録画モードを数回押し、[XP]、[SP]、[LP]、[XP SP LP](FRモード)のいずれかを選ぶ

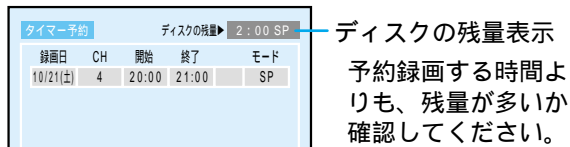
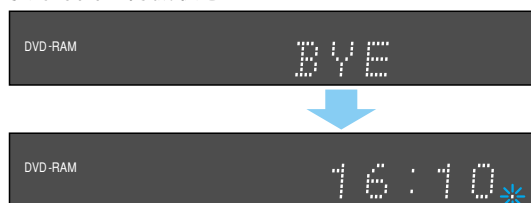
SPを
選んだ場合

FR(フレキシブル・レコーディング)モードについて
- 予約録画時のみ働きます。
- [FR]で予約すると、本機が番組の録画時間をもとに、ディスクの残り容量に収まるよう、自動的に[XP]から[LP]の範囲内で最適な画質を選んで録画します。
- ディスクの残量によっては予約した番組を最後まで録画できない場合があります。

FRを
選んだ場合

6 **転送**を押す

- テレビ画面に予約内容が表示され、その約14秒後に、予約録画の待機状態になります。
- 本体の**TIMER REC**のランプが点灯します。

転送後の画面

ディスクの残量表示
- 予約録画する時間よりも、残量が多いか確認してください。

予約録画の待機状態

■ヒント
- 時刻は24時間表示です。
- 転送後は、「ディスクの残量」も画面に表示されます。転送された録画モードで計算されます。
- DVD-RAM以外のディスクを入れている場合は、残量表示は出ません。
- 手順5は省略することもできます。ただし、この場合は本体で[XP]が選ばれているときは[FR]で予約されます。[SP]、[LP]のときはそのままの状態で予約されます。「ディスクの残量」もこの状態で計算されます。

■予約チャンネルについて
- 必ず、表示チャンネルで合わせてください。
- 本体で表示されていないチャンネルは、予約できません。
- CATVチャンネルの予約チャンネルは、工場出荷時にはすべてとばされています。右記の操作を行い、予約チャンネルを表示させてください。

■CMをとばして録画する
「CMカット予約」(P75)

■すぐに予約録画を始めたいとき
予約チャンネル(手順2)と終了時刻(手順4)のみを合わせて転送してください。(終了時刻までの予約録画を始めます)

■予約内容を修正したいとき
転送前ならどの項目でも修正できますが、転送後は修正できません。不要な予約を取り消してから、予約し直してください。(P76)

■2つ以上の予約をするとき
手順1～6を繰り返してください。(予約録画の待機状態でも予約できます)

■転送後、本体表示窓に[FULL]と表示されたとき
すでに8番組が予約されています。不要な予約を取り消してください。(P76)

■WOWOWの番組を予約するとき
BSデコーダーの電源を入れておいてください。

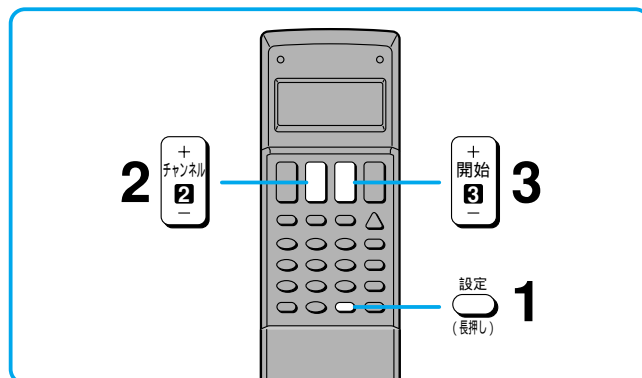
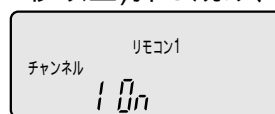
■素早くチャンネルを合わせたいとき
本体に合わせてリモコンの不要な予約チャンネルをとばしておくと、より素早くチャンネルを合わせることができます。(右記)

リモコンの不要な予約チャンネルをとばす

RAM

本体の表示チャンネルに合わせておくと、「フリーセット予約」の際に、より素早く予約チャンネルを合わせることができます。

- 工場出荷時には、CATVチャンネルを除くすべてのチャンネルを表示するようになっています。CATV放送を受信される方は、必ず下記の操作を行って、予約チャンネルを表示させてください。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 **設定(長押し)**を[☎]マークが出るまで(約2秒以上)押し続け、さらにもう1回押す

2 **チャンネル2**を押し、とばしたい予約チャンネルを選ぶ

- 押し続けると、10ずつ変わります。
- CATV放送を受信される方は、表示させたい予約チャンネルを選んでください。

3 **開始3**を押し、[OFF]か[ON]を選ぶ

OFF ：とばしたいとき
ON ：表示させたいとき

- 必ず表示チャンネル(本体で表示させているチャンネル)で設定してください。
- 2つ以上のチャンネルをとばしたい(表示させたい)ときは、手順2～3をくり返してください。
- とばされたチャンネルは、フリーセット予約できません。

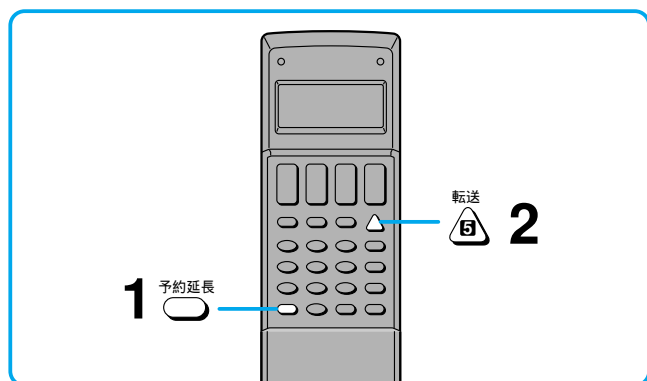
予約録画の録画終了時刻を延長する

Gコード予約の転送前の場合

RAM

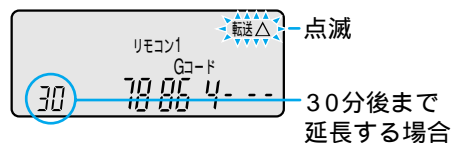
予約した番組の終了時刻を最大2時間まで延長できます。

- Gコード予約(P70)をする際、**転送**を押す前に操作してください。

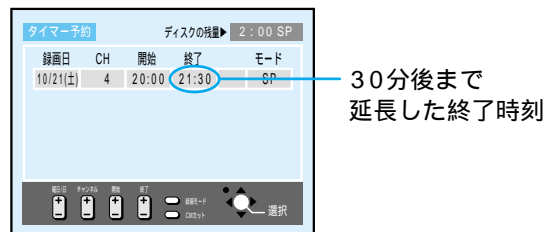
準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 予約延長を数回押す

- リモコン表示部に15分延長される表示が出ます。
- 続けて押すごとに、下記のように延長される時間が変わります。

延長される時間の変わりかた

15分 → 30分 → 45分 → 60分
↑ 延長しない ← 120分 ← 90分 ←

2 転送を押す

- テレビ画面に実際の予約内容が表示されます。さらにその約14秒後に、予約録画の待機状態になります。

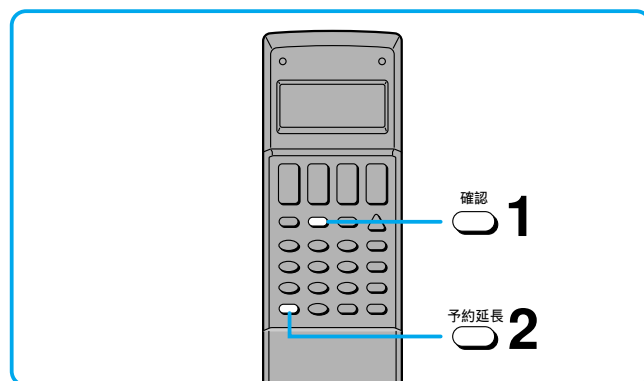
■**ヒント**

- 予約時の録画モードが[FR]のときは延長できません。

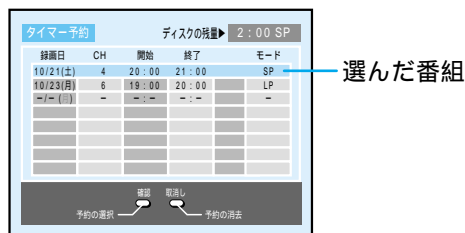
録画が始まっていない番組の場合

RAM

予約した番組の終了時刻を最大2時間まで延長できます。

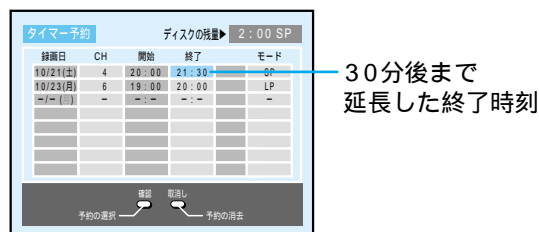
- 本機の電源が入っている状態、または予約録画の待機状態のときに操作してください。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 確認を数回押し、延長する番組を選ぶ

- テレビ画面に予約内容の一覧が表示されます。

2 予約延長を数回押す

- 続けて押すごとに、下記のように延長される時間が変わります。

延長される時間の変わりかた

15分 → 30分 → 45分 → 60分
↑ 延長しない ← 120分 ← 90分 ←

- 設定終了後、約14秒後に予約録画の待機状態になります。

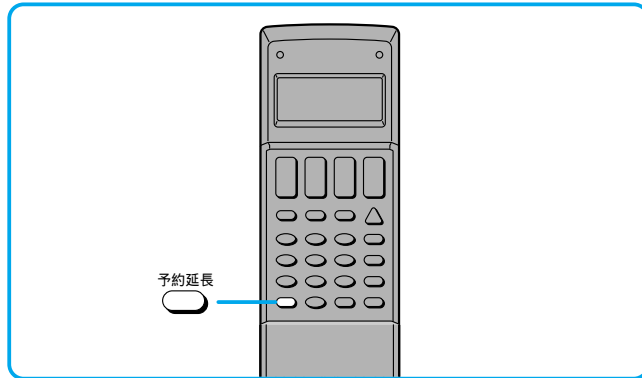
■**ヒント**

- 予約時の録画モードが[FR]のときは延長できません。

録画が始まっている番組の場合

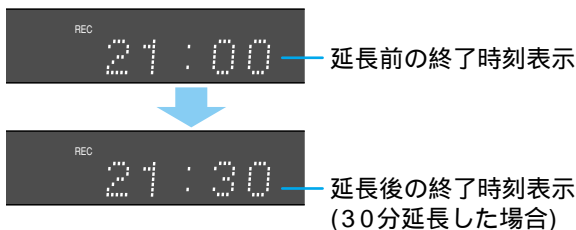
RAM

すでに予約した番組の録画が始まっていても、終了時刻を最大2時間まで延長できます。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

予約延長を数回押す

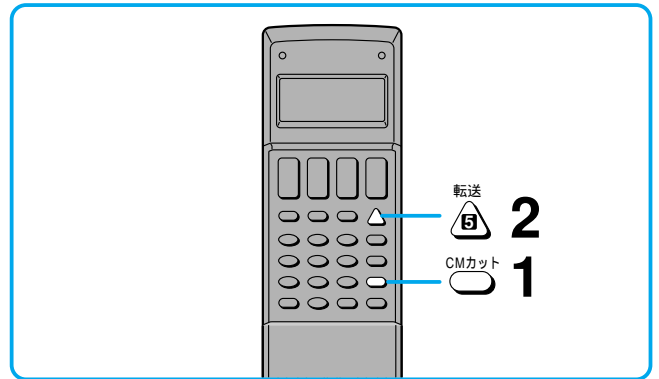
● 本体表示窓に終了時刻が表示されます。
● 続けて押すごとに、下記のように延長される時間が変わります。

延長される時間の変わりかた

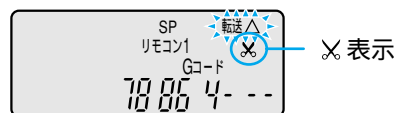
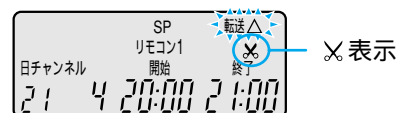
15分 → 30分 → 45分 → 60分 → 90分 → 120分 → 延長しない → 15分

■ヒント
● 終了時刻を延長した結果、予約が重なったときは、先に予約録画の始まった番組の予約が優先されます。
● 予約録画中、予約延長の操作中に現在時刻が終了時刻になっても、予約延長の操作をやめるまでは、そのまま録画を続けます。
● 予約時の録画モードが[FR]のときは延長できません。

CMをとばして予約録画する (CMカット予約)

RAM

CMを自動的にとばして予約録画することができます。
● 予約録画される番組によっては、正しく働かない場合があります。(詳しくは、P62をお読みください)

1 予約録画の際、転送を押す前に、CMカットを押す

● [✂]表示が出ます。もう一度押すと消えます。

Gコード予約時

フリーセット予約時

2 転送を押す

● テレビ画面に[✂]表示が出ます。

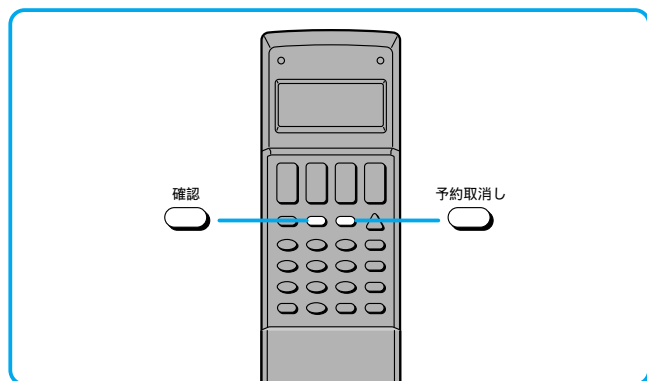
予約録画

予約内容を確認する/取り消す

RAM

予約した内容を確認したり、取り消すことができます。

● 本機の電源が入っている状態、または予約録画の待機状態のときに操作してください。

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

確認

確認を押す

● テレビ画面に予約内容の一覧が表示され、約1分後に元の状態に戻ります。

タイマー予約　ディスクの残量▶ 2:00 SP

録画日	CH	開始	終了	モード
10/21(土)	4	20:00	21:00	SP
10/23(月)	6	19:00	20:00	LP
−/−( )	−	−:−	−:−	−

確認 取消し
予約の選択　予約の消去

取り消し

確認を数回押し、取り消したい予約内容を選び、予約取消しを押す

● テレビ画面に予約内容の一覧が表示され、確認を押すごとに違う予約内容が選ばれます。

タイマー予約　ディスクの残量▶ 2:00 SP

録画日	CH	開始	終了	モード
10/21(土)	4	20:00	21:00	SP
−/−( )	−	−:−	−:−	LP
−/−( )	−	−:−	−:−	−

確認 取消し
予約の選択　予約の消去

取り消し時の表示

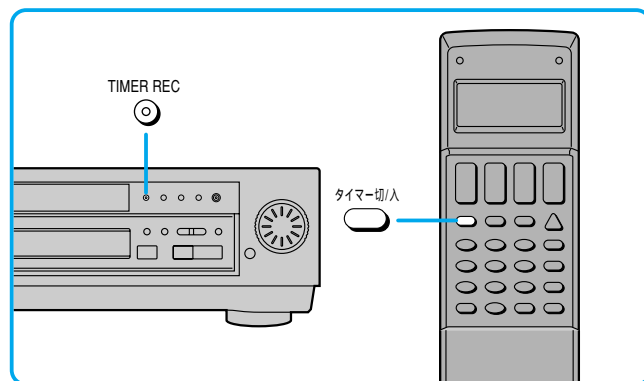
■予約確認表示を消すには

確認を数回押す。

予約録画の解除

RAM

予約録画の待機中に、ディスクの入れ替えや再生などをしたいときや、始まった予約録画を途中でやめることができます。

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

予約録画の待機を一時解除する

【リモコン】タイマー切/入を押す
【本　　体】TIMER RECを押す

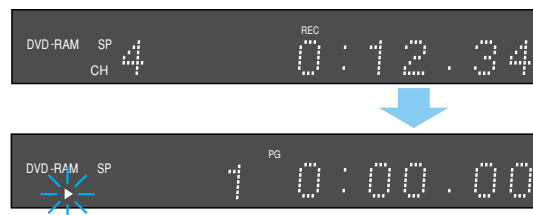
● 本体のTIMER RECのランプが消え、電源が入ったときの状態になります。

● もう一度押すと元の状態に戻ります。

予約録画の待機状態

予約録画を途中でやめる

【リモコン】タイマー切/入を押す
【本　　体】TIMER RECを押す

● 本機が録画をやめます。

■ヒント

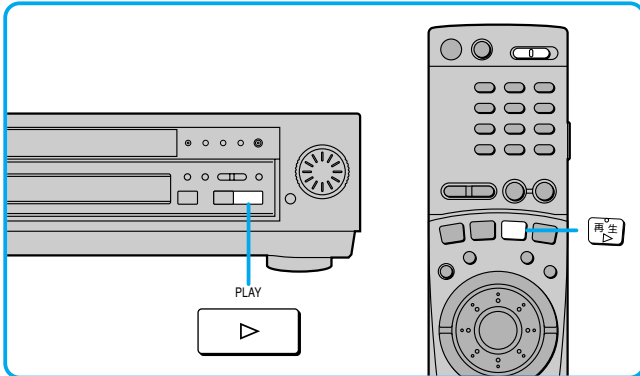
● 予約録画の待機状態(本体のTIMER RECのランプを点灯)にしておかないと、予約録画は実行されません。

● 予約録画をしていた番組の放送中に、もう一度タイマー切/入(TIMER REC)を押すと、予約録画が再開されます。

最後に録画/予約録画した番組をすぐに見る(一発再生)

RAM

一番最後に録画または予約録画した番組をすぐに見ることができます。

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

録画または予約録画が終了した直後に、

【リモコン】再生を押す

【本　　体】PLAYを押す

● 本体表示窓の▶が点滅しているときに限り働きます。

再生中表示

■ヒント

▶が点滅しているときに停止、開/閉を押したときは、この操作はできません。

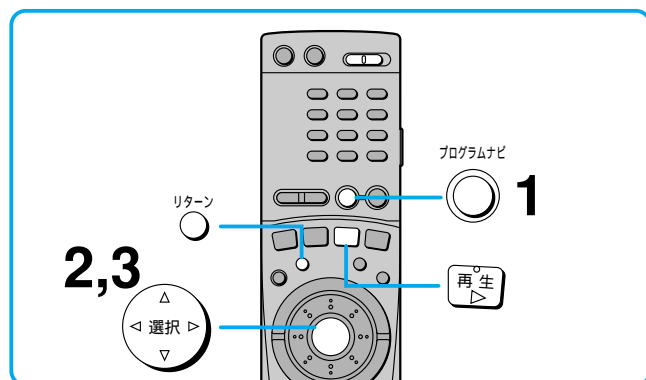
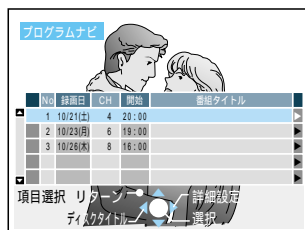
予約録画 便利機能

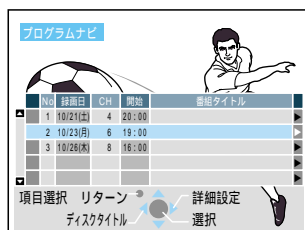
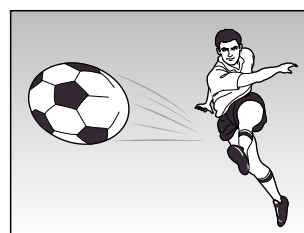
プログラムナビで番組を頭出しする

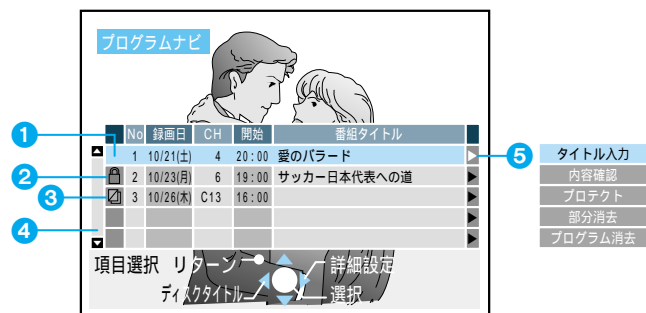
プログラムナビ番組リストから頭出しする

RAM

本機で録画すると、自動的にプログラムナビ番組リストに、その番組内容が登録されます。
このリストを利用して、見たい番組をさがし出すことができます。プログラムナビ番組リストは録画したディスクに記録されます。

準備
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- 録画済のディスクを入れる。

1 再生中または停止中に、
【リモコン】プログラムナビを押す
【本　　体】PROGRAM NAVIを押す

- 録画済の番組のプログラム番号、録画日、CH(チャンネル)、録画開始時刻、番組タイトル(タイトル入力した後のみ、タイトル入力のしかたはP89)が表示されます。
- 停止中に押したときは、再生が始まり、この画面を出します。

2 **△▽で見たい番組を選ぶ**
[2]を選んだ例。
- 6番組以上あるときは、▽を倒し続け、下段に送ります。
(△を倒し続けると、上段に送ります)

3 **選択を押す**
- 選んだ現在再生中の番組をそのまま見ることができます。
- **プログラムナビ**または**リターン**または**再生**を押しても同様に見ることができます。

■ヒント
- プログラムナビ番組リストには、そのディスクで録画または予約録画した番組が、99番組まで表示されます。
- プログラムナビ番組リストは、ディスクごとに記録されます。
- すでに99番組分を録画しているときに新しい録画をすると、テレビ画面に「番組数がいっぱいで記録できません」と表示し、録画されません。不要な番組を消去し、番組数を98以下にしてから録画してください。

■プログラムナビ番組リスト画面について

❶ **プログラム番号、録画日、CH(チャンネル)、録画開始時刻、番組タイトル**(タイトル入力した後のみ)
例では、プログラム番号1の番組が選ばれています。

❷ **プロテクト(書き込み禁止)**
プロテクトすると表示されます。(P80)
例では、プログラム番号2の番組にプロテクト設定しています。プロテクト設定している番組は、タイトル入力はできますが消去・部分消去はできません。

❸ **コピー禁止**
コピー(ダビング)禁止指示がある番組を録画すると表示されます。(CATV放送など)

❹ **スクロールバー**
6番組以上リストがあるときに▽で下に送ると、現在位置の目安が表示されます。

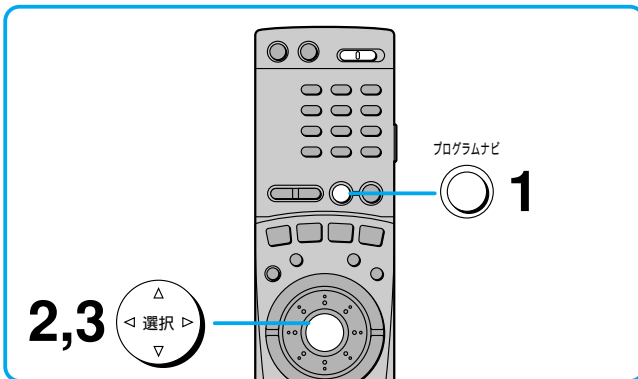
❺ **サブメニュー**
▷に倒すと表示されます。番組タイトルを入力する(入力したタイトルを変更する)、番組内容を確認する、プロテクトする/解除する、番組を部分的に消去する、番組すべてを消去する操作ができます。

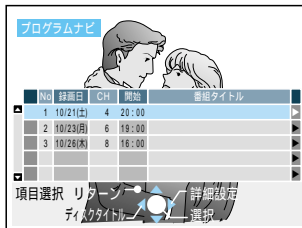
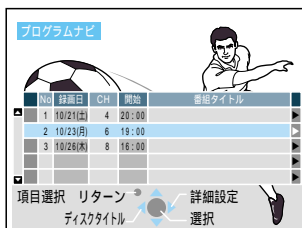
プログラムナビ番組リストでいろいろな操作をする

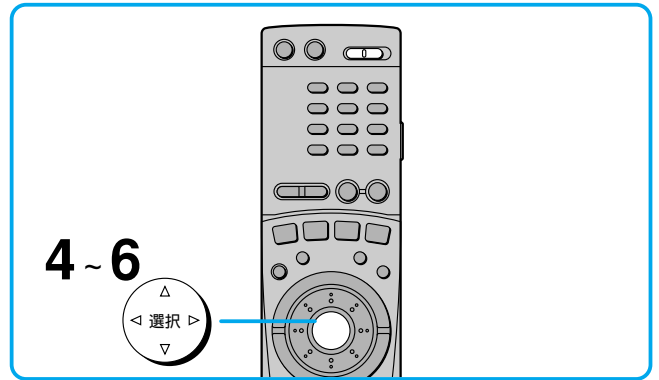
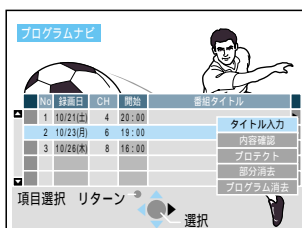
RAM

プログラムナビ番組リストで以下の操作ができます。
1. タイトルを付ける
2. 番組内容の情報を表示する
3. プロテクト(書き込み禁止/解除)する
4. 番組を部分的に消去する
5. 番組を消去する

準備
● DVD/テレビを[DVD]にする。
● 録画済のディスクを入れる。

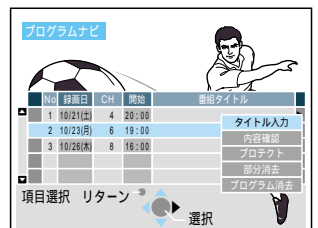
プログラムナビ番組リストの初期操作

1 【リモコン】プログラムナビを押す
【本　　体】PROGRAM NAVIを押す

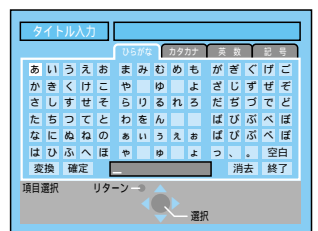
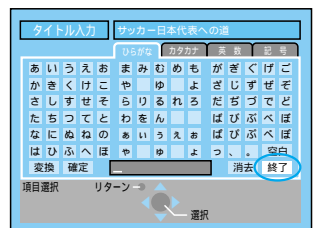
● 録画済の番組のプログラム番号、録画日、CH(チャンネル)、録画開始時刻、が表示されます。
● 停止中に押したときは、再生が始まり、この画面を出します。

2 △▽で編集したい番組を選ぶ

3 ▷に倒す

● 静止画になります。
この後、次項以降の操作を行ってください。

1 タイトルを付ける

番組にお好みのタイトルを付けることができます。
● 左記手順1～3を行ってから操作してください。

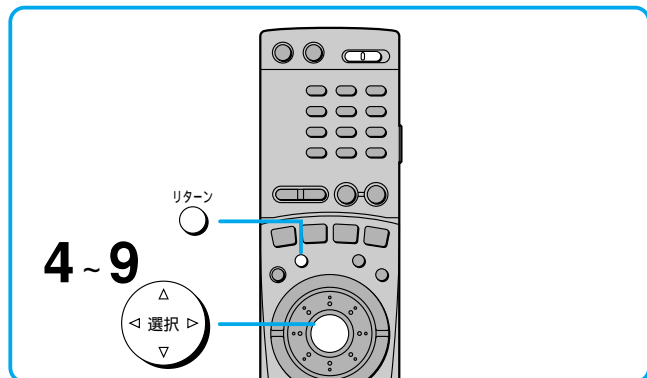
4 △▽で[タイトル入力]を選び、選択を押す

● タイトル入力画面になります。

5 ◁△▽▷でタイトル名を入力する

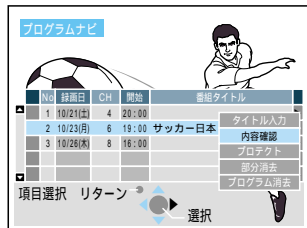
● 入力のしかた
(P89)

6 入力が終わったら、◁△▽▷で[終了]アイコンを選び、選択を押す

便利機能

プログラムナビで番組を頭出しする(つづき)

プログラムナビ番組リストでいろいろな操作をする(つづき)

RAM

2 番組内容の情報を表示する

● P79手順1~3を行ってから操作してください。

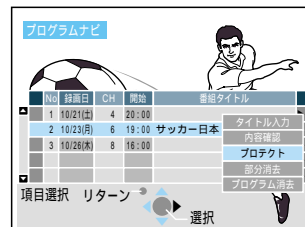
4 △▽で[内容確認]を選び、選択を押す

● タイトルを付けたときは、そのタイトル名、プログラム番号、録画日、CH(チャンネル)、開始時刻、録画時間が表示されます。

■**表示を消す**

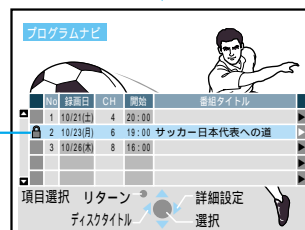
選択を押す。

3 プロテクト(書き込み禁止/解除)する

残しておきたい番組を誤って消去しないようプロテクト(書き込み禁止)できます。
また、そのプロテクトを解除することができます。

● 番組単位で設定することができます。
● **P79手順1~3を行ってから操作してください。**

4 △▽で[プロテクト]を選び、選択を押す

5 ◁で[プロテクト設定]を選び、選択を押す

● 鍵マークが表示されます。

■**途中でやめる**

手順5で[キャンセル]を選び、選択を押す。

■**番組に設定したプロテクトを解除する**

手順5で[プロテクト解除]を選び、選択を押す。

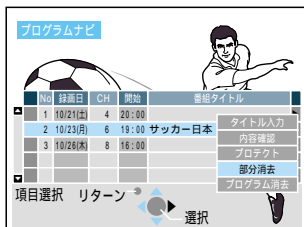
● 鍵マークが消えます。

■**ヒント**

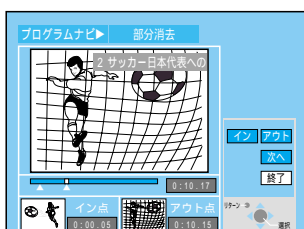
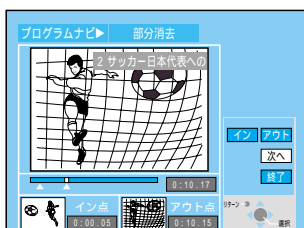
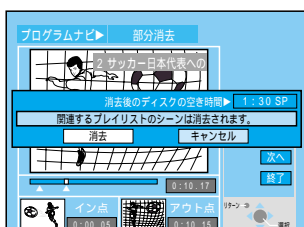
● プロテクト設定を行っても、タイトル入力はできます。
● プロテクト設定を行っても、**初期設定[5ディスクのフォーマット]**を行うと消去されます。

4 番組を部分的に消去する

番組の指定した部分だけを消去することができます。
※この操作をすると消去した部分は消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確認してから行ってください。
- **P79手順1〜3を行ってから操作してください。**

4 **△▽で[部分消去]を選び、選択を押す**

5 早送り(早戻し)、スロー再生などを行い、
部分消去のイン点(開始点)をさがす
イン点を決めたら、選択を押す

6 早送り(早戻し)、スロー再生などを行い、
部分消去のアウト点(終了点)をさがす
アウト点を決めたら、選択を押す

7 同じ番組内で消去したい部分が他にないときは、
▽で[終了]アイコンを選び、選択を押す

7 同じ番組内で消去したい部分が他にもあるときは、
[次へ]アイコンが選ばれていることを確認し、
選択を押す

8 **◁で[消去]を選び、選択を押す**
- この消去部分から作成されたプレイリストの関連する部分も消去されます。

9 手順7で[次へ]アイコンを選んだ場合のみ、
手順5〜8を繰り返す

■途中でやめる
リターンを押す。
- 手順8まで行った後は、途中でやめることはできません。

■ヒント
- イン点(アウト点)を決めた後、もう一度イン点(アウト点)を設定し直すと、後に設定された方が有効になります。
- イン点がアウト点より後ろになった場合は、自動的にイン点とアウト点が入れ替わります。アウト点がイン点より前になった場合も同様です。
- イン点とアウト点が同じ位置の場合は設定されません。
- イン点とアウト点の間が3秒以内の場合は設定されない場合があります。
- 静止画記録されている部分は設定できません。
- 番組の最後までくると、終わりの部分で自動的に一時停止になります。
- 消去した部分が短いときは、ディスクの残量が増えない場合があります。
- 左ページでプロテクトされた番組は部分消去できません。

5 番組を消去する

1つの番組を消去することができます。
※この操作をすると選んだ番組は消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確認してから行ってください。
- **P79手順1〜3を行ってから操作してください。**

4 **△▽で[プログラム消去]を選び、選択を押す**

5 **◁で[消去]を選び、選択を押す**
- この番組から作成されたプレイリストの関連する部分も消去されます。

■途中でやめる
手順5で[キャンセル]を選ぶ。
- 手順5で[消去]を選び、選択を押した後は、途中でやめることはできません。
- 短い番組を消去したときは、ディスクの残量が増えない場合があります。

便利機能

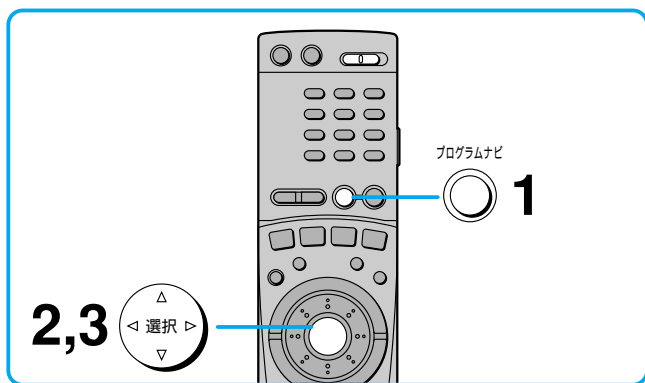
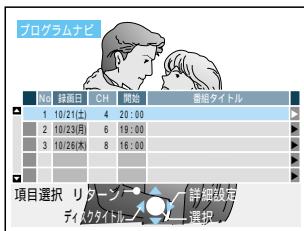
プログラムナビで番組を頭出しする(つづき)

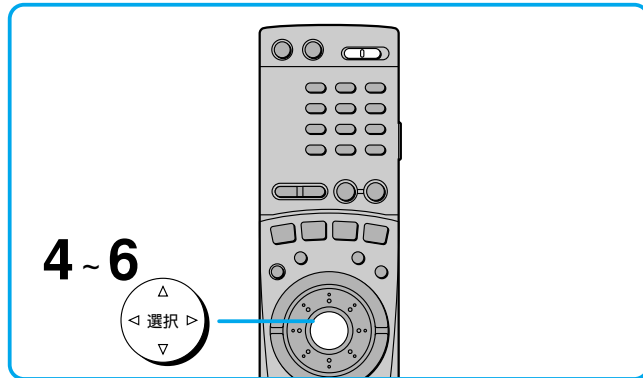
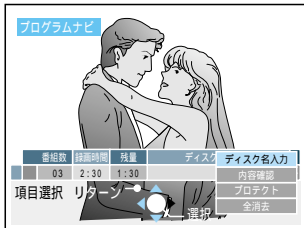
プログラムナビディスクリストでいろいろな操作をする

RAM

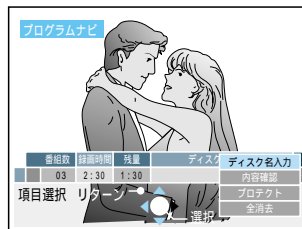
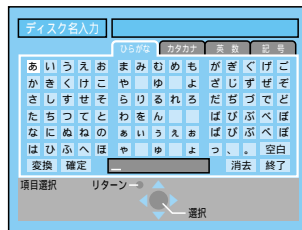
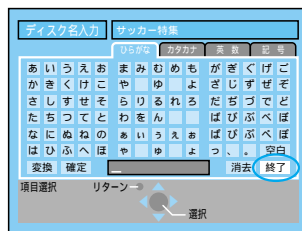
プログラムナビディスクリストで、以下の操作ができます。
1. ディスク名を付ける
2. ディスク内容の情報を表示する
3. ディスク全体をプロテクト(書き込み禁止/解除)する
4. 録画された内容をすべて消去する

準備
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- 録画済のディスクを入れる。

プログラムナビディスクリストの初期操作

1 再生中または停止中に、
【リモコン】プログラムナビを押す
【本　　体】PROGRAM NAVIを押す
- 停止中に押したときは、再生が始まり、この画面を出します。

2 **◁に倒す**
- 録画した番組数、総録画時間、ディスク残量、ディスクタイトル(ディスク名入力した後のみ、ディスク名入力のしかたはP89)が表示されます。

3 **▷に倒す**
- この後、次項以降の操作を行ってください。

1 ディスク名を付ける

録画済のディスクに、お好みのディスク名を付けることができます。
- **左記手順1～3を行ってから操作してください。**

4 **△▽で[ディスク名入力]を選び、選択を押す**
- ディスク名入力画面になります。

5 **◁△▽▷でディスク名を入力する**
- 入力のしかた
(P89)

6 **入力が終わったら、◁△▽▷で[終了]を選び、選択を押す**

2 ディスク内容の情報を表示する

- 左ページ手順1～3を行ってから操作してください。

4 △▽で[内容確認]を選び、選択を押す

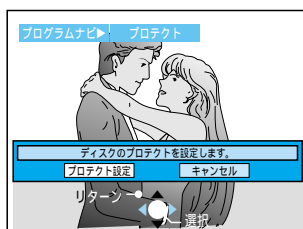
- ディスク名を付けたときは、そのディスク名、録画した番組数、総録画時間、ディスク残量、マーカー数が表示されます。

■表示を消す
選択を押す。

3 ディスク全体をプロテクト(書き込み禁止/解除)する

残しておきたいディスク内容を誤って消去したり、再録画できないようにプロテクト(書き込み禁止)できます。また、そのプロテクトを解除することができます。

- **左ページ手順1～3を行ってから操作してください。**

4 △▽で[プロテクト]を選び、選択を押す

5 ◁で[プロテクト設定]を選び、選択を押す

- 鍵マークが表示されます。

■途中でやめる
手順5で[キャンセル]を選び、選択を押す。

■ディスクに設定したプロテクトを解除する
手順5で[プロテクト解除]を選び、選択を押す。
- 鍵マークが消えます。

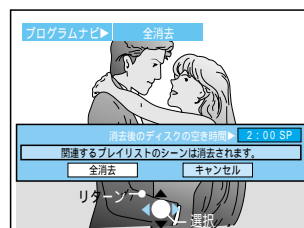
■ヒント
プロテクト設定を行っても、**初期設定[5ディスクのフォーマット]**を行うと消去されます。

4 録画された内容をすべて消去する

ディスクの録画内容をすべて消去することができます。
※この操作をすると録画した内容はすべて消え、元に戻すことができません。すべて消してよいかよく確認してから行ってください。
- **左ページ手順1～3を行ってから操作してください。**

4 △▽で[全消去]を選び、選択を押す

5 ◁で[全消去]を選び、選択を押す

- 作成されたプレイリストもすべて消去されます。

■途中でやめる
手順5で[キャンセル]を選び、選択を押す。
- [全消去]を選び、選択を押した後は、途中でやめることはできません。

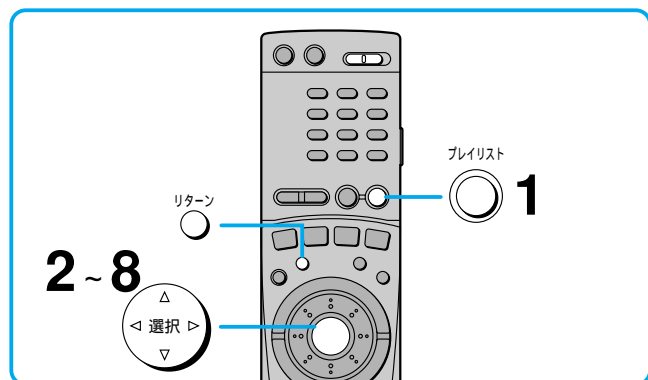
■ヒント
プロテクト設定された番組が1つでもあると、テレビ画面に「消去できません。プロテクトされたディスクが入っています。」と表示され、消去できません。
消去するときは、番組のプロテクトを解除してください。(P80)

プレイリストを作る/再生する

プレイリストを作る

RAM

録画済の番組からお好みのシーンを集めたプレイリストを作ることができます。
シーンの始めと終わりの情報をディスクに記録し、指定した順番に再生します。従って作成したシーンが別に記録されるわけではありませんので、ディスク容量はほとんど使いません。

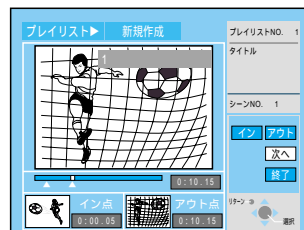
準備
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- 録画済のディスクを入れる。

1 停止中に、
【リモコン】プレイリストを押す
【本　　体】PLAY LISTを押す

2 **◁に倒す**
- まったくプレイリストがない場合はこの操作は不要です。

3 「新しくプレイリストシーンを作成しますか?」と表示されたら、
◁で[はい]を選び、選択を押す
- シーン作成画面が表示され、録画された1番目の番組から再生が始まります。

4 早送り(早戻し)、スロー再生などを行い、
シーンのイン点(開始点)をさがす

5 **イン点を決めたら、選択を押す**
- イン点のサムネイル画像と時間が表示されます。

6 早送り(早戻し)、スロー再生などを行い、
シーンのアウト点(終了点)をさがす
アウト点を決めたら、選択を押す
- アウト点のサムネイル画像と時間が表示されます。

7 登録したいシーンが他にもあるときは、
[次へ]アイコンが選ばれていることを確認して、選択を押す
- イン点入力画面に戻ります。この後、手順4~7を繰り返してください。

8 登録したいシーンの指定が終わったら、
▽で[終了]アイコンを選び、選択を押す

- 登録された後、プレイリスト一覧画面になります。

■途中でやめる
リターンを押す。
- 手順7まで行った後は、途中でやめることはできません。

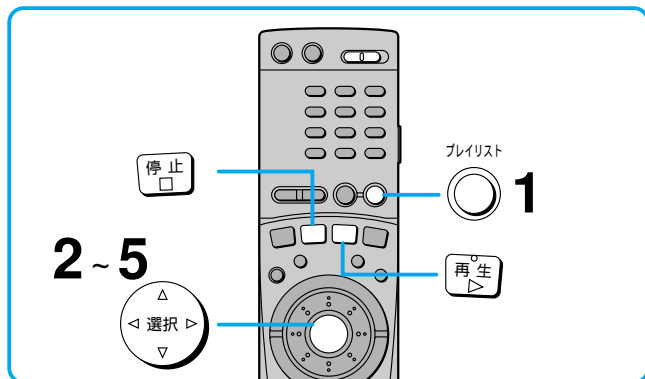
■ヒント
- 1枚のディスクでプレイリストは最大99個まで、シーン総数は最大999シーンまで作成できます。場合によってはそれより少なくなることがあります。
- イン点(アウト点)を決めた後、もう一度イン点(アウト点)

を設定し直すと、後に設定された方が有効になります。
- イン点がアウト点より後ろになった場合は、自動的にイン点とアウト点が入れ替わります。
- イン点を設定せずアウト点のみを設定した場合は、イン点はその番組の先頭になります。
- イン点とアウト点が同じ位置の場合は設定されません。
- 他の機器で静止画記録された部分は設定できないことがあります。
- ディスクに記録されている最後(プログラム番号の一番最後)の番組の場合、アウト点を指定せずに番組の最後までくると、その部分で自動的に一時停止になります。

プレイリストを再生する

RAM

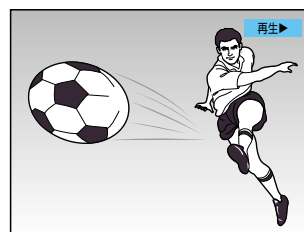
前ページで作成したプレイリストを再生します。

準備
- DVD/テレビを[DVD]にする。
- プレイリスト作成済のディスクを入れる。

1 停止中に、
【リモコン】プレイリストを押す
【本　　体】PLAY LISTを押す
- プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 **△▽で再生したいプレイリストを選ぶ**
- 5項目以上あるときは、▽を倒し続け、下段に送ります。
(△を倒し続けると、上段に送ります)

3 **選択を押す**
- 再生シーン選択画面が表示されます。

4 **◁△▽▷で再生したいシーンを選ぶ**
- 選んだシーンが□で囲まれます。

5 **選択を押す**
- 選んだシーンが再生されます。

■1つのプレイリスト内のすべてのシーンを再生する
- 手順2で再生したいプレイリストを選んだ後、再生を押す。
または、手順3の後、[全体再生]アイコンが選ばれている状態で、選択を押す。

■シーン再生を途中でやめる
停止を押す。
- 再生シーン選択画面が表示されます。

■シーン再生終了後は
再生シーン選択画面が表示されます。

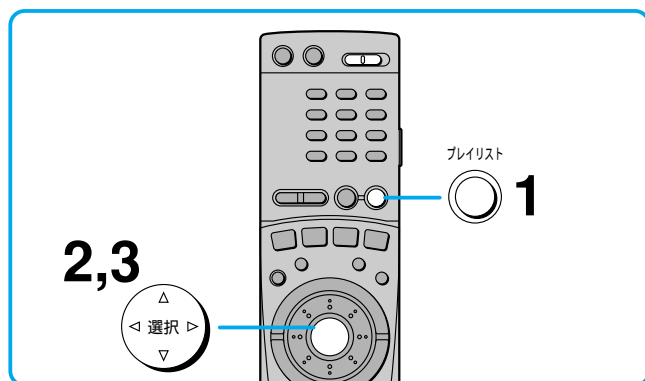
■ヒント
シーン再生中でも、通常の再生と同様に、早送り(早戻し)、静止、スロー再生の操作ができます。

プレイリストを編集する

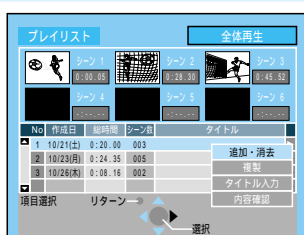
RAM

作成済みのプレイリストに、以下の編集操作ができます。
1. シーンを追加する
2. シーンを消去する
3. シーンをすべて消去する
4. プレイリストを複製する
5. タイトルを付ける
6. プレイリストの情報を表示する

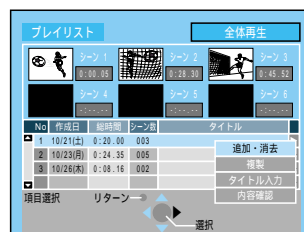
準備
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- プレイリスト作成済のディスクを入れる。

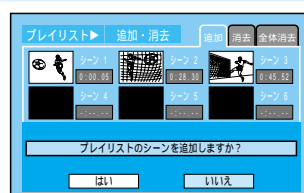
プレイリスト編集モードにする

1 停止中に、
【リモコン】プレイリストを押す
【本　　体】PLAY LISTを押す
- プレイリスト一覧画面が表示されます。

2 **△▽で編集したいプレイリストを選ぶ**

3 **▷に倒す**
- シーン編集モードになります。
この後、次項以降の操作を行ってください。

1 シーンを追加する

プレイリストにシーンを追加登録できます。
- **左記手順1～3を行ってから操作してください。**

4 **△▽で[追加・消去]を選び、選択を押す**

5 [追加]タグが選ばれていることを確認し、
◁△▽▷で追加したいシーンの位置を選び、選択を押す
- シーン4に追加する例。

6 「プレイリストのシーンを追加しますか？」と表示されたら、
◁で[はい]を選び、選択を押す

7 **プレイリスト追加画面でイン点、アウト点を指定する**
- 登録のしかたは「プレイリストを作る」と同じです。(P84)

8 追加が終了したら、
▽で[終了]アイコンを選び、選択を押す
- 従来のリストに追加されます。(シーン4に追加された例)

2 シーンを消去する

プレイリストからシーンを1つずつ消去することができます。

※この操作をすると選んだシーンは消え、元に戻すことができません。消してよいかよく確認してから行ってください。

- **左ページ手順1〜3を行ってから操作してください。**

4 **△▽で[追加・消去]を選び、選択を押す**

5 **△に倒した後、▷で[消去]タグを選び、選択を押す**

6 **◁△▽▷で消去したいシーンを選び、選択を押す**

- シーン4を消去する例。

7 **「プレイリストのシーンを消去しますか？」と表示されたら、◁で[はい]を選び、選択を押す**

- リスト上から消去されます。

■途中でやめる

手順7で[いいえ]を選ぶ。

- 手順7で[はい]を選び、選択を押した後は、途中でやめることはできません。

3 シーンをすべて消去する

プレイリストからシーンを一度にすべて消去することができます。

※この操作をすると作成したシーンはすべて消え、元に戻すことができません。すべて消してよいかよく確認してから行ってください。

- **左ページ手順1〜3を行ってから操作してください。**

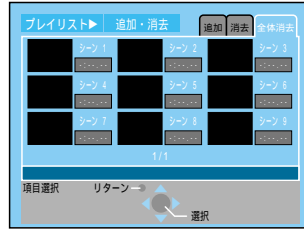
4 **△▽で[追加・消去]を選び、選択を押す**

5 **△に倒した後、▷で[全体消去]タグを選び、選択を押す**

- すべてのシーンが選ばれます。

6 **選択を押す**

7 **「プレイリストのシーンを消去しますか？」と表示されたら、◁で[はい]を選び、選択を押す**

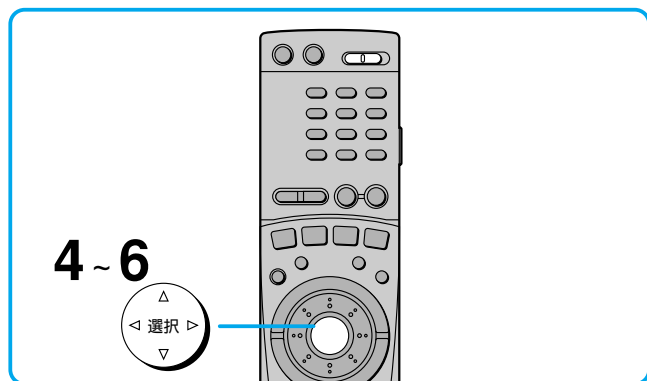
- リスト上からすべてのシーンが消去されます。

■途中でやめる

手順7で[いいえ]を選ぶ。

- 手順7で[はい]を選び、選択を押した後は、途中でやめることはできません。

■ヒント

シーンをすべて消去すると、そのプレイリスト自身も消去されます。

プレイリストを編集する(つづき)

4 プレイリストを複製する

作成したプレイリストと同じプレイリストを作ることができます。
- P86手順1~3を行ってから操作してください。

4 △▽で[複製]を選び、選択を押す

5 「プレイリストを複製しますか?」と表示されたら、◁で[はい]を選び、選択を押す

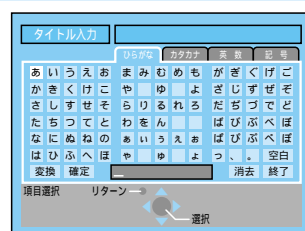
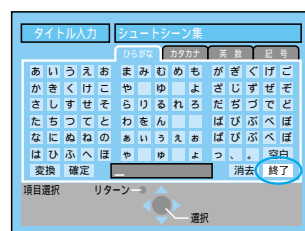
- 複製されたプレイリストが、一番下の欄に表示されます。

■途中でやめるには
手順5で[いいえ]を選び、選択を押す。

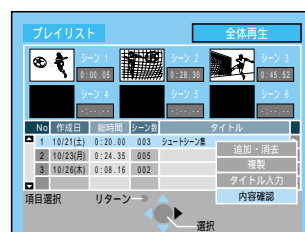
5 タイトルを付ける

プレイリストにお好みのタイトルを付けることができます。
- P86手順1~3を行ってから操作してください。

4 △▽で[タイトル入力]を選び、選択を押す
- タイトル入力画面になります。

5 ◁△▽▷でタイトル名を入力する
- 入力のしかた(右ページ)

6 入力が終わったら、◁△▽▷で[終了]アイコンを選び、選択を押す

6 プレイリストの情報を表示する

- P86手順1~3を行ってから操作してください。

4 △▽で[内容確認]を選び、選択を押す

- 上記でタイトルを付けたときは、そのタイトル名、プレイリスト番号、作成日、シーンの総時間、シーン数が表示されます。

■表示を消す
選択を押す。

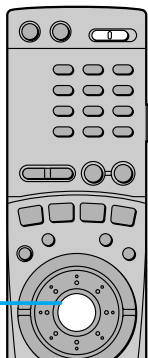
タイトルを付ける

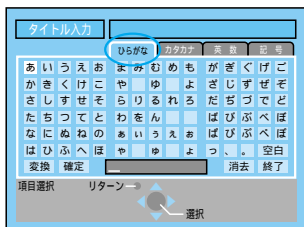
プログラムナビでは番組名やディスク名を、プレイリストでは、プレイリスト名をタイトル入力することができます。

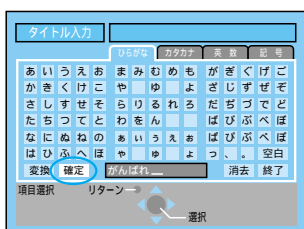
準備
- DVD/テレビを[DVD]にする。
- 録画済のディスクを入れる。
- プログラムナビでは、タイトル入力画面(P79)またはディスク名入力画面(P82)を出す。
- プレイリストでは、タイトル入力画面(左ページ)を出す。

文字入力のしかた

RAM

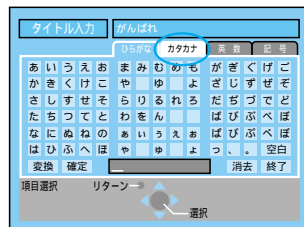
例)「がんばれサッカー日本代表　World★Cup 2002」と入力する

ひらがなの入力

1 [ひらがな]タグが選ばれていることを確認する

2 ◁△▽▷で「が」を選び、選択を押す
- 同様に「んばれ」と入力します。

3 ◁△▽▷で[確定]アイコンを選び、選択を押す
- ひらがなは変換する必要がありませんので、[確定]アイコンを直接選びます。

■確定する前に文字を修正したいとき
確定前の文字を消去する(P91)をお読みください。

■確定した後に文字を修正したいとき
確定済みの文字を消去・追加する(P91)をお読みください。

カタカナの入力

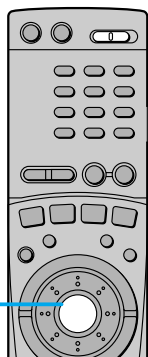
1 ◁△▽▷で[カタカナ]タグを選び、選択を押す

2 ◁△▽▷で「サ」を選び、選択を押す
- 同様に「ッカー」と入力します。

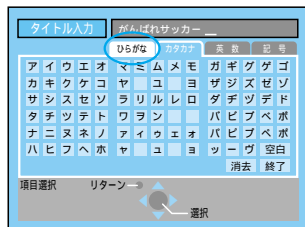
■文字を修正したいとき
確定済みの文字を消去・追加する(P91)をお読みください。

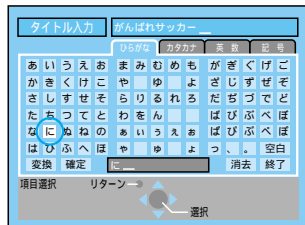
便利機能

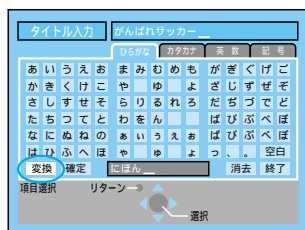
タイトルを付ける(つづき)

文字入力のしかた(つづき)

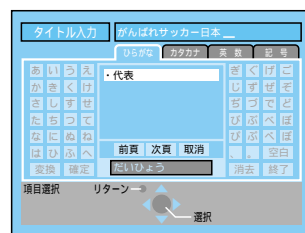
RAM

漢字の入力

1 ◁△▽▷で[ひらがな]タグを選び、選択を押す

2 ◁△▽▷で「に」を選び、選択を押す

- 同様に「ほん」と入力します。

3 ◁△▽▷で[変換]アイコンを選び、選択を押す

- 漢字の変換候補が表示されます。

4 △▽で「日本」を選び、選択を押す

- △▽を倒して、変換したい漢字の候補を選びます。
- 変換したい漢字候補が多数あるときは、◁△▽▷で[次頁]アイコンを選び、選択を押します。前に戻るには、[前頁]アイコンを選び、選択を押します。変換をやめるには、[取消]アイコンを選び、選択を押します。

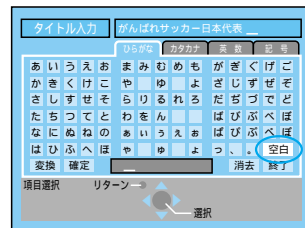
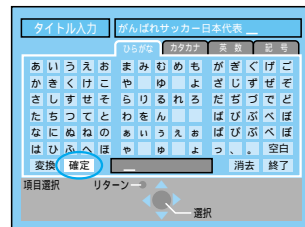
5 手順2～4を繰り返し、「代表」と入力する

■ヒント
- 連文節変換はできません。一単語ずつ入力して変換してください。
- 確定前のひらがな文字は、◁▷で変換する範囲を変えることができます。

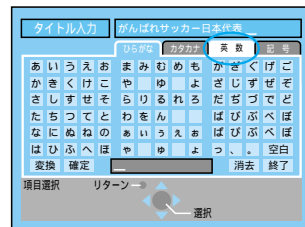
■漢字に変換する前のひらがなを修正したいとき
確定前の文字を消去する(右ページ)をお読みください。

■確定した後に文字を修正したいとき
確定済みの文字を消去・追加する(右ページ)をお読みください。

スペースの入力

1 ◁△▽▷で[空白]アイコンを選び、選択を押す

- 1文字分のスペースが入ります。
- [空白]アイコンは、ひらがな、カタカナ、英数、記号すべてのタグにあります。

2 ひらがな時のみ、[確定]アイコンを選び、選択を押す

英数字の入力

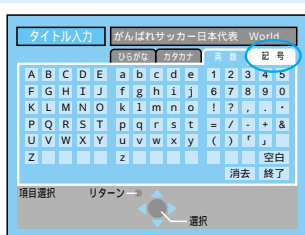
1 ◁△▽▷で[英数]タグを選び、選択を押す

2 ◁△▽▷で「W(大文字)」を選び、選択を押す

● 同様に「orld(小文字)」と入力します。

■文字を修正したいとき

確定済みの文字を消去・追加する(右記)をお読みください。

記号の入力

1 ◁△▽▷で[記号]タグを選び、選択を押す

2 ◁△▽▷で「★」を選び、選択を押す

■文字を修正したいとき

確定済みの文字を消去・追加する(右記)をお読みください。

入力の終了

1 以下同様に、◁△▽▷で[英数]タグを選び、「Cup2002」と入力する

● 入力文字数が多くなると、左側にスクロールされていきます。

2 ◁△▽▷で[終了]アイコンを選び、選択を押す

確定前の文字を消去する

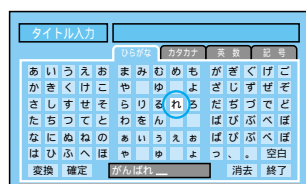
1 ◁△▽▷で[消去]アイコンを選び、選択を押す

● 「がんばろ」→「がんばれ」に修正する例。

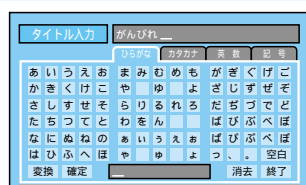
● 一番後ろから文字が消去されます。

● 続けて消去する場合は、この操作を繰り返します。

2 ◁△▽▷で正しく入れ直す文字を選び、選択を押す

● 「れ」を入力した例。

確定済みの文字を消去・追加する

1 △で確定済みの文章を選ぶ

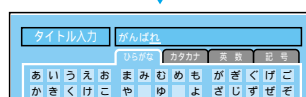
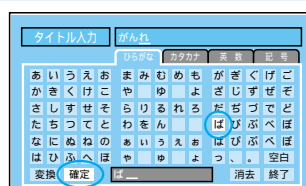
● 「がんびれ」→「がんばれ」に修正する例。

2 ◁▷で消去したい文字の1文字後ろに＿(カーソル)を移動させる

3 ◁△▽▷で[消去]アイコンを選び、選択を押す

● 「び」が消えます。

4 ◁△▽▷で正しく入れ直す文字を選び、選択を押す

● 「ば」を入力した例。

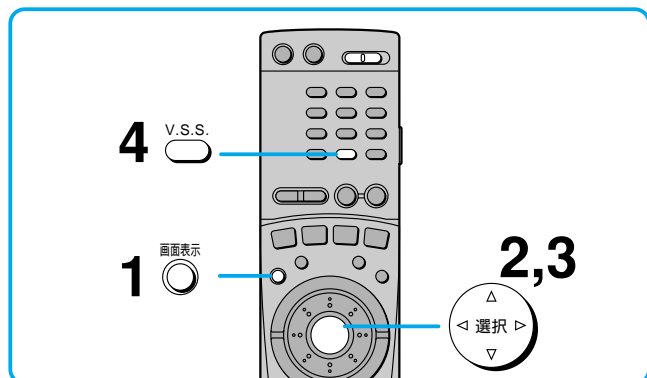
● ひらがなの場合はそのまま[確定]アイコンを選び、選択を押します。

バーチャルサラウンドサウンドを楽しむ(V.S.S.)

フロントスピーカーで楽しむ

RAM DVD-V

ドルビーデジタル2ch以上のDVDであれば、フロントスピーカー(L/R)だけでもサラウンドサウンドを楽しむことができます。

V.S.S.：Virtual Surround Sound(バーチャル サラウンド サウンド)の略です。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー表示(本機情報画面)を出す
DVD-VIDEOの例

2 **◁▷で「V.S.S.モード」を選ぶ**

3 **△▽で (スピーカーモード)を選ぶ**

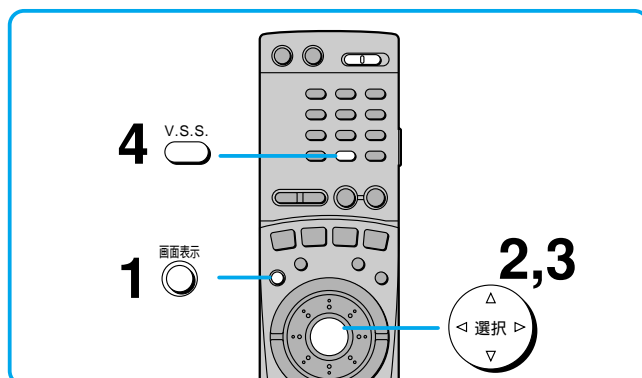
4 **V.S.S.を数回押す**
- 押すごとに、**1**(レベル1)→**2**(レベル2)→**切**→…と変わります。
- ▷に倒した後、△▽を数回倒しても選べます。
- 本体の**V.S.S.**ボタンのランプが点灯します。
- 本体表示窓は、[SPEAKERS 1]→[SPEAKERS 2]→[SPEAKERS OFF(切)]→…と変わります。

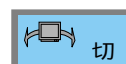
DVD VIDEO SPEAKERS 1
DVD VIDEO SPEAKERS 2
DVD VIDEO SPEAKERS OFF

ヘッドホンで楽しむ

RAM DVD-V

ドルビーデジタル2ch以上のDVDであれば、ステレオヘッドホンだけでもサラウンドサウンドを楽しむことができます。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 再生中に、
画面表示を2回押し、GUIバー表示(本機情報画面)を出す
DVD-VIDEOの例

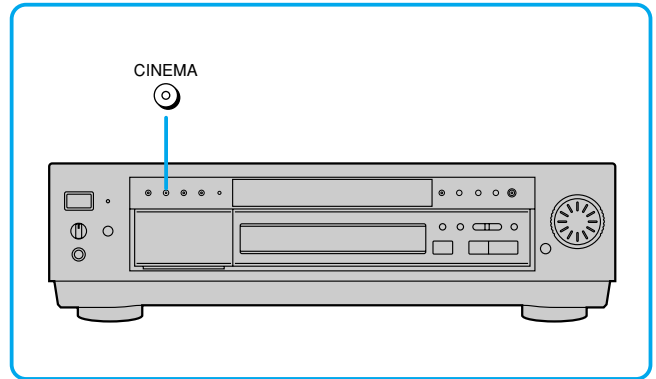
2 **◁▷で「V.S.S.モード」を選ぶ**

3 **△▽で (ヘッドホンモード)を選ぶ**

4 **V.S.S.を数回押す**
- 押すごとに、**1**(レベル1)→**2**(レベル2)→**切**→…と変わります。
- ▷に倒した後、△▽を数回倒しても選べます。
- 本体の**V.S.S.**ボタンのランプが点灯します。
- 本体表示窓は、[PHONES 1]→[PHONES 2]→[PHONES OFF(切)]→…と変わります。

お願い
- ヘッドホンを使わないときは、[切]に戻しておいてください。

映画の再生に適した画質にする (シネマ)

RAM　DVD-V　VCD

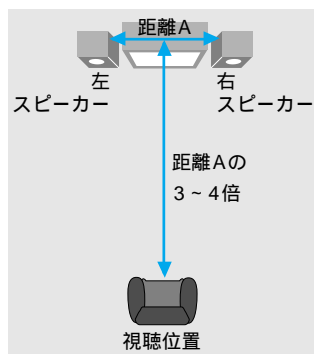
ブラウン管テレビ特有のギラギラした感じをおさえ、しっとりとしたやさしい映像にします。
暗くて見えにくい場合でも、人物などが見えやすいように画面の暗部の輪郭を忠実に再現します。

再生中に、
CINEMAを押す
● ボタンのランプが点灯します。

■解除する
もう一度、CINEMAを押す。
● ボタンのランプが消灯します。
● 画質モードが**N**(ノーマル)に戻ります。(P52～53)

■ヒント
● GUIバーの「画質モード」で設定することもできます。(P52～53)
● テレビをコンポーネント映像出力端子またはD2映像出力端子と接続し、**初期設定[2オプション設定2]→[3コンポーネント映像出力選択]→[1オート]**または**[2525P]**にしているときは効果がありません。

■本体でV.S.S.モードを選ぶ
V.S.S.を数回押す。
● モードの変わりかたは左ページと同じです。
● ボタンのランプが点灯します。

■V.S.S.のレベルやモードによる効果の違い
● **1(レベル1)**
音が実際の位置より少し左右に広がっているように聞こえます。ディスクにサラウンド信号が記録されている場合は、サラウンドスピーカーがないにも関わらず、横方向から音が出ているように感じます。
● **2(レベル2)**
[1]よりさらに広がって聞こえます。

■フロントスピーカーで聞くときの効果的な聞きかた
左右フロントスピーカー間の3～4倍の距離を離れて視聴すると効果的です。

■通常の音声に戻す
V.S.S.を数回押し、[切](SPEAKERS OFFまたはPHONES OFF)を選ぶ。

■ヒント
● ディスクによっては効果が少ないものがあります。
● DVDでも、以下のディスクは設定できません。
- 音声が1ch のディスク
- 音声多重(バイリンガルなど)で記録されたディスク
- カラオケディスク
- 音声信号タイプがドルビー以外のモードで記録されたディスク

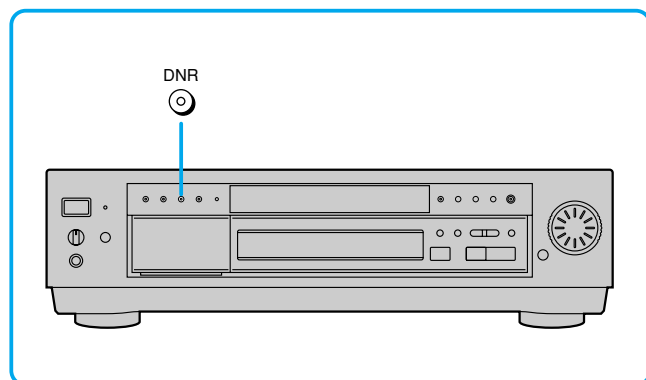
■お願い
● 音量レベルメーターが0dB付近まで振れるくらい、録音レベルが高い状態で記録されたDVD-RAMは、V.S.S.を[1]または[2]にすると、音がひずむことがあります。このときは[切]にしてください。
● スピーカーでV.S.S.をお楽しみになる場合、他の機器(テレビやアンプなど)にサラウンド機能があるときは解除しておいてください。

ワイドテレビや大画面テレビで見る
(デジタルノイズリダクション)

RAM DVD-V VCD

本機には、よりきれいな映像で再生するための3つのデジタルノイズリダクション機能があり、ワイドテレビや大画面テレビに対応した、より高画質の映像をお楽しみいただけます。

● デジタルノイズリダクション機能には、
1. ブロックNR
2. モスキートNR
3. 3次元NR

の3つがあり、**初期設定[2オプション設定2]→[6ノイズリダクション設定]**で設定された状態の入/切ができます。
● それぞれのノイズリダクションの詳しい説明と設定方法については、P124をお読みください。

DNRを押す
● ボタンのランプが点灯します。

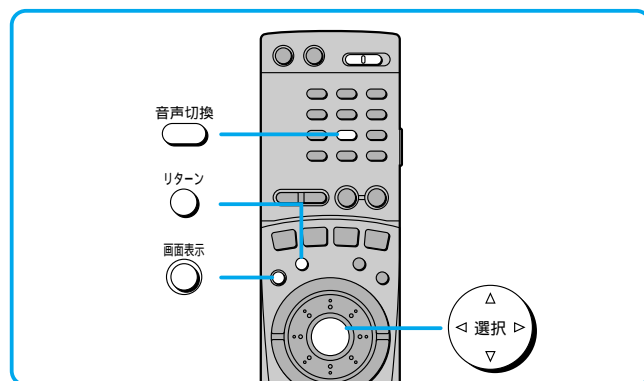
■解除する
もう一度、DNRを押す。
● ボタンのランプが消灯します。

■編集の際、本機を再生機として使うとき
よりきれいな映像で再生するための処理をしているために、本機を再生側機器として編集するときは、かえって画質を落としてしまう場合があります。このときは、DNRを押し、解除(ボタンを消灯)しておいてください。

音声を切り換える

ステレオ音声、主音声/副音声を切り換える

本機で受信中または再生中の音声は、下記の操作で切り換えることができます。

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

音声切換を数回押し、聞きたい音声を選ぶ
● 押すごとに、下表のように切り換わります。
● 電源を切るまで、選ばれた音声のままになります。
● 右ページの表の　　　欄が、2カ国語オート再生機能(下記)で自動的に選ばれる音声です。

■GUIバーで音声を切り換える RAM VCD

1. 画面表示を押し、GUIバー(ディスク情報画面)を出す。
2. ◁▷で「音声モード」を選ぶ。
3. △▽で聞きたい音声を選ぶ。

DVD-RAMの場合

ビデオCDの場合

GUIバーを消す
リターンを押す。

■ヒント RAM
選んだ音声だけを録音することはできません。
また、録画中に音声を切り換えても、録音される音声には影響はありません。

2カ国語オート再生機能について

RAM

ステレオ放送のときは「ステレオ音声」が、二重放送のときは「主音声」が自動的に選ばれます。
次のようなときは、2カ国語オート再生機能は働きません。
● 本機で録画していないディスクを再生するとき。
● 外部入力録画をしたディスクを再生するとき。
● 音声切換を押し、音声を選んだ後。
選んだ音声を本機が記憶しているためです。
一度電源を切ると、この機能は働くようになります。
● 番組の途中から再生を始めたとき。
記録されている音声の切り換わりなどをもとに働いているためです。音声切換で音声を選んでください。

テレビ放送受信中

	本体表示窓	テレビ画面	選ばれた音声
ステレオ放送	L R	ステレオ L R	ステレオ音声
	L	ステレオ L	左音声
	R	ステレオ R	右音声
二重放送（2カ国語放送など）	L R	二 重 L R	主音声＋副音声
	L	二 重 L	主音声
	R	二 重 R	副音声
モノラル放送（外部入力チャンネルも含む）	L R	音 声 L R	左音声＋右音声
	L	音 声 L	左音声
	R	音 声 R	右音声

録画したテレビ番組の再生中 RAM

	本体表示窓	テレビ画面	選ばれた音声
ステレオ番組	L R	音 声 L R	ステレオ音声
	L	音 声 L	左音声
	R	音 声 R	右音声
二重音声番組（2カ国語など）	L R	音 声 L R	主音声＋副音声
	L	音 声 L	主音声
	R	音 声 R	副音声
モノラル番組	L R	音 声 L R	モノラル音声
	L	音 声 L	モノラル音声
	R	音 声 R	モノラル音声

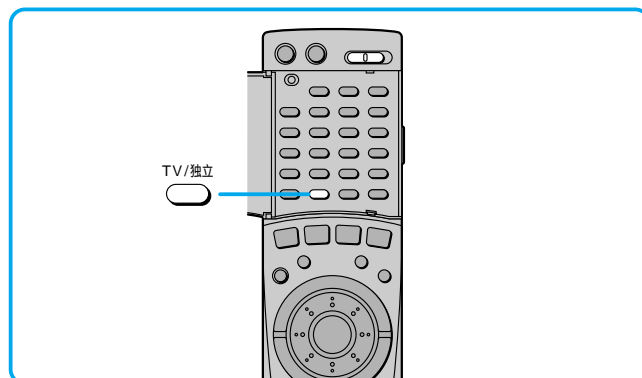
ディスク再生中 VCD

	本体表示窓	テレビ画面	選ばれた音声
再生中の音声	L R	音 声 L R	左音声＋右音声
	L	音 声 L	左音声
	R	音 声 R	右音声

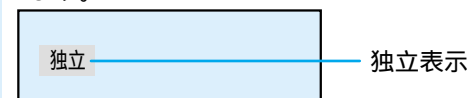
BS放送の音声を切り換える

BS放送の音声には、「テレビ音声」と「独立音声」があります。

テレビ音声： 映像と合った音声です。
独立音声： 映像と関係のない音声です。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

BS放送の受信中に、

TV/独立を押し、聞きたい音声を選ぶ

● 独立音声を選ぶと、テレビ画面に[独立]表示が出ます。

■「Aモード音声」と「Bモード音声」について

BS放送の音声には、「Aモード音声」と「Bモード音声」があります。

● Aモード音声
通常の番組の音声で、テレビ音声と独立音声の両方を送ってきます。

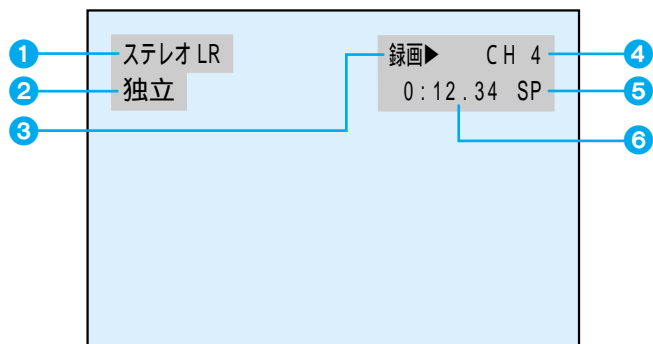
● Bモード音声
音楽番組などをより高音質のテレビ音声のみで送ってきます。（Bモード音声の番組を受信すると、テレビ画面に[B]と表示します）

● WOWOWを見ているときは、BSデコーダー側で「テレビ音声」または「独立音声」を選んでください。

画面に操作の表示を出す(オンスクリーン)

表示の一例

本機を操作したとき、テレビ画面で操作内容や本機の状態などの確認をすることができます。

■テレビ放送受信時、録画時

❶ 音声表示

- ステレオ放送を受信したときに[ステレオ]、二重放送を受信したときに[二重]を表示。(P94)
- **音声切換**を押し、音声を選んだときに[LR]、[L]、[R]を表示。(P94)

❷ BS音声/BSデコーダー表示

- **TV/独立**でBS放送の独立音声を選んだときに[独立]を表示。(P95)
- スクランブル放送を受信したときに[デコーダー]を表示。

❸ 録画状態の表示

- 本機の動作状態を表示。
  録画▶ ：録画中
  録画❚❚ ：録画の一時停止

❹ チャンネル表示

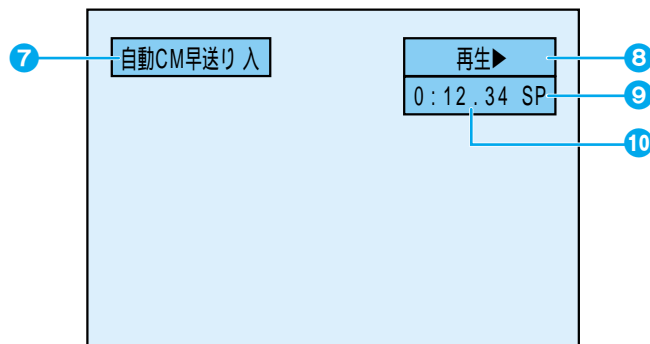
- チャンネルを切り換えたときや、録画を始めたときに表示。

❺ 録画モード表示

- 現在の録画モード[XP]、[SP]、[LP]または[FR]を表示。

❻ ディスク残量、日付/現在時刻、カウンター表示

- **残量/時計**を数回押すと、ディスク残量(DVD-RAMのみ)、日付/現在時刻、カウンターを表示。(右ページ)

■再生時

❼ 自動CM早送り表示

- **自動CM早送り**を押すごとに[自動CM早送り 入(または切)]を表示。(P47)

❽ 再生状態の表示

- 本機の動作状態を表示。
  ●●●▶▶：早送り4(高速)
  ●●▶▶●：早送り3
  ●▶▶●●：早送り2
  ▶▶●●●：早送り1(低速)
  再生▶ ：通常再生
  ●❙▸ ：スロー再生(高速)
  ❙▸● ：スロー再生(低速)
  ❚❚ ：静止(一時停止)
  ●◂❙ ：逆スロー再生(低速)
  ◂❙● ：逆スロー再生(高速)
  ◀ ：逆再生
  ●●●◀◀：早戻し1(低速)
  ●●◀◀●：早戻し2
  ●◀◀●●：早戻し3
  ◀◀●●●：早戻し4(高速)

❾ 録画時のモード表示

- 録画したときのモード[XP]、[SP]、[LP]または[FR]を表示。

❿ ディスク残量、日付/現在時刻、カウンター表示

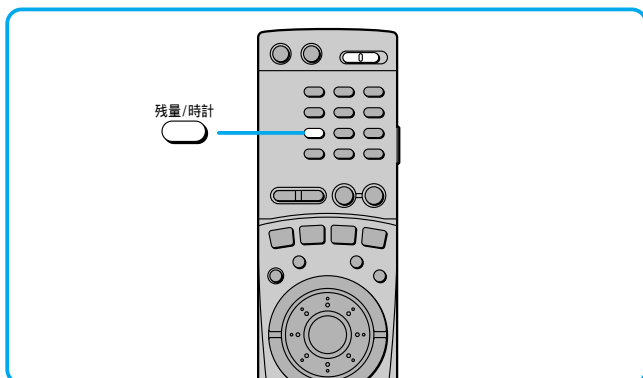
- **残量/時計**を数回押すと、ディスク残量(DVD-RAMのみ)、日付/現在時刻、カウンターを表示。(右ページ)

■ヒント

- **初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[1画面のメッセージ]→[3切]**にしているときは、オンスクリーン表示は出ません。(P117)
- テレビによっては、オンスクリーン表示が横ゆれしたり、乱れたりする場合があります。また、本機の動作が切り換わるときにも乱れる場合があります。

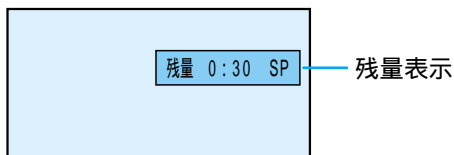
オンスクリーン表示を切り換える

テレビ画面でディスク残量(DVD-RAMのみ)、**日付/現在時刻、カウンター値を確認できます。**

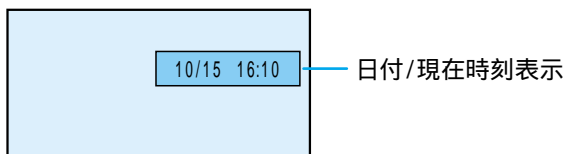
準備
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- **初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[1画面のメッセージ]→[1オート]**または[2**入**]にする。(P117)

RAM

残量(録画可能時間)

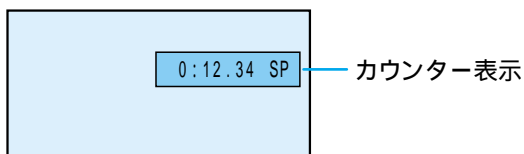
残量/時計を押す

- 本体表示窓もディスク残量表示になります。
- ディスクの録画可能時間が表示されます。(目安ですので、正確に表示されない場合があります)

日付/現在時刻

もう一度、残量/時計を押す

- 本体表示窓は現在時刻表示になります。
- 自動時刻合わせ機能(P133)が働いているときは、秒まで表示されます。

カウンター

もう一度、残量/時計を押す

- 本体表示窓もカウンター表示になります。

- もう一度押すと、残量表示に戻ります。

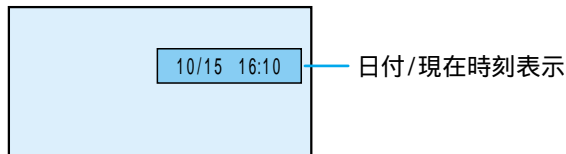
■続き再生メモリー機能が働いていない停止中のときは

残量/時計を押すごとに「日付/現在時刻」→「カウンター」→「残量」…になります。

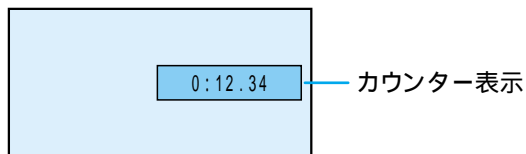
DVD-V VCD CD

日付/現在時刻

残量/時計を押す

- 本体表示窓は現在時刻表示になります。
- 自動時刻合わせ機能(P133)が働いているときは、秒まで表示されます。

カウンター

もう一度、残量/時計を押す

- 本体表示窓もカウンター表示になります。

- もう一度押すと、日付/現在時刻表示に戻ります。

■ヒント

- **初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[1画面のメッセージ]→[1オート]**にしていると、約5秒後に表示が消えます。
  [3**切**]にしているときは、オンスクリーン表示は出ません。
- ディスクが入っていないときは、**残量/時計**を押しても日付/現在時刻しか表示されません。
- ディスク残量表示は、残り録画可能時間を示します。DVD-RAMのみ表示されます。
- ビデオCD、CD時のカウンター値の出かたは、GUIバーの設定によって変わります。
  (トラック経過時間、トラック残り時間、ディスク残り時間から選ぶことができます)
  この設定を変えるときは、GUIバー「ディスク情報画面」の「再生時間の表示モード」で操作を行ってください。(P51)

便利機能

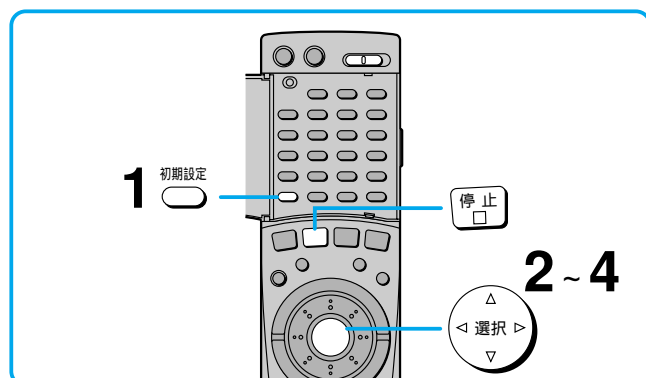
複数の当社製機器を使用するために

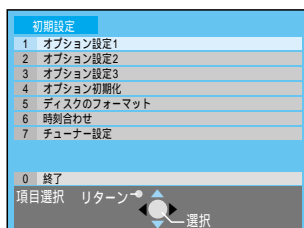
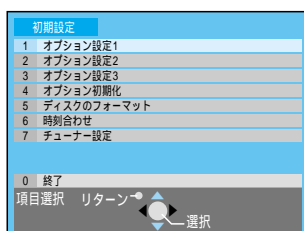
リモコンモードを変えておくと、本機以外の複数の当社製DVDレコーダー、DVDプレーヤーなどを同じ場所で別々に操作できます。

本機を含め、当社製のDVDレコーダー、DVDプレーヤーはほとんどが同じ方式のリモコンを使用しているため、同じ場所で操作しようとすると、お互いのリモコンの影響で正しく操作できません。このときは、下記の操作でリモコンモードを変更してください。

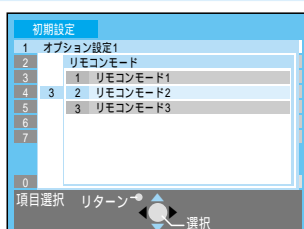
● 通常は、工場出荷時のままリモコンモード[1]でご使用ください。

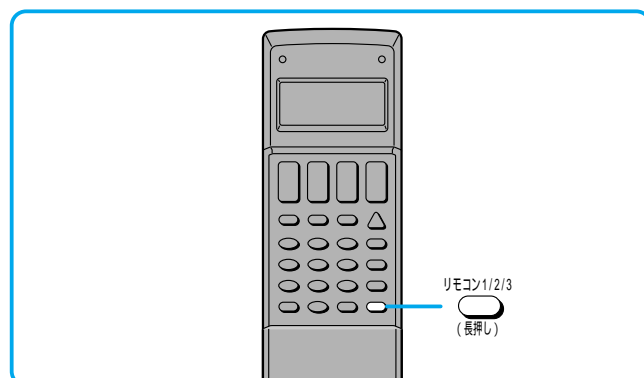
本体のモードを変更する

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 停止中(テレビ放送受信中)、**初期設定を押す**

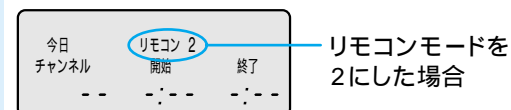
● テレビ画面に DVD VIDEO RAM マークが出ているときは、**停止**を押してからこの操作をしてください。

2 **△▽で[1オプション設定1]を選び、選択を押す**

3 **△▽で[3リモコンモード]を選び、選択を押す**

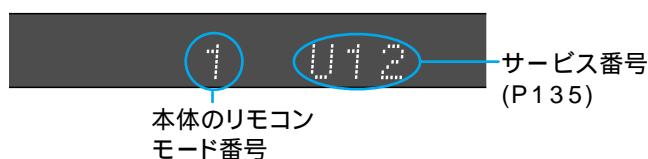
4 **△▽で[リモコンモード1、2、3]のいずれかを選び、選択を押す**

● [リモコンモード2]を選んだ例。

リモコンのモードを変更する

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

リモコン1/2/3(長押し)を約2秒以上押し続け、リモコンモードを選ぶ

● 押すごとに、リモコンモードが変わります。

リモコンモードを**2**にした場合

■**ヒント**

● 操作できずに、本体表示窓に下記のような表示が出るときは、本体とリモコンのリモコンモードが異なっています。リモコン側のリモコンモードを本体に合わせてください。

● 本機を含め、複数の当社製のDVDレコーダー、DVDプレーヤーを同じ場所でご使用の際、目的の機器を操作しようとすると、別の機器に上記のような表示が出る場合があります。(本機や他の機器の操作には影響はありません)

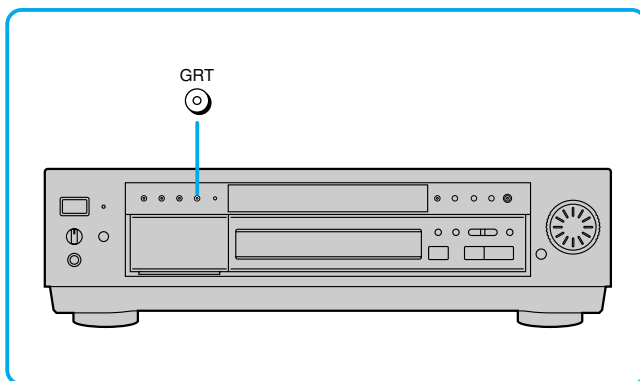
● この表示は約5秒間表示され、そのあと元の状態に戻ります。(予約内容や録画などには影響ありません)

テレビ放送受信時に画像が二重三重に見えるとき (ゴースト・リダクション)

本機はGRT(ゴースト・リダクション・チューナー)を搭載しています。チャンネル受信時に気になるゴーストを低減してくれます。
工場出荷時は「入」(ボタンのランプが点灯)になっています。

■ゴースト・リダクションとは

アンテナが受信するテレビの電波には、直接受信したもの(直接波)と、建物などに反射してから受信したもの(反射波)とがあります。直接波に比べ反射波の方が少し遅れて受信するため、映像が二重三重になってテレビに映ります。これをゴーストといいます。本機は送られてくる信号中のゴースト除去基準信号(GCR信号)に基づいて、ゴーストを低減します。ゴースト・リダクションを「入」にしておくと、ゴーストを低減した映像を楽しむことができます。
(通常は「入」にしておいてください)

- ご使用になる地域によっては「入」(ボタン点灯)にしていると、ゴーストが増大する場合があります。このようなときは以下の操作で「切」(ボタン消灯)にしてください。

ゴースト・リダクションを解除したいチャンネルを選び、

GRTを押す

- ボタンのランプが消灯します。
- ゴースト・リダクションは1つ1つのチャンネルごとに「入」「切」の状態が選べます。

■ゴースト・リダクションを再び働かせる

ゴースト・リダクションを働かせたいチャンネルを選び、GRTを押す。

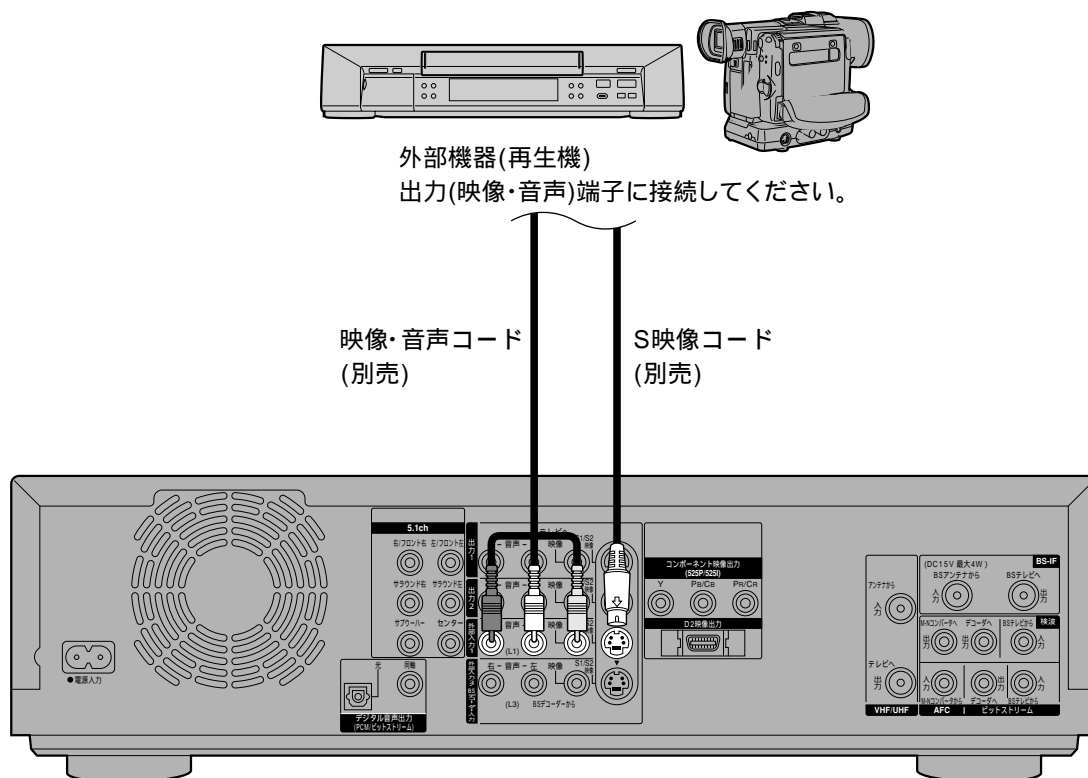
- ボタンのランプが点灯します。

■ヒント

- 次のようなゴーストは除去されない場合があります。
  - ・アンテナが正しく設置・調整されていないとき
  - ・過大なゴーストのとき
  - ・放送電波にGCR信号がないとき(BS放送など)

  は、GRTを押してもボタンのランプは点灯しません。
- チャンネル切換後など、ゴースト測定中は一時的にゴーストが増える場合があります。
- ゴースト測定中は、GRTボタンのランプが点滅します。

外部機器から録画する

外部入力端子に接続したビデオやビデオカメラからの映像・音声を録画・録音することができます。

■ヒント

上図の例では、外部入力1(L1)端子に接続していますが、前面のL2(外部入力2)端子、後面の外部入力3(L3)端子に接続することもできます。

- 後面の外部入力3(L3)端子に接続したときは、**初期設定[3オプション設定3]→[7外部入力3の端子設定]→[1ライン]**にしてください。(P130)

■外部機器の音声出力端子がモノラルのとき

ステレオ音声をモノラル音声に変換できる映像・音声コード(別売)を使って、前面のL2(外部入力2)端子に接続してください。

- その際、音声コードは**AUDIO IN**の**L/MONO**端子に接続してください。

ダビング編集する

準備
- 必要な接続をする。
- **DVD/テレビ**を[DVD]にする。
- 録画機(本機)に録画可能なディスクを入れる。
- 録画機(本機)で録画モード(XP/SP/LP)を選んでおく。

1 DVDチャンネルまたは入力切換を押し、外部機器を接続した外部チャンネルを選ぶ

- 外部入力1端子(L1・後面)に接続したとき：[L1]を選ぶ。
- L2(外部入力2端子・前面)に接続したとき：[L2]を選ぶ。
- 外部入力3端子(L3・後面)に接続したとき：[L3]を選ぶ。

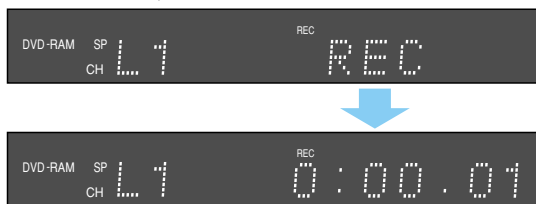
DVD-RAM SP CH L1

外部入力[L1]
チャンネルを
選んだ場合

2 再生機で再生を始める

3 録画を始めたい場面で、録画を押し、録画を始める

DVD-RAM SP CH L1 REC REC

DVD-RAM SP CH L1 REC 0:00.01

■不要な場面をとばす
不要な場面になったら、**一時停止**を押す。
- もう一度押すと、録画が再開されます。

■録画をやめる
停止を押す。
- 再生機も停止させてください。

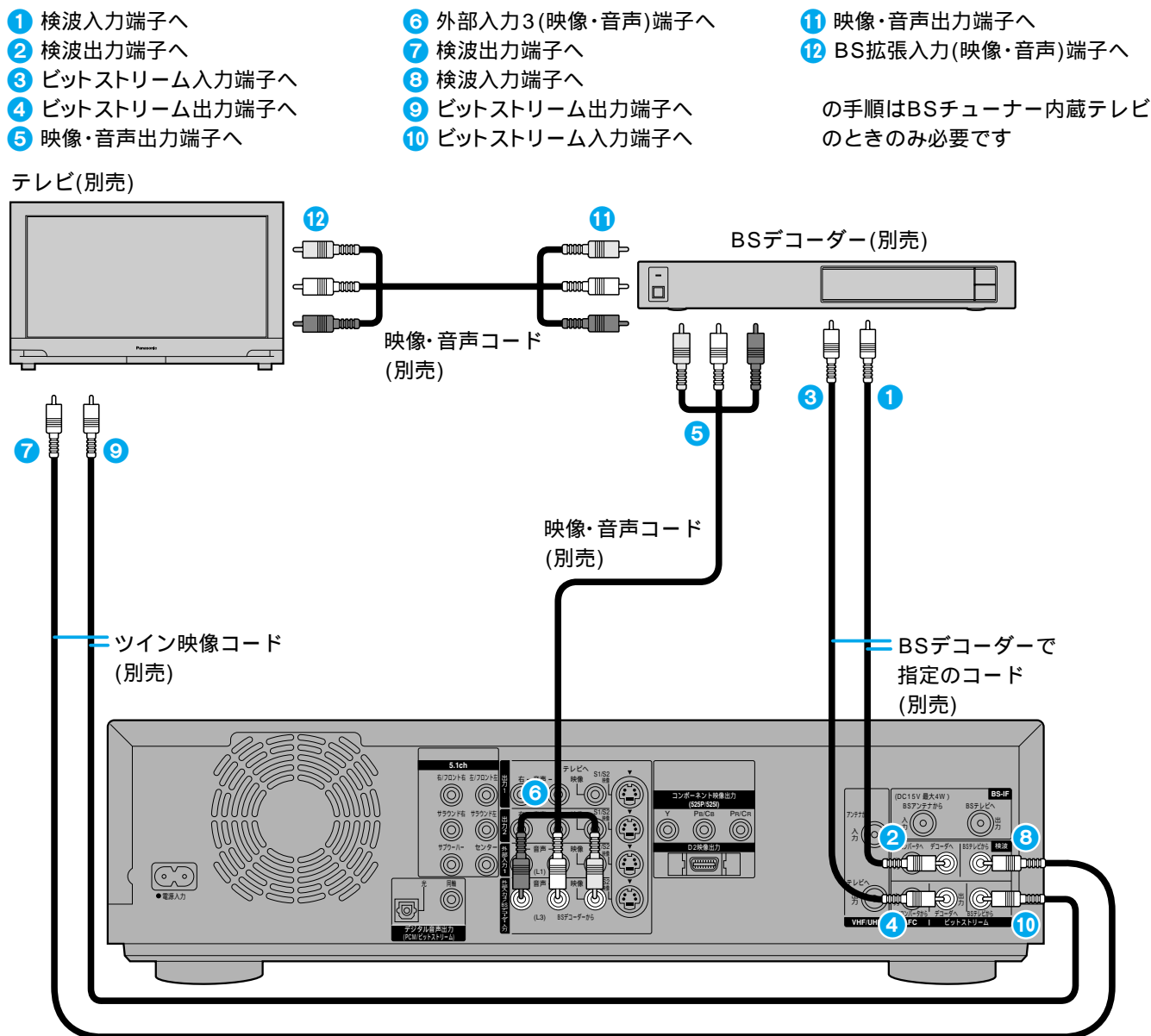
■映像が乱れたり、色合いが悪くなったりするとき
市販されているソフト(レンタルビデオも含む)やデジタルCS放送などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。
コピーガードのかかった信号を本機に入力しても、正しく録画できません。また、本機を経由してテレビで見ようとしても、映像が乱れたり、色合いが悪くなったりします。

■本機を再生機として使うとき
- **初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[1画面のメッセージ]→[3切]**にすると、画面に不要な文字や表示を出さなくなります。(P117)
- **DNR(デジタルノイズリダクション)**は、よりきれいな映像で再生するための処理をしているために、本機を再生機にして他の録画機に編集するときは、かえって画質を落としてしまう場合があります。このときは**DNR**を押し、解除(ランプを消灯)しておいてください。

■テレビの近くで操作するとき
- 再生機をテレビに近付けると、黒い帯状のノイズが記録される場合があります。このときはできるだけ離してください。

WOWOWを見る

WOWOWを見るには、JSBとの受信契約と、スクランブルを解除するためのBSデコーダー(別売)が必要です。

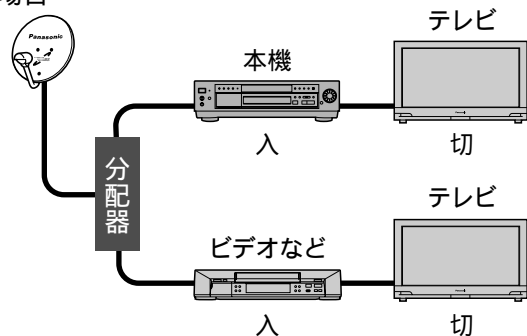
- WOWOWとは、JSB(日本衛星放送株式会社)の有料放送の愛称です。
- P22～25の接続の後、下記のようにBSデコーダーを接続してください。
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- テレビ、BSデコーダーの説明書もお読みください。

下記の順番で確実に接続してください。

■ヒント

- **初期設定[3オプション設定3]→[7外部入力3の端子設定」→[2BSデコーダー/M-Nコンバーター]**にしてください。(P130)(工場出荷時は[2BSデコーダー/M-Nコンバーター]になっています)

■ヒント
本機の電源が切れている場合や、BS以外のチャンネルを選んでいる場合で、BSチューナー内蔵テレビでBS放送をきれいに受信できないときは、本機やテレビの[BS電源]の設定が正しくないことが考えられます。
下図を参考に、本機とテレビの両方の「BSアンテナ電源」を必ず正しく設定してください。(P28)

■BSアンテナを単独で直接接続した場合

■BSアンテナを本機を含む複数のビデオ・テレビに接続した場合

■共聴受信(マンションなど)の場合

St. GIGA(セント ギ ガ)と受信契約された方

St. GIGAは、BS5チャンネル(WOWOW)の「独立音声」で行われている音声のみの有料放送です。お楽しみいただくには、St. GIGAとの受信契約と、BSデコーダー(別売)が必要です。

- BSデコーダーは、WOWOWを見るときに必要なものと同じです。(BSデコーダーの説明書もお読みください)
- マニュアルチャンネル設定(P34)で、BS5チャンネルの[BSシステム]を[デコーダー入]に設定してください。
- テレビの画面はWOWOWを映していますが、音声がSt. GIGAになります。

■テレビのチューナーを使って、St. GIGAを楽しむとき

1. テレビの電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ。
2. BSデコーダーの電源を入れ、独立音声を選ぶ。

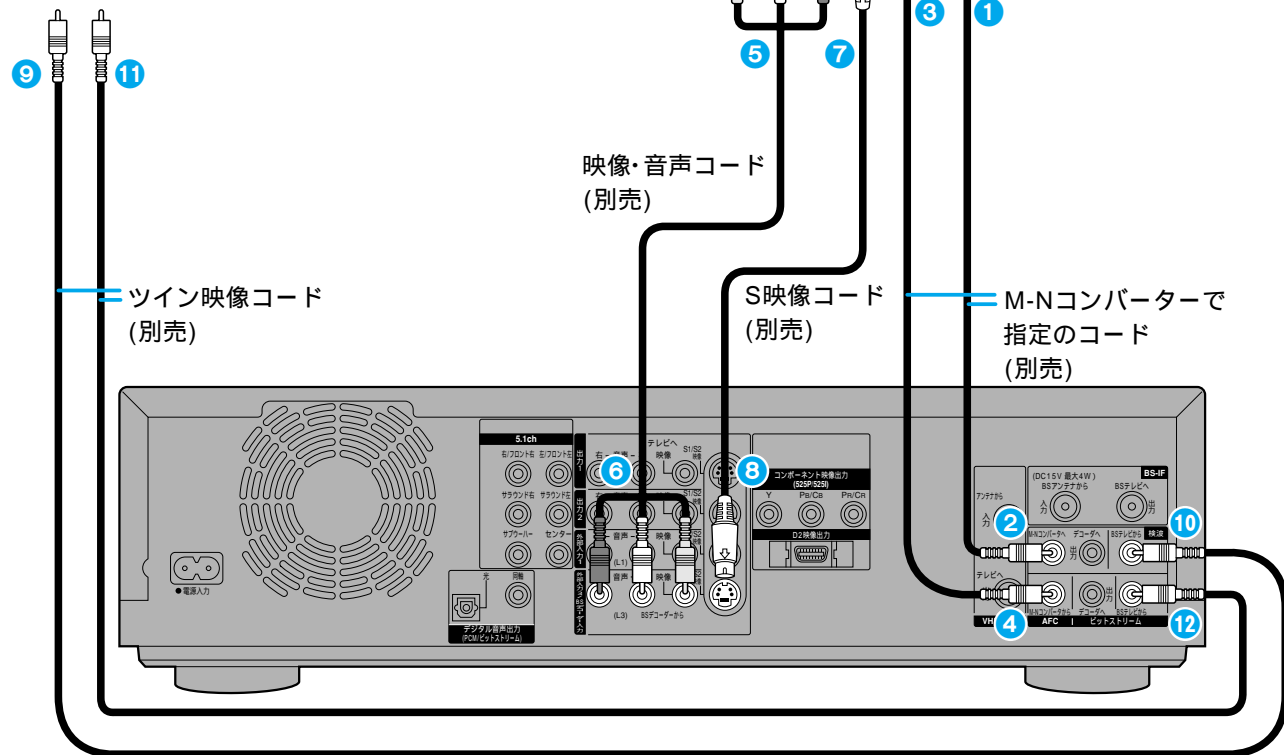
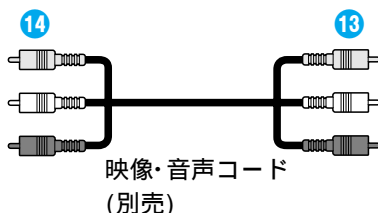
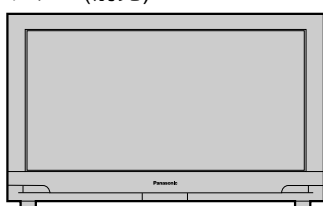
■本機のチューナーを使って、St. GIGAを楽しむとき

1. テレビの電源を入れ、入力切換を本機を接続している入力([ビデオ1]など)にする。
2. 本機の電源を入れ、BS5チャンネルを選ぶ。
3. BSデコーダーの電源を入れ、独立音声を選ぶ。

ハイビジョン放送を見る

ハイビジョン放送を見るには、MUSE（ミューズ）信号をNTSC（エヌティーエスシー）信号に変換するためのM-Nコンバーター(別売)が必要です。

- 画質はNTSC方式と同じになります。
- P22～25の接続の後、下記のようにM-Nコンバーターを接続してください。
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- テレビ、M-Nコンバーターの説明書もお読みください。

下記の順番で確実に接続してください。

■ハイビジョン放送について

ハイビジョンとは、現在行われているNTSC方式の放送の約5倍の情報量を持った、「横：縦」比が「16：9」の放送方式のことです。

ハイビジョンの信号は圧縮してから送られてきますが、その信号(MUSE信号)を現在ご使用のテレビでご覧いただけるように、NTSC方式の信号に変換するための機器がM-Nコンバーターです。

- 接続後、BSチューナー内蔵テレビでハイビジョン放送を見るときは、テレビ側でハイビジョン放送のチャンネルを選んだ後、テレビの入力切換をM-Nコンバーターと接続した外部入力に切り換えてください。

この方法で見ることができないときは、テレビ側のハイビジョン放送の「拡張入力(BSデコーダー入力)設定」を「強制」にしてください。(テレビによっては見ることができない場合があります)

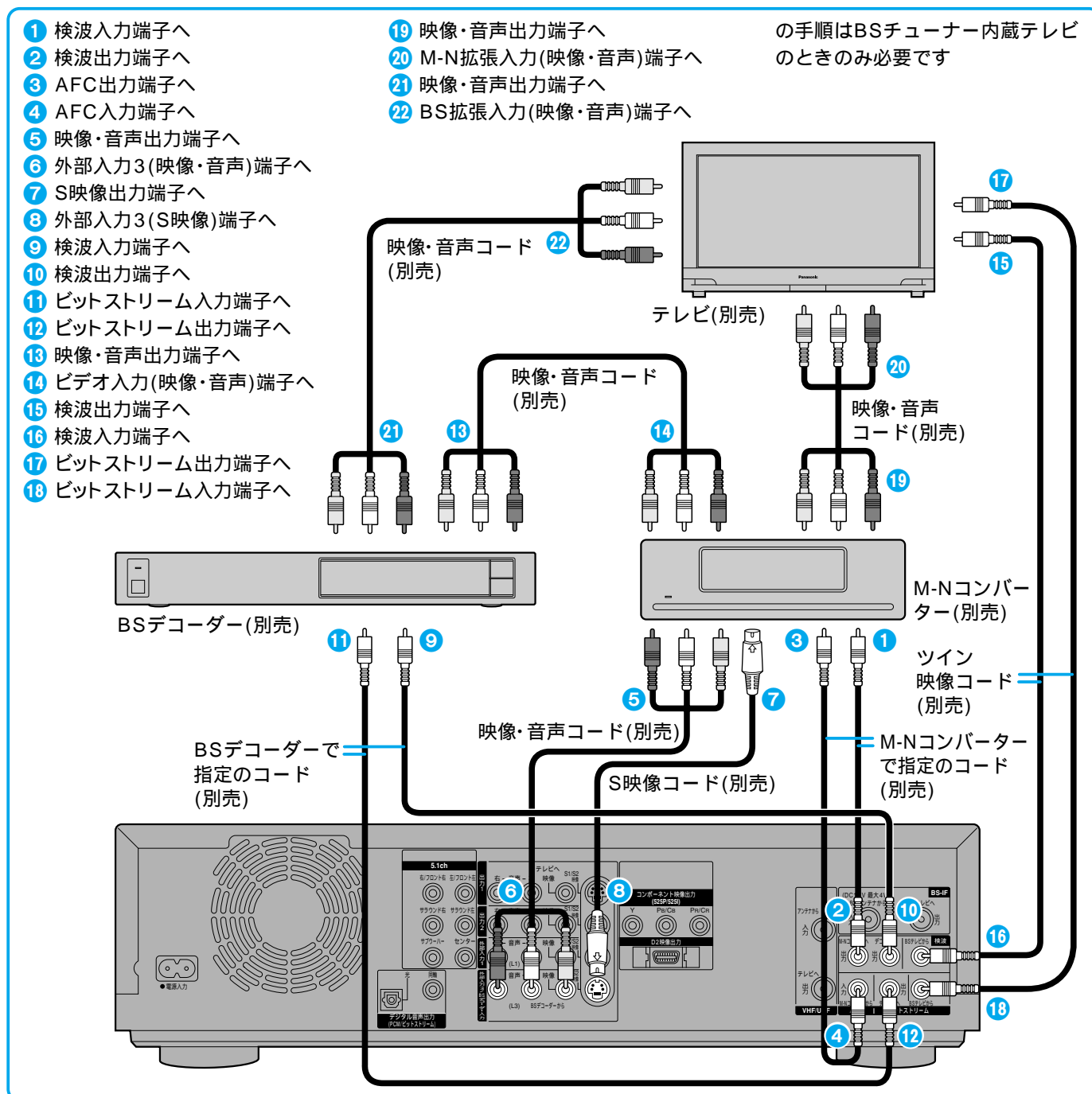
■ヒント

- **初期設定[3オプション設定3]→[7外部入力3の端子設定」→[2BSデコーダー/M-Nコンバーター]**にしてください。(P130)(工場出荷時は[2BSデコーダー/M-Nコンバーター]になっています)

WOWOWとハイビジョン放送を見る

WOWOWとハイビジョン放送の両方を見るには、BSデコーダー(別売)とM-Nコンバーター(別売)の両方が必要です。

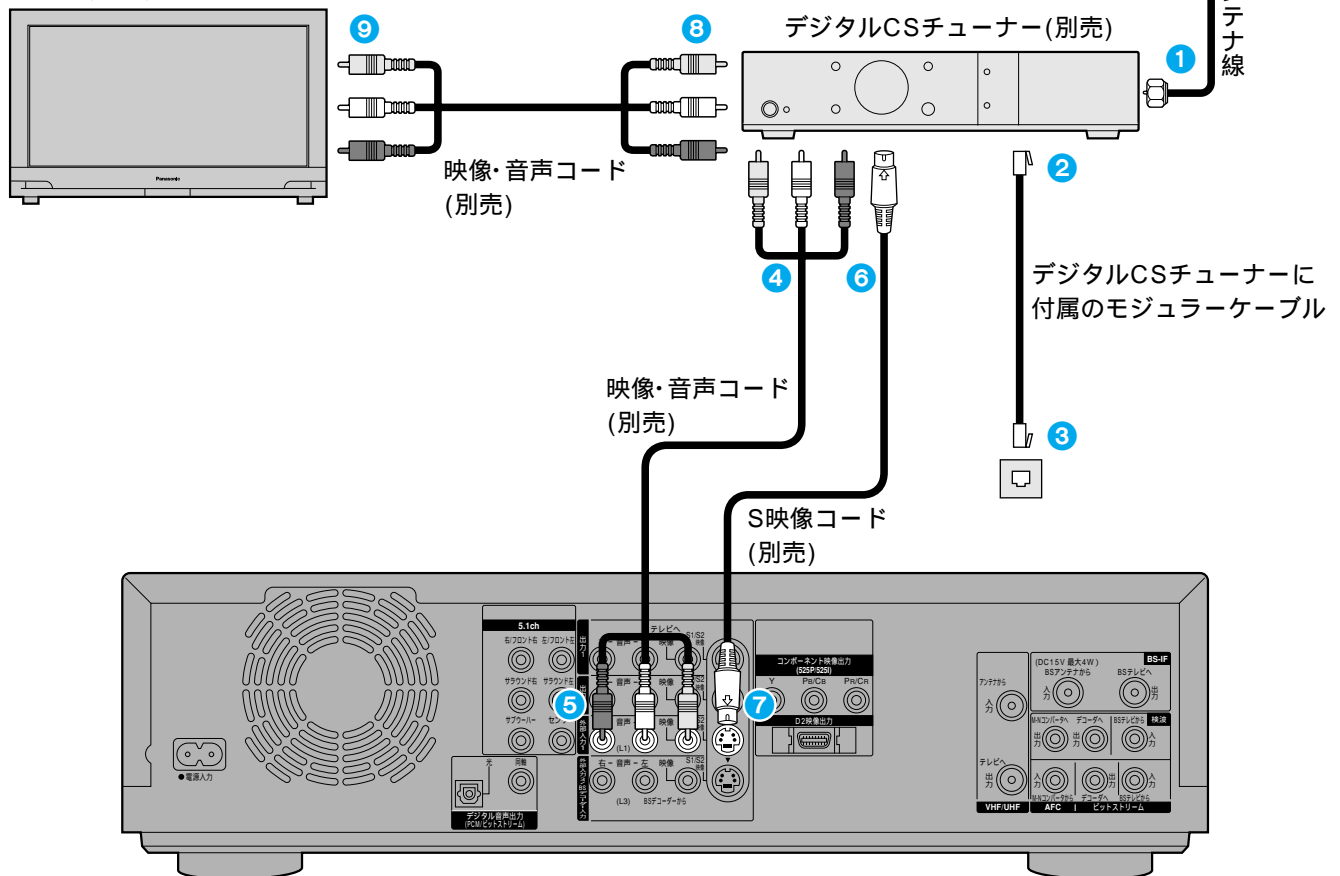
- ハイビジョン放送の画質はNTSC方式と同じになります。
- P22～25の接続の後、下記のようにBSデコーダーとM-Nコンバーターを接続してください。
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- テレビ、BSデコーダー、M-Nコンバーターの説明書もお読みください。

下記の順番で確実に接続してください。

■ヒント

- BSチューナー内蔵テレビと上図の接続をすると、テレビでWOWOWを見ながらハイビジョン放送を録画(裏番組録画)することができます。(WOWOWを録画しながらハイビジョン放送を見ることはできません)
- **初期設定[3オプション設定3]→[7外部入力3の端子設定」→[2BSデコーダー/M-Nコンバーター]にしてください。**(P130)(工場出荷時は[2BSデコーダー/M-Nコンバーター]になっています)

デジタルCS放送を見る

デジタルCS放送を見るには、デジタルCSチューナー(別売)が必要です。
- CSアンテナの設置などについては、販売店にご相談ください。
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- テレビ、デジタルCSチューナーの説明書もお読みください。

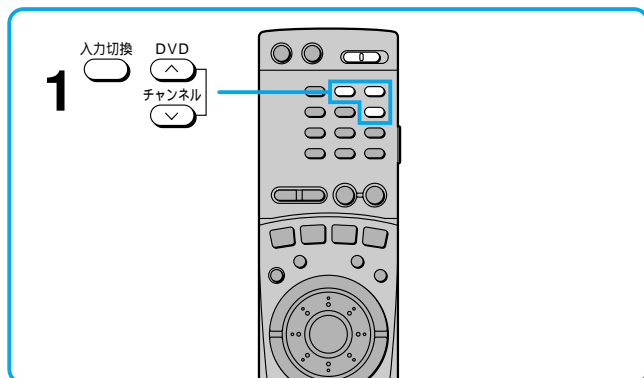
下記の順番で確実に接続してください。

■CSチューナーに回線端子がないとき

アナログ方式(従来)のCSチューナーを接続するときは、
2、3の接続は不要です。

■ヒント

- 外部入力3端子(L3)に接続したときは、**初期設定[3オプション設定3]→[7外部入力3の端子設定」→[1ライン]**にしてください。(P130)(工場出荷時は[2BSデコーダー/M-Nコンバーター]になっています)

デジタルCS放送の画面を出す

準備 ● DVD/テレビを[DVD]にする。

1 入力切換またはDVDチャンネルを数回押し、デジタルCSチューナーと接続した外部入力チャンネルを選ぶ

外部入力[L1]
チャンネルを
選んだ場合

2 デジタルCSチューナーの電源を入れる

3 デジタルCSチューナー側で、見たいチャンネルを選ぶ

■ヒント

デジタルCS放送の視聴・録画には、専用のデジタルCSチューナーが必要です。さらに、使用する機器ごとにデジタルCS放送会社との受信契約が必要となります。
(詳しくは、デジタルCS放送会社にご相談ください)

■コピーガードのかかっている番組を見るとき

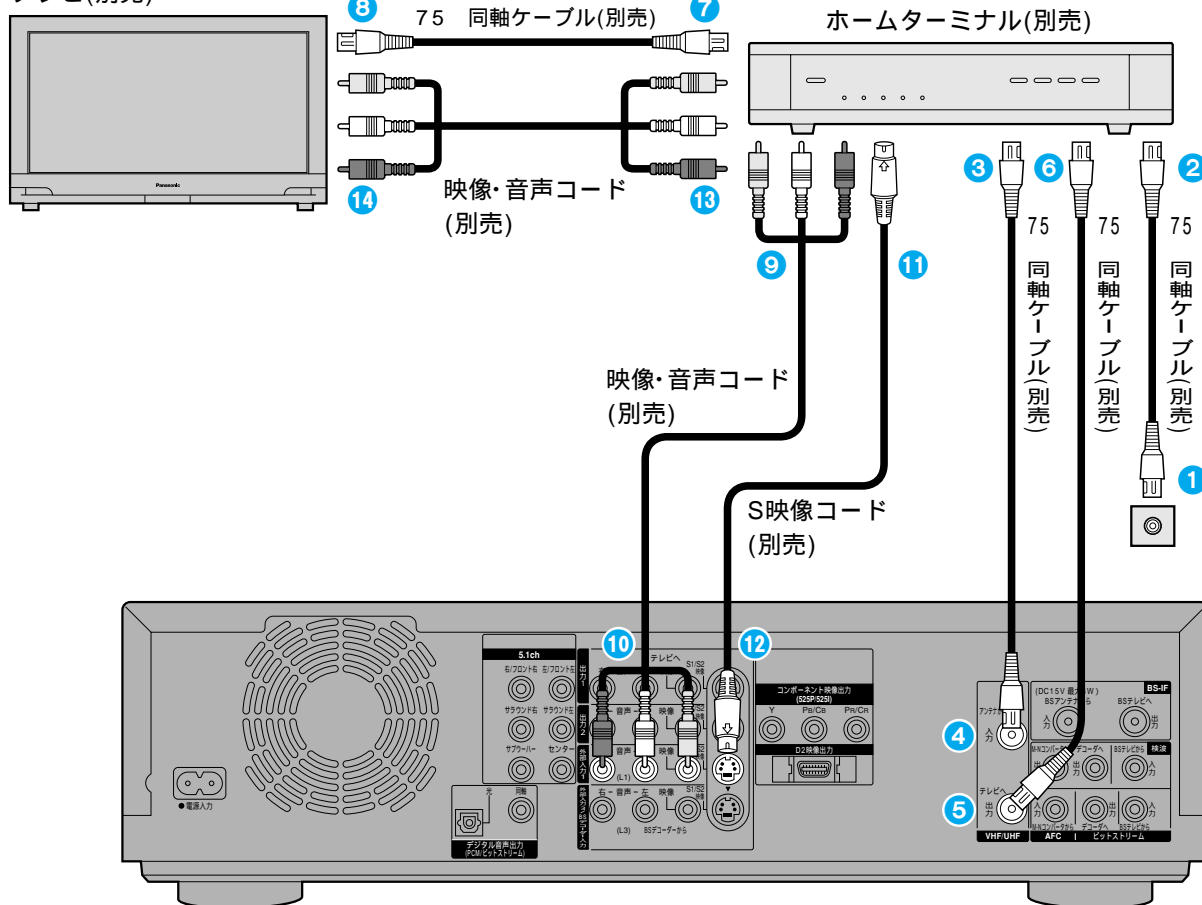
本機を経由してデジタルCS放送を見ようとすると、画像がきれいに映らない場合があります。このときは、デジタルCSチューナーから直接テレビに映像・音声コードを接続し、テレビの入力をデジタルCSチューナーに切り換えてご覧ください。

■有料番組などを録画するとき

必ずデジタルCSチューナー側で必要な設定を行ってください。
(録画できない番組や、録画するために追加料金の必要な番組などもあります)

CATV放送を見る

CATV放送を見るには、専用のホームターミナル(アダプター)が必要です。
- CATV会社と新たに受信契約をされたときは、CATV会社が接続してくれます。
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- テレビ、ホームターミナルの説明書もお読みください。(詳しくは、CATV会社にご相談ください)

下記の順番で確実に接続してください。

■ヒント

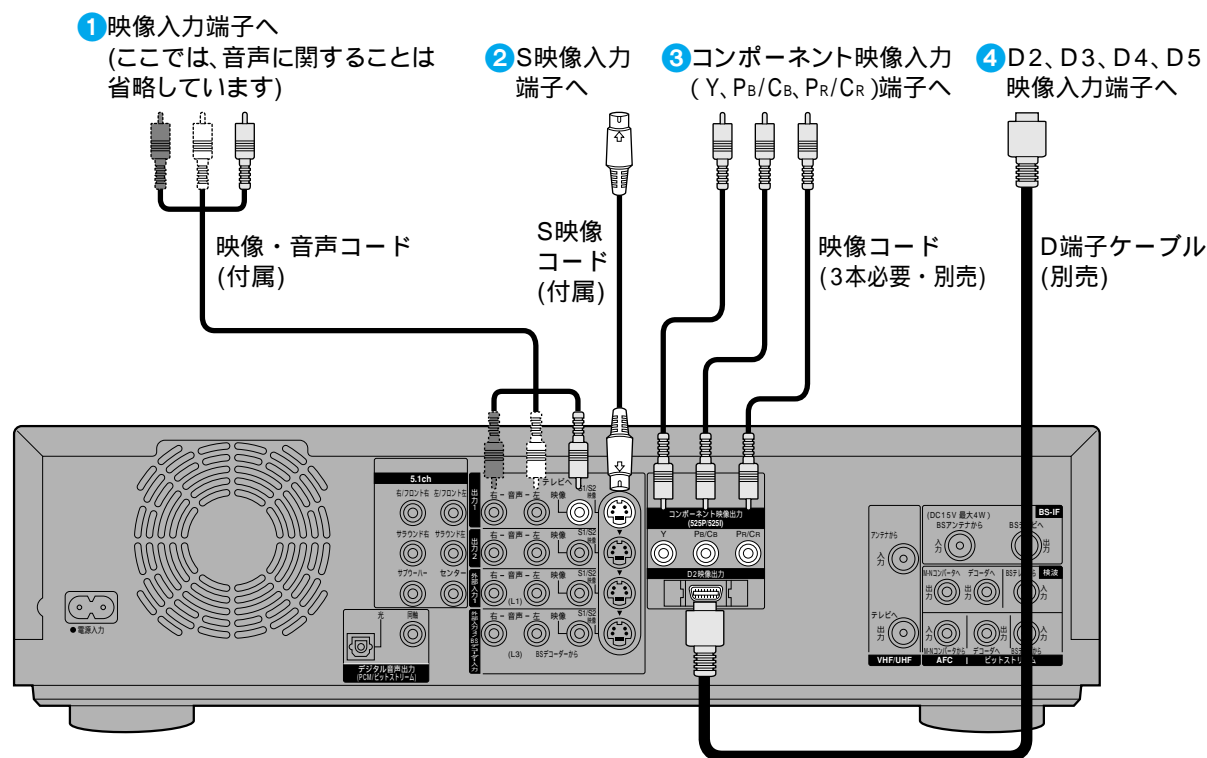
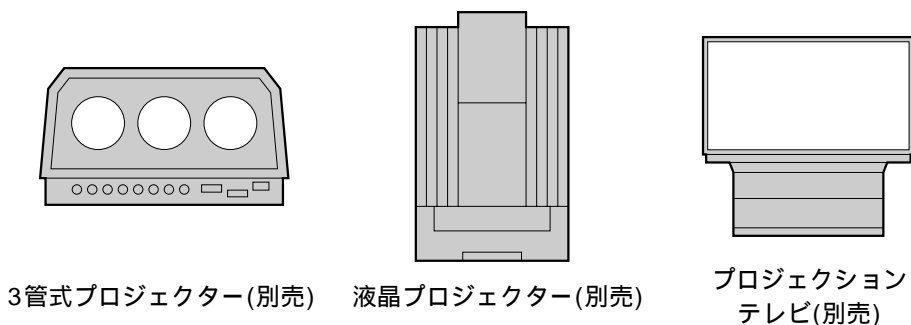
CATV放送を受信するときは、CATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴・録画には、ホームターミナル(別売)が必要になります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。
CATVの受信は、サービスの行われている地域のみ可能です。

■お願い

- 受信チャンネル設定を正しく行ってください。
  特に、各放送局のガイドチャンネルの設定を行っておかないと、Gコード予約ができませんのでお気をつけください。受信チャンネルの設定はP35をお読みください。
- リモコンの予約チャンネル表示設定を行ってください。
  工場出荷時には、CATVチャンネルの予約チャンネル表示はすべてとばされています。そのままでは、フリーセット予約ができません。CATV放送のチャンネルを表示させるときは、P73をお読みください。
- 有料放送を受信するときは、本機の入力を切り換えてください。
  有料放送を本機のチューナーで受信してもきれいに映りません。ホームターミナルを接続した外部入力チャンネル(上記の接続例の場合、外部入力チャンネル[L1])に切り換えてください。(詳しくは、CATV会社にご相談ください)

いろいろな映像機器と接続する

本機の映像出力は、テレビの他にもいろいろな機器に接続することができます。プロジェクターなどに接続すると、迫力ある大画面で見ることができます。

- 使用する機器の端子の形状を確認して、下図 ❶〜❹ のいずれかの方法で接続してください。
- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- 接続する機器の説明書もお読みください。

■3管式プロジェクター

3つの光源から大型スクリーンに投射することで、シネマサイズの大画面が楽しめます。

■液晶プロジェクター

液晶パネルから大型スクリーンに投射することで、シネマサイズの大画面が楽しめます。

■プロジェクションテレビ

プロジェクター方式で大画面に投射することで、ブラウン管テレビでは味わえない迫力ある映像が楽しめます。

■S映像入力端子があるとき

映像端子よりも高画質の映像を得ることができます。

■コンポーネント映像入力端子があるとき

- 映像端子、S映像端子よりも、さらに鮮明な映像を得ることができます。DVDの高画質・高品質な映像を忠実に微細な色まで再現します。
- 使用する機器により、入力端子の表示が異なる(Y、P_S、P_RやY、B-Y、R-Yなど)場合がありますので、そちらの説明書もお読みください。

■D2、D3、D4、D5映像入力端子があるとき

- 映像端子、S映像端子よりも、さらに鮮明な映像を得ることができます。DVDの高画質・高品質な映像(信号フォーマット：525P、525I)が楽しめます。
- D1映像入力端子にも接続できますが、525Iのみの出力となります。

アンプやスピーカーを使ってシステムアップする

接続・設定早見表

本機を使った音響システムを組む場合は、以下の表を参考に必要な接続や設定を行ってください。

目　的	必要な機器 ※必要な機器は一例です。
ドルビーデジタル5.1chサラウンドサウンドを楽しみたい(基本システム) (P112)	● 5.1ch入力を持つアンプ ● 5.1ch用スピーカーシステム
ドルビーデジタル&dtsデコーダー(または内蔵アンプ)を使ってDVDの5.1chサラウンドサウンドを楽しみたい (P113)	● ドルビーデジタル＆dtsデコーダー内蔵アンプ またはドルビーデジタル/dtsデコーダーと5.1ch入力を持つアンプ ● 5.1ch用スピーカーシステム
2chのアナログアンプ(ドルビープロロジックアンプも含む)と接続したい (P114)	● 2chアナログアンプ
2chデジタルアンプと接続したい (P114)	● 2chデジタルアンプ
カセットデッキなどで録音したい (アナログ録音) (P114)	● アンプ ● カセットデッキなど
MDなどでデジタル信号のまま録音したい (デジタル録音) (P114)	● アンプ ● MDデッキなどのデジタル録音機器 デジタル録音機器は、サンプリング周波数が48kHz/16bitに対応したものをご使用ください。 ディスクにコピーガードがかかっている場合は、デジタル録音できません。

初期設定 [3オプション設定3]→[1デジタル出力]		初期設定 [3オプション設定3]→[4スピーカー設定]
● [1LPCM96kHz-48kHz変換]→[1入] ● [2Dolby Digital]→[2PCM] ● [3dts]→[2off]	▶	● 接続した全スピーカーを[あり]に設定する。 ● [音量バランス]を設定する。 ● [ディレイタイム]を設定する。 **スピーカー3つ、あるいは4つで接続したいとき** ● 接続したスピーカーだけを[あり]に設定する。 例えば、スピーカーが3つのときは**フロント**(左/右)と**センター**、4つのときは**フロント**(左/右)と**サラウンド**(左/右)に接続します。
● [1LPCM96kHz-48kHz変換]→[1入] ● [2Dolby Digital]→[1Bitstream] ● [3dts]→[1Bitstream] dtsに対応していないデコーダーの場合は、[3dts]→[2off]に設定してください。	▶	● 設定不要。 スピーカーの設定はデコーダー側で行ってください。 本機は工場出荷時の状態にしておいてください。
● 設定不要。	▶	● 設定不要。 ドルビープロロジックアンプの場合は、スピーカーの設定はアンプ側で行ってください。
● [1LPCM96kHz-48kHz変換]→[1入] ● [2Dolby Digital]→[2PCM] ● [3dts]→[2off]	▶	● 設定不要。
● 設定不要。	▶	● 設定不要。
● [1LPCM96kHz-48kHz変換]→[1入] ● [2Dolby Digital]→[2PCM] ● [3dts]→[2off]	▶	● 設定不要。

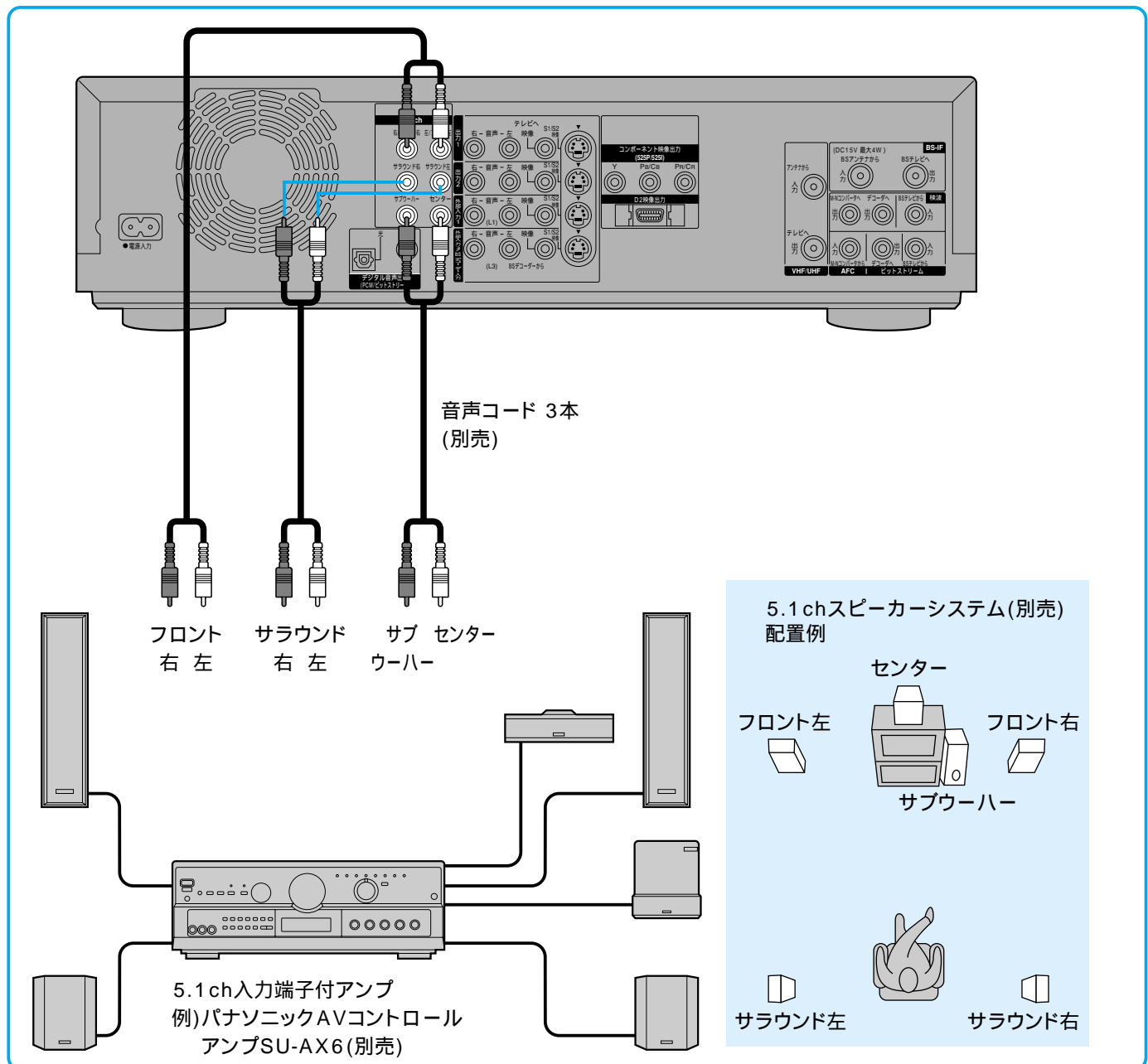
■お願い

正しく初期設定をせずにDVDを再生すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

アンプやスピーカーを使ってシステムアップする(つづき)

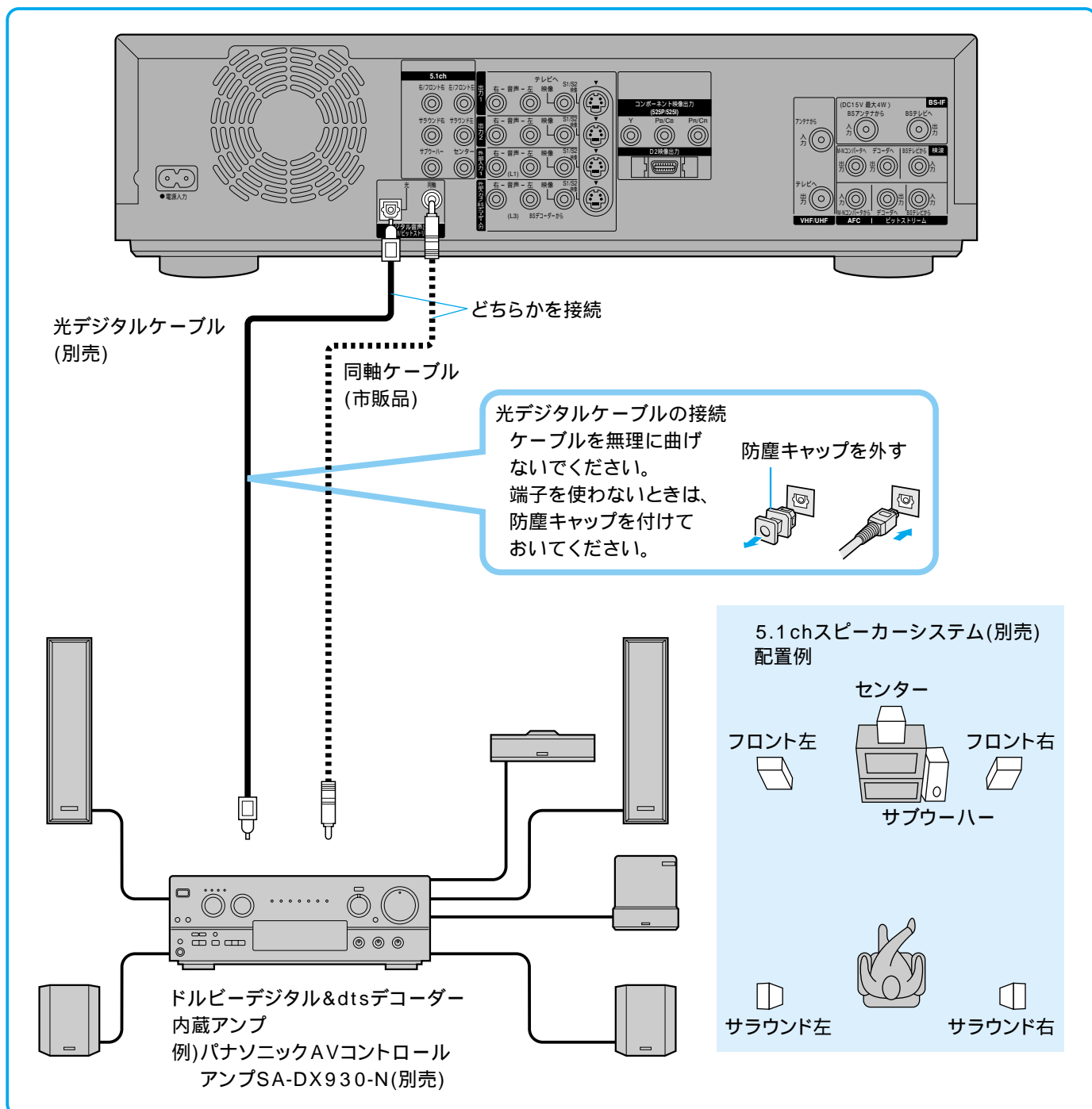
ドルビーデジタル5.1chサラウンドシステムを組む(基本システム)

DVD-VIDEOを本格的なホームシアターで楽しむための基本システムです。

■ヒント

- テレビやプロジェクターなどの映像機器への接続はP22～23,P109をご覧ください。
- フロントスピーカー以外にスピーカーをお使いになる場合は、V.S.S.(バーチャルサラウンドサウンド)を必ず解除してください。V.S.Sが[1]または[2]になっていると、フロント以外のスピーカーから音が出ません。(P92)

ドルビーデジタル&dtsデコーダー(内蔵アンプ)で5.1chサラウンドシステムを組む

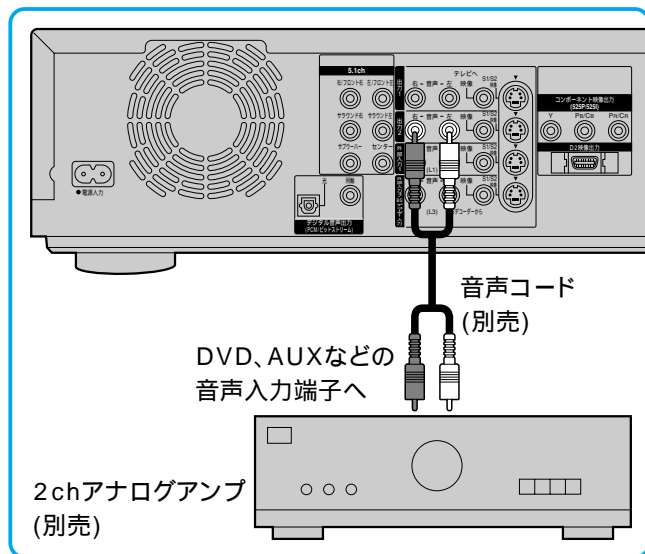
ドルビーデジタル/dts 5.1chサラウンドで収録されたDVD-VIDEOの再生時は、ドルビーデジタル＆dtsデコーダー内蔵アンプまたはドルビーデジタル/dtsデコーダーを経由して5.1ch入力端子付アンプに接続することで、映画館やホールにいるような迫力と臨場感ある音声で楽しむことができます。

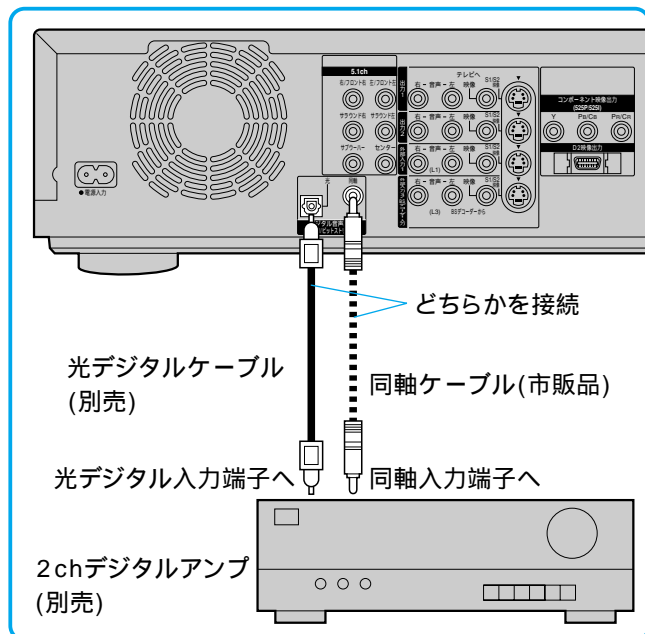
■**ヒント**

● テレビやプロジェクターなどの映像機器への接続はP22～23,P109をご覧ください。

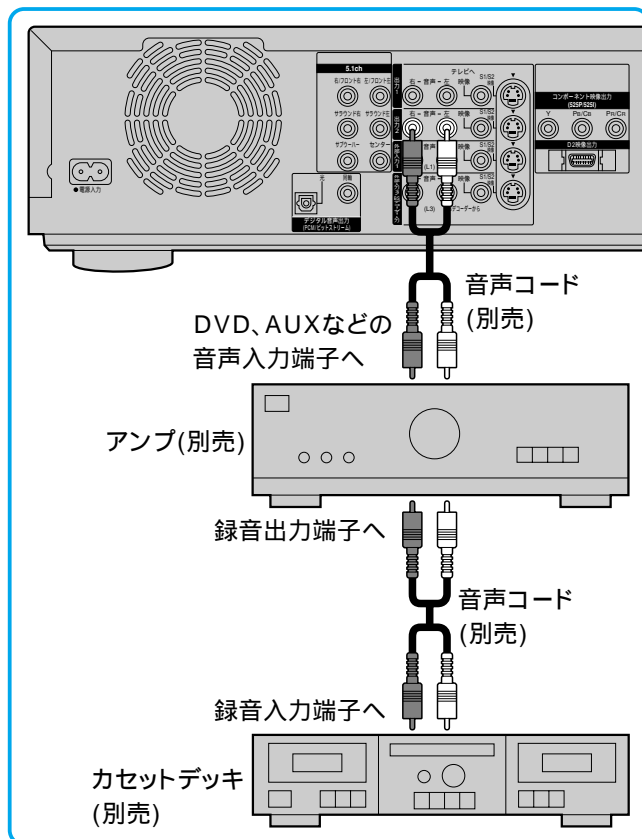
● 上図は、ドルビーデジタル＆dtsデコーダー内蔵アンプと接続した例です。ドルビーデジタル&dtsデコーダーを内蔵していないアンプの場合は、本機とアンプの間にドルビーデジタル(AC-3)/dtsデコーダー(別売)の接続が必要です。

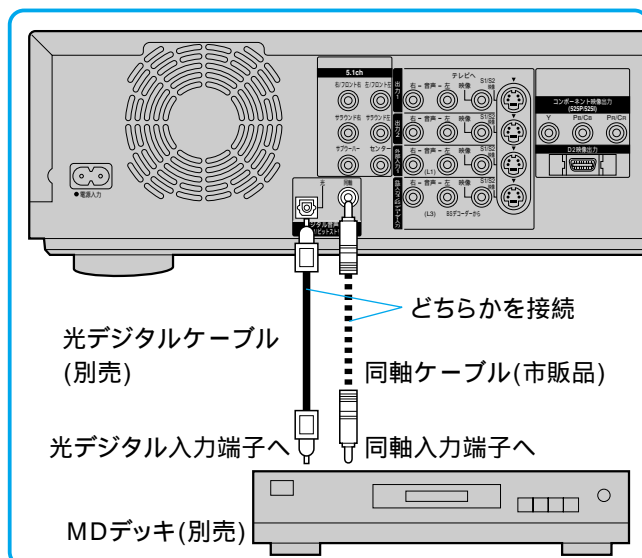
● DVDに対応していないdtsデコーダーは使用できません。

アンプやスピーカーを使ってシステムアップする(つづき)

2chアナログアンプと接続する

■ヒント
- 出力(音声)端子の空いている方に接続してください。
- 5.1chの音声信号が入った場合も、常に全チャンネルを2chにダウンミックスして出力します。

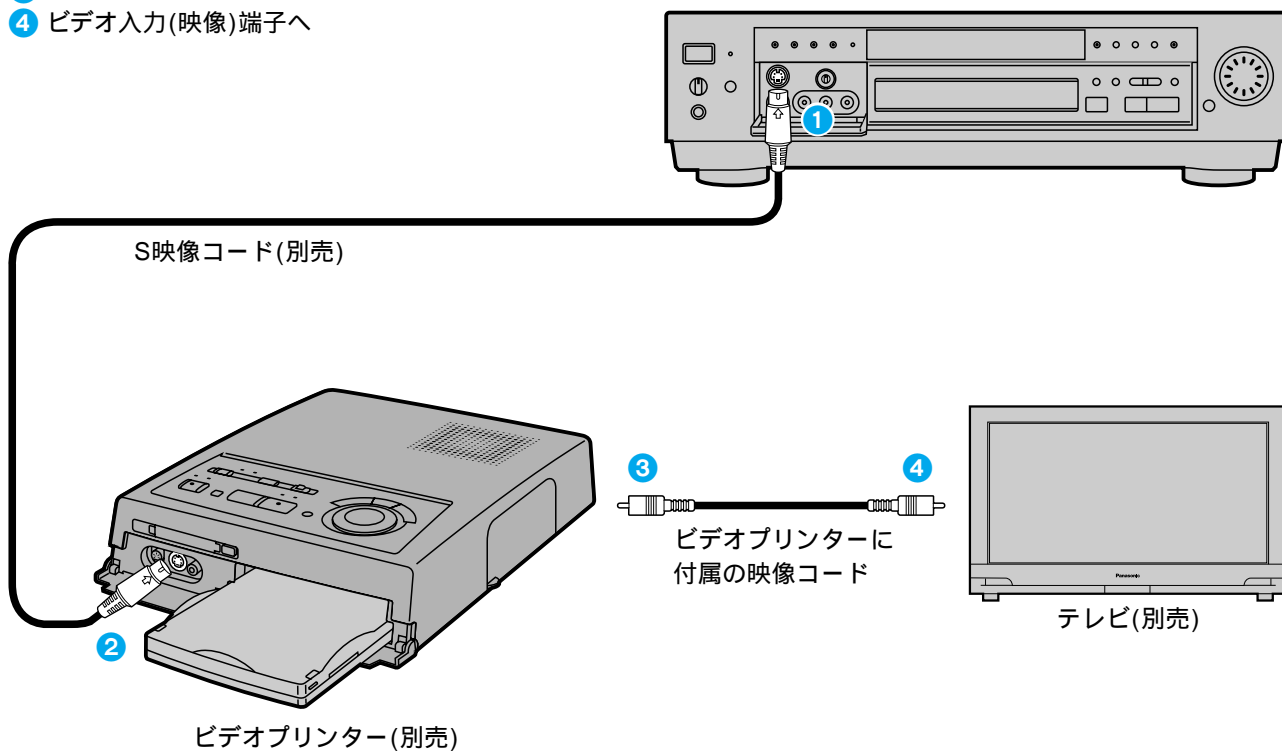
2chデジタルアンプと接続する

■ヒント
出力(音声)端子の空いている方に接続してください。

アンプに接続したデッキで録音する

■ヒント
- 出力(音声)端子の空いている方に接続してください。
- 5.1ch接続のみの接続にすると、フロントチャンネルの音声しか出力されません。

MDなどに直接録音する

ビデオプリンターで画像をプリントする

VIDEO PRINTER OUT(S映像出力)端子にビデオプリンター(別売)を接続すると、お気に入りの場面を手軽にプリントすることができます。

- 接続するときは、各機器の電源を切り、乾いた手で行ってください。
- ビデオプリンターの説明書もお読みください。

下記の順番で確実に接続してください。

■お願い

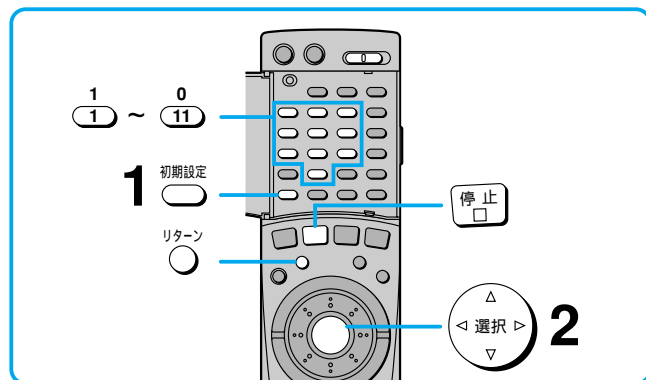
あなたが制作した作品や撮影した映像以外からプリントしたものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

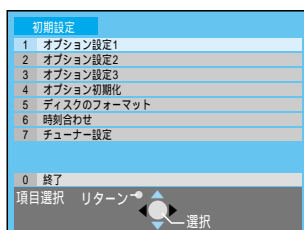
いろいろな接続

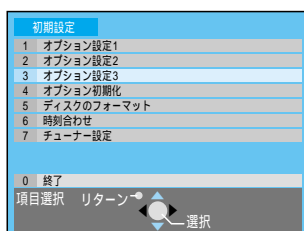
初期設定を変更する

初期設定画面の操作のしかた

いろいろな項目を初期設定画面で設定することができます。

準備 ● **DVD/テレビ**を[DVD]にする。

1 **停止中(テレビ放送受信中)、初期設定を押す**

● テレビ画面に DVD VIDEO RAM マークが出ているときは、**停止**を押してからこの操作をしてください。

2 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

● [3 オプション設定3]を選んだ例。

■1つ前のメニューに戻る

リターンを押す。

■ヒント

各メニューは**1～0**でも選ぶことができます。項目の左側にある数字で選びます。

初期設定の項目について

詳しくはそれぞれのページをお読みください。

❶オプション設定1の項目を変える

1 オンスクリーン

3 左ページ手順1、2を行った後、
△▽で[1オンスクリーン]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1画面のメッセージ

1オート(工場出荷時)
操作した直後、約5秒間だけ「再生▶」やカウンター表示などをテレビ画面に出す。

2入
常に「再生▶」やカウンター表示などをテレビ画面に出す。

3切
常に「再生▶」やカウンター表示などをテレビ画面に出さない。

2GUIバーの色と位置
GUIバーの色と表示位置を設定します。

1青色(上部)(工場出荷時)
2紫色(上部)
3緑色(上部)

上部：GUIバーをテレビ画面の上部に表示する。

4青色(中部)
5紫色(中部)
6緑色(中部)

中部：GUIバーを上記1、2、3より少し下に表示する。

● 1、2、3を選ぶと、画面の上部が少し欠けるときに選びます。

2 自動電源〔切〕

3 左ページ手順1、2を行った後、
△▽で[2自動電源〔切〕]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

12H
約2時間以上何も操作しなかったときに、自動的に本機の電源を「切」にする。

26H(工場出荷時)
約6時間以上何も操作しなかったときに、自動的に本機の電源を「切」にする。

3切
自動電源〔切〕機能を働かせない。

3 リモコンモード

P98をお読みください。

4 FLディマー

3 左ページ手順1、2を行った後、
△▽で[4FLディマー]を選び、選択を押す

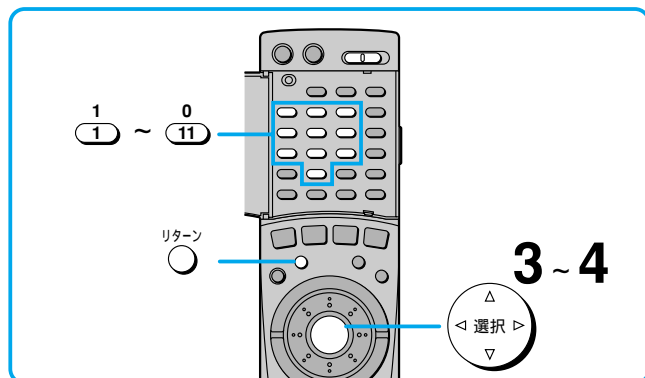
4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1DVD/VCD再生時　暗(オート)
電源「入」時は、DVD-RAM、DVD-VIDEO、ビデオCD再生時のみ本体表示窓の表示を暗くする。電源「切」時も暗くする。

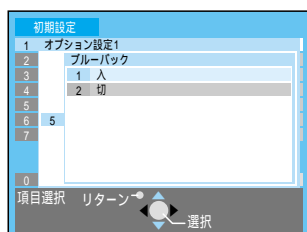
2常時　明(工場出荷時)
電源「入」時は、本体表示窓の表示を常に明るくする。電源「切」時は暗くする。

3常時　暗
本体表示窓の表示を常に暗くする。

初期設定を変更する(つづき)

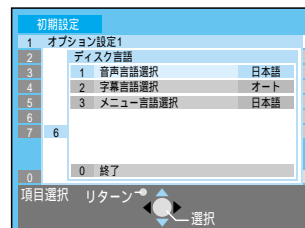
1 オプション設定1の項目を変える(つづき)

5 ブルーバック

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[5ブルーバック]を選び、選択を押す**

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1入(工場出荷時)
放送されていないチャンネルを選んだとき、電波が非常に弱いときに青い画面にし、音声も消音する。
2切
放送されていないチャンネルを選んだとき、電波が非常に弱いときでも青い画面にしない。

6 ディスク言語

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[6ディスク言語]を選び、選択を押す**

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1音声言語選択
1日本語(工場出荷時)
日本語の音声で再生する。
2英語
英語の音声で再生する。
3オリジナル
ディスク内の最優先音声で再生する。
4その他　＊＊＊＊
日本語、英語以外の音声で再生するときに選び、1〜0で言語番号一覧表(右ページ)の番号(4桁)を入力し、選択を押す。

2字幕言語選択
1オート(工場出荷時)
音声言語に応じて、字幕言語を自動設定する。
- 音声が[1音声言語選択]で設定した言語で再生されたときは、字幕を表示しません。
- 音声が[1音声言語選択]で設定した言語で再生されなかったときは、その言語で字幕を表示します。

2日本語
日本語の字幕で再生する。
3英語
英語の字幕で再生する。
4その他　＊＊＊＊
日本語、英語以外の字幕言語で再生するときに選び、1〜0で言語番号一覧表(右ページ)の番号(4桁)を入力し、選択を押す。

3メニュー言語選択
1日本語(工場出荷時)
ディスクのメニューを日本語で表示する。
2英語
ディスクのメニューを英語で表示する。
3その他　＊＊＊＊
ディスクのメニューを日本語、英語以外で表示するときに選び、1〜0で言語番号一覧表(右ページ)の番号(4桁)を入力し、選択を押す。

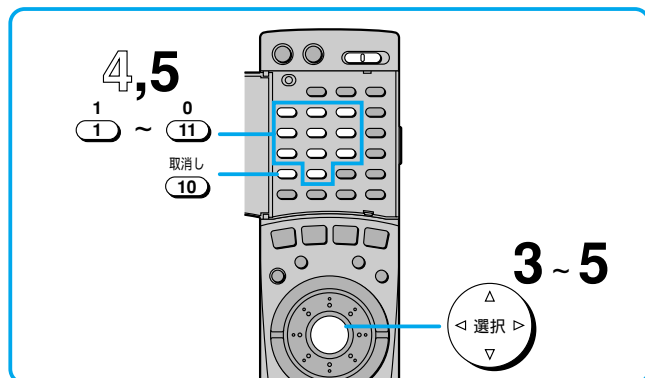
言語番号一覧表

6565：アファル
6566：アブハジア
6570：アフリカーンス
6577：アムハラ
6582：アラビア
6583：アッサム
6588：アイマラ
6590：アゼルバイジャン
6665：バシキール
6669：ベロルシア(白ロシア)
6671：ブルガリア
6672：ビハール
6678：ベンガル(バングラ)
6679：チベット
6682：ブルターニュ
6765：カタロニア
6779：コルシカ
6783：チェコ
6789：ウェールズ
6865：デンマーク
6869：ドイツ
6890：ブータン
6976：ギリシャ
6978：英語
6979：エスペラント
6983：スペイン
6984：エストニア
6985：バスク
7065：ペルシャ
7073：フィンランド
7074：フィジー
7079：フェロー
7082：フランス
7089：フリジア
7165：アイルランド
7168：(スコットランド)ゲール
7176：ガリチア
7178：グアラニー
7185：グジャラト
7265：ハウサ
7273：ヒンディー
7282：クロアチア
7285：ハンガリー
7289：アルメニア
7365：インターリングア
7378：インドネシア
7383：アイスランド
7384：イタリア
7387：ヘブライ
7465：日本語
7473：イディッシュ
7487：ジャワ
7565：グルジア
7575：カザフ
7576：グリーンランド
7577：カンボジア
7578：カンナダ
7579：韓国(朝鮮)語
7583：カシミール
7585：クルド
7589：キルギス
7665：ラテン
7678：リンガラ
7679：ラオ
7684：リトアニア
7686：ラトビア(レット)
7771：マダガスカル
7773：マオリ
7775：マケドニア
7776：マラヤーラム
7778：モンゴル
7779：モルダビア
7782：マラッタ
7783：マライ(マレー)
7784：マルタ
7789：ビルマ
7865：ナウル
7869：ネパール
7876：オランダ
7879：ノルウェー
7982：オーリヤ
8065：パンジャブ
8076：ポーランド
8083：パシュト
8084：ポルトガル
8185：ケチュア
8277：レトロマンス
8279：ルーマニア
8285：ロシア
8365：サンスクリット
8368：シンド
8372：セルボクロアチア
8373：シンハラ
8375：スロバキア
8376：スロベニア
8377：サモア
8378：ショナ
8379：ソマリ
8381：アルバニア
8382：セルビア
8385：スンダ
8386：スウェーデン
8387：スワヒリ
8465：タミル
8469：テルグ
8471：タジク
8472：タイ
8473：ティグリニア
8475：トルクメン
8476：タガログ
8479：トンガ
8482：トルコ
8484：タタール
8487：トウイ
8575：ウクライナ
8582：ウルドゥー
8590：ウズベク
8673：ベトナム
8679：ヴォラピュック
8779：ウォロフ
8872：コーサ
8979：ヨルバ
9072：中国語
9085：ズールー

■ヒント

- 希望の音声、字幕、メニュー言語にならない場合は、ディスクにその言語が記録されていません。
- 始めから好みの音声、字幕、メニュー言語で再生したいときは、あらかじめ設定を行っておくと、電源を入れたときやディスクを入れ換えたときにその言語が優先されます。ただし、選んだ言語がディスクにないときは、ディスクで決められた言語になります。また一部のDVDでは、本機の設定よりもディスクの指定言語を優先させるものがあります。
- 字幕、メニュー言語変更後に再生を始めると、その言語が表示されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。

初期設定を変更する(つづき)

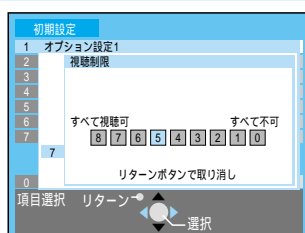
1 オプション設定1の項目を変える(つづき)

7 視聴制限

視聴制限とは

視聴制限レベルを設定すると、本機に暗証番号を入力しなければ再生できなくする、暴力シーンなどをとばす、別のシーンに置き換えたりするなど、再生に制限がかかります。パレンタルロックともいいます。制限の方法はディスクによって異なります。

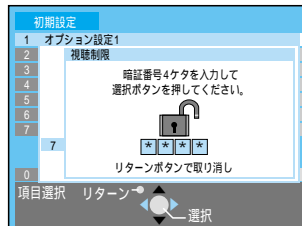
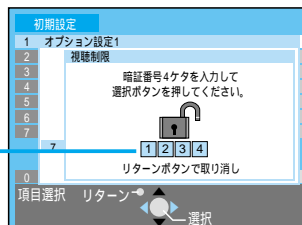
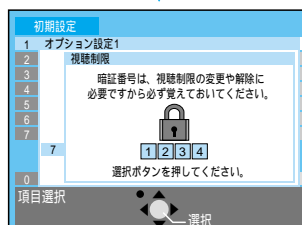
■視聴制限を設定する

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[7視聴制限]を選び、選択を押す**

4 **◁▷でレベルを選び、選択を押す**

レベル8(工場出荷時)
すべてのDVD-VIDEOソフトが再生できる。
レベル7〜1
制限レベルが記録されているDVD-VIDEOソフト(成人向けや暴力シーンを含むもの)は、その制限レベルに応じて再生を制限する。
レベル0
すべてのDVD-VIDEOソフトの再生を禁止する。

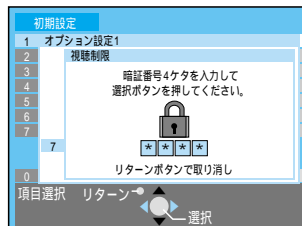
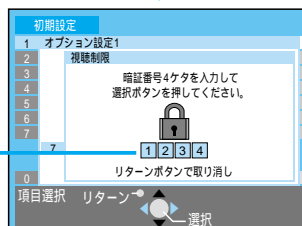
- 成人向けソフトでも、制限レベルを持たないDVD-VIDEOソフトは、そのまま再生されます。このようなソフトの再生を禁止したいときは、[0]を選んでください。

5 **1〜0で暗証番号(4ケタ)を入力し、選択を押す**

- 間違えたときは、取消しを押します。
- 暗証番号は忘れないでください。

[1234]と入力した例。

- 選択を押すと、ロックがかかります。

■視聴制限を変更する

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[7視聴制限]を選び、選択を押す**

4 視聴制限をレベル7〜0に設定しているときのみ、**1〜0で上記で入力した暗証番号を入力し、選択を押す**

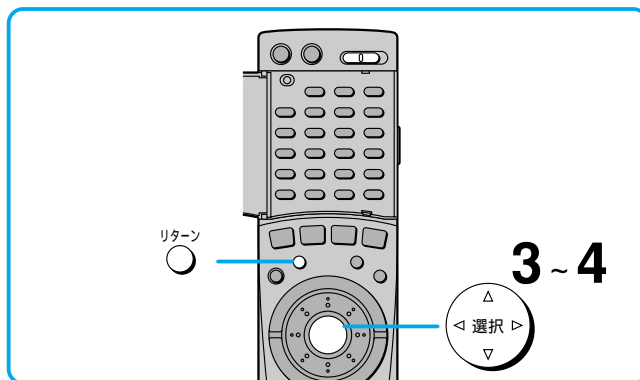
- 間違えた数字を入力したときは、取消しを押します。

[1234]と入力した例。

5 設定を変える

1ロック解除
視聴制限を解除し、レベル8の状態に戻す。
● 「ロックは解除されました」と表示されます。

2暗証番号変更
左ページで入力した暗証番号を変更する。
1～0で新しい暗証番号4ケタを入力し、選択を押す。

3レベル変更
制限レベルを変更する。
◁▷で新しいレベルを選び、選択を押す。

4一時解除
電源を切るかディスクを取り出すまでロック解除(レベル8)の状態にする。

2オプション設定2の項目を変える

1 接続するTV

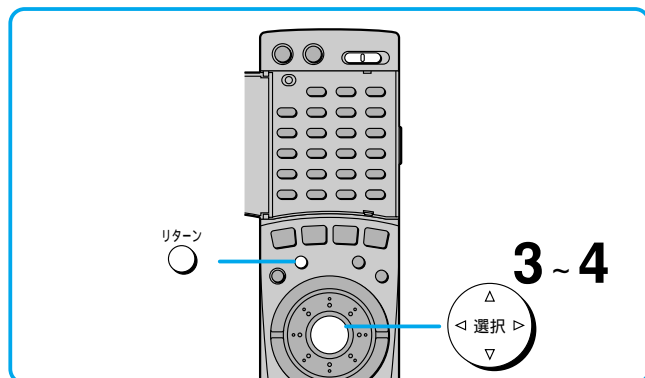
3 P116手順1、2を行った後、△▽で[1接続するTV]を選び、選択を押す

4 △▽で設定する項目を選び、選択を押す

14：3(工場出荷時)
従来サイズのテレビ(横縦比4：3)を接続したとき。
● 2TVモード(4：3)設定(次ページ)の設定に従って再生されます。

● 1パン&スキャンに設定したときは、ワイドソフトのときに、左右の切れた画面で再生されます。

● 2レターボックスに設定したときは、ワイドソフトのときに、上下に黒い帯のある画面で再生されます。

216：9
ワイドテレビ(横縦比16：9)を接続したとき。
● ワイドソフトはフル画面で再生されます。(ワイドテレビの画面モードを「フル」に設定してください)

初期設定を変更する(つづき)

2 オプション設定2の項目を変える(つづき)

2 TVモード(4：3)設定

従来サイズのテレビ(横縦比4：3)を接続したときに設定します。

3 P116手順1、2を行った後、
△▽で[2 TVモード(4：3)設定]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1 DVD-Video設定

1 パン＆スキャン(工場出荷時)
ワイドソフトのときに、パン&スキャン(左右の切れた画面)で再生する。

- ただし、パン&スキャン指定されていないソフトは、レターボックスで再生されます。

2 レターボックス
ワイドソフトのときに、レターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生する。

2 DVD-RAM設定

1 スルー
録画されたそのままの状態で再生する。

2 パン＆スキャン
録画内容がワイドのときにパン&スキャン(左右の切れた画面)で再生する。

- ただし、パン&スキャン指定されていない場合は、レターボックスで再生されます。

3 レターボックス(工場出荷時)
録画内容がワイドのときにレターボックス(上下に黒い帯のある画面)で再生する。

3 コンポーネント映像出力選択

従来の映像信号(NTSC)は525I(I：インターレス＝飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P：プログレッシブ＝順次走査)といいます。
本機後面のコンポーネント映像出力端子(Y、P_B/C_B、P_R/C_R)またはD2映像出力端子に接続すると、プログレッシブ映像が出力できます。従来の映像出力端子、S映像出力端子に接続するよりも高画質な映像が楽しめます。
コンポーネント映像出力端子またはD2映像出力端子を使う場合は、コンポーネント映像入力端子またはD2、D3、D4、D5映像入力端子付のハイビジョンテレビや3管式プロジェクターなどと接続した後、以下の設定を行ってください。

3 P116手順1、2を行った後、
△▽で[3 コンポーネント映像出力選択]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1 オート
DVD-RAM、DVD-VIDEO、ビデオCD再生時はプログレッシブ出力、その他のとき(テレビ放送など)は、インターレス出力する。

2 525P
コンポーネント映像出力端子またはD2映像出力端子と、コンポーネント映像入力端子またはD2、D3、D4、D5映像入力端子付の映像機器を接続したとき、すべての画像をプログレッシブ出力する。

- このときは、初期設定[1 オプション設定1]→[1 オンスクリーン]→[1 画面のメッセージ]を[1 オート]または[2 入]にしていても、「再生▶」やカウンター表示などはテレビ画面に出ません。また、初期設定[1 オプション設定1]→[5 ブルーバック]を[1 入]にしていても、ブルーバックになりません。
- 本機の525P出力は、マクロビジョンに対応しています。当社製のコンポーネント映像入力端子またはD2、D3、D4、D5映像入力端子付の機器(テレビなど)と接続した場合は正常に映像が出力されますが、これ以外の機器と接続した場合は画面の上部がゆがむことがあります。この場合は、お使いになる機器のメーカーにご相談ください。

3 525I(工場出荷時)
すべての画像をインターレス出力する。

4 プログレッシブ出力の設定

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[4プログレッシブ出力の設定]を選び、選択を押す**

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1変換モード

1オートモード(工場出荷時)

DVDソフトに記録された映像情報がフィルム素材かビデオ素材かを自動的に判別し、それぞれに最適な方法でプログレッシブ出力に変換する。

- フィルムモードで出力する場合は、DIRECT CINEMA PROGRESSIVE（ダイレクト シネマ プログレッシブ） ランプが点灯します。

2ビデオモード

DVDソフトに記録された映像情報をフィルター処理し、プログレッシブ出力に変換する。

- ビデオ素材として記録されたDVDソフトの再生に適しています。

3フィルムモード

フィルム素材として記録されたDVDソフトの再生時、フィルムの各コマを独立した3フレームと2フレームのプログレッシブ映像に変換する。

- プログレッシブ出力のメリットを十分に生かすことのできる、フィルム素材に適したモードです。DIRECT CINEMA PROGRESSIVE（ダイレクト シネマ プログレッシブ）ランプが点灯します。
- ビデオ素材を再生すると画像が乱れることがあります。このときは[2ビデオモード]にしてください。
- 初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[1画面のメッセージ]を[1オート]または[2入]にしていても、「再生▶」やカウンター表示などはテレビ画面に出ません。

2ガンマ選択

陰影に富んだシーンが多い映画ソフトなどで、テレビ画面上の最も黒い部分と白い部分の明度を保ったまま中間調の明度を上げることで、暗いシーンでもディテールをつぶさず、階調豊かに映像を再現します。

1弱　2中　3強　4切(工場出荷時)

3輪郭補正

画像の輪郭を補正します。525P出力時のみ働きます。

1弱　2中　3強　4切(工場出荷時)

44：3出力

1フル(工場出荷時)

ワイドソフトを再生するとき。

- ワイドソフトはフル画面で再生されます。4：3の画像ソフトは、左右方向に引き伸ばされた画面で再生されます。

2ノーマル

4：3の画像ソフトを再生するとき。

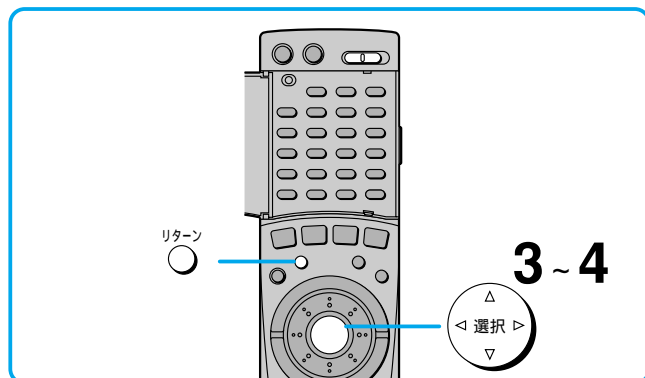
- 左右に黒い帯のある画面で再生されます。パン&スキャン指定のないワイドソフトは、上下左右に黒い帯のある画面で再生されます。

■DVDソフトの映像情報について

DVDソフトの映像情報は、以下の2通りが一般的です。

- **フィルム素材**
  フィルムのイメージが24コマ/秒で記録されているもの。(映画撮影で使われるフィルムには、24コマ/秒で画像が記録されています)
- **ビデオ素材**
  映像情報が30コマ/秒で記録されているもの。

- 映画ソフトの中には、ビデオ素材として記録されたものがあります。このようなDVDソフトを[オートモード]で再生した場合、自動的にビデオモードになります。このときは、DIRECT CINEMA PROGRESSIVE（ダイレクト シネマ プログレッシブ） ランプは点灯しません)

■ヒント

- DVDソフトの種類によっては、フィルム素材とビデオ素材が混在して記録されているものがあります。このようなソフトを[1変換モード]→[1オートモード]で再生すると、ときどき画面が途切れることがあります。このときは、[2ビデオモード]にしてください。
- DVDソフトには、各フレームごとに再生のための出力方式(プログレッシブ/インターレス)フラグが記録されていますが、ソフトによっては、このフラグが部分的に正しく記録されていないものがあります。このようなソフトは、インターレス方式のプレーヤーなどでは問題なく再生できますが、本機のプログレッシブ出力では、[1変換モード]→[1オートモード]または[3フィルムモード]で再生すると、映像の一部が二重にぶれて見えることがあります。このときは、[2ビデオモード]にしてください。
- 本機では、フィルム素材として記録されたDVDソフトのプログレッシブ変換を最適に行うために、525P出力時のみ、[1変換モード]→[1オートモード]または[3フィルムモード]で再生すると、[6ノイズリダクション設定]→[33次元NR](P124)は自動的に働かなくなります。3次元NR効果を優先したいときは、[2ビデオモード]にしてください。

初期設定を変更する(つづき)

2オプション設定2の項目を変える(つづき)

5 3次元Y/C

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[5 3次元Y/C]を選び、選択を押す**

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1入(工場出荷時)
放送局から送られてくる映像信号の「Y信号(輝度信号)」と「C信号(色信号)」とを正確に分離し、ノイズをおさえて録画する。
2切
動きの早い映像の録画時に起こる残像現象を軽減したいとき。

6 ノイズリダクション設定

以下で行う3つのノイズリダクション設定を本体のDNRで入/切することができます。

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[6ノイズリダクション設定]を選び、選択を押す**

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1ブロックNR
隣接ブロック間の境界に発生する符号化ノイズを画素単位で検出し補正します。

- **1弱(工場出荷時)**
- **2強**
- **3切**

- **強**にすると度合いが強くなります。再生映像の輪郭がぼやけるときは、**弱**にしてください。
- よりきれいな映像で再生するための処理をしているために、本機を再生機にして他の録画機に編集するときは、かえって画質を落としてしまう場合があります。このときは[3切]にしてください。

2モスキートNR
画像のエッジ部分に発生する符号化歪みを画素単位で検出し補正します。

- **1弱(工場出荷時)**
- **2強**
- **3切**

- **強**にすると度合いが強くなります。再生映像の輪郭がぼやけるときは、弱にしてください。
- よりきれいな映像で再生するための処理をしているために、本機を再生機にして他の録画機に編集するときは、かえって画質を落としてしまう場合があります。このときは[3切]にしてください。

3 3次元NR
1 弱(工場出荷時)
2 中
3 強
4 切
● 映像信号に混入している輝度ノイズ(ちらつき、ざらつき)や色ノイズ(色にじみ、ざわつき)を取り除き、よりくっきりとしたきれいな映像で再生できます。再生映像の輪郭がぼやけるときは、レベルを弱くしてください。
● よりきれいな映像で再生するための処理をしているために、本機を再生機にして他の録画機に編集するときは、かえって画質を落としてしまう場合があります。このときは[4切]にしてください。

7 ワイドモード

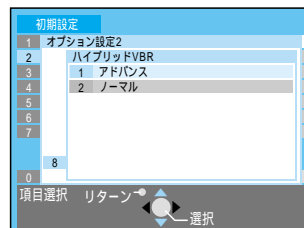
3 P116手順1、2を行った後、
△▽で[7ワイドモード]を選び、選択を押す

4 △▽で設定する項目を選び、選択を押す

1 S1
テレビのS1映像入力端子に接続したとき。
● S1/S2映像出力端子からS1映像信号が出力されます。ワイド画面(16:9)の映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的にフルモードに換わります。
2 S1/S2(工場出荷時)
接続しているテレビがS1映像入力端子のときはS1映像信号で出力する。S2のときはS2映像信号で出力する。
● S2のときは、S1の機能に加えて、レターボックスの映像をテレビに送ると、テレビの画面が自動的にズームモードに換わります。
3 切
テレビのS映像入力端子に接続したとき。

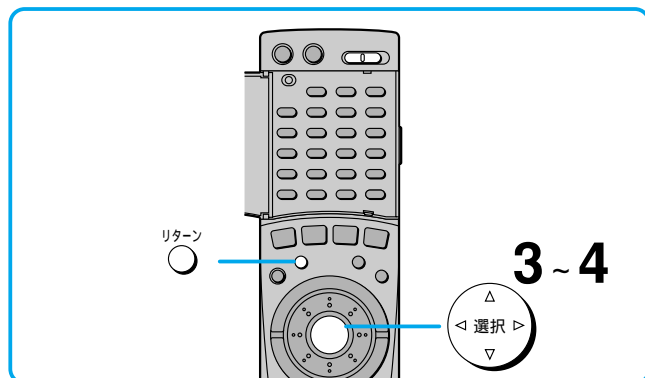
8 ハイブリッドVBR

3 P116手順1、2を行った後、
△▽で[8ハイブリッドVBR]を選び、選択を押す

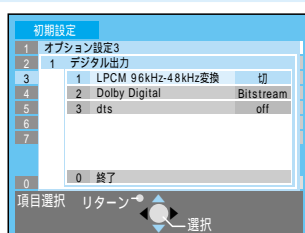
4 △▽で設定する項目を選び、選択を押す

1 アドバンス(工場出荷時)
録画時に、VBR(Variable Bit Rate)(バリアブル ビット レート)記録の解像度切換を自動的にする。
● 解像度を最適に切り換えることにより、MPEG圧縮時のブロックノイズ発生をおさえることができます。
2 ノーマル
VBR記録の解像度切換を自動的にしない。
● 固定の解像度で記録できますので、解像度を落としたくない場合に選びます。

初期設定

初期設定を変更する(つづき)

3 オプション設定3の項目を変える

1 デジタル出力

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[1デジタル出力]を選び、選択を押す**

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1 LPCM 96kHz-48kHz変換

1 入

96kHzのリニアPCMで記録されたDVD再生時は、48kHz/16bitに変換してデジタル音声出力端子から出力する。

48kHzのリニアPCMで記録されたDVD再生時は、48kHz/16bitに変換してデジタル音声出力端子から出力する。

- PCM音声のデジタル出力は、著作権への配慮から48kHz/16bit以下となります。

2 切(工場出荷時)

96kHzのリニアPCMで記録されたDVD再生時は、デジタル音声出力端子から出力しない。

48kHzのリニアPCMで記録されたDVD再生時は、48kHz/16bitに変換してデジタル音声出力端子から出力する。

- 著作権保護のための処理がされていないDVDの場合には、そのままの音声記録方式で出力されます。

2 Dolby Digital

1 Bitstream(工場出荷時)

ドルビーデジタル(AC-3)で記録されたDVDの再生時は、ドルビーデジタル(AC-3)ビットストリーム(1ch～5.1ch)音声をデジタル音声出力端子から出力する。

- ドルビーデジタル(AC-3)デコーダーを接続するときに選びます。

2 PCM

ドルビーデジタル(AC-3)で記録されたDVDの再生時は、48kHz/16bitのPCM(2ch)に変換してデジタル音声出力端子から出力する。

3 dts

1 Bitstream

dtsで記録されたDVDの再生時は、dtsビットストリーム(1ch～5.1ch)音声をデジタル音声出力端子から出力する。

- dtsデコーダーを接続するときに選びます。

2 off(工場出荷時)

dtsで記録されたDVDの再生時は、デジタル音声出力端子から出力しない。

■デジタル出力の推奨設定について

デジタル音声出力端子に接続する機器により、デジタル出力の設定が異なります。

- **デジタル音声出力端子に機器を接続しない場合**
  1 LPCM 96kHz-48kHz変換 →2 切
  2 Dolby Digital →1 Bitstream
  3 dts →2 off

- **デジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー/dtsデコーダーを内蔵していないデジタル音声入力端子付アンプを接続する場合**
  1 LPCM 96kHz-48kHz変換 →1 入(※1)
  2 Dolby Digital →2 PCM(※2)
  3 dts →2 off(※2)

- **デジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル(AC-3)デコーダーを接続する場合**
  1 LPCM 96kHz-48kHz変換 →1 入(※1)
  2 Dolby Digital →1 Bitstream
  3 dts →2 off

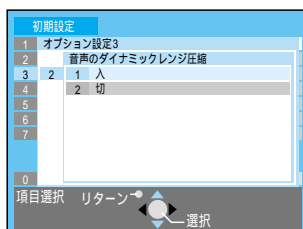
- **デジタル音声出力端子に、ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー/dtsデコーダーを接続する場合**
  1 LPCM 96kHz-48kHz変換 →1 入(※1)
  2 Dolby Digital →1 Bitstream
  3 dts →1 Bitstream

※1 本機の音声出力端子から出力される音声は、デジタル音声出力端子同様、48kHz/16bitに変換されます。48kHz/20bit、96kHz/24bitなどの高音質ソフトを楽しみたいときは、アンプやデコーダー等の機器をデジタル音声出力端子に接続せず([1LPCM 96kHz-48kHz変換]→[2切]に設定)、直接音声出力端子に接続してください。

※2 ドルビーデジタル(AC-3)デコーダー/dtsデコーダー以外の機器を接続するときに、[2Dolby Digital]→[1Bitstream]、[3dts]→[1Bitstream]に設定すると、耳を刺激するような雑音が発生し、スピーカーを破損するおそれがあります。

2 音声のダイナミックレンジ圧縮

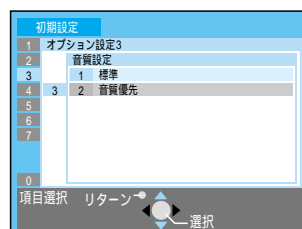
3 **P116手順1、2を行った後、**
△▽で[2音声のダイナミックレンジ圧縮]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1入
ドルビーデジタル(AC-3)で記録されたDVDの再生時に出力される小さな音と大きな音の音量差を狭く設定する。
● 小さな音量でも迫力のある音にしたいときに選びます。音声信号のダイナミックレンジ(再生レベルの範囲)を狭くします。深夜に映画を楽しむときなど、大音量を控えたいときに適しています。

2切(工場出荷時)
ドルビーデジタル(AC-3)で記録されたDVDの再生時に、出力される音の音量を標準的な音量に設定する。

3 音質設定

3 **P116手順1、2を行った後、**
△▽で[3音質設定]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1標準(工場出荷時)
通常の音質で録画(録音)する。

2音質優先
音質を優先させて録画(録音)する。

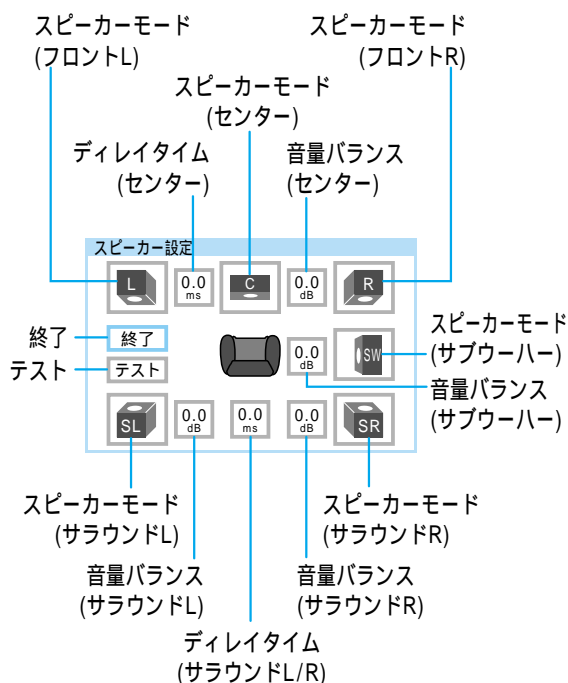
初期設定

初期設定を変更する(つづき)

3 オプション設定3の項目を変える(つづき)

4 スピーカー設定

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[4スピーカー設定]を選び、選択を押す**

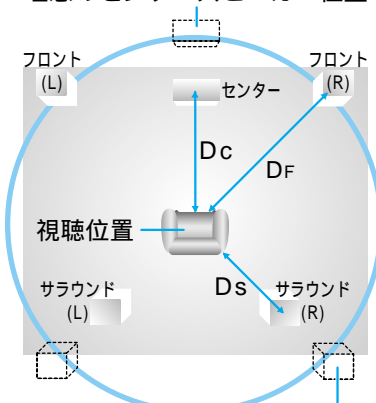
4 **◁△▽▷で設定する項目を選び、選択を押す**
続けて△▽で内容を選び、選択を押す

■スピーカーモード
スピーカーのサイズと有無を設定する。

フロントスピーカー左(L)
あり[大](工場出荷時)↔あり[小]
フロントスピーカー右(R)
あり[大](工場出荷時)↔あり[小]
センタースピーカー
なし(工場出荷時)↔あり[大]↔あり[小]
サブウーハー
なし(工場出荷時)↔あり
サラウンドスピーカー左(SL)
なし(工場出荷時)↔あり[大]↔あり[小]
サラウンドスピーカー右(SR)
なし(工場出荷時)↔あり[大]↔あり[小]

表示例(サラウンド左の場合)
なし　　あり[大]　　あり[小]

- 大、小の選択は、100Hz以下が再生できる(大)か、再生できない(小)かを目安に選んでください。
- サブウーハーを[なし]にする場合は、100Hz以下が再生できるフロントスピーカーをおすすめします。

■ディレイタイム
視聴位置と各スピーカーとの距離のばらつきを補正します。ドルビーデジタルの5.1chサラウンドは、視聴位置とサブウーハーを除くすべてのスピーカーとの距離が同じであることが理想とされます。ディレイタイムはセンタースピーカーとサラウンドスピーカーから音が出る時間を遅らせることで、距離のずれを補正し、全スピーカーの音が同じタイミングで視聴位置まで届くようにします。(dtsは調整できません)

理想のセンタースピーカー位置

センタースピーカー
左ページの図の距離D_FがD_Cより短いか、もしくは等しい場合は0msにします。

距離D_FーD_C	設定値
約50cm	1.3ms
約100cm	2.6ms
約150cm	3.9ms
約200cm	5.3ms

サラウンドスピーカー
左ページの図の距離D_FがD_Sと等しい場合は0msにします。

距離D_FーD_S	設定値
約200cm	5.3ms
約400cm	10.6ms
約600cm	15.9ms

初期設定値はいずれも0msです。

■テスト(音量バランスの調整)
[テスト]を選ぶと、フロントスピーカー(左)から時計回りに“ザー”というテスト信号が出てきます。
フロント(左)→センター→フロント(右)→
サラウンド(右)→サラウンド(左)→フロント(左)…
フロントスピーカーの音量に合わせ、他のスピーカーを同じ音量に調整してください。
- フロントスピーカーは調整できません。また、サブウーハーからは信号は出ません。

音量を調整する
調整したいスピーカーからテスト信号が出ているときに、△▽で調整する。(調整中は、信号が他のスピーカーに移動することはありません)

テスト信号を止める
選択を押す。

サブウーハーの音量を調整する
実際の音を聞いた後、△▽でサブウーハーの音量バランスを選ぶ。

設定を終了する
◁△▽▷で[終了]を選んで、選択を押す。

5 早送り1の時の音

3 **P116手順1、2を行った後、△▽で[5早送り1の時の音]を選び、選択を押す**

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

早送り1(テレビ画面に[▶▶●●●]の表示)時に音を出すか出さないかを選びます。
(DVD-RAM、DVD-VIDEOのみ。CDは、早送り時は常に音が出ます)
(この設定を行っても音声が出ないディスクがあります)
1入(工場出荷時)
音を出す。
2切
音を消す。
- 雑音が気になるときに選んでください。

初期設定

初期設定を変更する(つづき)

3 オプション設定3の項目を変える(つづき)

6 スチルモード

3 **P116手順1、2を行った後、**
△▽で[6スチルモード]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1オート(工場出荷時)
フィールドスチルモード、フレームスチルモードを自動的に切り換える。

2フィールド
強制的にフィールドスチルモードにする。
- [1オート]時に画像のぶれが発生するときに選びます。

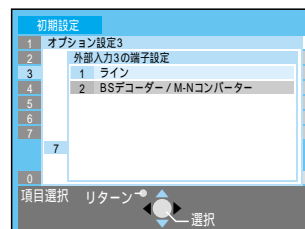
3フレーム
強制的にフレームスチルモードにする。
- [1オート]時に小さい文字や細かい絵柄がはっきり見えないときに選びます。

■フィールドスチル、フレームスチルについて(525I=インターレス出力の場合)

- **フィールド(使用走査線262.5本)**
  1フレームの半分の映像情報(ビデオ信号)をいいます。通常のテレビでは、2フィールドで1フレーム(1画面)を構成しています。
- **フィールドスチル**
  テレビ画面上で1フィールド(半分の映像情報)のみ映し出されるので、見た目は粗くなりますが、画像はぶれを生じません。
- **フレーム(使用走査線525本)**
  ビデオやテレビの1コマ1コマの画像をいいます。
- **フレームスチル**
  テレビ画面上で2フィールドが交互に映し出されるので、画像はぶれを生じますが、フィールドスチル画像と比べると画質は良くなります。プログレッシブ出力の場合はぶれは生じません。

7 外部入力3の端子設定

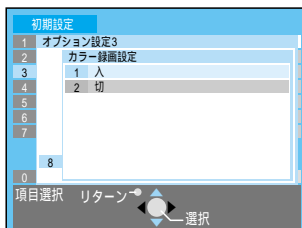
3 **P116手順1、2を行った後、**
△▽で[7外部入力3の端子設定]を選び、選択を押す

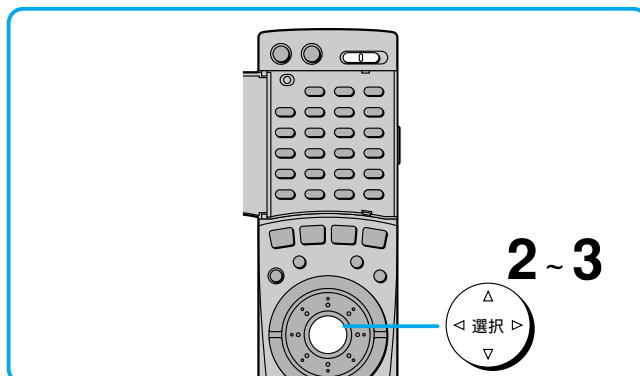
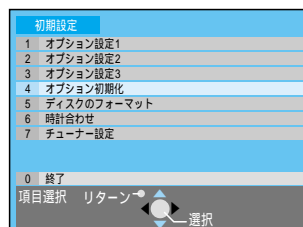
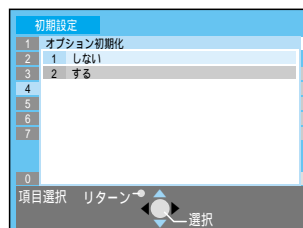
4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1ライン
本機後面の外部入力3(L3)端子を普通の外部入力端子として使うとき。

2BSデコーダー/M-Nコンバーター(工場出荷時)
本機後面の外部入力3端子をBSデコーダー/M-Nコンバーター専用の入力端子として使うとき。
- BSデコーダーを接続してWOWOWを見たり、M-Nコンバーターを接続してハイビジョン放送を見たりするときに選びます。
- このときは、DVDチャンネルでL3(外部入力3)を選ぶことはできません。

8 カラー録画設定

3 P116手順1、2を行った後、
△▽で[8カラー録画設定]を選び、選択を押す

4 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1入(工場出荷時)
カラーで録画する。
2切
白黒で録画する。

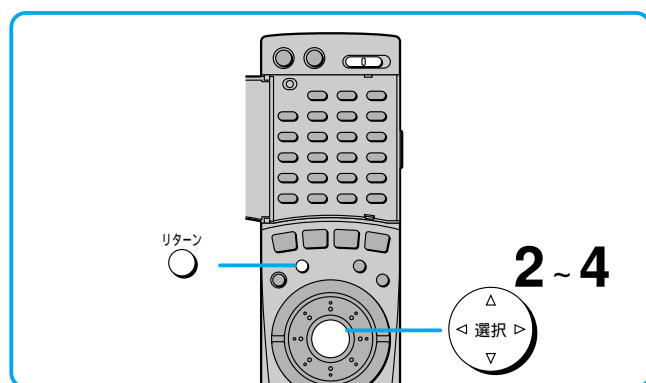
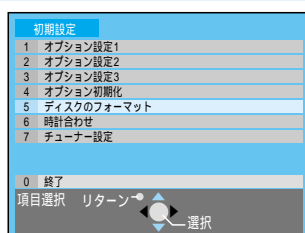
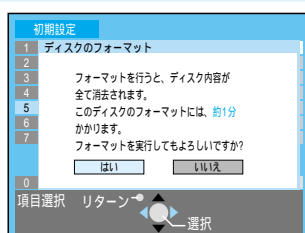
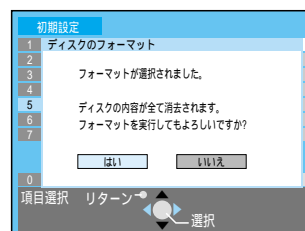
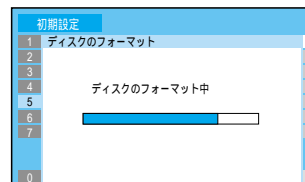
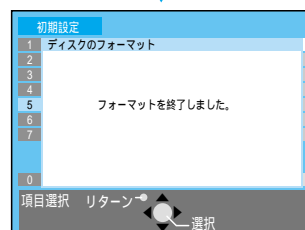
4オプション設定を初期化する
(工場出荷時に戻す)

2 P116手順1を行った後、
△▽で[4オプション初期化]を選び、選択を押す

3 **△▽で設定する項目を選び、選択を押す**

1しない
オプション設定1、2、3で変更した項目をそのままにする。
2する
オプション設定1、2、3で変更した項目を工場出荷時に戻す。
- ただし、初期設定[1オプション設定1]→[7視聴制限]で設定されたレベルや、入力された暗証番号は初期化されません。

初期設定を変更する（つづき）

5ディスクをフォーマット（初期化）する

DVD-RAMディスク（市販品）の中には、フォーマットされていないものがあります。このようなディスクを本機で録画できるようにフォーマットすることができます。

- 本機では、論理フォーマットと物理フォーマットを自動的に検出して行います。このため、フォーマットには時間がかかる場合があります。（最大約70分）

※**この操作をすると録画した内容はすべて消え、元に戻すことができません。すべて消してよいかよく確認してからフォーマットしてください。**

2 **P116手順1を行った後、**
△▽で[5ディスクのフォーマット]を選び、選択を押す

3 **◁で[はい]を選び、選択を押す**

4 **◁で[はい]を選び、選択を押す**

- フォーマットが始まります。
- 終了すると、「フォーマットを終了しました」とメッセージが出ます。

■フォーマットをやめるには

手順3、または4で[いいえ]を選び、選択を押す。

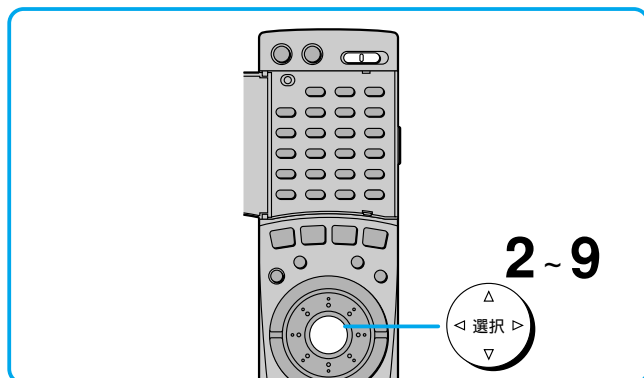
- 手順4で[はい]を選び、選択を押すと、フォーマットを途中でやめることはできません。

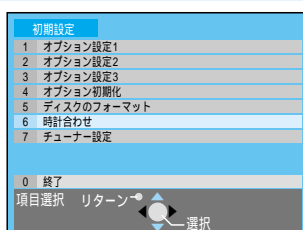
■お願い

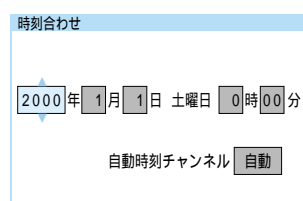
「ディスクのフォーマット中…」表示が出ているときは、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

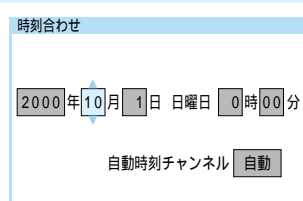
■ヒント

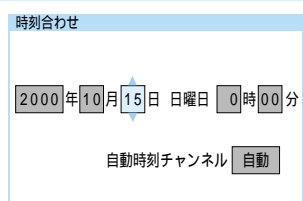
- DVD-RAM以外のディスクを入れてもフォーマットできません。
- ライトプロテクトタブが「PROTECT」側になっているときはフォーマットできません。解除してください。
- プログラムナビで、番組のプロテクトやディスクのプロテクトを設定している場合は、手順4で**「ディスクの内容はプロテクトされていますがフォーマットを実行してもよろしいですか？」**と表示されます。フォーマットするときは、[はい]を選んでください。この場合は、プロテクトされていても消去されます。
- フォーマットが約2分以上かかる場合は、リターンを押すと途中でやめることができます。
  ただし途中でやめた場合、このままではディスクは使えません。再度フォーマットが必要です。
- 手順3で[はい]を選ぶと、**「フォーマット出来ません」、「記録できないディスクが入っています」**と表示されたときは、本機では使えないディスクの場合があります。

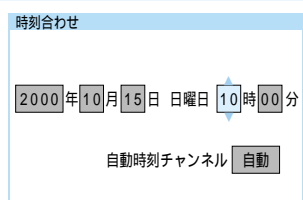
6時刻を合わせ直す

必要な場合は、下記の手順で時刻を合わせ直してください。下記は2000年10月15日(日曜日)10時15分に合わせる例です。

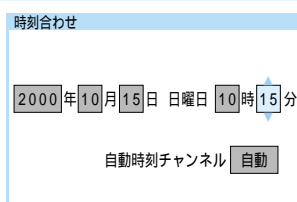
2 **P116手順1を行った後、**
△▽で[6時刻合わせ]を選び、選択を押す

3 **△▽で[年]を合わせる**

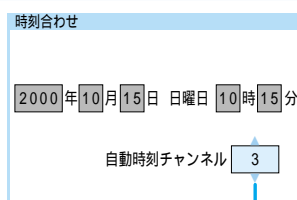
- 西暦1988~2087年までです。
- 設定後、▷で[月]に送ります。

4 **△▽で[月]を合わせる**

- 設定後、▷で[日]に送ります。

5 **△▽で[日]を合わせる**

- 設定後、▷で[時]に送ります。

6 **△▽で[時]を合わせる**

- 24時間表示です。
- 設定後、▷で[分]に送ります。

7 **△▽で[分]を合わせる**

- 設定後、▷で[自動時刻チャンネル]に送ります。

8 **△▽でNHK教育テレビに合わせる**

- 表示チャンネルで合わせてください。

[3]チャンネルに合わせた場合。

9 **選択を押し、[時刻合わせ]画面を消す**

- 時計が動き始めます。

■自動時刻合わせ機能について

自動時刻チャンネルをNHK教育テレビに合わせておくと、毎日12、19時に、時報が放送されるかどうかを確認します。そのときに時報が放送されると、それに合わせて時計の誤差を自動修正します。

- 2分以内の誤差が修正されます。
- **次のようなときは働きません。**
  - ・自動時刻チャンネルを[ーー]にしているとき。(自動時刻合わせ機能が解除されます)
  - ・時報が放送される時刻に本機の電源が入っているとき。
  - ・時報のバックに音楽が流れているとき。
  - ・「ポッポッポッポーン」の「ポーン」のみの時報のとき。
- **自動時刻チャンネルを[自動]にすると、本機が自動的にNHK教育テレビをさがし出します。**
  (地域により、さがし出すまでに数週間かかる場合もありますので、あらかじめご自分でNHK教育テレビに合わせておくことをおすすめします)
- 電源コードを抜いた後や停電した後などは、自動時刻合わせ機能が働いていない状態になります。
- 自動時刻合わせ機能が働いていないと、本機の時刻は秒まで正確に合っていないことがあります。この状態で予約録画を行うと、正確な時間から録画されないので、番組の先頭部分(または終了部分)が切れた状態で録画されます。自動時刻合わせ機能が働いていない場合は、時刻を正確に合わせておくことをおすすめします。

実際にテレビ画面表示される半角文字は、平成丸ゴシックTMW4を使用しております。

テレビ画面一覧表

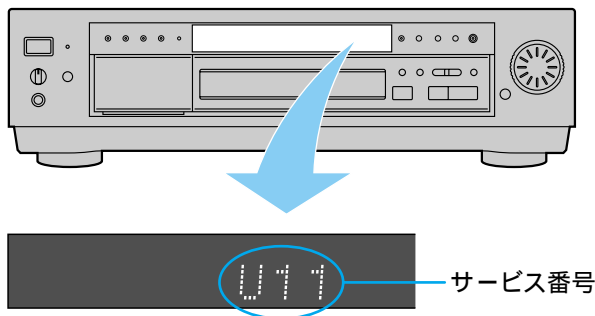
テレビに映し出される映像は、ソフトとテレビ(や画質モード)との関係で以下の画面になります。

テレビ(画質モード) ソフト	4：3	16：9 (フルモード)	16：9 (ズームモード)	16：9 (オートモード)
ワイドソフト (パン＆スキャン指定あり)	左右が切れた画面	フル画面	上下が切れた画面	フル画面
ワイドソフト (パン＆スキャン指定なし)	レターボックス (上下に黒い帯)			
4：3ソフト	フル画面	左右にのびた画面	上下が切れた画面	フル画面 (左右に黒い帯)
4：3ソフト (レターボックス)	レターボックス (上下に黒い帯)	左右にのびた画面 (左右に黒い帯)	フル画面	左右両端がのびた画面 (上下に黒い帯)

- ソフトや画質モードの呼びかたはメーカーにより異なる場合があります。
- パン＆スキャンとは、ワイドソフトの両側(または片側)をカットしてテレビ画面全体に映し出すことをいいます。

故障かな？

自己診断表示機能

本機は異常の状態をお知らせする自己診断表示機能を持っています。
本機の設置中や使用中に異常を検出すると、本体表示窓に下表のサービス番号を表示します。
● サービス番号は、例えば「U11」のように、英文字と2ケタの数字で表示されます。

サービス番号	本機の状態	対応のしかた	ページ
U11	ディスクがよごれている または大きな傷が付いている。	**DVD-VIDEO、ビデオCD、CD** ● よごれているときは、やわらかい布できれいにふく。	13
		DVD-RAM ● よごれているときは、必ず専用の**DVD-RAM/PDディスククリーナー RFKZ0093(別売)**できれいにふく。	13
		● ディスクに大きな傷が付いている場合、この表示が消えないときは再生できません。	−
	本機では録画・再生できないディスクを入れている。	● 録画・再生できるディスクを入れる。	12
U12	リモコンモードが異なっている。	● リモコンモードを合わせる。	98
U13	BSアンテナ線がショートしている。	● BSアンテナ線がショートしていないことを確認し、正しく接続し直した後、初期設定[7チューナー設定]→[2BSアンテナ設定]の[BS電源]を再設定する。 (本機が自動的にBS電源を切ります)	28
U14	本機の内部温度が上昇している。	● 安全のため強制的に電源が切れ、動作させることができません。この表示が消えるまでお待ちください。 (約30分間です) また、本機の設置はできるだけ風通しのよいところを選んでください。また、後面の冷却用ファンをふさがないでください。	9
U99	本機が正常に動作しない。	● 本体の**POWER**を約10秒押し続け、電源を切る。 その後、**DVD電源**(**POWER**)を押し、電源を入れ直す。	−

故障かな？(つづき)

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(P147)にお問い合わせください。

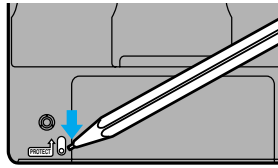
症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
電　源		
電源が入らない	● 電源プラグがコンセントから外れている。	22
電源は入っているのに操作できない	● 予約録画の待機中になっている。(本体のTIMER RECのランプが点灯している) →タイマー切/入を押し、本体のTIMER RECのランプを消灯させる。 ● 本機内部の温度が上昇している。(本体表示窓に[U14]表示が出ている) →[U14]表示が消えるまで待つ。(約30分程度) ● 各種安全装置が働いている場合があります。このときは以下の手順を行ってみてください。 →1. 本体のPOWERを押し、電源を切る。 電源が切れない場合は、約10秒押し続けると強制的に切れます。 (または、電源プラグをコンセントから外し、約1分後再びコンセントに差し込む) 2. DVD電源(POWER)を押し、電源を入れる。	76 135 －
電源が、自動的に切れた	● 初期設定[1オプション設定1]→[2自動電源〔切〕]が働いている。 →DVD電源(POWER)を押し、電源を入れる。 ● 各種安全装置が働いている場合があります。 →DVD電源(POWER)を押し、電源を入れる。	117 －
テレビ画面		
本機の映像が出ない	● テレビの入力を切り換えていない。 →本機を接続した入力([ビデオ1]など)に切り換える。 ● 525Iに対応していないテレビと本機をコンポーネント映像端子で接続した場合は、初期設定[2オプション設定2]→[3コンポーネント映像出力選択]で[2525P]を選んでください。	27 122
本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった	● テレビと本機に電波を分けたためです。 →市販のブースターなどを使用すると改善されることがあります。(効果がないときは、お買い上げの販売店にご相談ください)	－
画面サイズがおかしい	● テレビの設定を確認する。 ● 初期設定[2オプション設定2]→[1接続するTV]と[2TVモード(4：3)設定]を正しく設定していない。	134 121 122
再生画面が上下にゆれる	● テレビの垂直同期を調整してみる。(調整方法については、テレビの説明書を確認するか、お買い上げの販売店にご相談ください)	－
画面メッセージが出ない	● 初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[1画面のメッセージ]を[1オート]または[2入]にしていない。 [1オート]または[2入]にしていても、初期設定[2オプション設定2]→[3コンポーネント映像出力選択]で[2525P]を選んでいるときは、画面メッセージは出ません。	117
ブルーバック(青い画面)にならない	● 初期設定[1オプション設定1]→[5ブルーバック]を[1入]にしていない。 [1入]にしていても、初期設定[2オプション設定2]→[3コンポーネント映像出力選択]で[2525P]を選んでいるときは、ブルーバックになりません。	118
GUIバーの表示が見にくい、または切れる	● 初期設定[1オプション設定1]→[1オンスクリーン]→[2GUIバーの色と位置]で、GUIバーの色や位置を変更する。	117

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
音　声		
音が出ない、小さい または音がおかしい	● 正しく接続していない。 →アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確認する。	112
	● スピーカー設定をしていない。 →特に5.1ch接続している場合は、初期設定[3オプション設定3]→[4スピーカー設定]をする。	128
	● V.S.S.が入っている。 →V.S.S.を数回押し、[切]を選ぶ。	92
	● GUIバーのマスターボリュームが小さくなっている。 →画面表示を2回押して本機情報画面を出し、「マスターボリューム」アイコンを選んで調整する。	52,53
聞きたい音声が聞こえない	● 正しい音声を選んでいない。 →音声切換を押し、正しい音声を選ぶ。	94
再　生		
● 再生を押しても再生が始まらない、またはすぐに停止する ● 再生中に画面が止まったり、音声が途切れることがある ● 本体表示窓に[U11]、[NO DISC]、[NO PLAY]のいずれかの表示が出た	● ラベル面を上にして正しく入れる。	38
	● DVD-RAM、DVD-VIDEO、ビデオCD、音楽CD以外のディスクが入っている。	12
	● ディスクがよごれている。 →やわらかい布できれいにふく。	13
	● 大きな傷やそりがあるディスクが入っている。	13
	● 未記録のDVD-RAMが入っている。	―
操作できない	● ディスクによってはその操作を禁止している場合があります。	39
	● まったく動作しない場合は、本体のPOWERを一度切/入してみる。 →落雷や静電気などの影響で、正常に動作しなくなっている場合があります。	―
タイトル/チャプターを選んでも再生が始まらない(DVD-VIDEO)	● 視聴制限が設定されていると、再生できないタイトル/チャプターがあります。	120
早送り/早戻しすると画像が乱れる	● 多少乱れることがありますが、故障ではありません。	―
画像に残像が多く映る	● DNRを押し、解除する。(ランプを消灯させる)	94
	● または、初期設定[2オプション設定2]→[6ノイズリダクション設定]の3つのノイズリダクションのレベルを弱くする。	124
音声言語や字幕言語が切り換えられない	● ディスクに元々複数の言語が記録されていない。	118
	● GUIバーの「音声」、「字幕」アイコンではなく、メニューでのみ切り換えられるタイプのディスクもあります。	―
あらかじめ設定した音声言語や字幕言語にならない	● ディスクに元々その言語が記録されていない。	118
字幕が出ない	● ディスクに元々字幕が記録されていない。	―
	● GUIバーの「字幕」アイコンが[入]になっていない。	50,51
アングルを切り換えられない	● マルチアングルのDVDでも、それが記録された場所以外では切り換わりません。(本体表示窓に 🎥 が点灯します。また、多くの場合は、テレビ画面にマルチアングルの表示が出ます)	59
視聴制限の設定をしたときの暗証番号を忘れた	● 以下の操作を行うと、本機の視聴制限の設定を解除することができます。 →ディスクトレイが開いている状態で、本体の ⏮ SKIP ⏭ を2つとも同時に5秒以上押す。	―

その他

故障かな？(つづき)

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
本体表示窓		
表示が暗い	● 初期設定[1オプション設定1]→[4FLディマー]で明るさを変える。	117
時刻表示が「0:00」で点滅している	● 時刻が合っていない。 →初期設定[6時刻合わせ]で時刻を合わせ直す。	133
録画・予約録画		
録画できない	● ディスクが入っていない。または未対応のディスクが入っている。 →4.7GB DVD-RAMを使う。 ● フォーマットされていない。(DVD-RAMディスクでも録画できない場合もあります) →本機で録画できるよう、フォーマットする。 ● ディスクカートリッジのライトプロテクトタブが「PROTECT」側になっている。 →ボールペンなど、先のとがったもので「PROTECT」を解除する。 ● ディスクの容量がいっぱい、またはそれに近い状態になっている。 →不要な番組(プログラム)は消去する。または新しいディスクを使う。	12 132 13 64,66
Gコード予約が正しくできない	● ガイドチャンネルが正しく設定されていない。 →ガイドチャンネルを正しく設定する。 ● 複数のチャンネルポジションに、同じガイドチャンネルが設定されている。 →不要なチャンネルは削除する。 ● 時刻が合っていない。 →初期設定[6時刻合わせ]で時刻を合わせ直す。	33 36 133
予約録画が正しくできない	● 予約内容(予約チャンネルや開始、終了時刻など)が間違っている。 →手順どおり正しく予約し直す。その後、予約内容を確認する。 ● 予約録画の待機状態になっていない。(本体のTIMER RECのランプが消灯している) →タイマー切/入を押し、本体のTIMER RECのランプを点灯させる。 ● 予約録画の時間帯が重なっている。 ● 時刻が合っていない。 →初期設定[6時刻合わせ]で時刻を合わせ直す。	72,76 76 － 133
予約録画中に本機の電源が「切」になった	● 予約録画中にディスクの容量がなくなると、電源が「切」になります。 →予約した番組の録画時間よりも、容量に余裕のあるディスクを入れる。	－
予約録画が終わっても、予約内容が消えない	● 毎日・毎週予約の場合は消えません。	72
停止(STOP)を押しても、予約録画が終わらない	● タイマー切/入を押し、本体のTIMER RECのランプを消灯させる。 (録画が終わり、電源「入」の状態になります)	76
編　集		
黒い帯状のノイズが録画された	● 再生側機器がテレビに近いために、テレビからの妨害を受けている。 →再生側機器をテレビから離す。	－
編集できない	● 正しく接続していない。 ● 録画側機器で、再生側機器を接続した外部入力チャンネル[L1]、[L2]または[L3]を選んでいない。 ([L3]を選ぶときは、初期設定[3オプション設定3]→[7外部入力3の端子設定]を[1ライン]に設定しておいてください)	100 101
編集後の映像が、乱れたり、色合いが悪くなったりする	● コピーガードがかかっている。 →市販されているソフト(レンタルビデオも含む)などには、違法な複製を防ぐためのコピーガードがかかっているものがあります。コピーガードのかかっているソフトは正しく録画できません。	－

症　状	調べるところ・原因・対策	ページ
BS(衛星放送)		
「市外局番入力チャンネル設定」を行ったが、BSチャンネルが設定できなかった	● BSアンテナを接続していない。 →正しく接続する。	25
	● 初期設定[7チューナー設定]→[2BSアンテナ設定]をしていない。 →正しく設定する。(共聴受信の方と直接接続されている方とでは設定が異なります)	28
WOWOW(JSB放送)が映らない	● BSデコーダーが接続されていない。 →WOWOWを見るには、BSデコーダー(別売)が必要です。	102
	● 初期設定[7チューナー設定]→[2BSアンテナ設定]をしていない。 →本機、テレビ両方のBS電源を正しく設定する。	28
	● BS5チャンネルが[デコーダー 切]になっている。 →[デコーダー 自動]にする。	34
映像も音声も出ない	● BSアンテナを接続していない。 →正しく接続する。	25
	● BSデコーダーの電源が「入」になっていない。(WOWOW受信中)	—
	● 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している。 →放送が再開されるまでお待ちください。	—
映像の映りが悪い、または音声にノイズ(変な音)が出る	● BSアンテナが正しい方向を向いていない。 →正しい方向から少しでもずれると、BS放送は受信できません。	—
	● 豪雪、豪雨、雷雲などで電波が減衰したり、強風でBSアンテナがゆれている。 →気象条件による一時的なものは、故障ではありません。	—
	● BSアンテナ線が劣化している。 →詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
Aモード番組の受信中に、テレビの音声が出ない	● 「独立音声」を選んでいる。(BS放送には「Aモード」と「Bモード」があり、自動的に切り換わります) →**TV/独立**を押し、「テレビ音声」を選ぶ。	95
リモコン		
リモコンが働かない	● 予約録画の待機中になっている。(本体の**TIMER REC**のランプが点灯している) →**タイマー切/入**を押し、本体の**TIMER REC**のランプを消す。	76
	● **DVD/テレビ**が[DVD]になっていない。 →本機の操作をするときは、必ず[DVD]にしておく。	18
	● 本体とリモコンモードが合っていない。 →リモコンモード合わせ直す。	98
	● 電池が消耗している。 →新しい電池と交換する。(リモコン表示部は点灯していても、操作できない場合があります)	21
	● 本体のリモコン受信部に向けて操作していない。	21
	● リモコンと本体の間に障害物などがある。	21
テレビが操作できない	● テレビメーカー番号が合っていない。 →正しい番号に合わせてください。(メーカーや機種により、操作できない場合があります)	26
	● **DVD/テレビ**が[テレビ]になっていない。 →テレビの操作をするときは、必ず[テレビ]にしておく。	19

Q&A

本機の操作で疑問に思われることがあれば、この表を参考にしてください。

Q	A	ページ
電　源		
転居先で使用できるか?	● 日本国内でのみ使用できます。 →受信チャンネルを正しく設定し直してください。	29
接　続		
マイクを接続できるか?	● できません。 →本機と接続したアンプなどに接続してください。	−
スピーカーを接続できるか?	● できません。 →本機と接続したアンプなどに接続してください。	112
映像・音声、コンポーネント映像のプラグや端子が色分けされているのは?	● プラグと端子の色を合わせて接続するようになっています。 →映像・音声＝**黄**：映像　**白**：左音声　**赤**：右音声 **黒**または**白**：モノラル音声 →コンポーネント映像＝**緑**：Y　**青**：PB/CB　**赤**：PR/CR	22,23
再　生		
テレビに比べて音が小さいが?	● 5.1chの音声信号はダイナミックレンジ(音量大小の幅)が広いため、一般的には小さく聞こえます。(GUIバーの「マスターボリューム」で調整することができます)	38 52,53
外国で買ったDVD-VIDEOは再生できるか?	● リージョン番号が「2」または「ALL」で、テレビ方式がNTSC方式のものならできます。PAL方式のものは再生できません。	12
リージョン番号がないDVDは再生できるか?	● リージョン番号は、ディスクがDVDの規格に適合していることを表しています。規格を満たしていないDVDは再生できません。	−
外国で買ったビデオCDは再生できるか?	● テレビ方式がNTSC方式のものならできます。PAL方式のものは再生できません。	12
CD-Rは再生できるか?	● 記録されている内容が音楽CD、ビデオCDの場合に限りできます。	12
録　画		
音声多重放送を録画中に音声を切り換えて聞くことはできるか?	● できます。 →**音声切換**で聞きたい音声を選んでください。	94
ステレオ放送の片側のチャンネルのみ(2カ国語放送の主音声のみ)を録音できるか?	● できません。 →再生時に、**音声切換**で聞きたい音声を選んでください。	94
VHF/UHF放送の録画中に、BS放送を見ることはできるか?	● BSチューナー内蔵テレビであれば、見ることができます。	61
予約録画		
予約録画は予約した順番に行われるのか?	● 予約内容の日付・時刻順に行われます。	−
予約録画が始まるまでの間、他のディスクを見ることができるか? 予約録画の待機中に、ディスクを入れ替えることができるか?	● 予約録画の待機状態を解除しないとできません。 →**タイマー切/入**を押し、本体の**TIMER REC**のランプを消してから操作してください。	76
編　集		
ビデオにダビングできるか?	● コピー禁止の処理がされているディスクはダビングできません。	−

エラーメッセージについて

エラーが起こると、テレビ画面にメッセージを表示して知らせます。

エラーメッセージ	調べるところ・原因・対策	ページ
記録できないディスクが入っています。	● 本機で記録できない方式のディスクやDVD-VIDEO、ビデオCD、音楽CDが入っている。 →本機で録画可能なDVD-RAMディスクを入れる。 ● フォーマットされていないDVD-RAMディスクが入っている。 →本機で録画できるよう、フォーマットする。	12 132
記録(または消去)できません。カートリッジにライトプロテクトされたディスクが入っています。	● カートリッジのライトプロテクトタブ(誤消去防止用のつまみ)が「PROTECT」側になっている。 →ボールペンなど、先のとがったもので、「PROTECT」を解除する。 	−
記録(または消去)できません。プロテクトされたディスクが入っています。	● 番組にプロテクトがかかっている。 →プログラムナビ番組リストのサブメニューから「プロテクト」を選んで解除する。 ● ディスク全体にプロテクトがかかっている。 →プログラムナビディスクリストのサブメニューから「プロテクト」を選んで解除する。	80 83

別売品のご紹介

本書で紹介させていただいている別売品の一例です。

- ＊印の付いているものは、サービスルート扱いなどでご用意しております。
- 品番/標準価格は、2000年6月現在のものです。また、消費税や工事代などは含まれておりません。

品　名	品　番	標準価格	特記事項
TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク	DY-HB47	2,700円	カートリッジ付
＊DVD-RAM/PDディスククリーナー	RFKZ0093	3,000円	
＊DVD-RAM/PDレンズクリーナー	JZSLFK123LC1	2,500円	
映像・音声コード	RP-CVP3G20	1,500円	2.0 m (ステレオ⟷ステレオ タイプ)
映像・音声コード	RP-CVP2G20	1,400円	2.0 m (ステレオ⟷モノラル タイプ)
映像コード	RP-CVP0G20	800円	2.0 m
＊ツイン映像コード	VUA7043	600円	1.5 m・2本入り
S映像コード	RP-CVS0G20	1,200円	2.0 m
D端子ケーブル	RP-CVDG30	5,000円	3.0 m
音声コード	RP-CAP3G20	750円	2.0 m
光デジタルケーブル	RP-CA2020A	2,200円	2.0 m
＊75Ω同軸ケーブル	VUA7051	400円	1.4 m
＊混合器	VUA7053	600円	
＊分波器	VUA7052F	800円	
＊75Ωアンテナプラグ	VSQ1035	300円	VHF/UHF入力端子専用
＊アンテナプラグ	VUA7050	300円	
BS・CS/UV分波器	TY-6S7BCS	2,400円	

用語解説

映像についての用語

フィールド

1フレームの映像情報を2つに分けたもの。通常のテレビでは、このフィールドを順次に映し出すことで1フレームを構成しています。

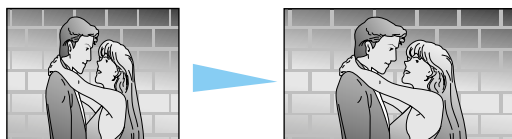
フレーム

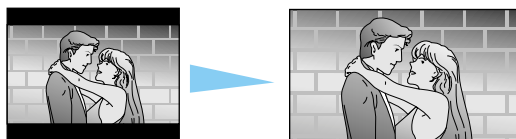
動画の1コマ1コマのこと。たとえば、テレビでは、1秒間に30コマ(静止画像)を連続して映し出すことで、動きのある映像を作っています。

フレームスチル/フィールドスチル

動画を一時停止して静止画像にすることをスチルといいます。フレームスチルでは、2フィールドを交互に映し続けるため画像にぶれを生じますが、画質は良くなります。フィールドスチルでは、映像情報が半分のため、画質が粗くなりますが、画像のぶれはありません。

S1映像信号

4：3に圧縮されたワイドソフトを自動的に16：9のサイズに戻して映します。

S2映像信号

S1の機能に加え、レターボックスのソフトを自動的にワイド画面いっぱいに映し出します。

デジタル音声についての用語

サンプリング周波数

サンプリングとは、デジタル信号を作るためアナログ信号を一定の時間間隔で細かく刻み、1つ1つの波の高さを数値化すること。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、これが多いほど元の音を精密に再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ドルビーデジタル

ドルビーラボラトリーズが開発したデジタル音声の圧縮技術。ステレオ(2ch)はもちろん、5.1chのサラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに納めることができます。

ドルビープロロジック

4チャンネル信号を2チャンネルに記録し、再び4チャンネルの独立した信号に戻して再生するサラウンドシステムです。サラウンド信号はモノラルで、7kHzまで再生されます。

リニアPCM(Pulse Code Modulation)

圧縮せずにデジタルに置き換えられた音声信号です。音楽CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは、48kHz/16bit〜96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。本機ではリニアPCM音声は常に2chで出力されます。

Bitstream(ビットストリーム)

デジタルに置き換えられ、圧縮された音声信号です。デコーダーによって、5.1chなどの独立したチャンネルの音声データにデコード(復号)されます。

dts(digital theater systems)

DTS社が開発したデジタル音声記録方式。音質を重視し、圧縮率を低くしています。

ディスクに関する用語

インタラクティブなDVD
複数のアングルやストーリーなどが記録されており、再生中に経過時間が表示されないDVDです。

タイトル
DVD-VIDEOの大きな区切り。それぞれの区切りの番号をタイトル番号といいます。

チャプター
DVD-VIDEOの1つのタイトル内にある小さな区切り。それぞれの区切りの番号をチャプター番号といいます。音楽CDのトラックに相当します。

トラック
ビデオCD、音楽CDの小さな区切り。それぞれの区切りの番号をトラック番号といいます。

プレイバックコントロール(PBC)付ビデオCD
バージョン2.0のビデオCDの再生方式で、再生したときに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で選ぶことができます。本書では、メニュー画面を使って再生することをビデオCDのメニュー再生と呼びます。(本機はプレイバックコントロールのオートポーズ機能に対応しておりません)

プログラム
DVD-RAMの区切り。本書では「番組」という表現もしています。

その他の用語

インターレス/プログレッシブ
従来の映像信号(NTSC)は525I(I:インターレス=飛び越し走査)といわれるのに対し、その525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P(P:プログレッシブ=順次走査)といいます。
本機後面のコンポーネント映像出力端子(Y、P_B/C_B、P_R/C_R)またはD2映像出力端子に接続すると、プログレッシブ映像が出力できます。従来の映像出力端子、S映像出力端子に接続するよりも高画質な映像が楽しめます。

コンポーネント映像出力端子
輝度(Y)信号、コンポーネント(C_B、C_R)信号に分離されている映像情報を各端子からテレビにそのまま伝えるため、色を忠実に再現します。

ノンドロップフレーム
NTSC方式の映像信号は1秒　30フレームになるため、この映像フレームより生成されるカウンターは、長時間録画しているとカウンター値と実時間でズレが生じます。この方式をノンドロップフレームといいます。

プログラムナビ
プログラムナビを押すと、録画した番組内容が一覧表でテレビ画面に表示されますので、その中から見たい番組を頭出しできます。ディスクに録画された番組のリストを日時、チャンネル、タイトル(タイトル入力したときのみ)で表示され、選んだ番組はリストのバックに動画で再生されますので、簡単に確認できます。番組を誤って消さないよう、プロテクトをかけたり、部分的に消去することもできます。

プレイリスト
自分で作成したお好みのシーンを順番に再生することができます。また、特定のシーンを直接、頭出しすることも可能です。不要なシーンを削ったり、新しいシーンを追加したりすることが自在にできるので、例えば、音楽番組やスポーツ番組で、好きなシーンだけを集めたオリジナル映像を楽しんだり、ビデオカメラで撮影した映像をダビングして、そこから必要なシーンだけを選んで、連続再生することが可能です。

D2映像出力端子
DVDの高画質・高品質な映像(信号フォーマット:525P、525I)が楽しめます。
- D1映像入力端子のみのテレビにも接続できますが、525Iのみの出力となります。

GUI(Graphical User Interface)
「画面を見ながら操作できる」ことを意味します。
本機の場合は、ディスクや本機の情報などを表示する細長い画面を「GUIバー」と呼びます。
再生中、情報を確認しながら内容を変更することにより、さまざまな操作ができます。
また、プログラムナビ、プレイリストで表示されるさまざまな画面も「GUI画面」と呼びます。

索引

仕様

電源	AC100 V±10%、50/60 Hz±0.5%
消費電力	48 W(電源「スタンバイ」時　約6 W

録画方式	DVDビデオレコーディング規格準拠
光ピックアップ	1レンズ2集積ユニット方式 (RAM/ROM用 650nm/CD用 780nm)
記録モード	XP　：約10 Mbps SP　：約5 Mbps LP　：約2.5 Mbps
録画ディスク	4.7 GB DVD-RAMディスク
録画時間	最大4時間(DY-HB47使用の場合) XP　：60分(DY-HB47) SP　：120分(DY-HB47) LP　：240分(DY-HB47)
映像方式	
● テレビジョン方式	NTSC方式 525本 60フィールド (525I)/525P(順次走査)方式
● 記録方式	RTR MPEG2(Hybrid VBR)
● 入力	LINE(ピンジャック)1.0 Vp-p、75 Ω S端子 Y：1.0 Vp-p、75 Ω C：0.286 Vp-p、75 Ω BS端子 アンテナ入力：75 Ω
● 出力	LINE(ピンジャック)1.0 Vp-p、75 Ω S端子 Y：1.0 Vp-p、75 Ω C：0.286 Vp-p、75 Ω
● コンポーネント映像出力 525P/(525I)	Y　：1.0 Vp-p、75 Ω PB(CB)　：0.7 Vp-p、75 Ω PR(CR)　：0.7 Vp-p、75 Ω
● D2端子出力	Y　：1.0 Vp-p、75 Ω PB(CB)　：0.7 Vp-p、75 Ω PR(CR)　：0.7 Vp-p、75 Ω
● 検波入出力	BS(ピンジャック)0.67 Vp-p、75 Ω
● ビットストリーム入出力	BS(ピンジャック)0.50 Vp-p、75 Ω
● アンテナ受信入力	VHF：1ch～12ch、75 Ω UHF：13ch～62ch、75 Ω CATV：C13ch～C63ch、75 Ω BS：1・3・5・7・9・11・13・15ch、75 Ω
● アンテナ用電源出力	15 V、4 W
● RFコンバーター出力	なし
音声方式	
● 入力	LINE(ピンジャック) 基準入力：309 mVrms/ FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 入力インピーダンス：47 kΩ
● 出力	LINE(ピンジャック) 基準出力：309 mVrms/ FS：2 Vrms(1 kHz、0 dB) 出力インピーダンス：1 kΩ (負荷インピーダンス：10 kΩ) ヘッドホン(M6ジャック) 入力：－14 dBV H.P VR max時 180 mVrms 負荷インピーダンス：32 Ω
● チャンネル数	録再：2チャンネル、 再生：2チャンネル～6(5.1)チャンネル
その他の入出力端子	デジタル音声光出力端子/ デジタル音声同軸出力端子
外形寸法	約幅 430×高さ125×奥行352 mm
本体質量	約7.2 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	35 %～80 %
時計部	クォーツ制御 24時間デジタル表示

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■修理を依頼されるとき

P136～139の表に従ってご確認のあと、直らないときは、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
  ただし、DVDビデオレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。
  注)補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

使いかた・お買い物のご相談は

ナショナル／パナソニック
お客様ご相談センター

フリーダイヤル（料金無料）　0120-878-365（パナは 365日）

365日／受付9時～20時

Help desk for foreign residents in Japan
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

ナショナル／パナソニック

修理ご相談窓口

修理のご相談は

ナビダイヤル（全国共通番号） ☎ 0570-087(パナ)-087(パナ)

●お客様がおかけになった場所から最寄りの地区の修理ご相談窓口につながります。
呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
●携帯電話・PHSからは最寄りの地区の修理ご相談窓口に直接おかけください。
（ナビダイヤルはご利用頂けません）

北海道地区

地区	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地区	所在地	電話
青森	青森市大字八ッ役字矢作1-37	☎(0177)39-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地区	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市萩原町沖中205-18	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)729-2102
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5450-7431
山梨	甲府市下飯田2丁目1-27	☎(0552)22-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)840-3155
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-7725

中部地区

地区	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)58-0073
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地区	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市南区上鳥羽石橋町20-1	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(0734)75-1311
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地区	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市西津田2丁目10-19	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(0839)86-4050

四国地区

地区	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地区	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市本庄町大字本庄896-2	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎県宮崎郡清武町下加納366-2	☎(0985)85-6530
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市矢之脇町10-5	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地区	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0100

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。
This DVD Video Recorder set can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のDVDビデオレコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 再生しても映像や音声が出ない
- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 水や異物が入った
- ディスクが傷ついたり、取り出しができない
- 本体やテレビ画面の表示が出ない
- その他の異常や故障がある

このような症状のときは故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	DMR-E10
	販売店名	☎(　　)　－	お客様ご相談窓口 ☎(　　)　－	

松下電器産業株式会社
デジタルAVネットワーク事業部
〒571－8505　大阪府門真市松生町1番4号

VQT8755-1
F0500Yt2070

はじめによくお読みください (裏面もよくお読みください)

このたびは、パナソニックDVDレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

本機は、プログレッシブ映像(525P)を実現するため、新開発のプログレッシブビデオプロセッサーを搭載していますので、従来モデルでは実現できなかった高密度で高品位な映像がお楽しみ頂けます。

本機のプログレッシブ(525P)映像出力は
コピーガード信号に対応したテレビをお使いください

プログレッシブ映像(525P)をお楽しみになる場合、本機のコピーガードシステムに適合した525P映像入力端子付テレビが必要です。

DVDソフトの多くは、著作権保護への配慮により、コピーガードが施されており、本機のプログレッシブ(525P)映像出力にもコピーガード信号が付加されます。

お使いのテレビが本機のコピーガードシステムに適合していない場合、画面の上部がゆがんだり、、映像が映らないことなどがあります。
以下の一覧表で、本機のコピーガードシステムに対応しているテレビであることをご確認ください。

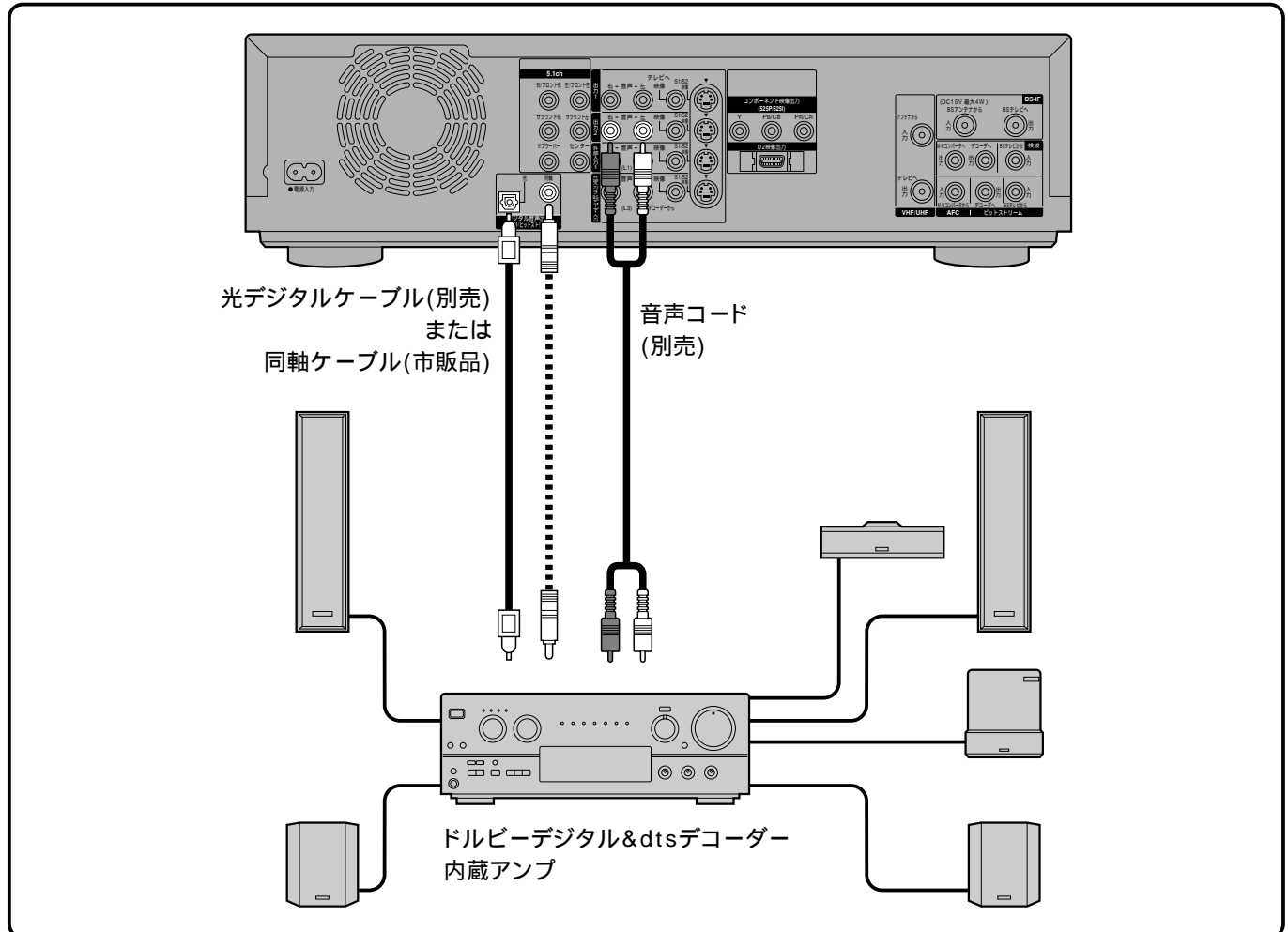
■対応テレビ一覧表(当社製テレビのみ)

テレビタイプ	品　番		
BSデジタルハイビジョンテレビ	TH-36D10	TH-32D10	TH-28D10
ハイビジョンテレビ	TH-36FH1	TH-32FH1	
	TH-36FH10	TH-32FH10	
	TH-36HG1	TH-32HG1	
	TH-28HW2		
	TH-32HW3		
プログレッシブワイドテレビ	TH-36FP10	TH-32FP10	
	TH-36FP15	TH-32FP15	TH-28FP15
	TH-36FP20	TH-32FP20	TH-28FP20
プログレッシブテレビ	TH-33FP2	TH-29FP2	
	TH-33FP3		
DVDビデオ内蔵ワイド液晶テレビ	TH-15DT2		
ワイド液晶テレビ	TH-22LT1	TH-15LT1	
プラズマディスプレイ	TH-42PD2	TH-37PD2	
	TH-42PM2	TH-37PM2	
	TH-42PM3		
	TH-42PM20	TH-37PM20	
	TH-42PWM3		
リアプロジェクター	TH-47FP10		
	TH-48FT10		

※ 上記一覧表は、当社による調査結果です。(平成12年7月現在)

なお、当社製以外のテレビをお使いになる場合は、「プログレッシブコピーガードシステム」に適合した525P映像入力端子付テレビかどうかメーカーにご確認ください。

デジタル接続時の音声切換について

ドルビーデジタル＆dtsデコーダー内蔵アンプまたはドルビーデジタル/dtsデコーダーと、光デジタルケーブルまたは同軸ケーブルのみで接続していると、テレビの二重放送(2カ国語など)受信中、または録画したテレビ番組の再生中は、音声を主音声または副音声に切り換えることができません。

聞きたい音声を切り換えるには…

次の2つの方法のいずれかで切り換えてください。

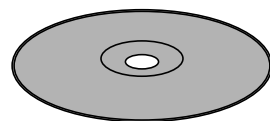
❶ デジタル接続とは別に、**音声コード(別売)**も接続する。(上図参照)
アンプ側で、音声コードを接続した入力に切り換える。

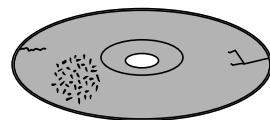
または

❷ **初期設定[③オプション設定3]**→[**①デジタル出力**]→[**②Dolby Digital**]を[**②PCM**]に設定する。(取扱説明書P126)
(ただし、再生時のみ)

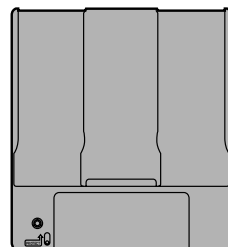
- リモコンの音声切換ボタンで主音声・副音声を切り換えることができるようになります。
ステレオ音声の左音声または右音声のみを聞きたい場合も同様です。

カートリッジなしディスク、TYPE2カートリッジから取り出したディスクをお使いになるときは

カートリッジなしディスク、TYPE2カートリッジから取り出したディスク(以下「ディスク」と呼びます)に録画すると、信号面の状態によっては番組が正常に録画・編集できなかったり、再生したときにノイズが出たりする場合があります。
以下の説明をよくお読みになり、正しくお使いください。

■ディスクを使う前に、信号面に傷やごみ、ほこり、指紋などのよごれがないことを十分に確認する

- 傷やごみ、ほこり、指紋などが付いていると、録画・編集が正常に行われても、再生時にノイズが発生したり、映像が乱れたりする場合があります。この現象はTYPE2カートリッジから取り出したディスクをカートリッジに戻した場合でも同じです。

■信号面にごみ、ほこり、指紋などのよごれがある場合は、DVD-RAM/PDディスククリーナー RFKZ0093(別売)でクリーニングする

- 取扱説明書の指示に従って、正しくクリーニングしてください。
- クリーニングした後でも正常に録画・再生・編集できない場合は、そのディスクの使用は避けてください。修復できない傷やよごれによるものと考えられます。
- レコードクリーナー、シンナー、ベンジン、アルコール、水や洗剤などでふかないでください。

■大切な映像の録画・編集には、TYPE2カートリッジDVD-RAMディスク DY-HB47(別売)のご使用をおすすめします

■お願い

- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどをお使いください。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わないでください。
- ディスクにシール、セロハンテープなどは絶対に貼らないでください。
- ディスクを傷やよごれから保護するために、使わないときは短時間であっても必ず保護ケース、またはカートリッジに収めておいてください。
- ディスクを落としたり、重ねたり、物をのせたり、衝撃を与えたりしないでください。録画・再生・編集ができなくなることがあります。

■次のようなところには置かない

- ごみやほこりの多いところ
- 温度・湿度の高い場所、直射日光があたるところ
- 温度差の激しいところ(結露が発生します)

■以下のような症状が出たときは、使用を中止し、ディスクの信号面の状態を確かめる

- 録画・再生・編集できない
- 映像・音声が途切れたり、一瞬停止する
- 映像・音声にノイズが出る

詳しくは、取扱説明書をお読みください。

万一何らかの不具合により、録画・編集されなかった場合の内容の補償、録画・編集されたデータの損失、ならびにこれらに関するその他の直接・間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

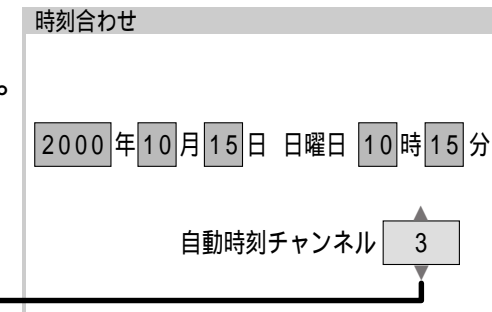
お知らせ

本機は時刻を正しく合わせる「自動時刻合わせ」機能を搭載しています。
放送局からの時報に合わせてこの機能が働くため、電源「切」のときでも、
本機の温度が通常より高くなりますが、故障ではありません。

■アンテナ線を接続してご使用の場合

以下の場合で、はじめてこの機能が働いたときに、温度が通常より高くなります。

- アンテナ線(VHF/UHF)を接続し、はじめてこの機能が働いたとき
- 移動などで電源コードを接続し直し、再度この機能が働いたとき

本機のチャンネル設定を地域の放送チャンネルに正しく合わせていない場合やCATVの場合は、初期設定を変更し、自動時刻チャンネルをNHK教育テレビに合わせてください。
(詳しくは、取扱説明書P133をお読みください)

「3」チャンネルに合わせた場合。

■アンテナ線を接続せずにご使用の場合

必ず「自動時刻合わせ」機能が働かないように初期設定を変更してください。

- 自動時刻チャンネルの設定を「ーー」に切り換えてください。

(詳しくは、取扱説明書P133をお読みください)